

平成25年度 青葉区区民意識調査

調査結果報告書

平成25年8月

横浜市青葉区

平成25年度 青葉区区民意識調査

目 次

調査概要.....	2
I. 回答者の属性.....	3
1. お住まいの周辺的生活環境について.....	8
2. 子育てについて.....	37
3. 火災警報器について.....	41
4. ペットの防災について.....	43
5. 地域活動・地域社会について.....	47
6. 介護予防について.....	70
7. 健康について.....	75
8. 広報について.....	81
9. 環境について.....	87
10. 区制20周年について.....	92
11. 読書活動について.....	94
12. 区・市への愛着について.....	99
13. 定住意向について.....	102
区政について.....	106
自由記述内容一覧.....	107
調査票.....	125

青葉区 区民意識調査

調査概要

調査の目的	青葉区にお住まいの皆さまの生活意識や区政に対する満足度、要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的とする。
調査対象	青葉区内在住の16歳以上の男女3,000名（うち外国人60名）
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
調査方法	郵送によるアンケート方式
回答率	49.8%（有効回答者数1,494人）
調査期間	平成25年6月
設問分野	生活環境、子育て、防災、地域活動・地域社会、若者の就労、介護予防、健康、広報、環境、区制20周年、読書活動、定住意向等
図表の見方	図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。 MA : 複数回答（マルチアンサー）の設問 N : その設問に対する回答者数

※集計結果の見方

- ・回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回答者数を基本としている（N=1,494）。

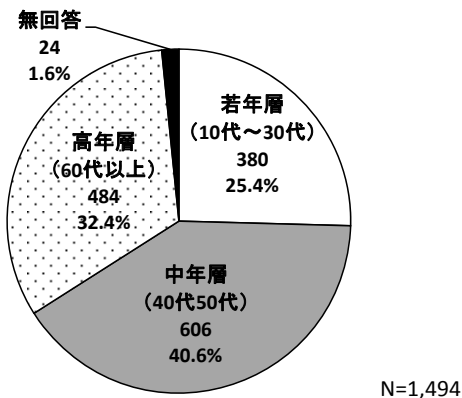
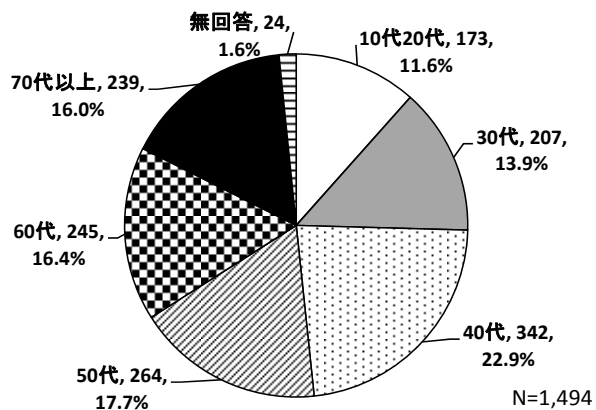
※クロス集計表の見方

- 濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、数値を反転表示している。
- 薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、特徴的な項目（区全体の数値と比べて概ね10ポイント以上数値が高い項目）については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

I. 回答者の属性

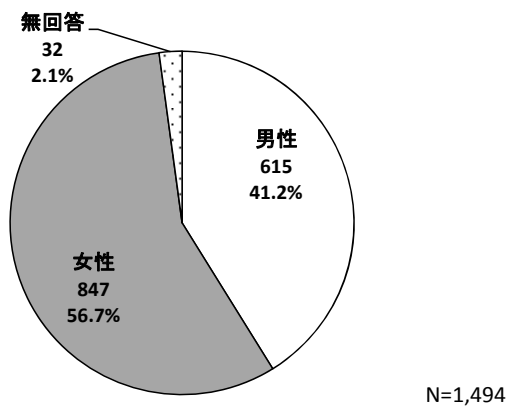
年齢 (F 1)

・最も多いのは40代の22.9%、少ないのは10代20代の11.6%である。



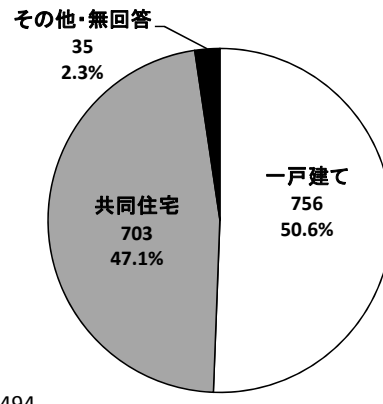
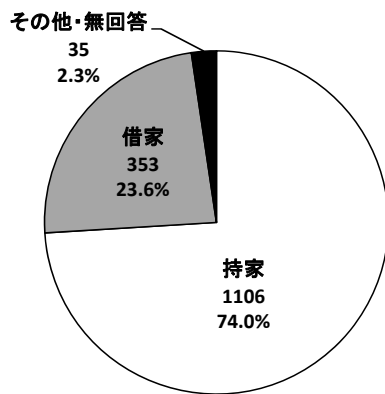
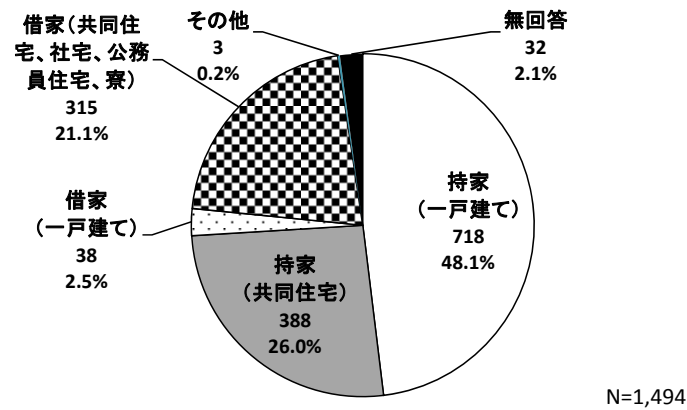
性別 (F 2)

・女性が56.7%で、男性の41.2%を15.5ポイント上回っている。



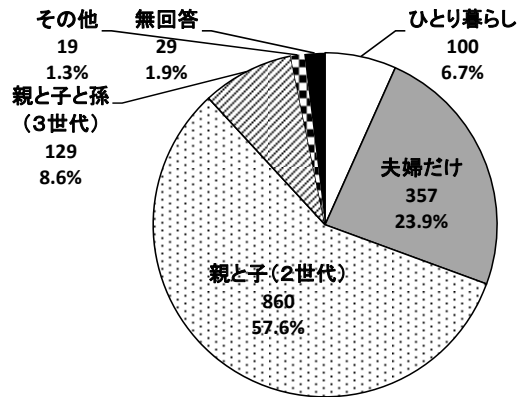
居住形態（F3）

- ・「持家（一戸建て）」が48.1%で最も多い。次いで「持家（共同住宅）」が26.0%で、この2つを合わせると74.0%と、持家率は7割を超える。以下「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」（21.1%）、「借家（一戸建て）」（2.5%）、「その他」（0.2%）となっている。
- ・「持家（一戸建て）」「借家（一戸建て）」を合わせると50.6%となり、一戸建てが全体の半数を超えている。「持家（共同住宅）」「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」を合わせると47.1%で、共同住宅は全体の半数弱である。



家族構成（F 4）

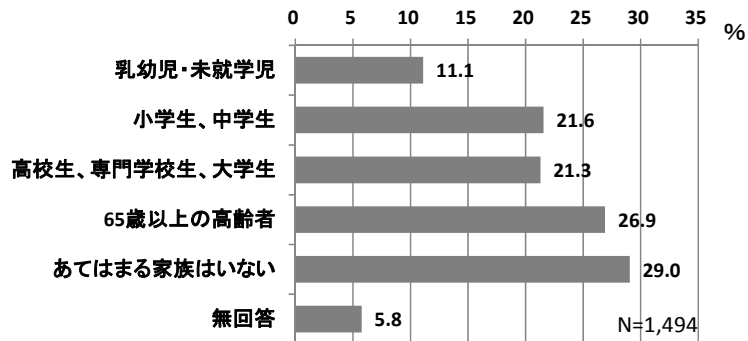
- ・「親と子（2世代）」が最も多く 57.6%で、全体の過半数を占める。次いで「夫婦だけ」が 23.9%で、全体の4分の1弱である。



N=1,494

同居している家族（F 5）

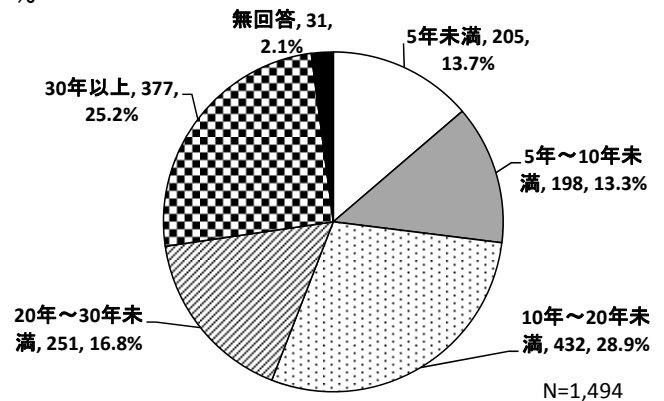
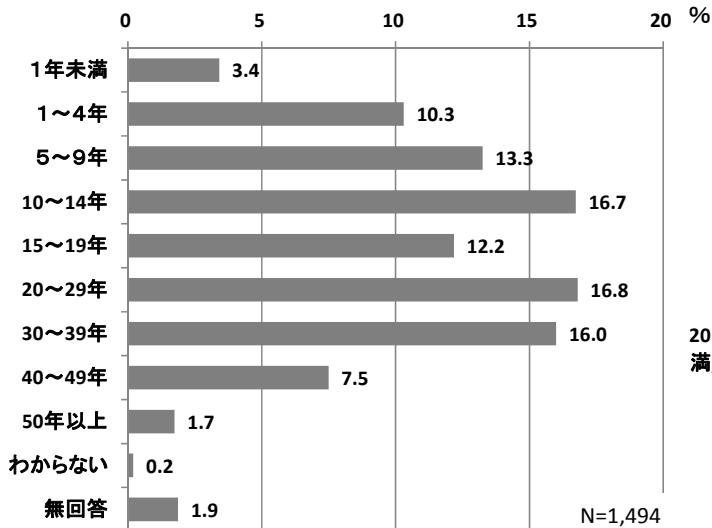
- ・「あてはまる家族はいない」が最多の 29.0%となっているが、これを除くと、最も多いのは「65歳以上の高齢者」（26.9%）、次いで「小学生、中学生」（21.6%）、「高校生、専門学校生、大学生」（21.3%）がほぼ並び、「乳幼児・未就学児」が 11.1%で続く。



N=1,494

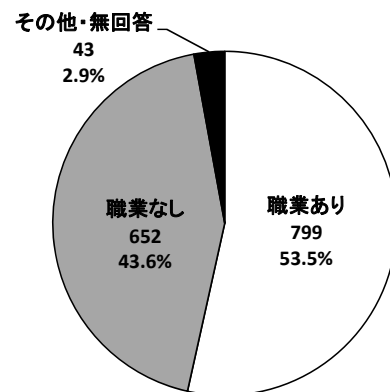
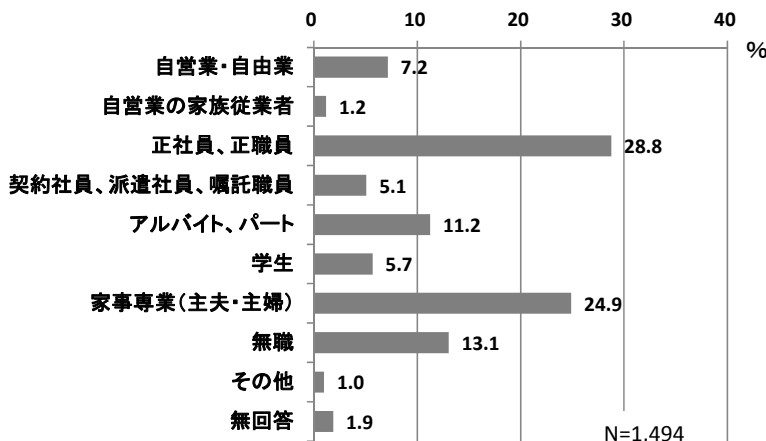
居住期間（F6）

- ・最も多いのは「20～29年」の16.8%、以下「10～14年」（16.7%）、「30～39年」（16.0%）、「5～9年」（13.3%）、「15～19年」（12.2%）、「1～4年」（10.3%）などの順となっている。
- ・5～10年きざみで括ってみると、「10年～20年未満」が28.9%で最も多く、3割弱となっている。次いで「30年以上」（25.2%）が全体のほぼ4分の1、以下「20年～30年未満」（16.8%）、「5年未満」（13.7%）、「5年～10年未満」（13.3%）と続く。



職業（F7）

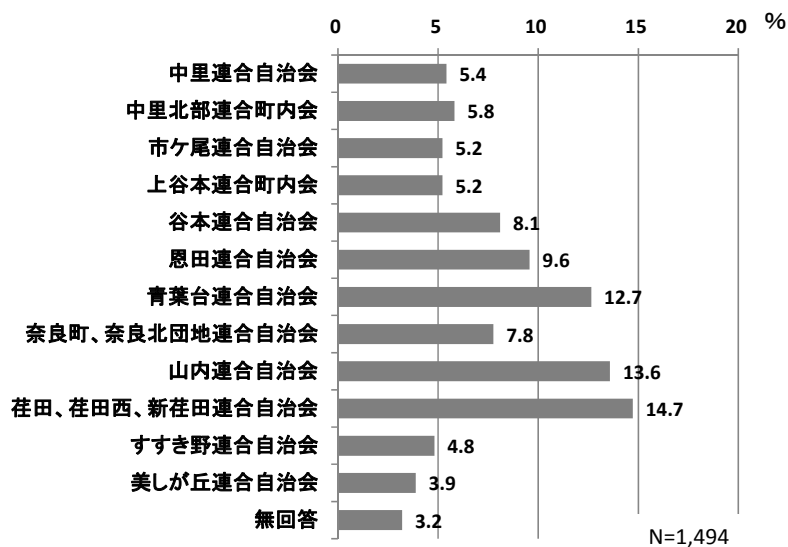
- ・最も多いのは「正社員、正職員」の28.8%で、全体の3割弱である。次いで「家事専業(主夫・主婦)」が24.9%で、全体のほぼ4分の1を占める。以下「無職」(13.1%)、「アルバイト、パート」(11.2%)、「自営業・自由業」(7.2%)、「学生」(5.7%)、「契約社員、派遣社員、嘱託職員」(5.1%)、「自営業の家族従業者」(1.2%)、「その他」(1.0%)と続く。
- ・職業ありと職業なし(学生・家事専業・無職)の比率を見ると、職業ありが職業なしを9.9ポイント上回っている。



居住地区（※）（F8）

- ・最も多いのは「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」（14.7%）で、これに「山内連合自治会」（13.6%）、「青葉台連合自治会」（12.7%）が続く。

※居住地区---便宜上、自治会・町内会への加入に関わらず、居住している町名により、連合自治会名で居住地区を表現している。以下、すべてのページが同様。



青葉区地区別エリア図



- ①中里地区 ②中里北部地区 ③市ヶ尾地区
- ④上谷本地区 ⑤谷本地区 ⑥恩田地区
- ⑦青葉台地区 ⑧奈良町地区 ⑨奈良北団地地区
- ⑩山内地区 ⑪荏田地区 ⑫荏田西地区
- ⑬新荏田地区 ⑭すずき野地区 ⑮美しが丘地区

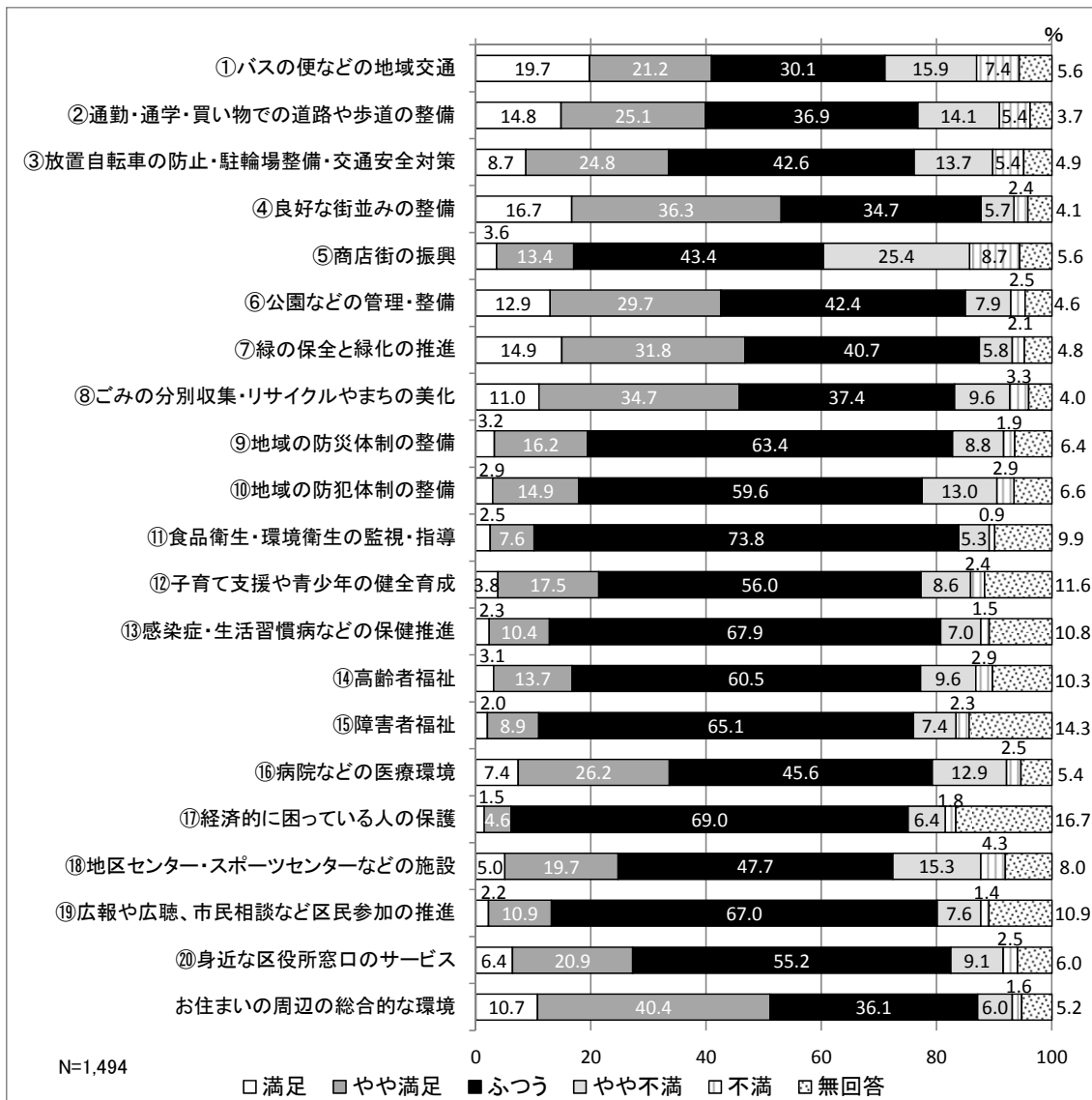
Ⅱ. 調査結果

1. お住まいの周辺の生活環境について

問1 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前(概ね5年程度、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変わったと思いますか。

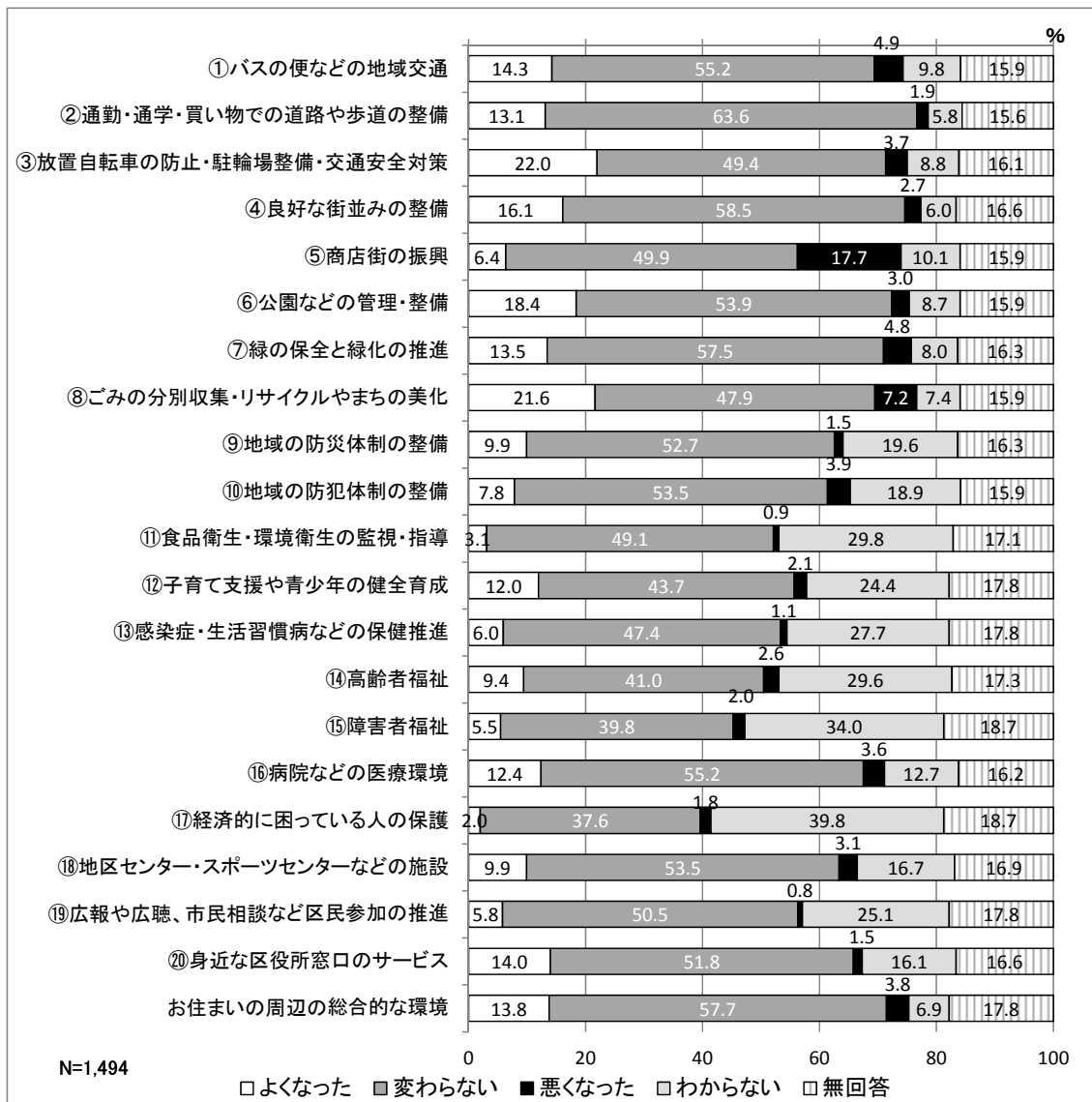
<満足度>

- ・「④良好な街並みの整備」「お住まいの周辺の総合的な環境」のみ「やや満足」が最も多く、それ以外の項目は「ふつう」が最多となっている。
- ・「満足」「やや満足」を合わせた数値の上位項目は、「④良好な街並みの整備」「⑦緑の保全と緑化の推進」「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「⑥公園などの管理・整備」「①バスの便などの地域交通」「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」で、これら6項目のみ「満足」「やや満足」を合わせた数値が「ふつう」より高い数値となっている。



< 以前との比較 >

- ・以前との比較については、「⑰経済的に困っている人の保護」のみ「わからない」、それ以外は「変わらない」が最も多くなっている。
- ・「よくなった」の数値が最も高いのは「③放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策」で、以下「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「⑥公園などの管理・整備」「④良好な街並みの整備」「①バスの便などの地域交通」が上位5項目である。
- ・「悪くなった」の数値が最も高いのは「⑤商店街の振興」で、これのみ「悪くなった」が2割近い数値となっている。以下「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「①バスの便などの地域交通」「⑦緑の保全と緑化の推進」「⑪食品衛生・環境衛生の監視・指導」が上位5項目である。「よくなった」項目として上位に上がっている「①バスの便などの地域交通」「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」がこちらでも上位に上がっている。



■ 『満足度』と『以前と比べた変化』の関係

『満足度』『以前と比べた変化』について結果を点数化（※）し、両者の関係を見ると、『満足度』では、「商店街振興」（設問項目を省略表記＜次ページ表＞参照-以下同様）、「保護」を除いて「満足」側にあり、『以前と比べた変化』では「商店街振興」を除いて「よくなった」側に位置している。全体として、青葉区の生活環境の評価は高い。

※満足度---「わからない」「無回答」を除いた構成比を用い、「満足」2点、「やや満足」1点、「ふつう」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を付与して合計して算出

※以前と比べた変化---「わからない」「無回答」を除いた構成比を用い、「よくなった」1点、「かわらない」0点、「悪くなった」-1点を付与して合計して算出

青葉区の「総合的環境」を原点として分野（※）ごとにみても、“みどり”に関わる分野では、「街並み」「公園」「緑化」いずれも、『満足度』、『以前と比べた変化』ともに高かった。

“安全”では、「交通安全」は「よくなった」割合が高いものの、『満足度』はやや低く、「防災体制」は「よくなった」割合は「総合的環境」と同じ程度であるが『満足度』はやや低い。「防犯体制」は『満足度』、『以前と比べた変化』ともに低くなっている。

“利便”では、「道路整備」「地域交通」とも、『以前と比べた変化』では「総合的環境」と同じ程度で、『満足度』はやや低い。

“衛生”では、「ごみ」は『満足度』『以前と比べた変化』ともに高かったが、「環境衛生」は『満足度』『以前と比べた変化』ともに低い。

“産業”では「商店街振興」が『満足度』『以前と比べた変化』ともに極めて低い。

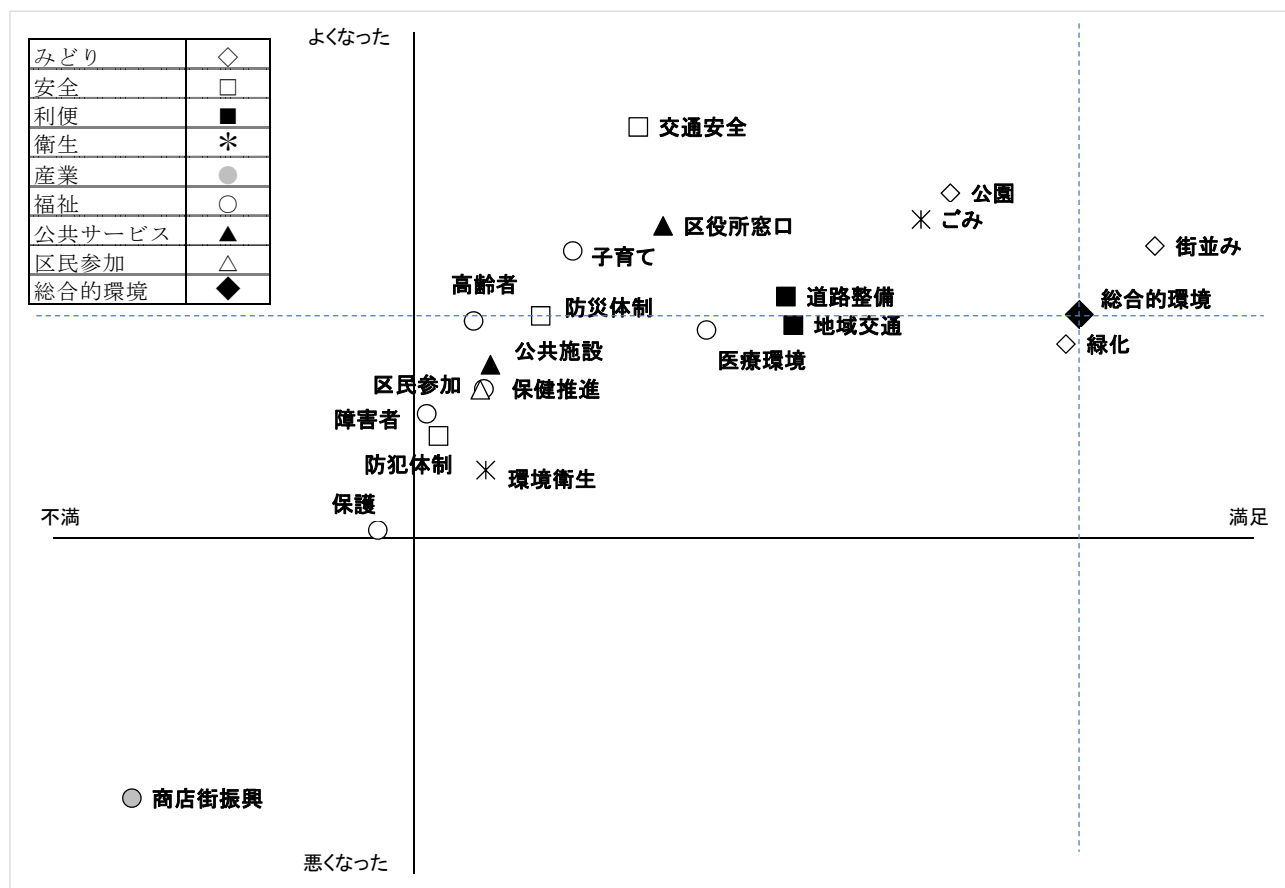
“福祉”では、『満足度』では「医療環境」「子育て」「高齢者」「保健推進」「障害者」「保護」の順に低くなっており、『以前と比べた変化』では「子育て」「高齢者」「医療環境」「保健推進」「障害者」「保護」の順に低くなっている。

“公共サービス”では、「区役所窓口」では『以前と比べた変化』が比較的高くなっているが、「公共施設」ではやや低い。

“区民参加”では、『満足度』『以前と比べた変化』ともにやや低い。

※分野---項目の共通性を考慮し、「みどり」「安全」「利便」「ごみ」「産業」「福祉」「公共サービス」「区民参加」8つの分野に分類した。

『満足度』と『以前と比べて変化』の関係



設問項目	省略表記	分野
①バスの便などの地域交通	地域交通	利便
②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備	道路整備	利便
③放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策	交通安全	安全
④良好な街並みの整備	街並み	みどり
⑤商店街の振興	商店街振興	産業
⑥公園などの管理・整備	公園	みどり
⑦緑の保全と緑化の推進	緑化	みどり
⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	ごみ	衛生
⑨地域の防災体制の整備	防災体制	安全
⑩地域の防犯体制の整備	防犯体制	安全
⑪食品衛生・環境衛生の監視・指導	環境衛生	衛生
⑫子育て支援や青少年の健全育成	子育て	福祉
⑬感染症・生活習慣病などの保健推進	保健推進	福祉
⑭高齢者福祉	高齢者	福祉
⑮障害者福祉	障害者	福祉
⑯病院などの医療環境	医療環境	福祉
⑰経済的に困っている人の保護	保護	福祉
⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設	公共施設	公共サービス
⑲広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	区民参加	区民参加
⑳身近な区役所窓口のサービス	区役所窓口	公共サービス
お住まいの周辺の総合的な環境	総合的環境	

■ 年齢・居住地区別 満足度、以前との比較(問1×F1, 8)

① バスの便などの地域交通

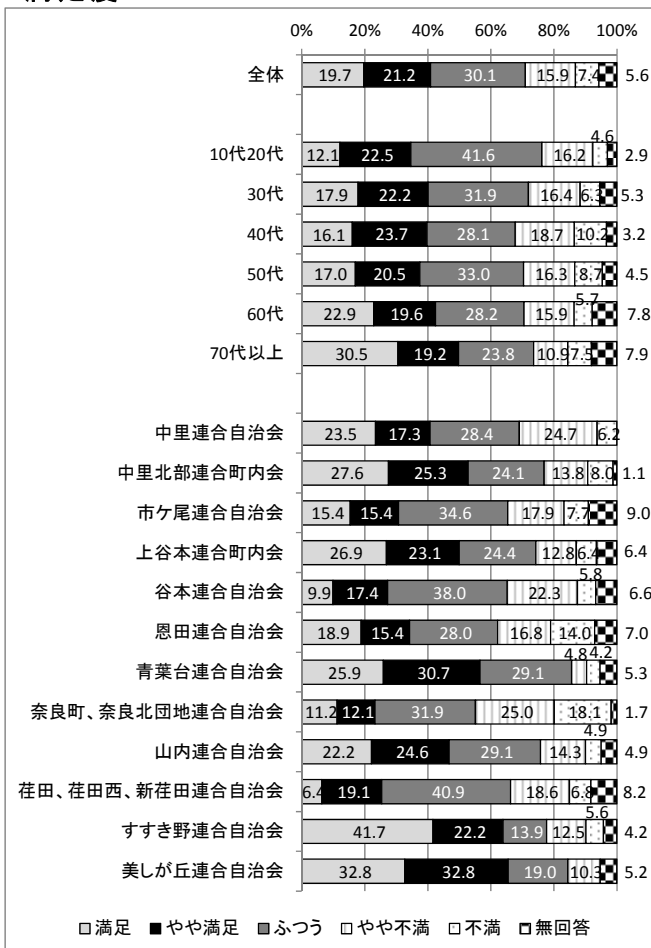
<満足度>

- ・年齢別では、70代以上で「満足」、それ以外では「ふつう」が最も多くなっている。
- ・地区別では、中里北部連合町内会、上谷本連合町内会、すすき野連合自治会で「満足」、美しが丘連合自治会では「満足」「やや満足」が同率、青葉台連合自治会では「やや満足」、それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。なお、奈良町、奈良北団地連合自治会では「不満」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。「満足」「やや満足」を足した数値は中里北部連合町内会、青葉台連合自治会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会で、「やや不満」「不満」を合わせた数値は奈良町、奈良北団地連合自治会で、それぞれ区全体の数値を10ポイント以上超えた高い水準にある。

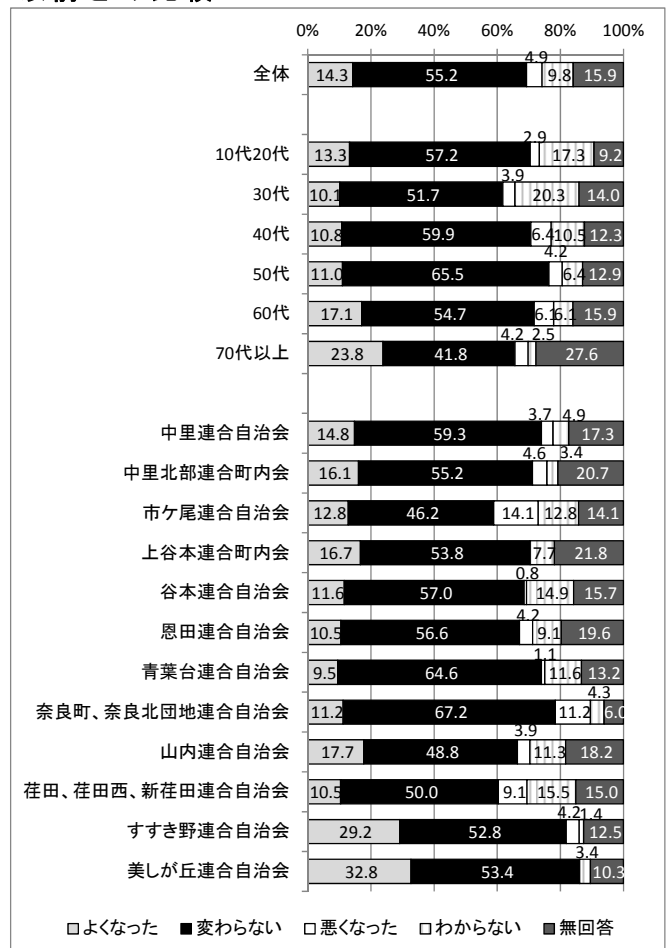
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。30代で「わからない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会で「よくなった」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

満足度



以前との比較



② 通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備

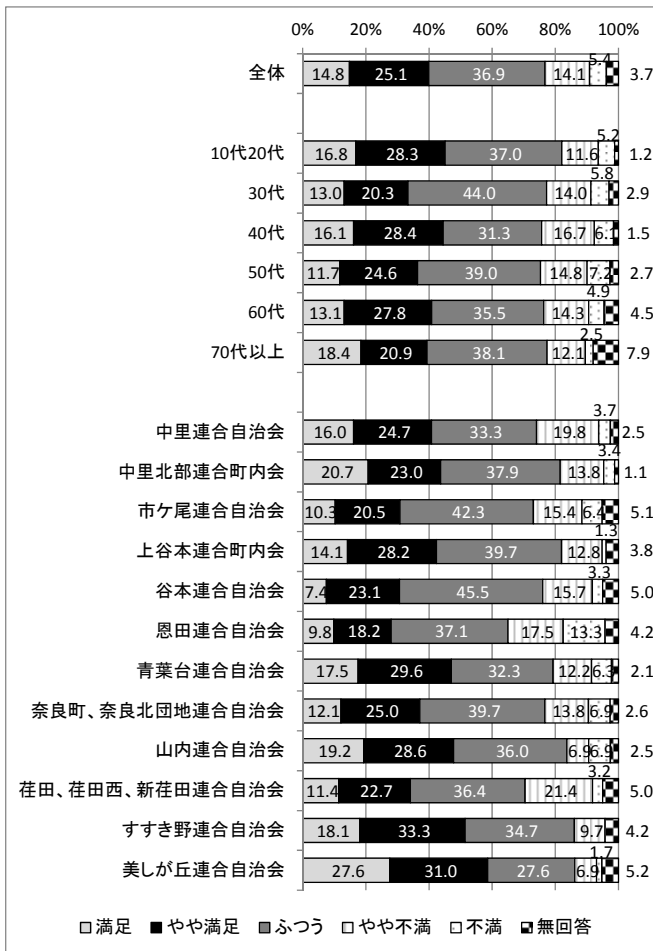
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多くなっている。
- ・地区別では、美しが丘連合自治会では「やや満足」、それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。また、美しが丘連合自治会では「満足」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高く、満足度の高さが特徴的である。「満足」「やや満足」を足した数値はすすき野連合自治会、美しが丘連合自治会で、「やや不満」「不満」を合わせた数値は恩田連合自治会で区全体の数値を10ポイント以上超えている。

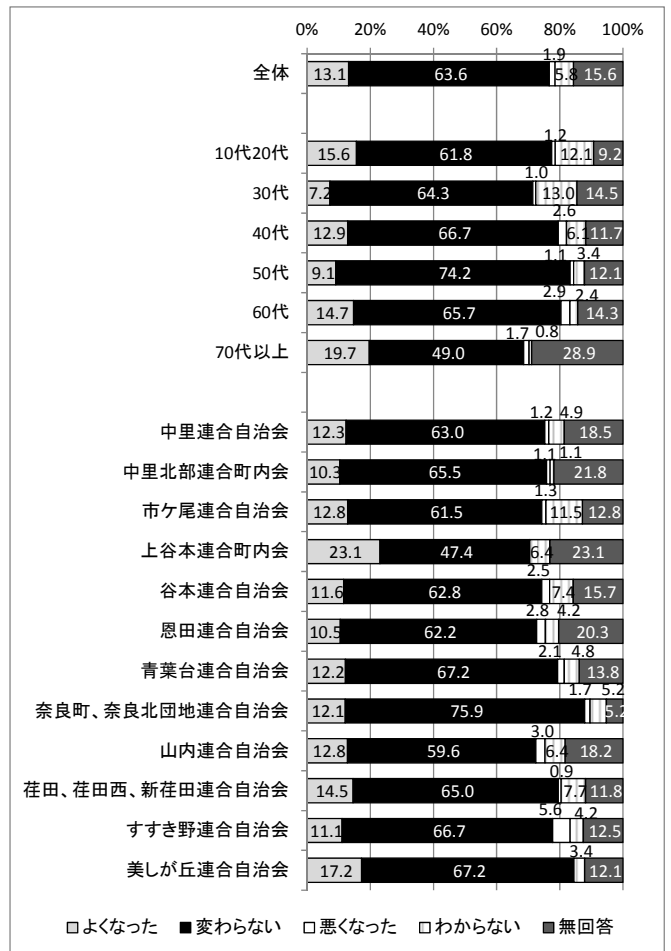
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。上谷本連合町内会では「よくなった」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント近く高い。

満足度



以前との比較



③ 放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策

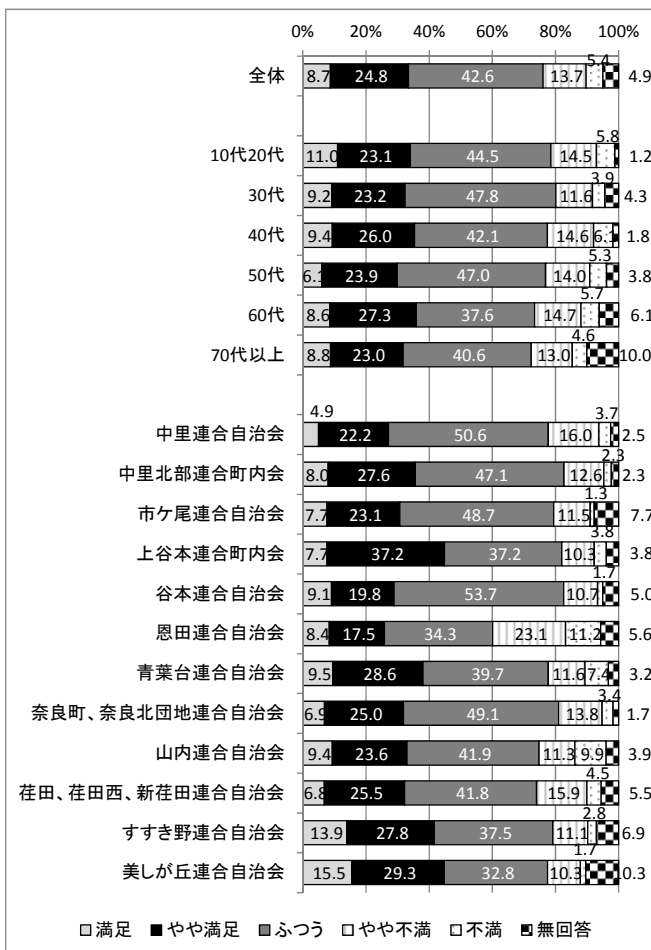
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多く、顕著な差異は見られない。
- ・地区別では、上谷本連合町内会で「やや満足」と「ふつう」が同率、それ以外は「ふつう」が最も多くなっている。「満足」「やや満足」を合わせた数値は上谷本連合町内会、美しが丘連合自治会で、「やや不満」「不満」を合わせた数値は恩田連合自治会で区全体の数値を10ポイント以上超えている。

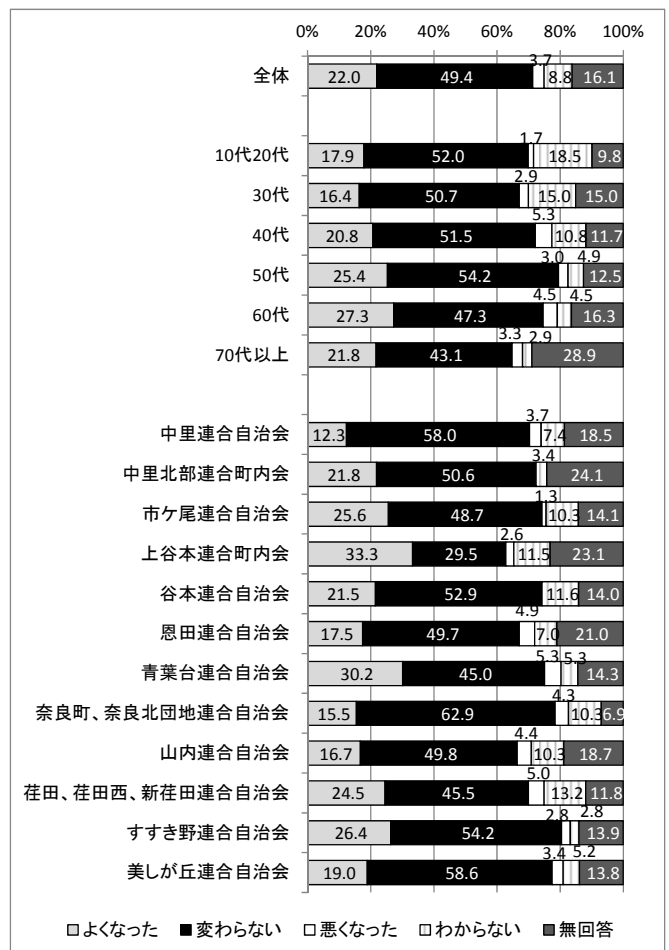
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、上谷本連合町内会は「よくなった」、それ以外の地区では「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



④ 良好な街並みの整備

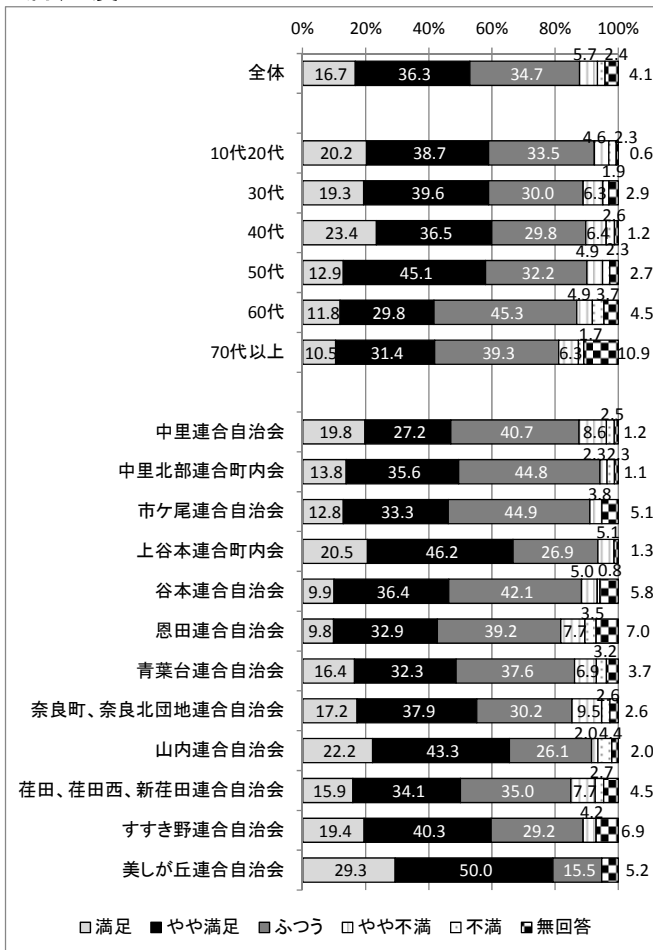
<満足度>

- ・年齢別では、10代20代から50代までの世代では「やや満足」、60代より上の世代では「ふつう」が最も多く、特に60代で高い数値となっている。また「満足」「やや満足」を合わせた数値が60代以上の高齢者で低くなっている。
- ・地区別では、上谷本連合町内会、奈良町、奈良北団地連合自治会、山内連合自治会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会では「やや満足」、それ以外は「ふつう」が最も多い。美しが丘連合自治会では「満足」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。また「満足」「やや満足」を合わせた数値が上谷本連合町内会、山内連合自治会、美しが丘連合自治会で区全体の数値を10ポイント以上超え、特に美しが丘連合自治会での数値が高い。

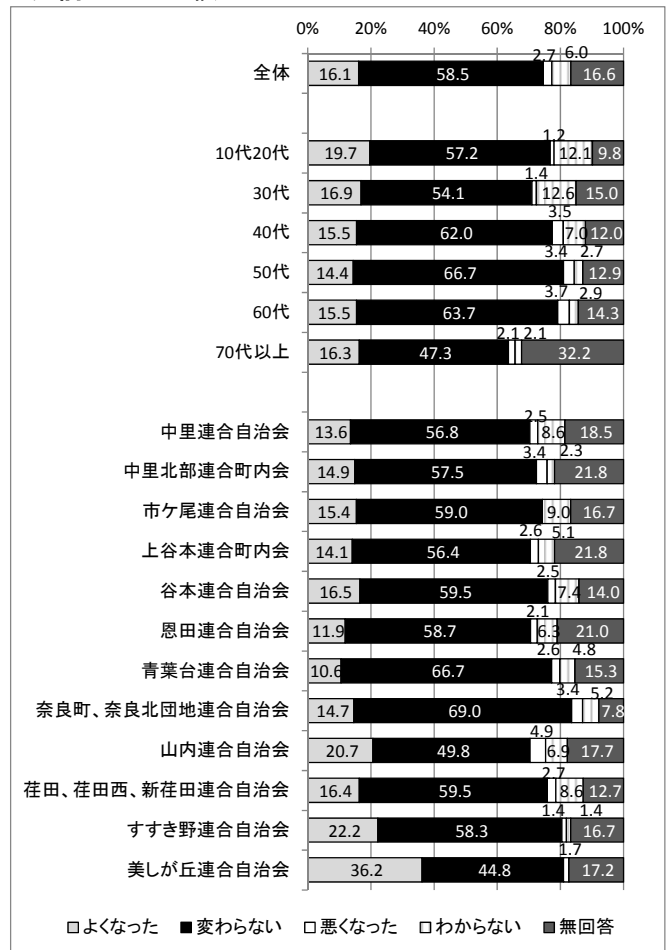
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、美しが丘連合自治会では「よくなった」の数値が区全体の数値に比べて20ポイント以上上回っている。

満足度



以前との比較



⑤ 商店街の振興

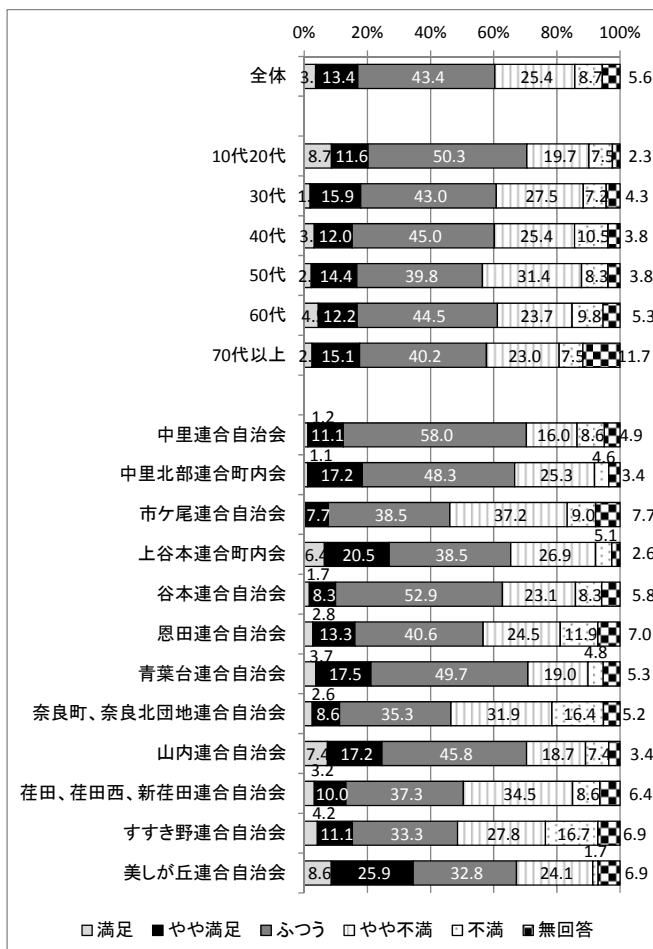
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多くなっている。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。また美しが丘連合自治会で「やや満足」、市ヶ尾連合自治会では「やや不満」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。「満足」「やや満足」を合わせた数値は美しが丘連合自治会で、「やや不満」「不満」を合わせた数値は市ヶ尾連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会、すすき野連合自治会で区全体の数値を10ポイント以上超えている。

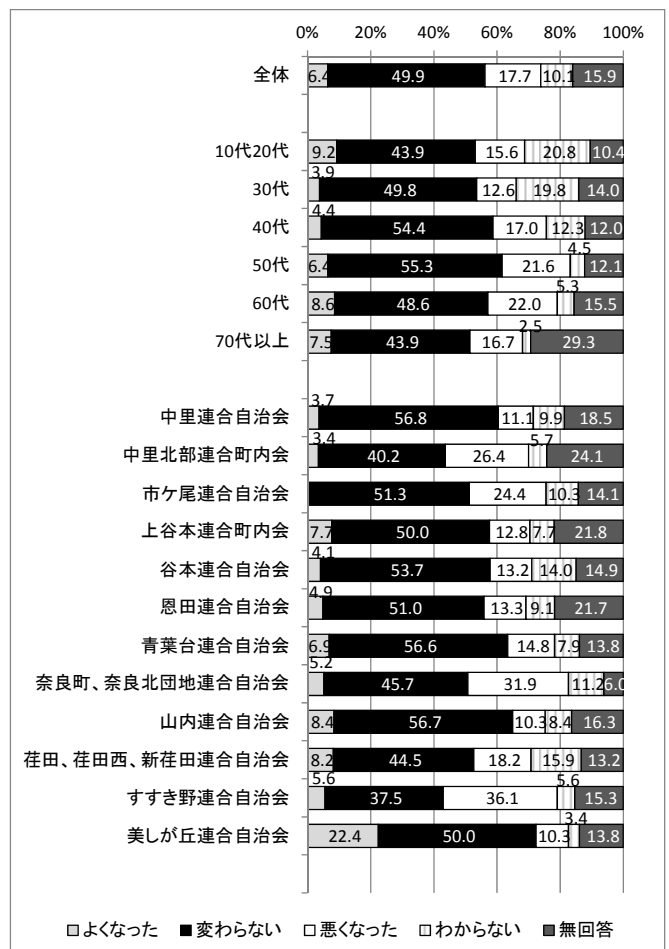
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代20代では「わからない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、美しが丘連合自治会では「よくなった」、奈良町、奈良北団地連合自治会、すすき野連合自治会では「悪くなった」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

満足度



以前との比較



⑥ 公園などの管理・整備

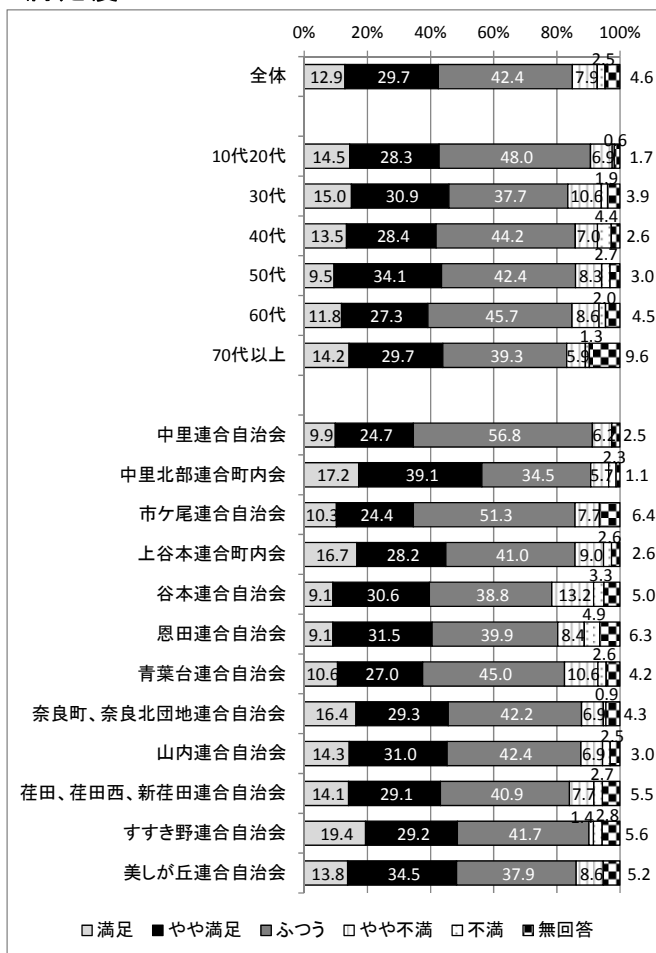
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多くなっている。
- ・地区別では、中里北部連合町内会で「やや満足」、それ以外は「ふつう」が最も多い。中里北部連合町内会では「満足」「やや満足」を合わせた数値も区全体の数値を10ポイント以上超えている。

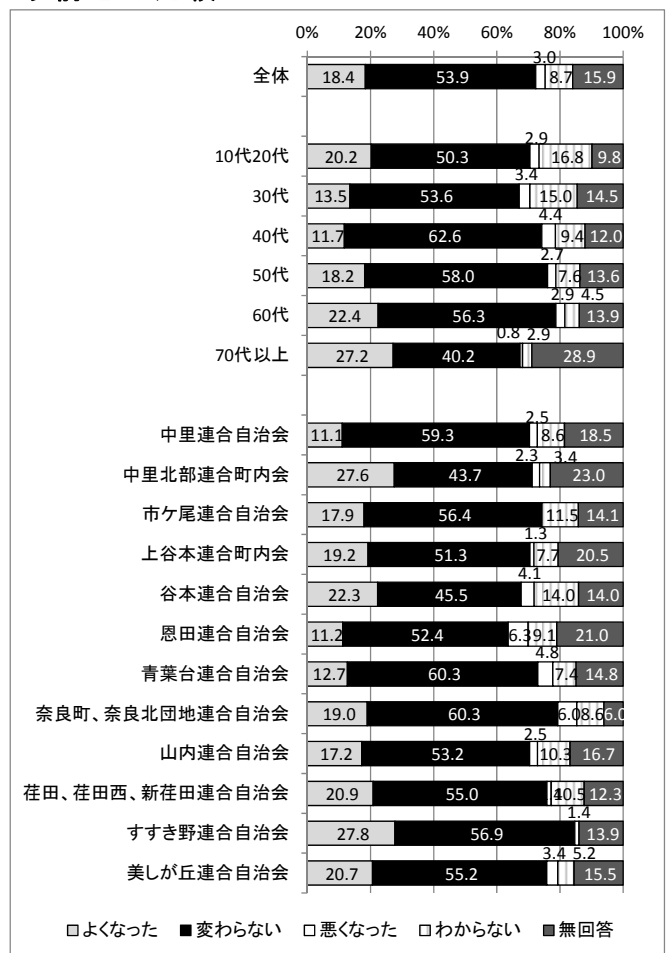
<以前との比較>

- ・年齢別、地区別とも、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑦ 緑の保全と緑化の推進

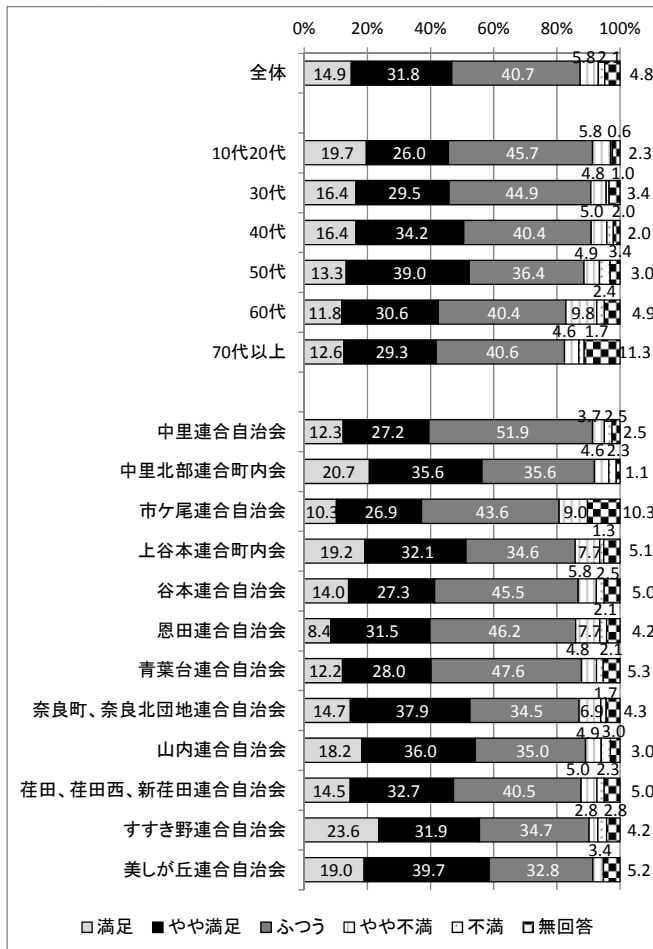
<満足度>

- ・年齢別では、50代で「やや満足」、それ以外の世代では「ふつう」が最も多くなっている。
- ・地区別では、奈良町、奈良北団地連合自治会、山内連合自治会、美しが丘連合自治会で「やや満足」、中里北部連合町内会では「やや満足」「ふつう」が同率、それ以外は「ふつう」が最も多くなっている。「満足」「やや満足」を合わせた数値は美しが丘連合自治会で区全体の数値を10ポイント以上、中里北部連合町内会でも10ポイント近く超えている。

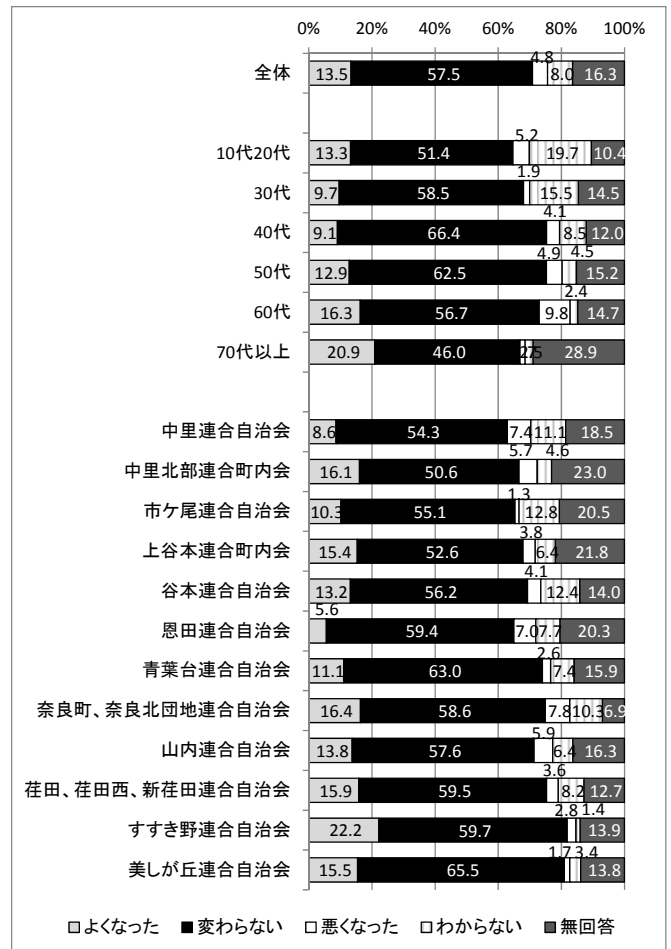
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代20代では「わからない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化

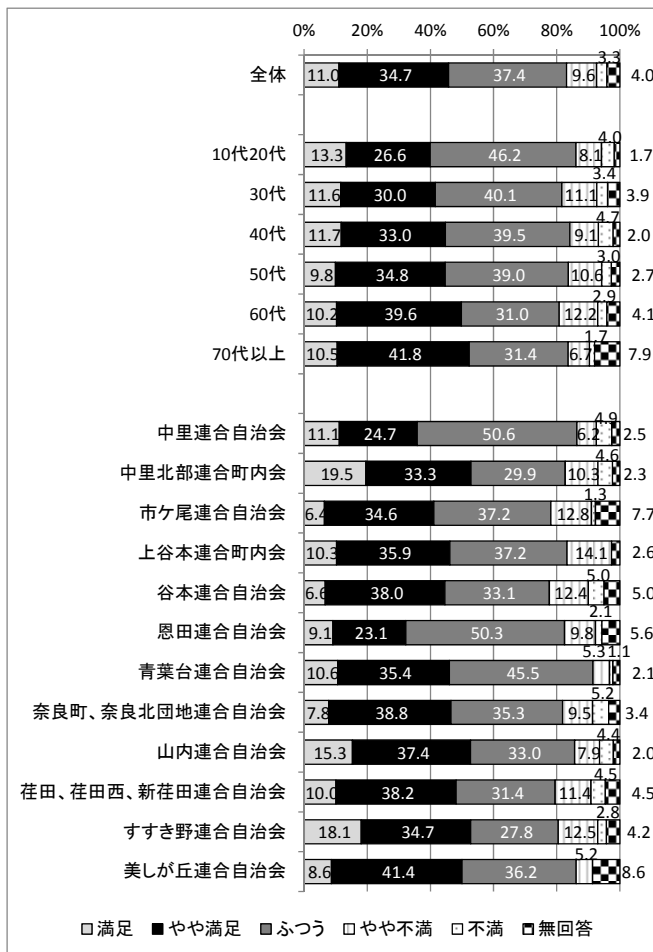
<満足度>

- ・年齢別では、60代より上の世代では「やや満足」、それ以外は「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、中里連合自治会、市ヶ尾連合自治会、上谷本連合町内会、恩田連合自治会、青葉台連合自治会で「ふつう」、それ以外の地区では「やや満足」が最も多くなっている。また「満足」「やや満足」を合わせた数値が恩田連合自治会で低くなっている。

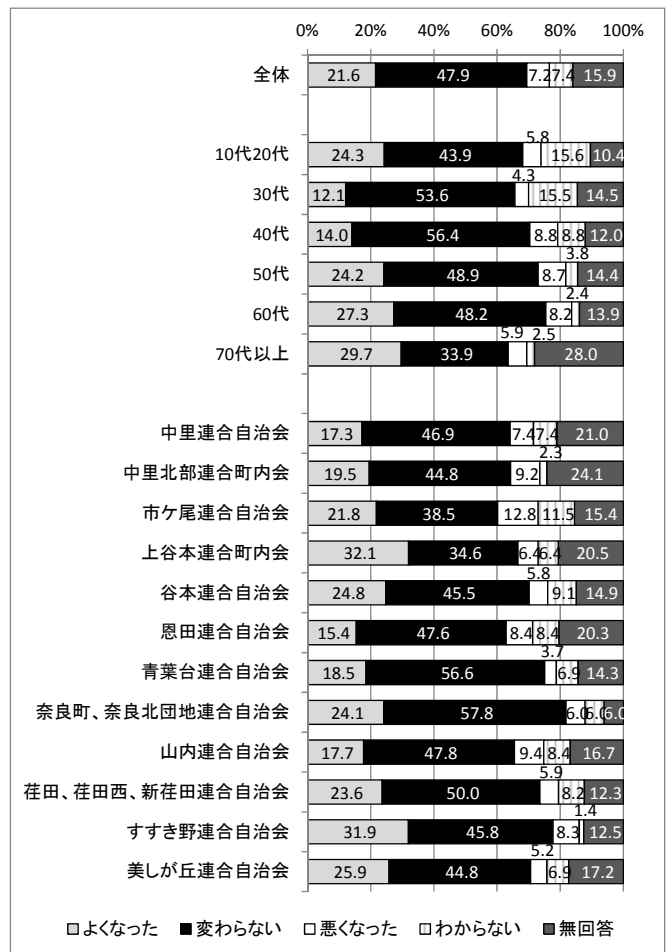
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、上谷本連合町内会、すすき野連合自治会では「よくなった」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

満足度



以前との比較



⑨ 地域の防災体制の整備

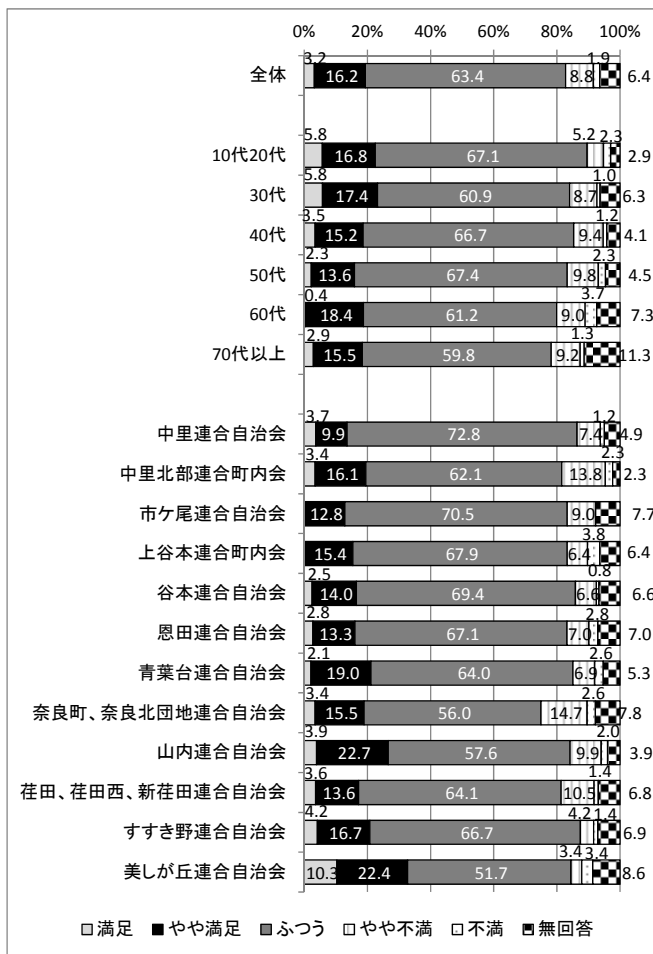
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多く、顕著な差異は見られない。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」「やや満足」を合わせた数値は美しが丘連合自治会で区全体の数値を10ポイント以上超えている。

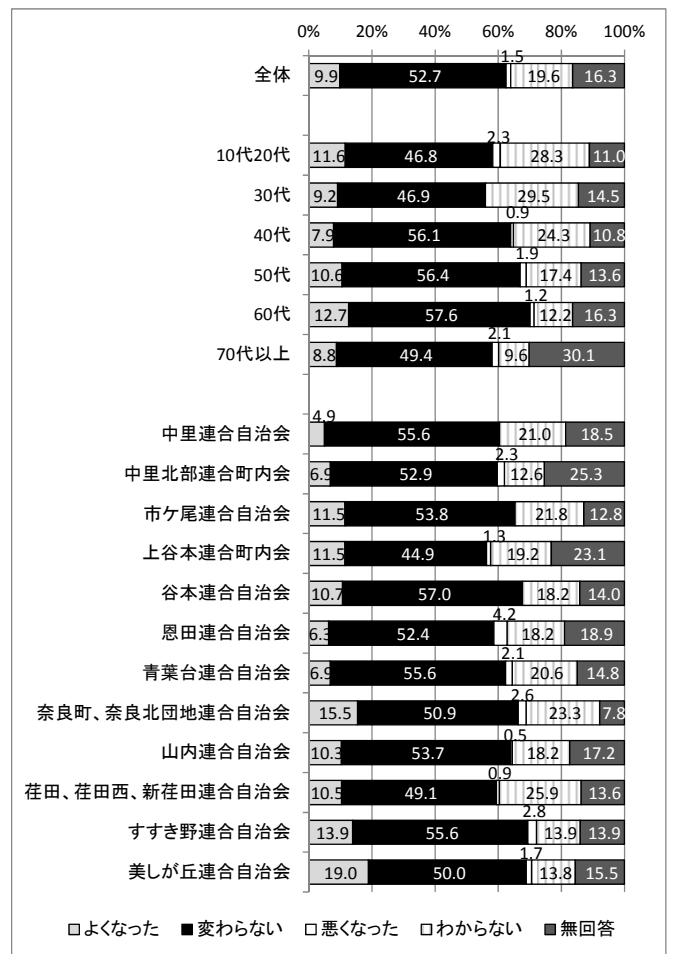
<以前との比較>

- ・年齢別、地区別とも、いずれも「変わらない」が最も多く、「悪くなった」の数値は小さくなっている。

満足度



以前との比較



⑩ 地域の防犯体制の整備

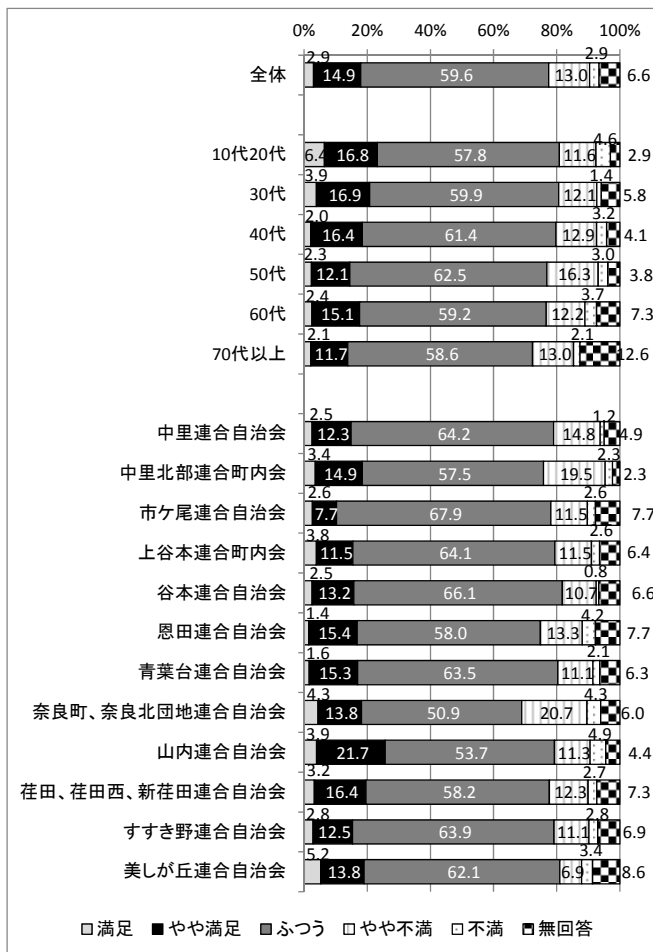
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多く、顕著な差異は見られない。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」「やや満足」を合わせた数値が奈良町、奈良北団地連合自治会でやや低いもののさほど地域差は大きくない。

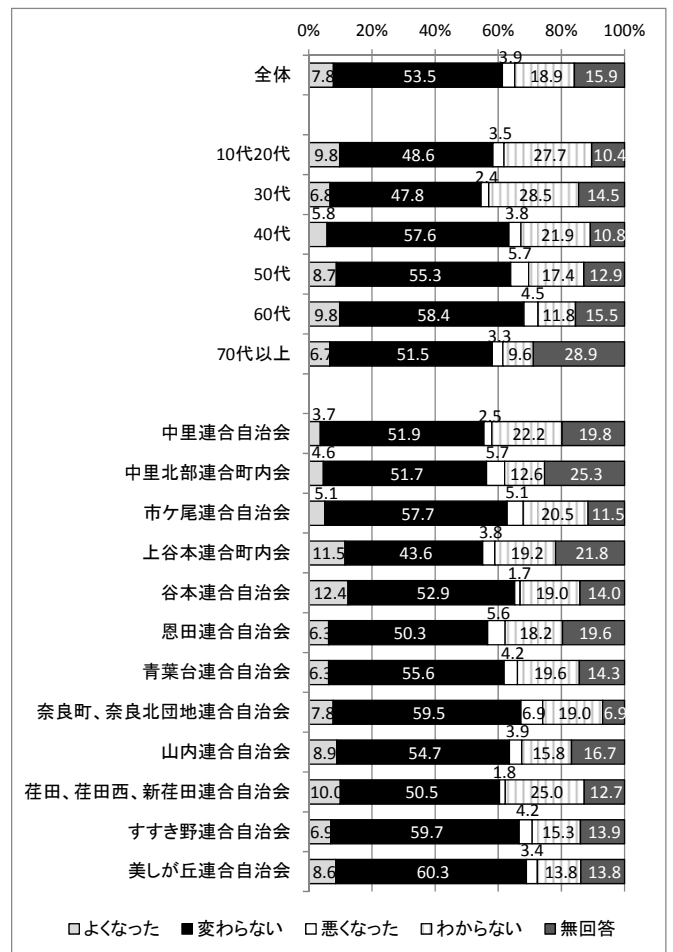
<以前との比較>

- ・年齢別、地区別とも、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑪ 食品衛生・環境衛生の監視・指導

<満足度>

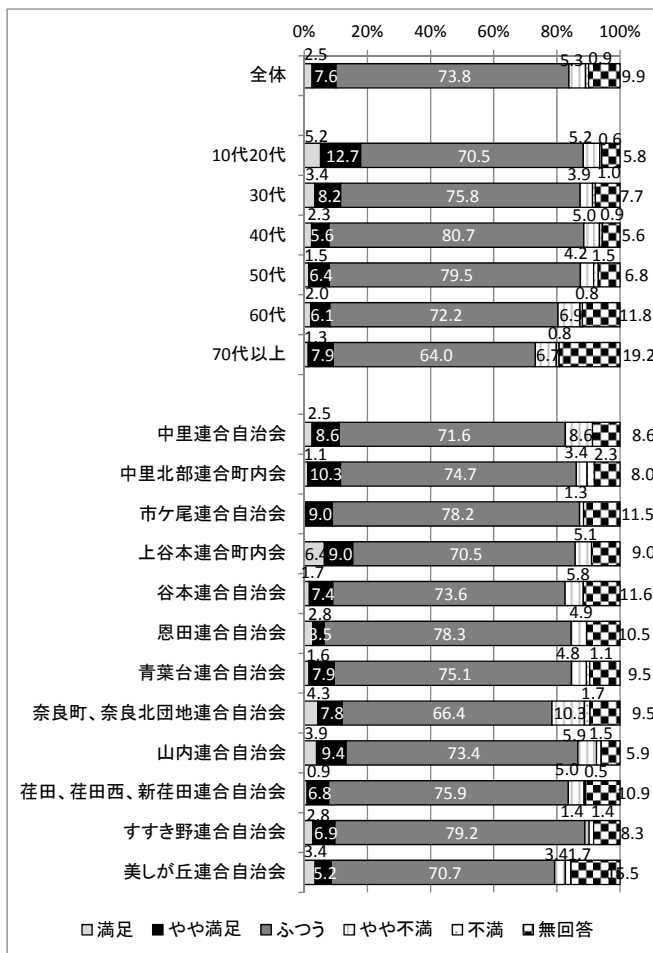
・年齢別、地区別とも、いずれも「ふつう」が最も多く、顕著な差異は見られない。

<以前との比較>

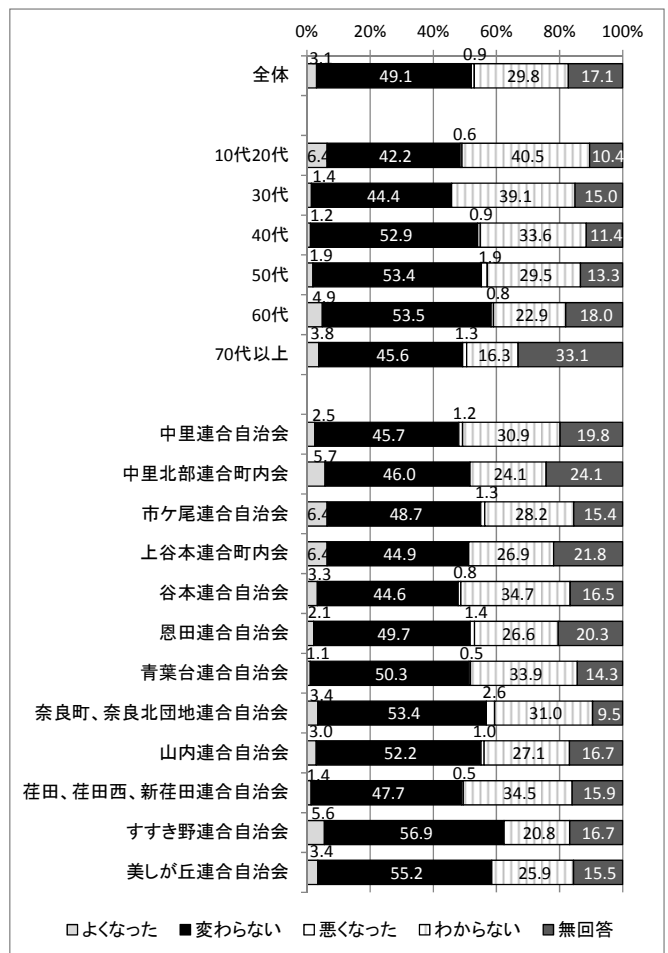
・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代20代では「わからない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。「悪くなった」の数値はいずれの世代でも低くなっている。

・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。「悪くなった」の数値はいずれの地区でも低くなっている。

満足度



以前との比較



⑫ 子育て支援や青少年の健全育成

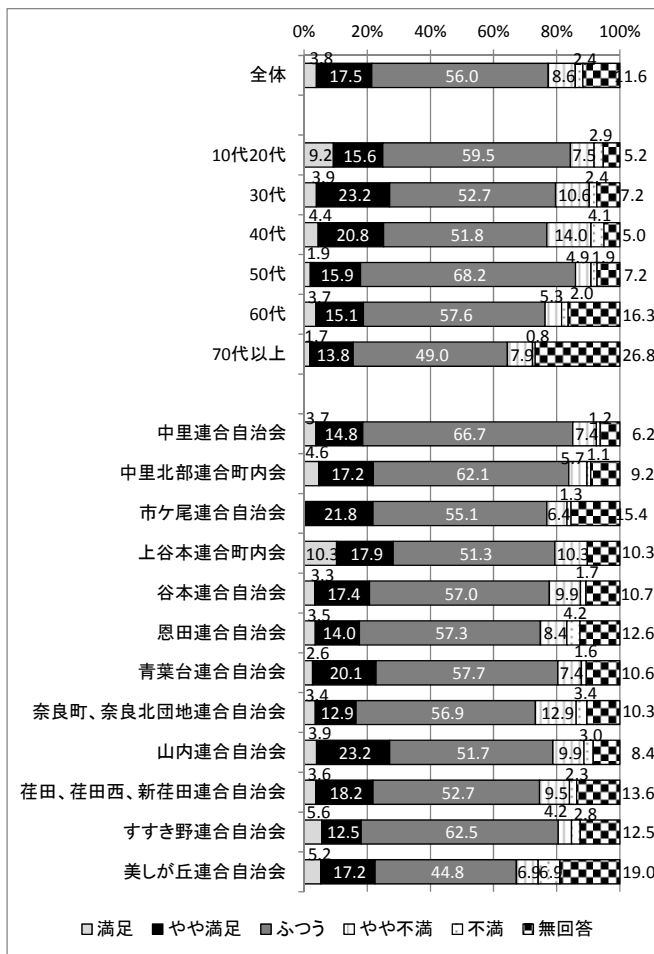
<満足度>

- ・年齢別、地区別とも、いずれも「ふつう」が最も多い。

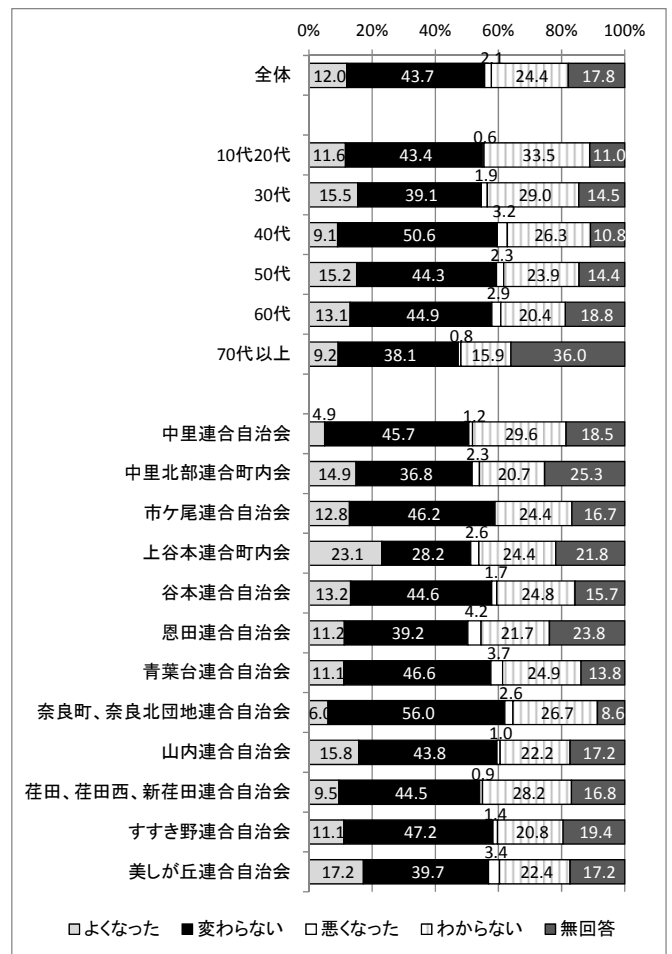
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、上谷本連合町内会では「よくなった」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

満足度



以前との比較



⑬ 感染症・生活習慣病などの保健推進

<満足度>

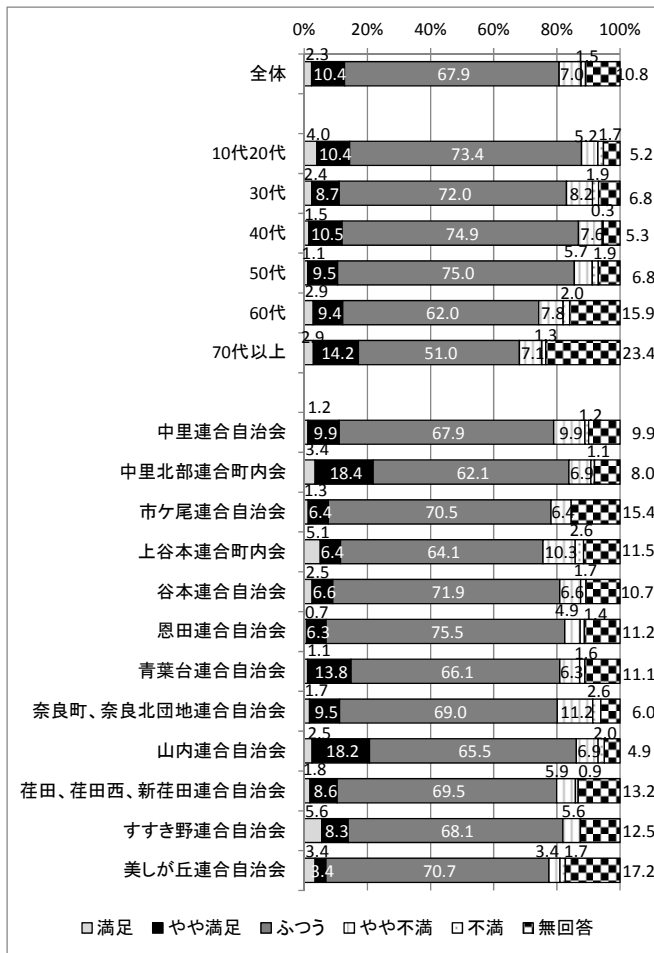
・年齢別、地区別とも、いずれも「ふつう」が最も多い。

<以前との比較>

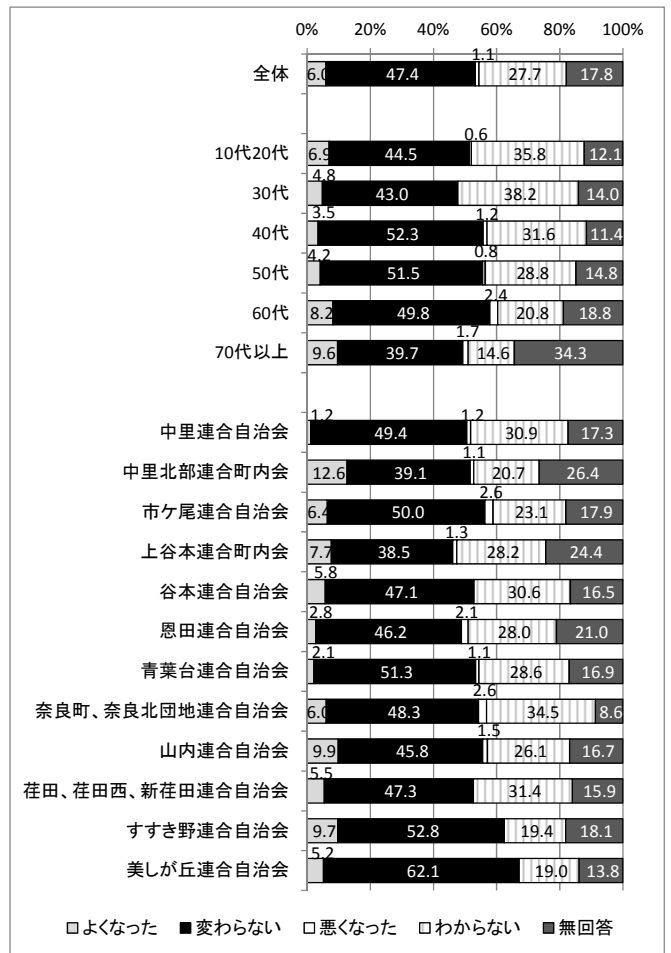
・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。「悪くなった」の数値はいずれの世代でも低くなっている。また、30代では「わからない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。「悪くなった」の数値はいずれの地区でも低くなっている。

満足度



以前との比較



⑭ 高齢者福祉

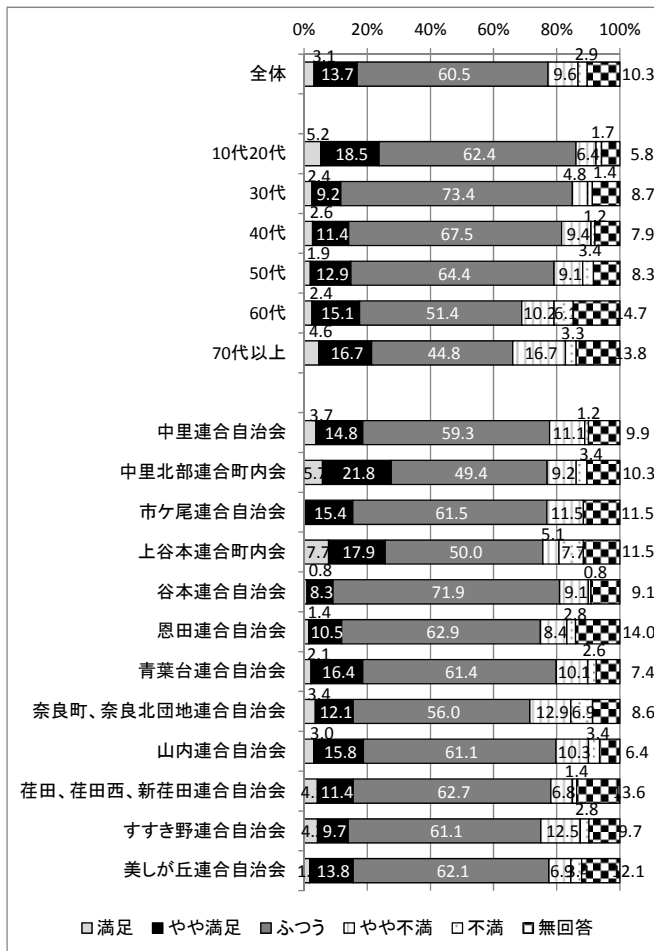
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」「やや満足」を合わせた数値は中里北部連合町内会で区全体の数値を10ポイント以上超えている。

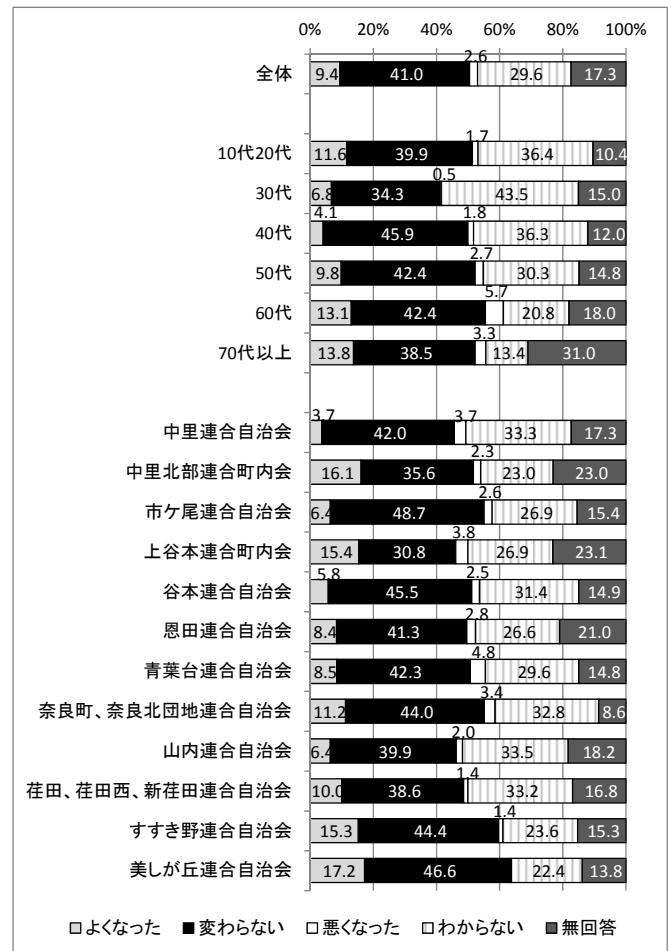
<以前との比較>

- ・年齢別では、30代で「わからない」、それ以外の世代では「変わらない」が最も多くなっている。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑮ 障害者福祉

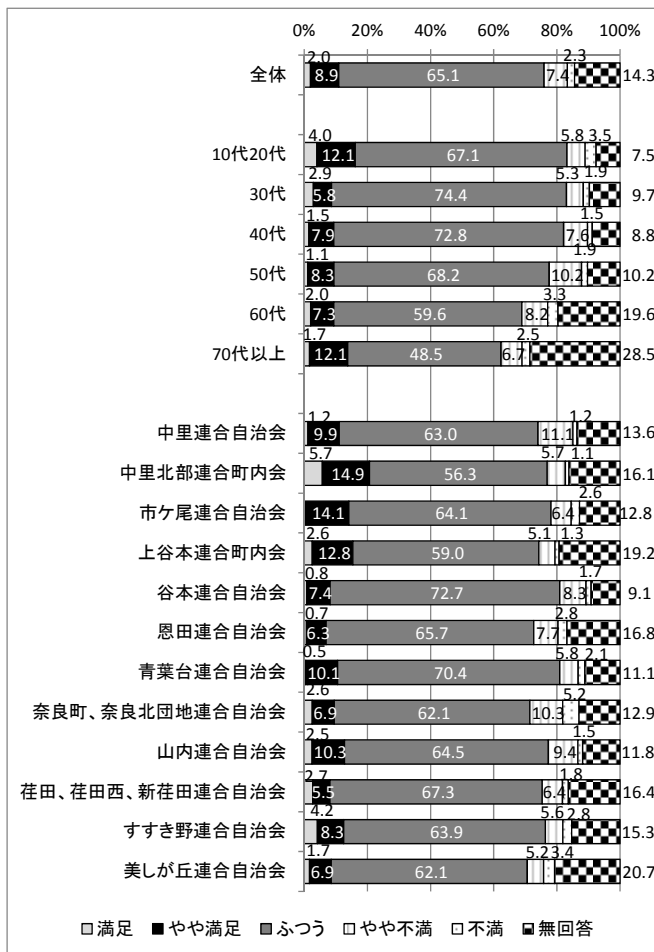
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」「やや満足」を合わせた数値は中里北部連合町内会で区全体の数値を10ポイント近く上回っている。

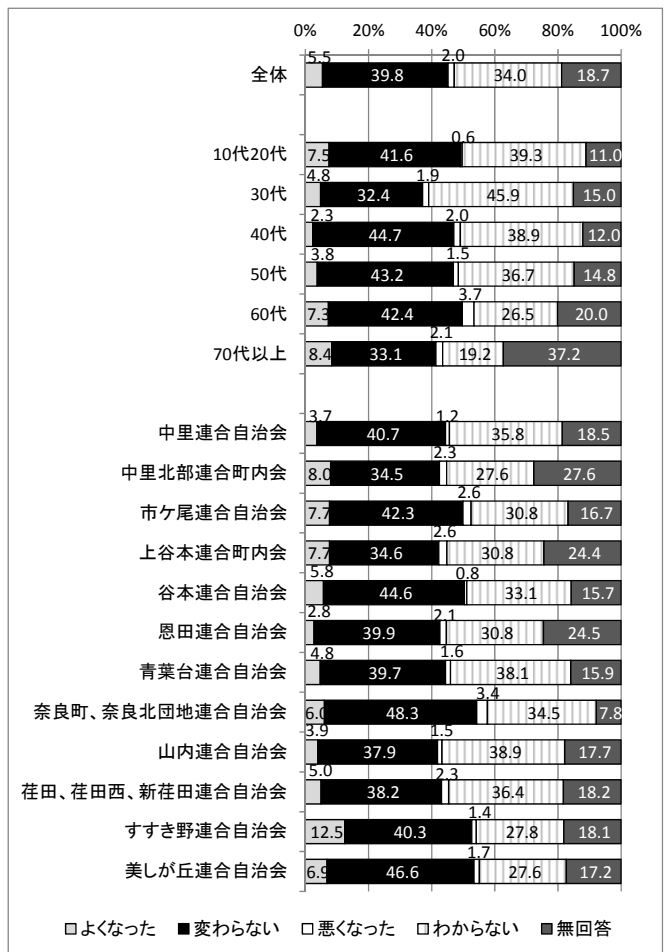
<以前との比較>

- ・年齢別では、30代で「わからない」、それ以外の世代では「変わらない」が最も多くなっている。
- ・地区別では、山内連合自治会で「わからない」、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑩ 病院などの医療環境

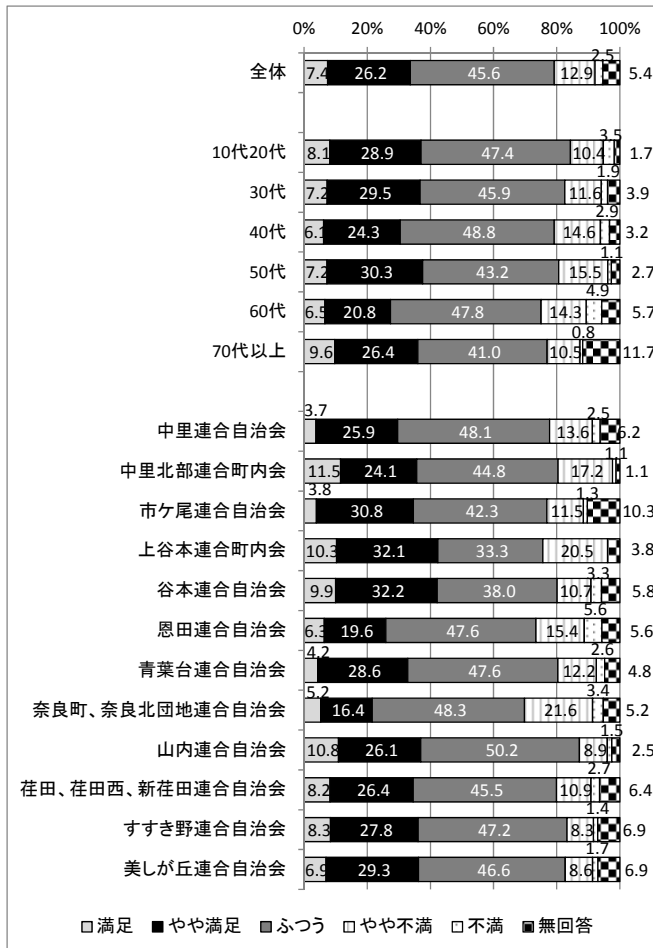
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「やや不満」「不満」を合わせた数値が奈良町、奈良北団地連合自治会で区全体の数値を 10 ポイント近く上回っている。

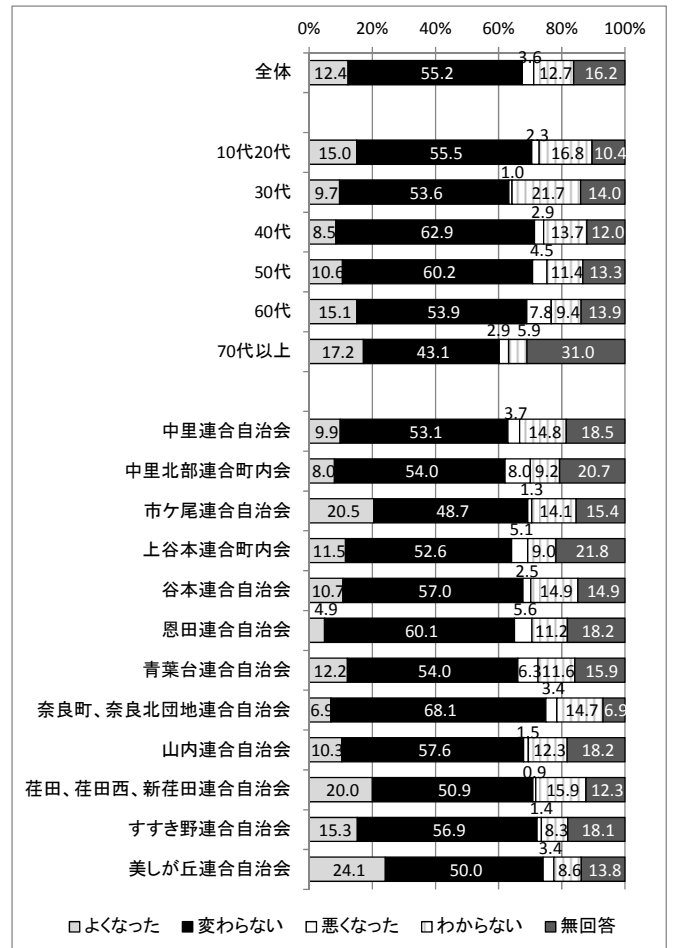
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。また、美しが丘連合自治会では「よくなった」の数値が区全体の数値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

満足度



以前との比較



⑰ 経済的に困っている人の保護

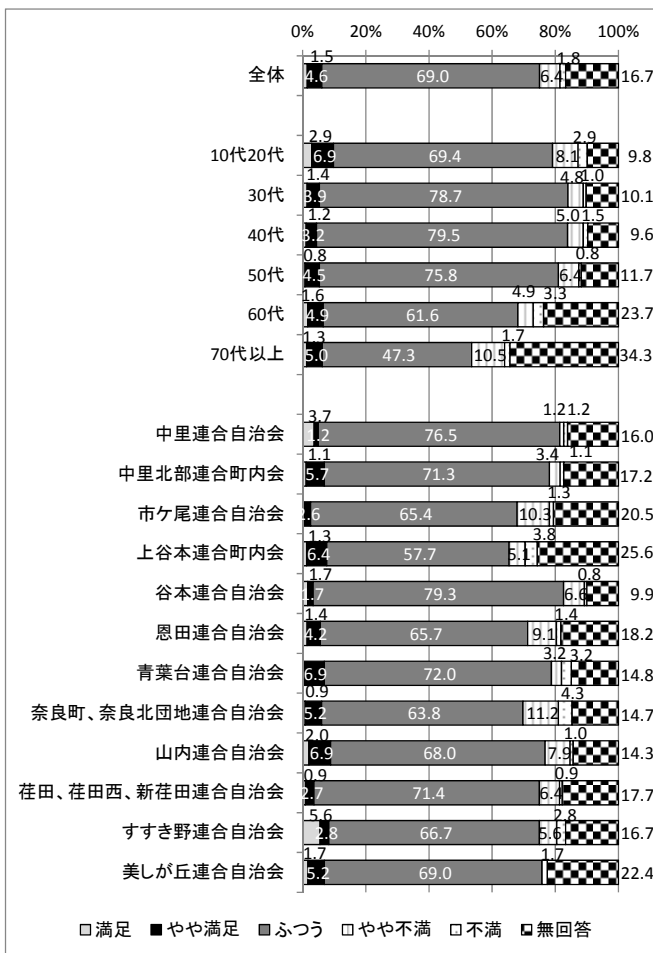
<満足度>

- ・年齢別、地区別とも、いずれも「ふつう」が最も多い。

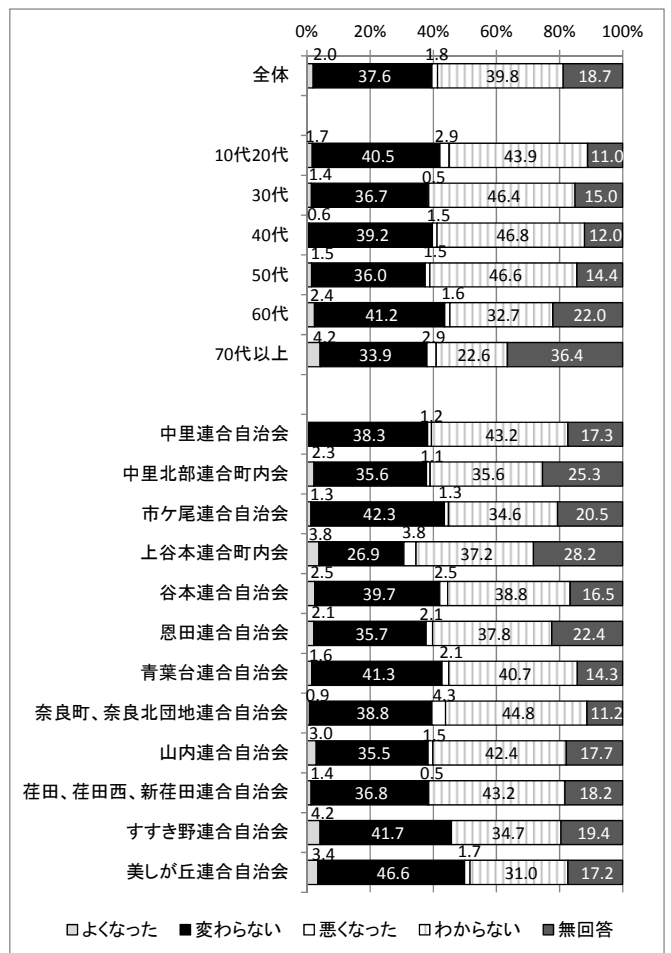
<以前との比較>

- ・年齢別では、50代までの世代では「わからない」、60代より上の世代では「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、市ヶ尾連合自治会、谷本連合自治会、青葉台連合自治会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会では「変わらない」、中里北部連合町内会では「変わらない」「わからない」が同率、それ以外の地区では「わからない」が最も多くなっている。

満足度



以前との比較



⑩ 地区センター・スポーツセンターなどの施設

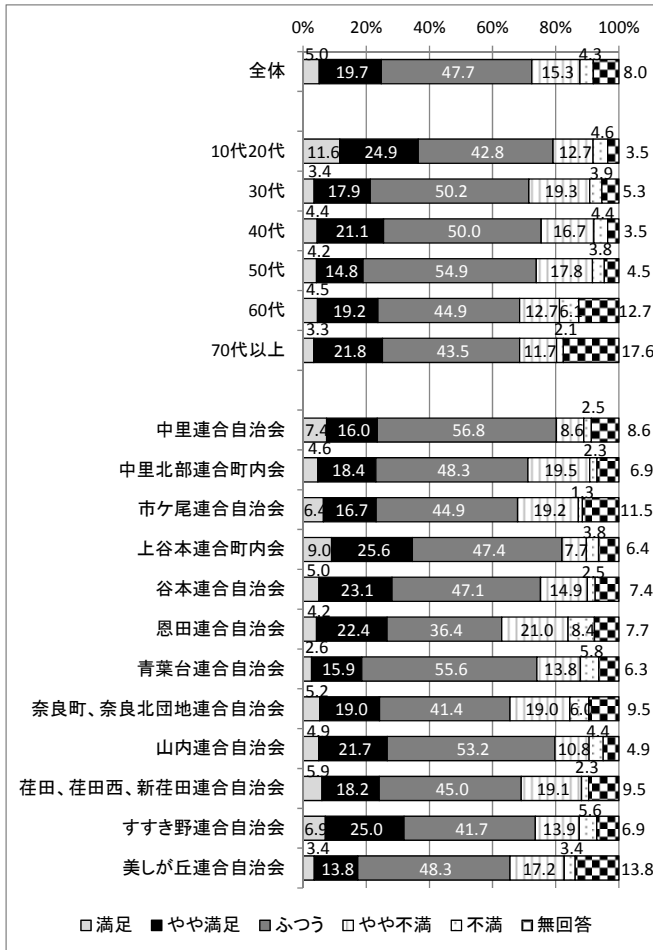
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」「やや満足」を合わせた数値は10代20代で区全体の数値を10ポイント以上超えている。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」「やや満足」を合わせた数値は上谷本連合町内会、「やや不満」「不満」を合わせた数値は恩田連合自治会で区全体の数値を10ポイント近く上回っている。

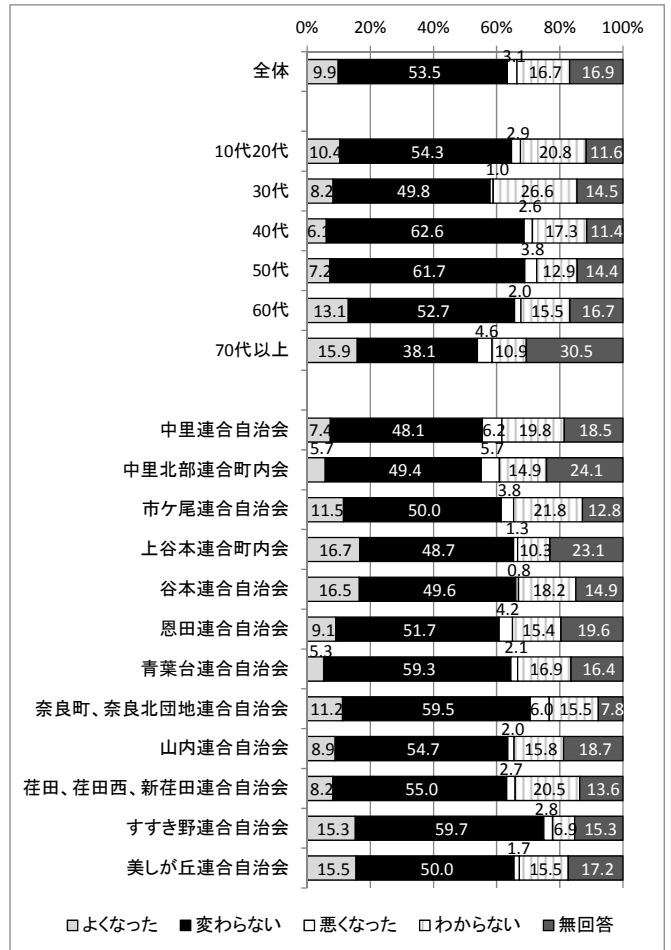
<以前との比較>

- ・年齢別、地区別とも、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。

満足度



以前との比較



⑱ 広報や広聴、市民相談など区民参加の推進

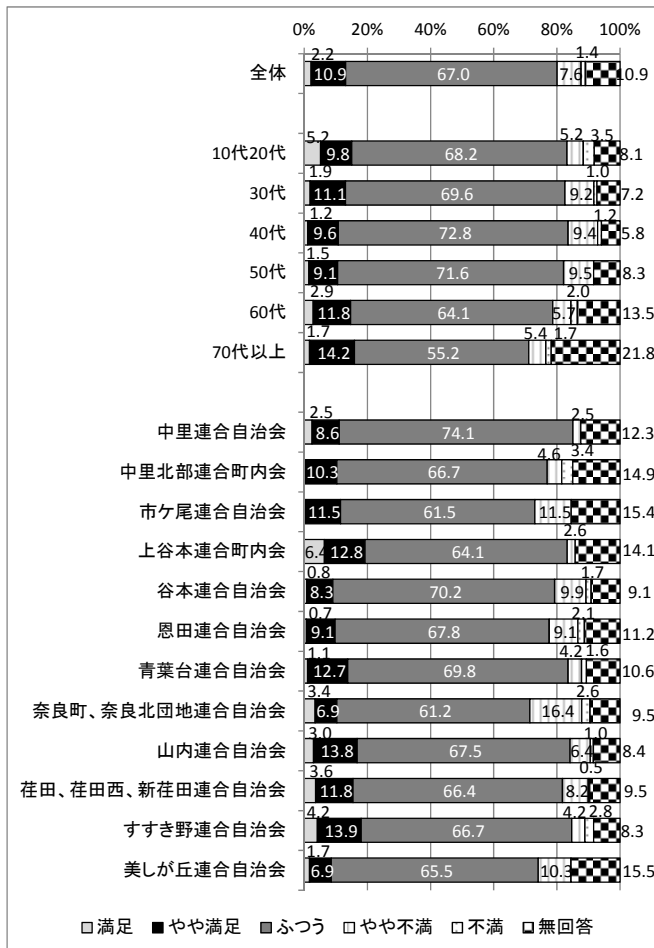
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多く、年齢による顕著な差異は見られない。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「やや不満」「不満」を合わせた数値は奈良町、奈良北団地連合自治会で区全体の数値を約10ポイント上回っている。

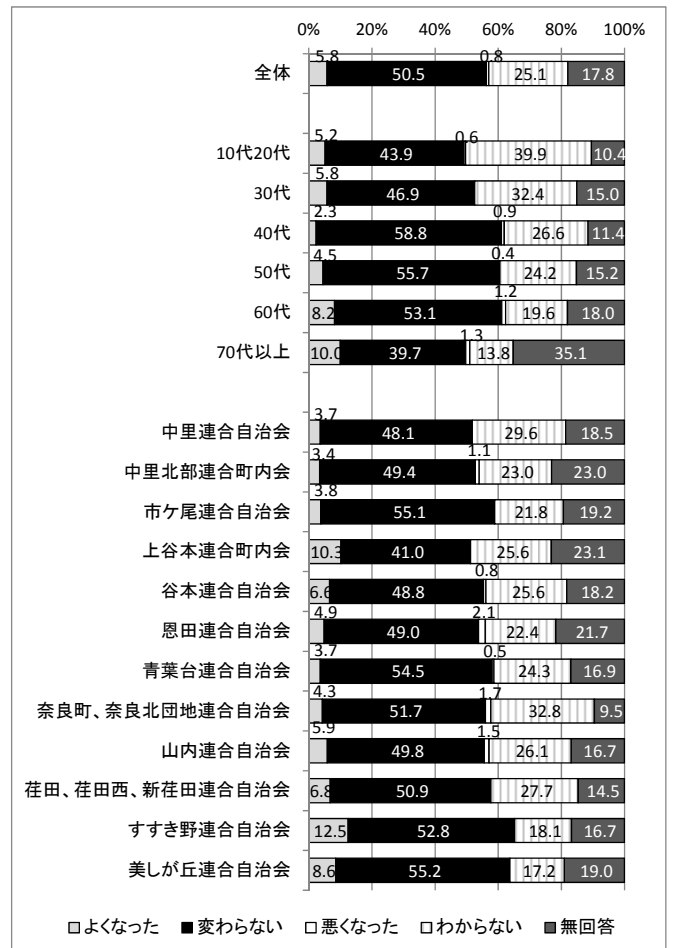
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。「悪くなった」の数値はいずれの世代でも低い。また、10代20代では「わからない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。「悪くなった」の数値はいずれの地区でも低い。

満足度



以前との比較



⑳ 身近な区役所窓口のサービス

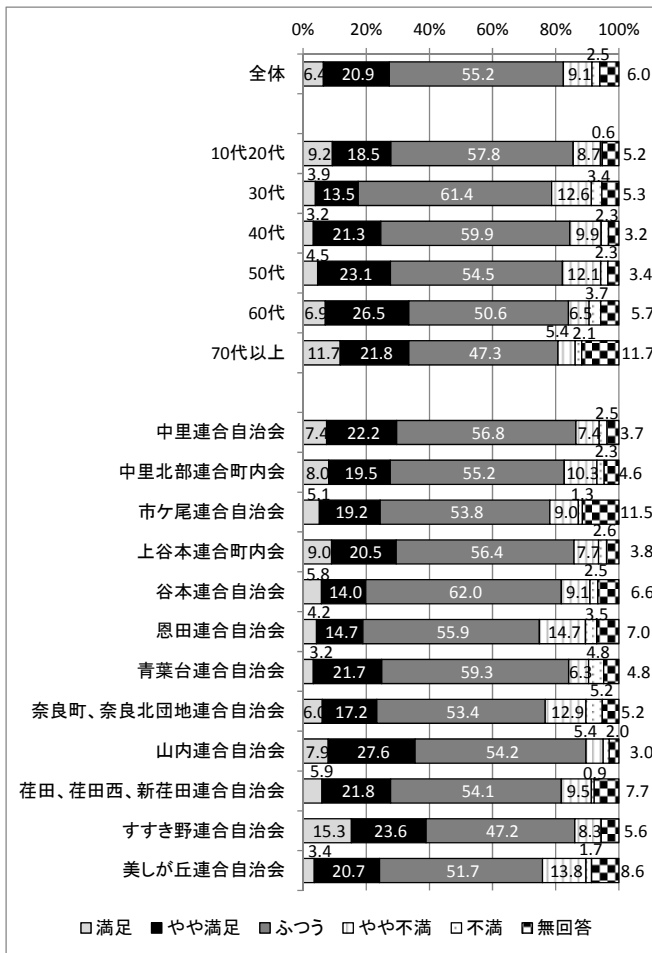
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」「やや満足」を合わせた数値が、すすき野連合自治会で区全体の数値を10ポイント以上超えている。

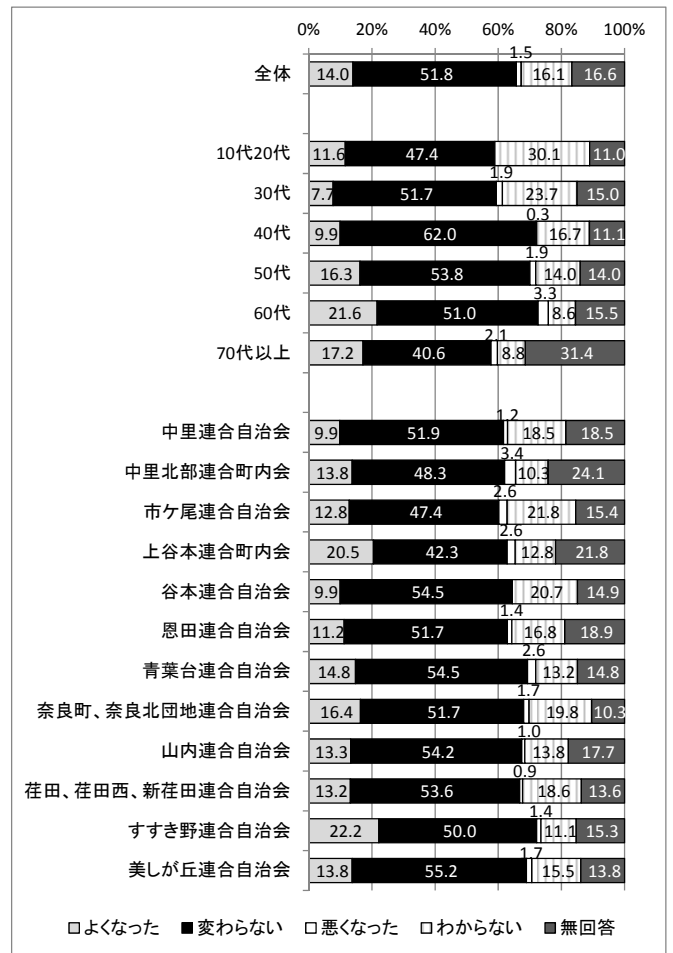
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。また、10代20代では「わからない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。

満足度



以前との比較



お住まいの周辺の総合的な環境

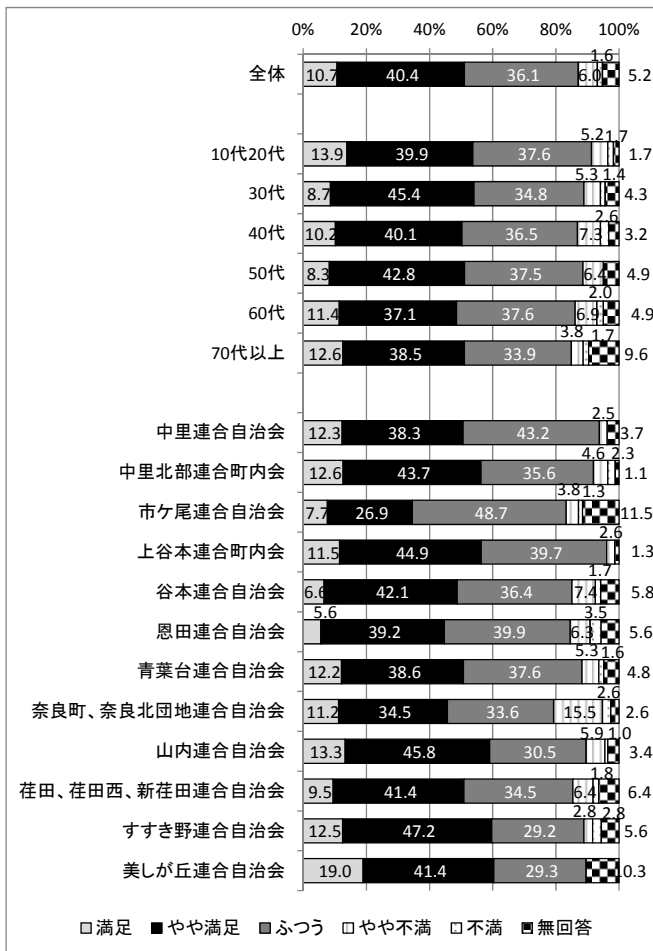
<満足度>

- ・年齢別では、60代で「ふつう」、それ以外の世代では「やや満足」が最も多い。
- ・地区別では、中里連合自治会、市ヶ尾連合自治会、恩田連合自治会で「ふつう」、それ以外では「やや満足」が最も多い。「やや不満」「不満」を合わせた数値は奈良町、奈良北団地連合自治会で区全体の数値を10ポイント以上超えている。また「満足」「やや満足」を合わせた数値が市ヶ尾連合自治会で低くなっている。

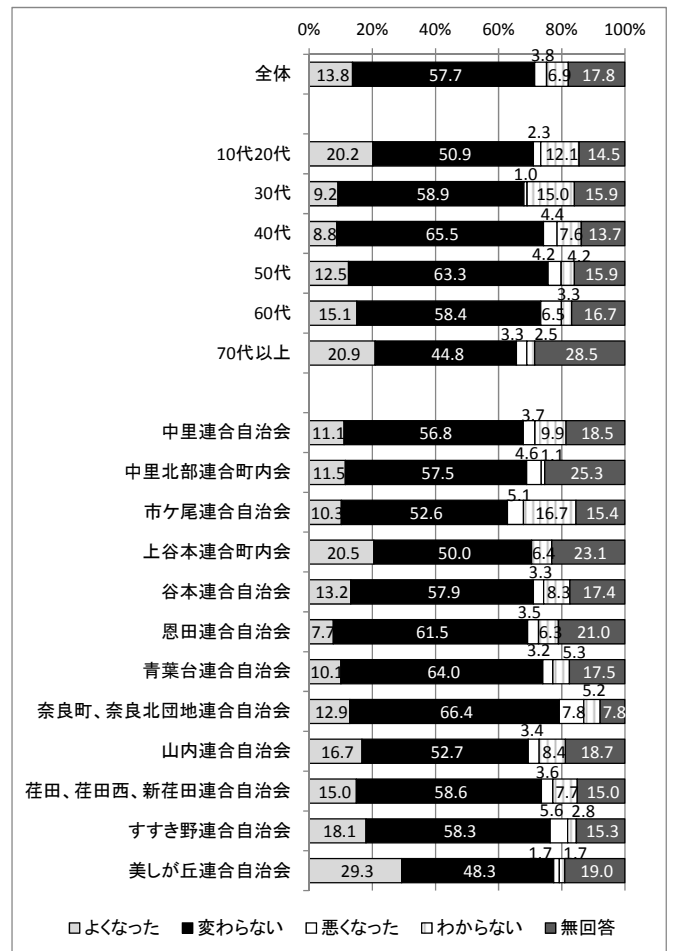
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。また、美しが丘連合自治会では「よくなった」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

満足度

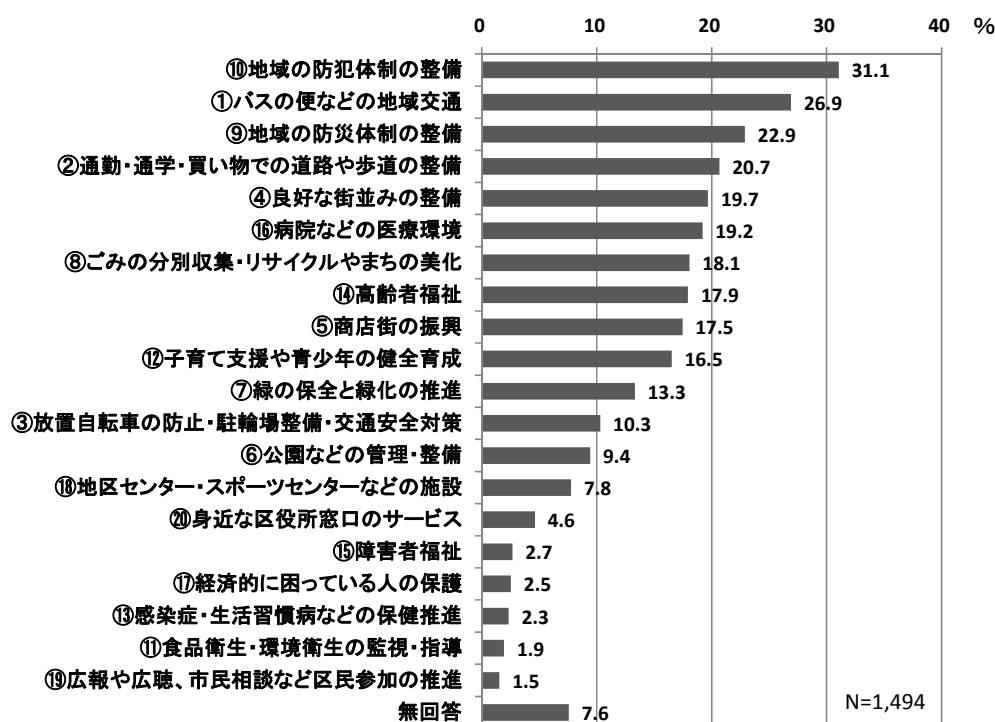


以前との比較



問2 上記①～⑳の質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺的环境にとって、どれがとくに重要と思いますか。（該当する項目の番号を3つまで記入）

・「⑩地域の防犯体制の整備」が31.1%で最も多く、3割以上の人が挙げている。次いで「①バスの便などの地域交通」(26.9%)、「⑨地域の防災体制の整備」(22.9%)、「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」(20.7%)が2割台となっている。以下「④良好な街並みの整備」(19.7%)、「⑯病院などの医療環境」(19.2%)、「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」(18.1%)、「⑭高齢者福祉」(17.9%)、「⑤商店街の振興」(17.5%)、「⑫子育て支援や青少年の健全育成」(16.5%)などの順である。



■ 年齢別 環境にとってとくに重要だと思うこと(問2×F1)

- ・10代20代と40代では「①バスの便などの地域交通」、30代では「⑫子育て支援や青少年の健全育成」、50代より上の世代では「⑩地域の防犯体制の整備」が最も多く、世代による特徴が表れている。

		問2 環境にとって、特に重要だと思うこと																							
		合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	無回答			
			バスの便などの地域交通	道路や歩道の整備	場整備・交通安全対策・駐輪	④良好な街並みの整備	⑤商店街の振興	⑥公園などの管理・整備	⑦緑の保全と緑化の推進	⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	⑨地域の防災体制の整備	⑩地域の防犯体制の整備	視・指導	⑪食品衛生・環境衛生の監	全育成	⑫子育て支援や青少年の健	⑬感染症・生活習慣病などの保健推進	⑭高齢者福祉	⑮障害者福祉	⑯病院などの医療環境	保護	⑰経済的に困っている人の	⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設	⑲広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	⑳身近な区役所窓口のサー
全体		1494	26.9	20.7	10.3	19.7	17.5	9.4	13.3	18.1	22.9	31.1	1.9	16.5	2.3	17.9	2.7	19.2	2.5	7.8	1.5	4.6	7.6		
F1 年齢(統合)	10代20代	173	32.9	27.7	14.5	19.7	20.2	9.8	14.5	12.7	18.5	25.4	1.7	17.3	3.5	13.3	1.2	22.0	3.5	12.1	2.3	5.8	1.7		
	30代	207	30.9	23.7	8.7	20.8	21.3	12.6	15.0	15.9	16.9	27.5	1.0	34.3	0.5	8.2	1.9	25.6	2.9	9.7	0.0	4.8	3.4		
	40代	342	33.6	28.1	12.3	22.8	19.0	10.2	12.0	17.8	22.5	32.7	1.2	24.0	0.9	9.9	2.9	15.5	1.5	7.6	0.9	3.8	3.2		
	50代	264	24.6	19.3	12.5	20.5	13.3	8.0	13.3	19.3	30.7	32.2	1.9	11.0	3.0	22.0	3.4	22.7	1.9	8.7	0.8	5.3	5.7		
	60代	245	21.6	15.1	6.9	18.0	16.7	8.6	17.6	20.8	25.3	34.3	3.7	6.9	3.3	26.9	4.1	18.0	2.0	6.1	2.4	6.5	8.6		
	70代以上	239	18.0	10.9	7.5	17.2	15.1	6.7	9.2	20.5	20.9	31.0	2.5	6.3	2.9	27.2	1.7	15.9	4.2	3.8	3.3	2.1	20.9		

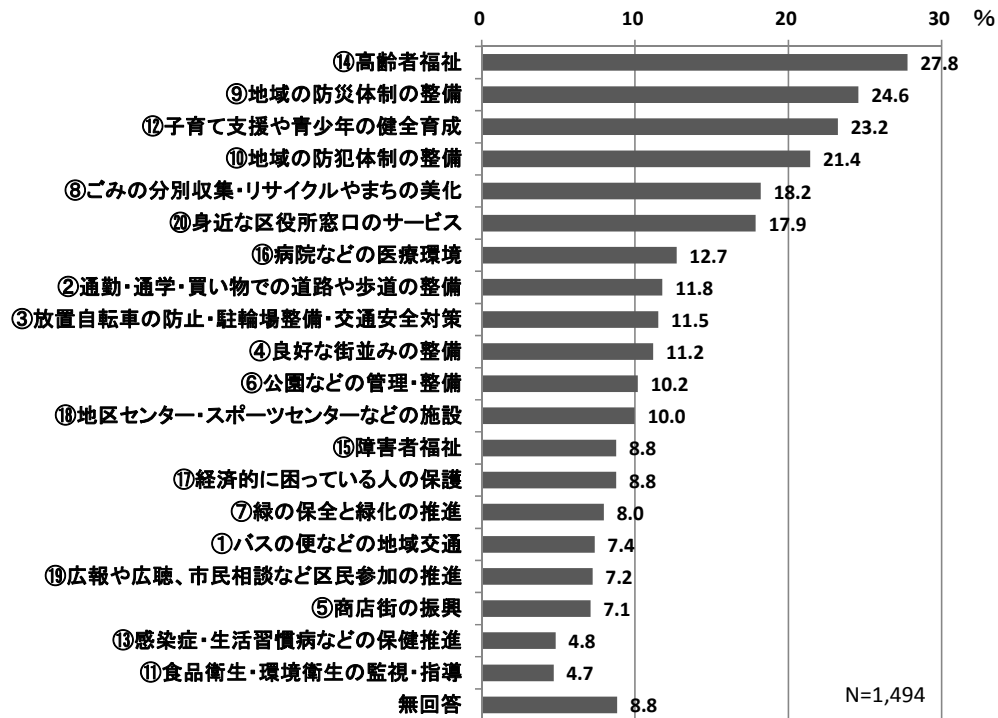
■ 居住地区別 環境にとってとくに重要だと思うこと(問2×F8)

- ・中里連合自治会、恩田連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会、すすき野連合自治会では「①バスの便などの地域交通」、それ以外の地区では「⑩地域の防犯体制の整備」が最も多くなっている。
- ・恩田連合自治会では「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」、美しが丘連合自治会では「④良好な街並みの整備」、奈良町、奈良北団地連合自治会とすすき野連合自治会では「⑤商店街の振興」の数値が、それぞれ区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている

		問2 環境にとって、特に重要だと思うこと																							
		合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	無回答			
			バスの便などの地域交通	道路や歩道の整備	場整備・交通安全対策・駐輪	④良好な街並みの整備	⑤商店街の振興	⑥公園などの管理・整備	⑦緑の保全と緑化の推進	⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	⑨地域の防災体制の整備	⑩地域の防犯体制の整備	視・指導	⑪食品衛生・環境衛生の監	全育成	⑫子育て支援や青少年の健	⑬感染症・生活習慣病などの保健推進	⑭高齢者福祉	⑮障害者福祉	⑯病院などの医療環境	保護	⑰経済的に困っている人の	⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設	⑲広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	⑳身近な区役所窓口のサー
全体		1494	26.9	20.7	10.3	19.7	17.5	9.4	13.3	18.1	22.9	31.1	1.9	16.5	2.3	17.9	2.7	19.2	2.5	7.8	1.5	4.6	7.6		
F8 住んでいる町(統合)	中里連合自治会	81	38.3	18.5	7.4	27.2	14.8	9.9	12.3	27.2	16.0	27.2	0.0	13.6	1.2	16.0	4.9	22.2	3.7	4.9	1.2	2.5	7.4		
	中里北部連合町内会	87	28.7	17.2	5.7	11.5	17.2	3.4	18.4	17.2	21.8	34.5	1.1	17.2	2.3	23.0	5.7	14.9	4.6	8.0	1.1	6.9	5.7		
	市ケ尾連合自治会	78	20.5	12.8	11.5	15.4	23.1	6.4	11.5	20.5	23.1	24.4	2.6	21.8	2.6	15.4	3.8	17.9	6.4	5.1	2.6	6.4	12.8		
	上谷本連合町内会	78	23.1	14.1	9.0	14.1	12.8	5.1	15.4	23.1	26.9	29.5	0.0	14.1	2.6	26.9	5.1	17.9	1.3	5.1	1.3	7.7	10.3		
	谷本連合自治会	121	18.2	22.3	9.9	21.5	19.0	11.6	14.9	22.3	22.3	33.9	2.5	18.2	2.5	14.9	1.7	18.2	3.3	6.6	1.7	5.8	5.0		
	恩田連合自治会	143	33.6	31.5	12.6	16.8	15.4	9.1	7.7	11.9	18.2	32.2	1.4	18.9	2.1	12.6	2.1	18.9	1.4	12.6	2.8	5.6	7.7		
	青葉台連合自治会	189	17.5	23.3	12.7	22.8	15.9	13.8	11.6	15.3	25.9	28.6	1.6	15.3	1.1	22.2	1.6	24.9	2.6	6.9	2.1	6.3	5.8		
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	47.4	18.1	7.8	12.1	29.3	10.3	13.8	14.7	25.0	25.0	5.2	19.8	2.6	17.2	0.9	19.0	1.7	7.8	0.9	0.9	3.4		
	山内連合自治会	203	29.6	18.7	12.3	21.2	14.8	7.9	11.8	16.7	20.2	33.0	2.0	17.7	4.9	16.3	2.0	20.2	2.0	7.9	0.5	4.4	8.9		
	佐田、佐田西、新佐田連合自治会	220	19.1	20.0	12.3	22.3	14.5	10.9	14.5	20.5	26.4	32.3	2.7	18.2	1.8	15.5	0.9	17.3	1.4	8.6	1.4	2.7	9.5		
	すすき野連合自治会	72	41.7	22.2	6.9	19.4	31.9	6.9	15.3	19.4	18.1	26.4	2.8	8.3	0.0	26.4	1.4	20.8	1.4	6.9	1.4	4.2	4.2		
	美しが丘連合自治会	58	13.8	24.1	5.2	31.0	8.6	8.6	17.2	12.1	29.3	41.4	0.0	17.2	5.2	15.5	6.9	17.2	1.7	10.3	1.7	5.2	6.9		

問3 上記①～⑳の質問項目のうち、区役所が取り組む課題として、どれがとくに重要
 と思いますか。（該当する項目の番号を3つまで記入）

・「⑭高齢者福祉」が最も多く27.8%で、3割弱が挙げている。次いで「⑨地域の防災体制の整備」（24.6%）、「⑫子育て支援や青少年の健全育成」（23.2%）、「⑩地域の防犯体制の整備」（21.4%）が2割台である。以下「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」（18.2%）、「⑳身近な区役所窓口のサービス」（17.9%）などと続く。



■ 年齢別 区役所が取り組む課題として特に重要だと思うこと(問3×F1)

- ・10代20代では「⑩地域の防犯体制の整備」と「⑫子育て支援や青少年の健全育成」が同率、30代、40代では「⑫子育て支援や青少年の健全育成」、50代より上の世代では「⑭高齢者福祉」が最も多く、世代による特徴が表れている。

		問3 区役所が取り組む課題として特に重要だと思うこと																					
		合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	無回答	
			バスの便などの地域交通	道路や歩道の整備	場整備・通学・買い物での	③放置自転車の防止・駐輪	④良好な街並みの整備	⑤商店街の振興	⑥公園などの管理・整備	⑦緑の保全と緑化の推進	⑧くみやまの美化	⑨地域の防災体制の整備	⑩地域の防犯体制の整備	⑪食品衛生・環境衛生の監視・指導	⑫子育て支援や青少年の健全育成	⑬感染症・生活習慣病などの保健推進	⑭高齢者福祉	⑮障害者福祉	⑯病院などの医療環境	⑰経済的に困っている人の保護	⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設	⑲広報や広聴、市民相談など	⑳身近な区役所窓口のサービス
	全体	1494	7.4	11.8	11.5	11.2	7.1	10.2	8.0	18.2	24.6	21.4	4.7	23.2	4.8	27.8	8.8	12.7	8.8	10.0	7.2	17.9	8.8
F1 年齢(統合)	10代20代	173	9.2	10.4	11.6	9.8	15.6	5.8	7.5	11.0	21.4	27.2	5.2	27.2	6.4	17.9	9.8	17.9	12.1	14.5	7.5	11.6	4.6
	30代	207	7.7	11.1	9.7	10.1	11.1	13.5	9.7	19.3	19.8	21.7	2.4	38.2	4.3	17.9	8.2	13.5	9.7	13.5	6.8	21.3	4.3
	40代	342	9.6	17.8	10.8	12.0	5.3	14.3	7.3	18.1	27.2	21.9	3.5	30.4	2.0	22.5	9.4	12.0	8.2	12.6	4.7	18.4	4.1
	50代	264	7.6	10.2	12.5	11.0	5.3	7.6	9.8	26.1	33.3	19.3	2.3	19.3	3.8	34.8	8.7	10.2	7.2	9.1	11.4	20.1	5.7
	60代	245	4.1	12.7	13.5	15.5	2.9	9.8	10.2	16.3	22.9	20.0	5.7	14.7	4.5	38.8	8.2	11.4	9.0	4.5	9.8	22.0	9.8
	70代以上	239	6.3	6.3	11.3	8.8	6.7	7.1	3.8	17.6	20.1	20.9	9.2	11.7	8.4	31.0	7.9	13.4	7.9	5.9	4.6	12.6	23.0

■ 居住地区別 区役所が取り組む課題として特に重要だと思うこと(問3×F8)

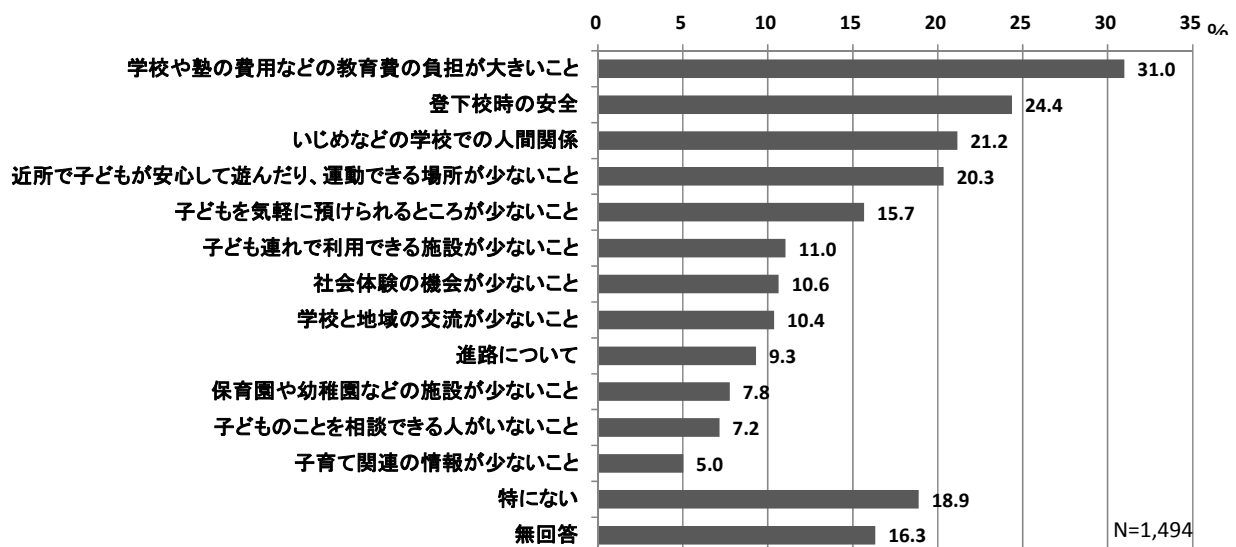
- ・中里連合自治会、上谷本連合町内会では「⑨地域の防災体制の整備」、恩田連合自治会では「⑩地域の防犯体制の整備」、市ヶ尾連合自治会、谷本連合自治会では「⑫子育て支援や青少年の健全育成」、中里北部連合町内会、青葉台連合自治会、山内連合自治会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会では「⑭高齢者福祉」が最も多く、奈良町、奈良北団地連合自治会では「①バスの便などの地域交通」「⑫子育て支援や青少年の健全育成」が同率、荏田、荏田西、新荏田連合自治会では「⑨地域の防災体制の整備」「⑫子育て支援や青少年の健全育成」が同率となっている。

		問3 区役所が取り組む課題として特に重要だと思うこと																					
		合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	無回答	
			バスの便などの地域交通	道路や歩道の整備	場整備・通学・買い物での	③放置自転車の防止・駐輪	④良好な街並みの整備	⑤商店街の振興	⑥公園などの管理・整備	⑦緑の保全と緑化の推進	⑧くみやまの美化	⑨地域の防災体制の整備	⑩地域の防犯体制の整備	⑪食品衛生・環境衛生の監視・指導	⑫子育て支援や青少年の健全育成	⑬感染症・生活習慣病などの保健推進	⑭高齢者福祉	⑮障害者福祉	⑯病院などの医療環境	⑰経済的に困っている人の保護	⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設	⑲広報や広聴、市民相談など	⑳身近な区役所窓口のサービス
	全体	1494	7.4	11.8	11.5	11.2	7.1	10.2	8.0	18.2	24.6	21.4	4.7	23.2	4.8	27.8	8.8	12.7	8.8	10.0	7.2	17.9	8.8
F8 住んでいる町(統合)	中里連合自治会	81	9.9	13.6	14.8	9.9	9.9	7.4	9.9	21.0	27.2	17.3	3.7	17.3	4.9	25.9	9.9	11.1	6.2	9.9	6.2	21.0	9.9
	中里北部連合町内会	87	6.9	10.3	12.6	12.6	2.3	5.7	9.2	21.8	25.3	20.7	3.4	19.5	5.7	29.9	10.3	18.4	4.6	12.6	5.7	17.2	6.9
	市ヶ尾連合自治会	78	7.7	10.3	11.5	11.5	9.0	6.4	7.7	15.4	17.9	16.7	3.8	32.1	7.7	28.2	10.3	9.0	12.8	6.4	9.0	16.7	12.8
	上谷本連合町内会	78	7.7	5.1	6.4	9.0	5.1	7.7	6.4	15.4	34.6	26.9	2.6	25.6	6.4	23.1	9.0	11.5	6.4	12.8	12.8	14.1	14.1
	谷本連合自治会	121	7.4	12.4	11.6	12.4	8.3	9.1	3.3	24.8	15.7	23.1	3.3	29.8	4.1	28.1	5.8	13.2	12.4	14.0	12.4	16.5	5.8
	恩田連合自治会	143	8.4	17.5	13.3	8.4	2.8	11.9	7.0	14.7	23.1	25.2	6.3	23.8	4.2	22.4	8.4	9.8	5.6	9.8	7.0	20.3	11.2
	青葉台連合自治会	189	2.1	10.1	12.2	13.8	6.3	10.6	7.9	13.2	26.5	21.2	7.9	21.7	4.2	37.0	10.6	13.8	11.1	7.9	3.7	20.6	6.9
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	25.0	12.9	6.9	10.3	9.5	13.8	9.5	14.7	21.6	15.5	8.6	25.0	5.2	22.4	10.3	9.5	11.2	12.1	6.9	17.2	5.2
	山内連合自治会	203	5.9	12.8	14.3	12.8	7.9	11.3	8.4	20.2	23.2	19.7	3.9	20.2	5.4	25.1	6.4	12.8	7.9	9.4	6.9	19.2	9.4
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	3.6	12.7	13.6	12.3	7.7	12.3	8.6	17.7	26.8	22.7	4.1	26.8	4.1	23.6	8.2	10.9	8.6	5.9	8.2	15.9	9.5
	すすき野連合自治会	72	4.2	5.6	6.9	6.9	11.1	8.3	9.7	26.4	30.6	26.4	2.8	13.9	4.2	38.9	5.6	13.9	8.3	12.5	8.3	13.9	8.3
	美しが丘連合自治会	58	1.7	6.9	6.9	12.1	6.9	5.2	8.6	24.1	31.0	20.7	1.7	25.9	5.2	34.5	8.6	17.2	6.9	19.0	5.2	20.7	5.2

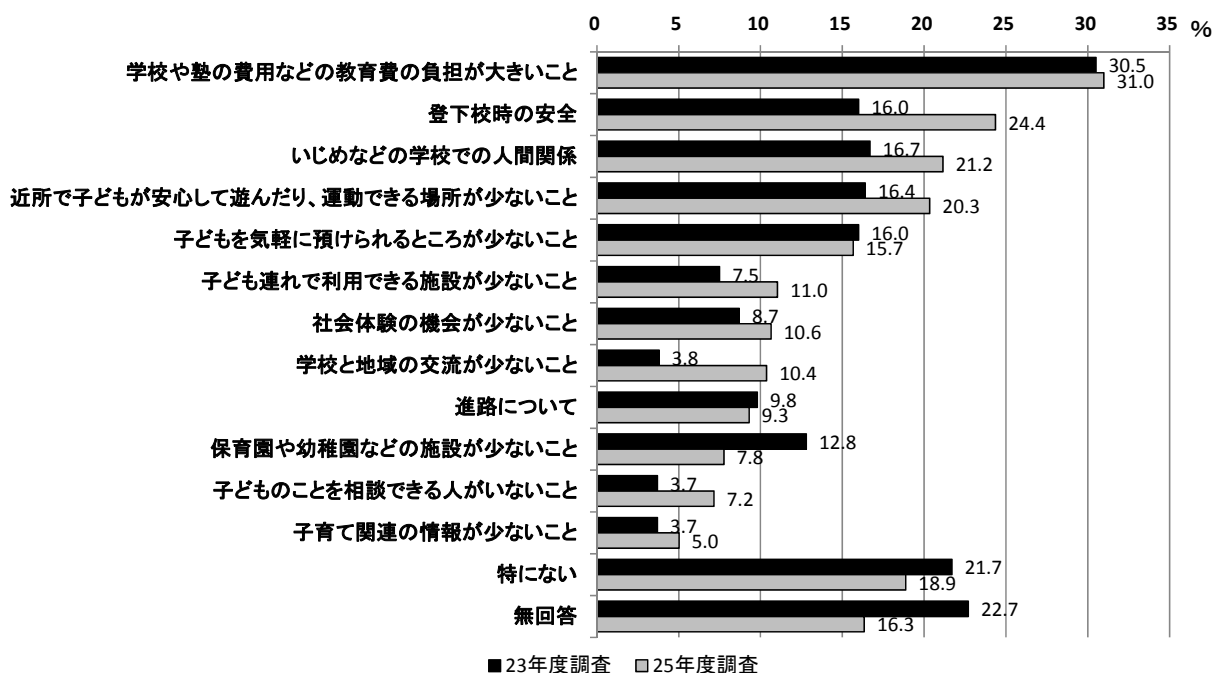
2. 子育てについて

問4 子育てについて、不安もしくは不満と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」が31.0%で最も多く、3割を超える人が挙げている。次いで「登下校時の安全」(24.4%)、「いじめなどの学校での人間関係」(21.2%)、「近所で子どもが安心して遊んだり、運動できる場所が少ないこと」(20.3%)を2割以上の人が挙げている。一方、「特にない」も18.9%と2割近くに達している。
- ・平成23年度調査と比較すると、「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」が最も多いことに代わりはないが、「登下校時の安全」が8.4ポイント増加して2位に浮上しているほか、「学校と地域の交流が少ないこと」が6.6ポイント、「いじめなどの学校での人間関係」も4.5ポイント増加している。一方「保育園や幼稚園などの施設が少ないこと」は5.0ポイント減少し、改善傾向が見られる。



< 参考 平成23年度調査結果との比較 >



■ 年齢別 子育てについて、不安もしくは不満と思うこと(問4×F1)

- ・10代20代では「登下校時の安全」「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」が同率で最も多く、30代から50代では「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」、60代では「特にない」、70代以上では「近所で子どもが安心して遊んだり、運動できる場所が少ないこと」が最も多くなっている。
- ・30代では「子どもを気軽に預けられるところが少ないこと」、40代では「進路について」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問4 子育てについて、不安・不満と思うこと														
		合計	近所で遊べる場所が安心して遊んだ	子ども連れで利用できる施設が少ないこと	子どものことを相談できる人がいないこと	子どもを気軽に預けられるところが少ないこと	保育園や幼稚園などの施設が少ないこと	社会体験の機会が少ないこと	学校と地域の交流が少ないこと	登下校時の安全	学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと	進路について	いじめなどの学校での人間関係	子育て関連の情報が少ないこと	特にない	無回答
	全体	1494	20.3	11.0	7.2	15.7	7.8	10.6	10.4	24.4	31.0	9.3	21.2	5.0	18.9	16.3
F1 年齢(統合)	10代20代	173	22.5	13.9	8.1	16.2	11.6	10.4	10.4	28.9	28.9	6.4	26.0	5.8	23.1	7.5
	30代	207	27.1	20.3	11.6	26.1	13.0	13.5	6.3	32.4	42.0	9.2	22.2	11.1	12.6	5.3
	40代	342	21.1	10.5	5.0	18.4	7.0	15.5	10.2	30.7	50.3	21.1	20.5	5.3	14.6	8.8
	50代	264	18.2	4.9	6.8	12.1	7.6	9.5	9.8	22.3	32.2	9.5	27.7	3.0	22.0	9.1
	60代	245	16.7	9.4	7.8	13.1	4.1	9.0	11.8	16.7	14.3	2.0	18.8	3.3	26.1	25.3
	70代以上	239	17.2	10.5	5.9	10.0	5.0	5.0	12.6	15.5	12.6	2.1	13.8	3.3	16.7	40.6

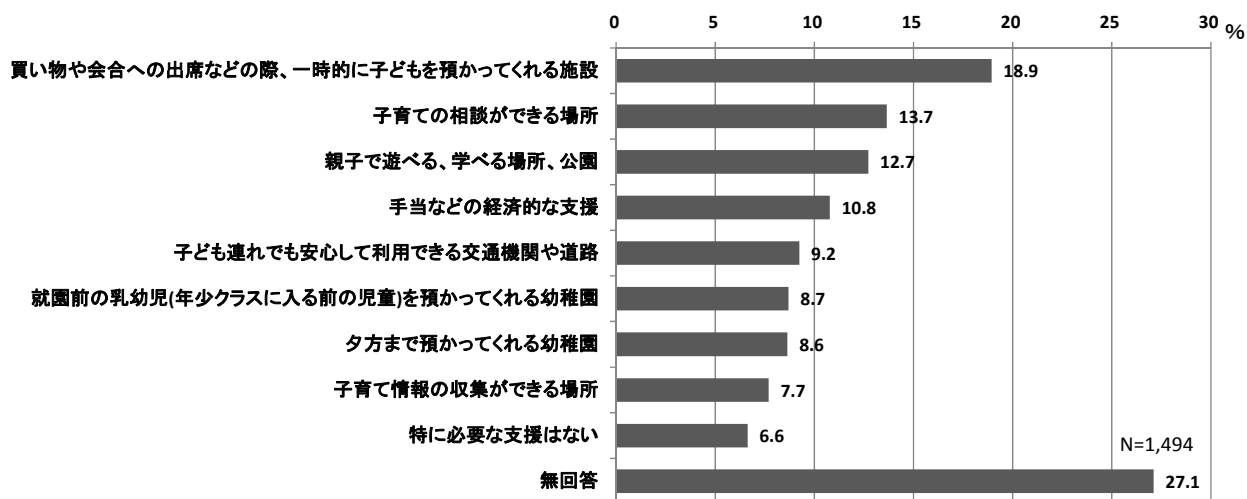
■ 同居家族別 子育てについて、不安もしくは不満と思うこと(問4×F5)

- ・同居家族に「乳幼児・未就学児」「小学生、中学生」「高校生、専門学校生、大学生」がいるケースでは「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」、「65歳以上の高齢者」がいるケースでは「登下校時の安全」、「あてはまる家族がない」ケースでは「特にない」が最も多くなっている。
- ・「乳幼児・未就学児」がいるケースでは「子ども連れで利用できる施設が少ないこと」「子どもを気軽に預けられるところが少ないこと」、「小学生、中学生」がいるケースでは「登下校時の安全」「進路について」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

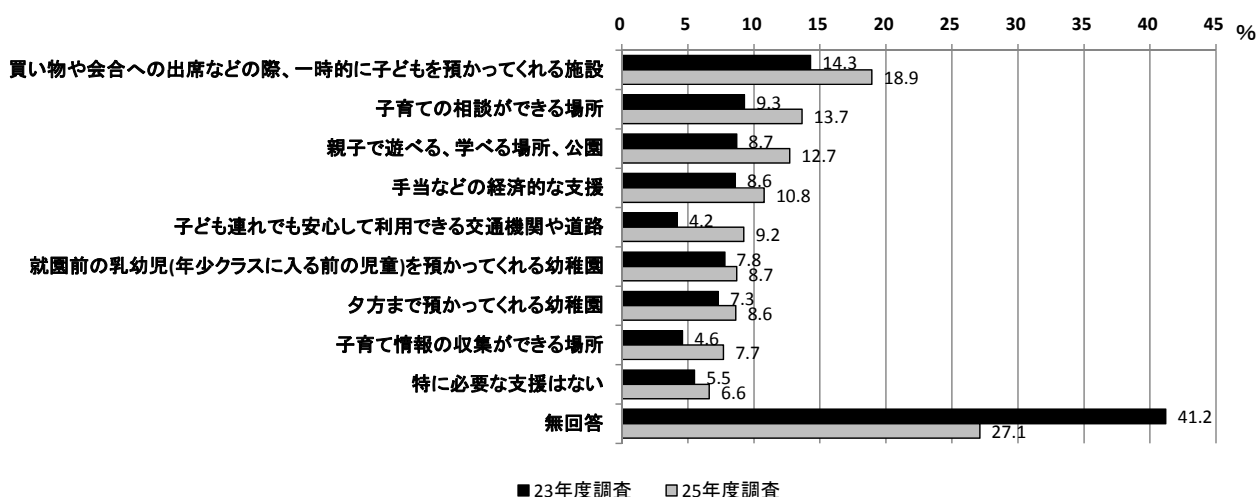
		問4 子育てについて、不安・不満と思うこと														
		合計	近所で遊べる場所が安心して遊んだ	子ども連れで利用できる施設が少ないこと	子どものことを相談できる人がいないこと	子どもを気軽に預けられるところが少ないこと	保育園や幼稚園などの施設が少ないこと	社会体験の機会が少ないこと	学校と地域の交流が少ないこと	登下校時の安全	学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと	進路について	いじめなどの学校での人間関係	子育て関連の情報が少ないこと	特にない	無回答
	全体	1494	20.3	11.0	7.2	15.7	7.8	10.6	10.4	24.4	31.0	9.3	21.2	5.0	18.9	16.3
F5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	25.3	26.5	5.4	33.1	13.9	18.1	10.2	31.9	48.8	11.4	19.9	7.8	7.8	3.6
	小学生、中学生	322	26.7	14.0	5.6	18.6	5.6	16.8	9.9	37.9	60.9	24.2	25.8	6.8	7.1	4.0
	高校生、専門学校生、大学生	318	19.8	6.0	7.2	11.9	6.9	12.3	10.7	24.5	49.4	17.0	26.7	3.1	15.1	6.6
	65歳以上の高齢者	402	19.7	12.9	7.5	12.9	6.7	9.2	13.7	22.1	20.4	4.0	17.9	4.2	21.9	23.1
	あてはまる家族はいない	434	17.7	8.1	8.1	15.0	8.5	7.4	9.4	19.8	16.8	2.5	17.3	5.1	27.2	21.2

問5 乳幼児がいるご家庭で、日中、在宅で子育てをしている家庭を支援するためには、どのようなことを充実すべきでしょうか。(〇は1つだけ)

- ・「買い物や会合への出席などの際、一時的に子どもを預かってくれる施設」が18.9%で最も多く、2割弱の人が挙げている。以下「子育ての相談ができる場所」(13.7%)、「親子で遊べる、学べる場所、公園」(12.7%)、「手当などの経済的な支援」(10.8%)などと続く。
- ・平成23年度調査と比較すると、上位4位までの順位に変動はないが、「子ども連れでも安心して利用できる交通機関や道路」が9位から5位に浮上している。また、いずれの項目も数値は上昇し、特に「子ども連れでも安心して利用できる交通機関や道路」で5ポイント、「買い物や会合への出席などの際、一時的に子どもを預かってくれる施設」で4.6ポイント過去調査に比べて高くなっている。



<参考 平成23年度調査結果との比較>



■ 年齢別 日中在宅で乳幼児の子育てをしている家庭への支援で充実すべきこと(問5×F1)

- ・10代20代では「手当などの経済的な支援」、30代から50代と70代以上では「買い物や会合への出席などの際、一時的に子どもを預かってくれる施設」、60代では「子育ての相談ができる場所」が最も多くなっている。
- ・30代では「手当などの経済的な支援」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高く、経済的支援を求める声は若い層で高くなっている。

		問5 日中、在宅で乳幼児の子育てをしている家庭への支援で充実すべきこと														
		合計	所親、公園で遊べる、学べる場	所子育ての相談ができる場	る子育て情報の収集ができる	幼稚園夕方まで預かってくれる	かかってくれる幼稚園	就園前の乳幼児(年少クラス)を預	かつてくれる施設	の、一時的に子どもを預	買い物や会合への出席など	手当などの経済的な支援	用できる交通機関や道路	子ども連れでも安心して利	特に必要な支援はない	無回答
全体		1494	12.7	13.7	7.7	8.6	8.7	18.9	10.8	9.2	6.6	27.1				
F1 年齢(統合)	10代20代	173	17.9	16.2	8.7	9.8	7.5	13.3	19.7	12.7	9.8	16.2				
	30代	207	21.7	13.0	9.7	14.5	17.9	29.5	21.7	15.0	3.9	9.2				
	40代	342	14.6	11.4	8.8	9.9	9.9	21.3	11.1	10.2	5.3	20.8				
	50代	264	11.0	17.8	9.5	7.2	6.4	22.3	5.7	6.8	7.6	23.1				
	60代	245	4.9	17.6	4.5	6.1	8.2	14.7	5.7	9.4	5.7	36.3				
	70代以上	239	7.9	7.1	5.9	5.9	2.9	12.1	5.4	2.9	8.4	52.7				

■ 同居家族別 日中在宅で乳幼児の子育てをしている家庭への支援で充実すべきこと(問5×F5)

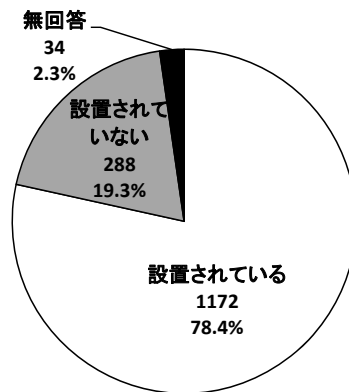
- ・「あてはまる家族がない」ケースでは「子育ての相談ができる場所」、それ以外は「買い物や会合への出席などの際、一時的に子どもを預かってくれる施設」が最も多く、特に「乳幼児・未就学児」がいるケースで数値が高い。
- ・「乳幼児・未就学児」がいるケースでは「手当などの経済的な支援」「子ども連れでも安心して利用できる交通機関や道路」の数値も区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問5 日中、在宅で乳幼児の子育てをしている家庭への支援で充実すべきこと														
		合計	所親、公園で遊べる、学べる場	所子育ての相談ができる場	る子育て情報の収集ができる	幼稚園夕方まで預かってくれる	かかってくれる幼稚園	就園前の乳幼児(年少クラス)を預	かつてくれる施設	の、一時的に子どもを預	買い物や会合への出席など	手当などの経済的な支援	用できる交通機関や道路	子ども連れでも安心して利	特に必要な支援はない	無回答
全体		1494	12.7	13.7	7.7	8.6	8.7	18.9	10.8	9.2	6.6	27.1				
F5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	21.1	9.0	7.2	6.6	15.1	31.9	27.7	19.9	1.8	3.6				
	小学生、中学生	322	17.1	10.6	8.1	8.7	9.3	26.7	15.2	10.2	3.1	17.1				
	高校生、専門学校生、大学生	318	15.7	14.8	10.1	11.0	7.9	18.9	8.8	10.1	5.7	19.8				
	65歳以上の高齢者	402	10.9	11.9	6.0	7.0	8.0	16.2	7.2	9.5	7.5	36.8				
	あてはまる家族はいない	434	8.5	17.1	9.0	7.6	7.4	16.4	9.2	8.1	9.4	30.2				

3. 火災警報器について

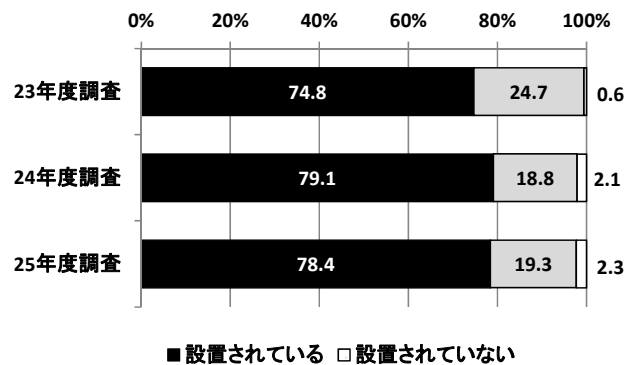
問6 あなたのお住まいはすでに、住宅用火災警報器などの自動で火災を感知する機器（感知器）が設置されていますか。（○は1つだけ）

- ・「設置されている」が78.4%と、8割近くに達している。一方「設置されていない」は19.3%で、まだ感知器が設置されていない住宅も2割弱存在している。
- ・23年度調査では「設置されている」が74.8%、24年度調査では4.3ポイント増加して79.1%であったが、今年度は微減しているもののほぼ横ばいである。



N=1,494

<参考 平成23年度、24年度調査結果との比較>



注) 平成23年度調査では選択肢が異なる。

<平成23年度>

<平成24、25年度>

「知っており、住宅にも設置されている」
「知らないが設置されている」

→ 「設置されている」に統合

「知っているが、住宅には設置されていない」
「知らなくて設置されていない」

→ 「設置されていない」に統合

■ 居住形態別 住宅用火災警報器などの設置(問6×F3)

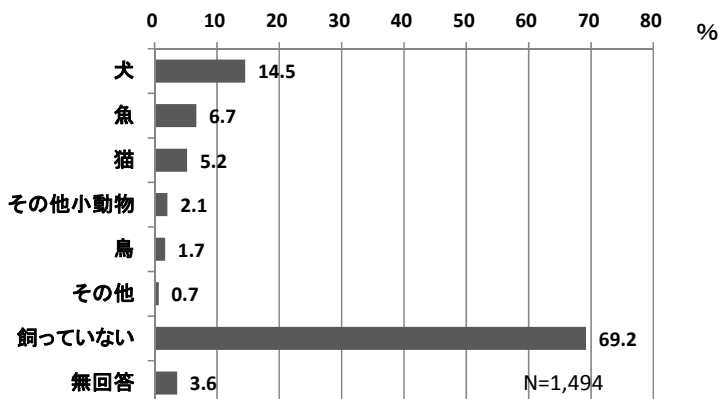
- ・「持家(共同住宅)」「借家(共同住宅,社宅,公務員住宅,寮)」で設置率が9割を超えており、共同住宅の方が一戸建てに比べて設置率が高い傾向にある。
- ・「持家(一戸建て)」は「設置されていない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		合計	問6 住宅用火災警報器などの設置		
			設置されている	設置されていない	無回答
	全体	1494	78.4	19.3	2.3
F3 居住形態	持家(一戸建て)	718	68.0	29.5	2.5
	持家(共同住宅)	388	90.5	8.5	1.0
	借家(一戸建て)	38	73.7	26.3	0.0
	借家(共同住宅,社宅,公務員住宅,寮)	315	90.2	7.9	1.9
	その他	3	0.0	66.7	33.3

4. ペットの防災について

問7 あなたはペットを飼っていますか？また、飼っている方は動物の種類は何ですか。
 (〇はいくつでも)

- ・「飼っていない」が69.2%で突出して多く、7割近くに達する。飼っているペットで最も多いのは「犬」の14.5%で、以下「魚」(6.7%)、「猫」(5.2%)、「その他小動物」(2.1%)などとなっている。



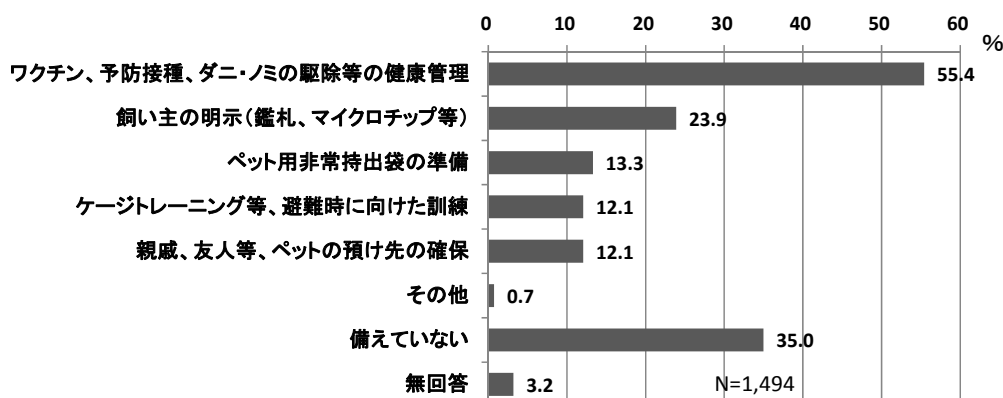
■ 居住形態別 飼っているペットの種類(問7×F3)

- ・いずれも「飼っていない」が最も多く、特に「借家(共同住宅, 社宅, 公務員住宅, 寮)」では8割を超える人が「飼っていない」としている。
- ・「持家(一戸建て)」では「犬」が20%を超えている。

	合計	問7 飼っているペットの種類							飼っていない	無回答
		犬	猫	その他小動	魚	鳥	その他			
全体	1494	14.5	5.2	2.1	6.7	1.7	0.7	69.2	3.6	
F3 居住形態	持家(一戸建て)	718	21.2	6.1	2.1	7.7	1.8	1.0	61.8	3.5
	持家(共同住宅)	388	10.3	4.9	2.6	6.7	1.5	0.0	73.5	3.4
	借家(一戸建て)	38	7.9	10.5	0.0	7.9	0.0	0.0	76.3	0.0
	借家(共同住宅, 社宅, 公務員住宅, 寮)	315	6.0	2.5	1.9	4.8	1.3	1.0	81.0	3.2
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3

問7-1 ペットを飼っている方に質問です。あなたはペットの防災に備えていますか。備えている方は、具体的にどのようなことを実施していますか。(問7で「1～6 ペットを飼っている」と回答した人のみ、○はいくつでも)

- ・最も多いのは「ワクチン、予防接種、ダニ・ノミの駆除等の健康管理」の55.4%で、過半数の人が対応していると答えている。一方「備えていない」も35.0%となっている。以下「飼い主の明示(鑑札、マイクロチップ等)」(23.9%)、「ペット用非常持出袋の準備」(13.3%)、「ケージトレーニング等、避難時に向けた訓練」(12.1%)、「親戚、友人等、ペットの預け先の確保」(12.1%)などと続く。



■ 居住形態別 ペットの防災に備えて実施していること(問7-1×F3)

- ・持家・借家の別で比較すると、持家では「ワクチン、予防接種、ダニ・ノミの駆除等の健康管理」、借家では「備えていない」が最も多くなっている。
- ・一戸建て・共同住宅の別で比較すると、いずれも「ワクチン、予防接種、ダニ・ノミの駆除等の健康管理」が最も多くなっているが、共同住宅では「備えていない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

	合計	問7-1 ペットの防災に備えて実施していること									
		ロ(飼 チ鑑 ツ札 プ等 マイ シク 等)	に 向 グ ケ 等 ト レ ニ ン グ 等	ケ ジ ト レ ニ ン グ 等	康 ミ 管 理 等	接 種 の 駆 除 等	ワ ク チ ン 、 予 防 接 種 、 ダ ニ ・ ノ ミ の 駆 除 等	出 袋 の 準 備	ベ ツ ト の 用 非 常 持 出 袋	の 確 保 ト の 友 人 等 、 親 戚 、 預 け 先	そ の 他
全体	406	23.9	12.1			55.4	13.3	12.1	0.7	35.0	3.2
F3 居住形態(統合)	339	24.2	12.1			58.1	13.9	12.1	0.6	32.7	3.2
持家	59	20.3	13.6			40.7	11.9	11.9	1.7	47.5	3.4
F3 居住形態(統合)	258	24.4	12.4			60.5	15.1	11.2	1.2	29.5	3.1
一戸建て	140	22.1	12.1			46.4	10.7	13.6	0.0	45.0	3.6
共同住宅											

■ 飼っているペットの種類別 ペットの防災に備えて実施していること(問7-1×問7)

- ・飼っているのが「犬」「猫」では「ワクチン、予防接種、ダニ・ノミの駆除等の健康管理」、「魚」「鳥、その他小動物等」では「備えていない」が最も多くなっている。また、「犬」では「飼い主の明示(鑑札、マイクロチップ等)」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

	合計	問7-1 ペットの防災に備えて実施していること(統合)								
		ロ(飼主の明示等)	にケジメ等、訓練時	ミ駆除等の健康	接種、チン、ノ防	ワクチン、非常持	出袋の準備	のペットの預け先	その他	備えていない
全体	406	23.9	12.1	55.4	13.3	12.1	0.7	35.0	3.2	
問7 飼っているペットの種類(統合)	犬	217	36.9	18.0	84.3	17.5	16.1	0.0	11.5	0.5
	猫	78	26.9	16.7	60.3	16.7	14.1	2.6	21.8	2.6
	魚	100	10.0	5.0	20.0	6.0	7.0	0.0	73.0	5.0
	鳥、その他小動物等	63	7.9	1.6	15.9	9.5	7.9	1.6	65.1	7.9

飼い主の皆様へ

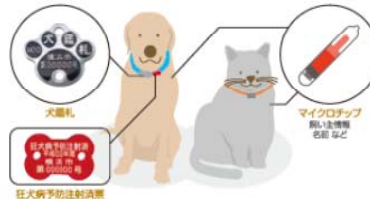
資料1

災害時に備え、日ごろからペットのしつけや健康管理を適切に行いましょう！

① 飼い主の明示

災害時の混乱の中では、ペットと離ればなれになってしまうこともあります。迷子になった動物を探す時や、保護された時、必要となるのが識別情報です。

大切なペットのために、鑑札や狂犬病予防注射済票、迷子札、マイクロチップの装着等、飼い主の明示を徹底しましょう。



※マイクロチップ

直径 2mm、長さ約 8～12 mmの円筒形の電子標識器具で、15桁の数字(番号)が記録されています。一度体内に埋込むと、脱落したり、消失することはほとんどなく、データが書き換えられない確実な証明となるため、犬やねこなどのペットを中心として利用者が急増しています。



② 「しつけ」をし、社会性を身につけておきましょう。

緊急時に安全に避難し、また人が集まった場所において、他の避難者に迷惑をかけないために、基本的なしつけをしておきましょう。キャリーバッグやケージに慣らしておくことや、犬では「待て」「座れ」などの服従訓練を、猫では日常的な人とのふれあいに慣らしておくことが必要です。

③ 健康管理

ワクチン、狂犬病予防接種、ダニ・ノミの駆除などを日頃から実施しましょう。

④ 動物用避難用具の確保

救援物資はすぐには届きません。最低でも5日分は必ず用意しましょう。

大切なペットのために、キャリーバッグやペットケージ、「ペット用非常持出袋」を準備しておきましょう。



- ア フード、水、薬 : 最低でも5日分は必要。
- イ ペット用品 : ペットシート、新聞紙、リード、糞尿の処理用具など。
- ウ 飼育手帳 : 飼い主の連絡先、ペットの写真、ワクチン接種状況、健康状態、治療中なら治療内容、服用中の薬や検査結果など。

⑤ 預け先の確保

親戚、友人など、ペットの預け先を探しておきましょう。

出所) 横浜市動物愛護センター「災害時のペット対策」

<災害時のペット対策>

ペットを家族の一員として共に暮らす方が増えていることから、災害時にはペットを連れて地域防災拠点に避難することもあります。一方で地域防災拠点は多くの被災者が避難生活を送る場であり、動物を苦手とする人やアレルギーなどの理由で動物と一緒にいられない人もいます。

体育館や教室内にペットを受け入れることは難しいため、校庭の一角や地域防災拠点近隣の公園にテントを設置するなどの対応を考慮するものとします。

また、ペットに対する物資の要請や社団法人横浜市獣医師会会員病院での一時保護や治療などの支援を行うこととします。

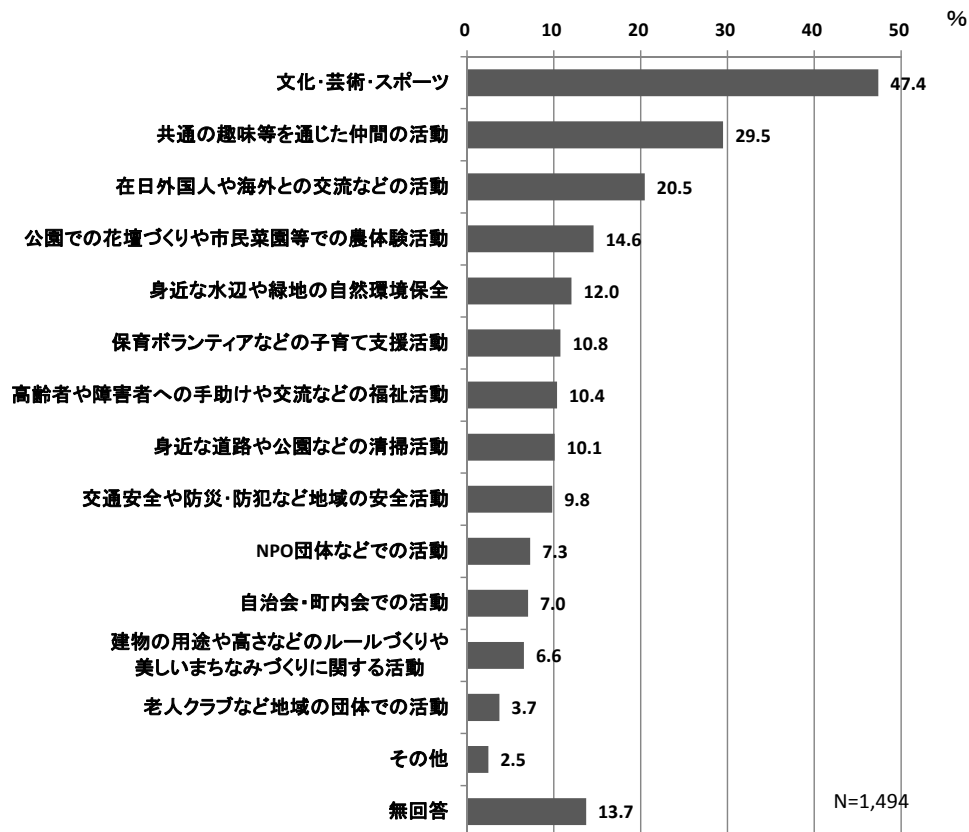
公園の多い青葉区の特性を活かし、避難所近隣の公園を発災時におけるペット一時避難場所として活用できるように検討していきます。

【横浜市と社団法人横浜市獣医師会は平成18年6月に「災害時の動物救護活動に関する協定」を締結しました。】

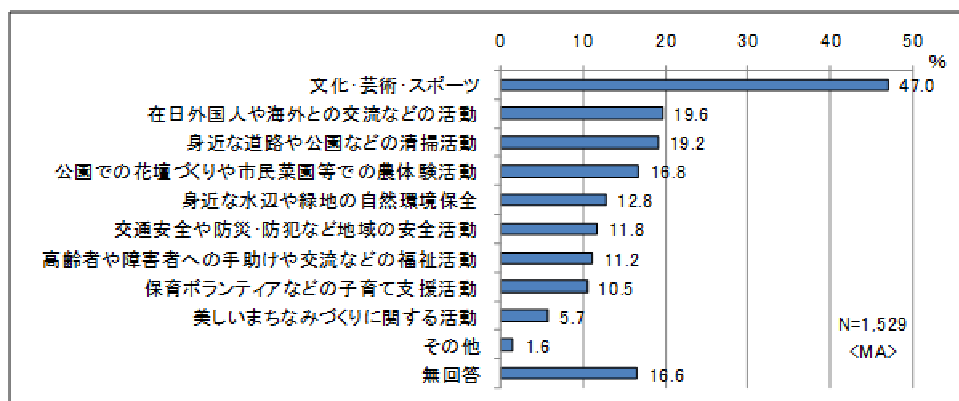
5. 地域活動・地域社会について

問8 あなたは、どのような地域活動に参加してみたいですか。(〇はいくつでも)

- ・「文化・芸術・スポーツ」が47.4%で突出して多く、半数近くの人が挙げている。次いで「共通の趣味等を通じた仲間の活動」が29.5%で、約3割が挙げており、文化的活動や趣味に関わる活動を中心に参加意欲が高くなっている。以下「在日外国人や海外との交流などの活動」(20.5%)、「公園での花壇づくりや市民菜園等での農体験活動」(14.6%)、「身近な水辺や緑地の自然環境保全」(12.0%)などと続く。
- ・平成24年度調査と比較すると、選択肢は異なるものの「文化・芸術・スポーツ」が突出して多い傾向には変化がない。一方「身近な道路や公園などの清掃活動」が9.9ポイント減少し、前回3位だった順位も今回8位と大幅に下がっている。



<参考 平成24年度調査結果との比較>



■ 年齢別 参加してみたい地域活動(問8×F1)

- ・60代までは「文化・芸術・スポーツ」、70代以上では「共通の趣味等を通じた仲間の活動」が最も多くなっている。
- ・30代では「在日外国人や海外との交流などの活動」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問8 参加してみたい地域活動															
		合計	文化・芸術・スポーツ	身近な水辺や緑地の自然環境	公園での花壇づくりや市民菜園等での農体験活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	活動近道や公園などの清掃	在日外国人や海外との交流などの活動	保育ボランティアなどの子育て支援活動	自治会・町内会での活動	老人クラブなど地域の団体での活動	NPO団体などの活動	つくりや美しいまちなみづくりに関する活動	建物の用途や高さなどのルール域の安全活動	交通安全や防災・防犯など地域の安全活動	活動	共通の趣味等を通じた仲間の活動
全体		1494	47.4	12.0	14.6	10.4	10.1	20.5	10.8	7.0	3.7	7.3	6.6	9.8	29.5	2.5	13.7
F1 年齢(総合)	10代20代	173	64.2	12.7	13.3	8.1	9.2	28.3	16.2	0.6	1.2	7.5	5.2	6.9	27.2	3.5	6.9
	30代	207	52.7	11.6	22.7	10.6	12.1	31.9	19.3	7.2	1.0	7.7	6.3	13.0	30.0	1.4	8.2
	40代	342	54.7	15.2	17.5	6.4	10.8	23.1	12.3	7.0	1.2	7.6	8.8	11.4	26.6	2.0	9.4
	50代	264	51.9	11.4	12.9	13.6	9.8	22.3	10.6	4.2	1.1	7.2	5.7	8.3	29.2	1.9	9.8
	60代	245	40.0	13.5	13.9	11.8	9.8	13.1	5.3	11.4	6.5	10.6	4.5	9.8	34.3	2.9	15.5
	70代以上	239	25.5	6.7	6.7	12.6	7.9	7.5	3.3	10.5	12.1	3.3	6.7	8.4	31.4	3.3	30.5

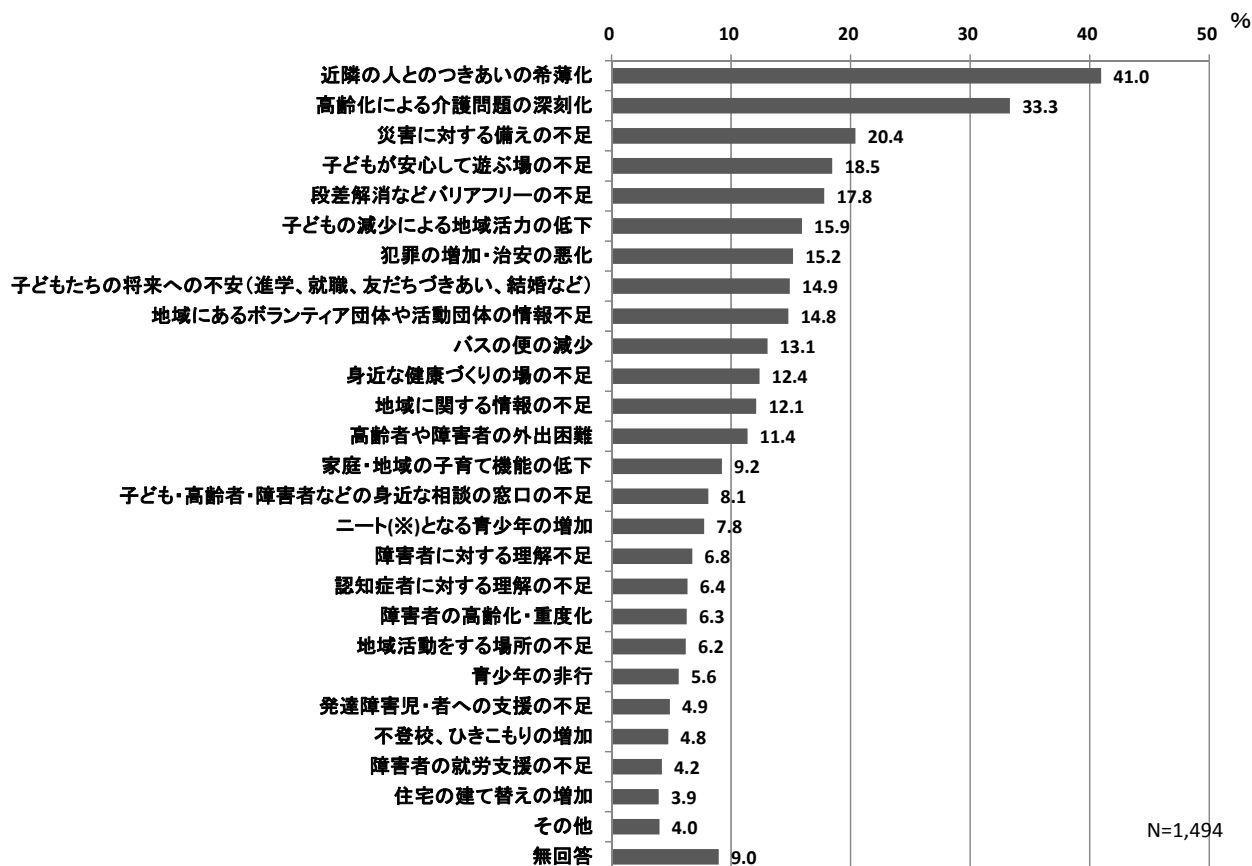
■ 同居家族別 参加してみたい地域活動(問8×F5)

- ・いずれも「文化・芸術・スポーツ」が最も多くなっている。
- ・乳幼児・未就学児がいるケースでは、「公園での花壇づくりや市民菜園等での農体験活動」「保育ボランティアなどの子育て支援活動」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問8 参加してみたい地域活動															
		合計	文化・芸術・スポーツ	身近な水辺や緑地の自然環境	公園での花壇づくりや市民菜園等での農体験活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	活動近道や公園などの清掃	在日外国人や海外との交流などの活動	保育ボランティアなどの子育て支援活動	自治会・町内会での活動	老人クラブなど地域の団体での活動	NPO団体などの活動	つくりや美しいまちなみづくりに関する活動	建物の用途や高さなどのルール域の安全活動	交通安全や防災・防犯など地域の安全活動	活動	共通の趣味等を通じた仲間の活動
全体		1494	47.4	12.0	14.6	10.4	10.1	20.5	10.8	7.0	3.7	7.3	6.6	9.8	29.5	2.5	13.7
F5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	56.0	12.7	25.3	5.4	14.5	26.5	22.3	7.8	0.0	4.2	6.0	9.0	23.5	1.8	6.0
	小学生、中学生	322	52.8	10.9	16.5	5.9	13.0	22.7	17.1	8.1	1.9	7.5	6.2	12.7	29.2	1.6	9.3
	高校生、専門学校生、大学生	318	56.3	9.4	11.9	9.4	8.8	21.4	14.5	5.3	1.6	8.5	6.9	8.8	28.9	1.6	8.2
	65歳以上の高齢者	402	34.6	9.5	11.9	13.9	10.0	17.7	9.5	10.2	7.2	6.7	6.0	10.9	28.4	3.0	19.4
	あてはまる家族はいない	434	48.2	15.9	14.7	12.0	8.5	21.9	5.8	6.0	3.5	7.6	6.7	7.1	31.1	2.8	14.5

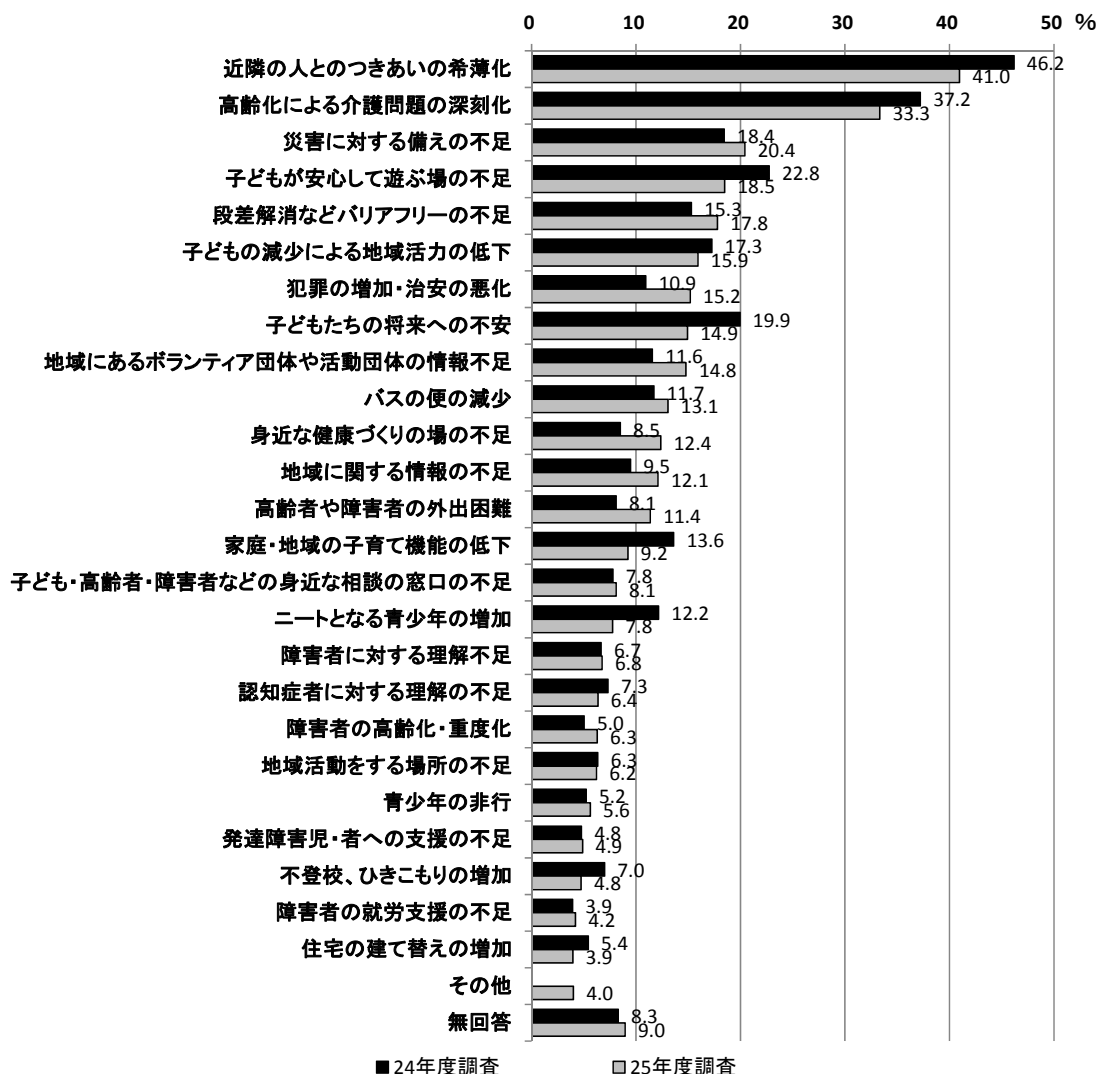
問9 あなたの住んでいる地域には、現在、どんな課題や問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多く 41.0%で、4割強の人が挙げている。次いで「高齢化による介護問題の深刻化」(33.3%)についても3割以上の方が挙げている。以下「災害に対する備えの不足」(20.4%)、「子どもが安心して遊ぶ場の不足」(18.5%)、「段差解消などバリアフリーの不足」(17.8%)、「子どもの減少による地域活力の低下」(15.9%)、「犯罪の増加・治安の悪化」(15.2%)、「子どもたちの将来への不安(進学、就職、友だちづきあい、結婚など)」(14.9%)、「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」(14.8%)などと続く。
- ・平成24年度調査と比較すると、「近隣の人とのつきあいの希薄化」「高齢化による介護問題の深刻化」が上位2項目であることに変わりはない。また、「近隣の人とのつきあいの希薄化」が5.2ポイント、「子どもたちの将来への不安」が5ポイント、「ニートとなる青少年の増加」「家庭・地域の子育て機能の低下」が4.4ポイント、「子どもが安心して遊ぶ場の不足」が4.3ポイントそれぞれ減少し、子どもに関する課題で好転している傾向が見られる。一方「犯罪の増加・治安の悪化」が4.3ポイント増加している。



※ニート(就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者)

<参考 平成 24 年度調査結果との比較>



<参考 平成 24 年度調査結果との比較 上位 16 項目>

24年度		25年度	
近隣の人とのつきあいの希薄化	46.2	近隣の人とのつきあいの希薄化	41.0
高齢化による介護問題の深刻化	37.2	高齢化による介護問題の深刻化	33.3
子どもが安心して遊ぶ場の不足	22.8	災害に対する備えの不足	20.4
子どもたちの将来への不安	19.9	子どもが安心して遊ぶ場の不足	18.5
災害に対する備えの不足	18.4	段差解消などバリアフリーの不足	17.8
子どもの減少による地域活力の低下	17.3	子どもの減少による地域活力の低下	15.9
段差解消などバリアフリーの不足	15.3	犯罪の増加・治安の悪化	15.2
家庭・地域の子育て機能の低下	13.6	子どもたちの将来への不安	14.9
ニートとなる青少年の増加	12.2	地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	14.8
バスの便の減少	11.7	バスの便の減少	13.1
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	11.6	身近な健康づくりの場の不足	12.4
犯罪の増加・治安の悪化	10.9	地域に関する情報の不足	12.1
地域に関する情報の不足	9.5	高齢者や障害者の外出困難	11.4
身近な健康づくりの場の不足	8.5	家庭・地域の子育て機能の低下	9.2
高齢者や障害者の外出困難	8.1	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	8.1
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	7.8	ニート(※)となる青少年の増加	7.8

注) 薄い網掛けは 2 つ以上順位を上げた項目、濃い網掛けは 2 つ以上順位を下げた項目

■ 年齢別 地域の課題や問題と思われる点(問9×F1)

- ・50代までの世代では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多い。60代と70代以上では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、年齢が高いほど高い数値となっている。
- ・30代では「子どもが安心して遊ぶ場の不足」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント高くなっている。

		問9 地域の課題や問題と思われる点																										
		合計	近隣の希薄化	機能の低下	家庭・地域の子育て	ぶ場の不足	子どもが安心して遊ぶ	地域活力の低下	子どもの減少による	子どもの不安	子どもたちの将来への	不足	障害者に対する理解	障害者の高齢化・重	支援の不足	発達障害児・者への	不足	障害者の就労支援の	出困難	高齢者や障害者の外	窓などの身近な相談の	子ども・高齢者・障害	フリーの不足	段差解消などバリア	悪化	犯罪の増加・治安の	青少年の非行	
	全体	1494	41.0	9.2	18.5	15.9	14.9	6.8	6.3	4.9	4.2	11.4	8.1	17.8	15.2	5.6												
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	39.3	7.5	22.5	11.0	13.3	8.1	2.3	2.9	0.0	7.5	5.8	16.2	15.0	8.1												
	30代	207	42.0	15.0	28.5	14.5	17.9	6.8	5.3	6.8	4.8	6.3	7.7	17.4	15.0	6.3												
	40代	342	36.0	13.2	21.6	15.2	24.3	7.6	3.8	7.0	5.0	8.5	8.5	12.9	17.8	5.8												
	50代	264	40.9	7.6	12.1	15.9	13.3	7.2	6.4	5.3	5.3	12.9	6.4	22.7	15.2	5.7												
	60代	245	44.5	6.5	15.9	19.6	10.2	6.1	8.6	3.3	4.5	14.7	9.8	20.8	16.3	6.1												
	70代以上	239	43.9	4.6	10.9	18.4	7.9	5.4	10.9	2.5	3.8	17.6	9.2	19.2	11.7	2.5												

		問9 地域の課題や問題と思われる点																										
		合計	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加	の増加
	全体	1494	4.8	7.8	33.3	6.4	14.8	6.2	12.4	20.4	12.1	3.9	13.1	4.0	9.0													
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	5.8	8.1	20.2	4.6	7.5	8.1	9.2	19.7	10.4	4.6	16.2	4.0	8.1													
	30代	207	2.4	4.3	18.8	2.9	13.0	7.2	10.6	17.4	13.5	4.3	11.6	3.4	8.2													
	40代	342	6.4	8.2	28.4	5.8	11.7	6.7	9.9	19.9	12.3	2.6	16.4	6.1	7.6													
	50代	264	6.1	7.2	38.6	8.3	17.4	5.7	13.3	25.8	10.2	4.2	10.6	5.3	6.4													
	60代	245	4.5	10.2	44.9	7.8	19.6	4.9	17.6	20.0	11.8	4.5	9.4	2.0	10.2													
	70代以上	239	2.9	8.4	45.6	7.5	18.0	5.0	13.4	20.1	13.8	4.6	13.4	2.5	13.0													

■ 同居家族別 地域の課題や問題と思われる点(問9×F5)

- ・65歳以上の高齢者がいるケースでは「高齢化による介護問題の深刻化」、それ以外では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多い。
- ・乳幼児・未就学児、小学生、中学生の家族がいるケースでは「子どもが安心して遊ぶ場の不足」「子どもたちの将来への不安」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問9 地域の課題や問題と思われる点																
		合計	近隣の希薄化	機能の低下	家庭・地域の子育て	子どもが安心して遊ぶ場の不足	子どもたちの将来への不安	子どもたちの将来への不安	障害者に対する理解	障害者に対する理解	障害者の高齢化・重度化	発達の障害児・者への支援の不足	障害者の就労支援の不足	高齢者や障害者の外出困難	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	段差解消などバリアフリーの不足	犯罪の増加・治安の悪化	青少年の非行
	全体	1494	41.0	9.2	18.5	15.9	14.9	6.8	6.3	4.9	4.2	11.4	8.1	17.8	15.2	5.6		
F5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	35.5	14.5	28.9	15.1	26.5	6.0	3.0	7.2	3.0	3.0	4.8	13.3	16.3	5.4		
	小学生、中学生	322	35.4	14.0	28.6	18.6	30.7	6.5	5.6	7.1	5.0	7.8	6.2	15.2	19.3	7.1		
	高校生、専門学校生、大学生	318	38.7	8.8	15.7	12.9	19.2	9.4	5.3	5.7	4.1	11.0	8.5	18.2	18.2	6.9		
	65歳以上の高齢者	402	44.0	7.2	17.7	19.7	10.9	6.5	9.2	4.7	3.7	18.4	10.7	22.1	13.9	4.0		
	あてはまる家族はいない	434	43.8	9.0	14.1	14.5	6.0	7.4	5.5	4.8	5.3	9.2	7.8	16.8	13.4	6.5		

		問9 地域の課題や問題と思われる点															
		合計	不登校、ひきこもり	増加となる青少年	課題の深刻化	高齢化による介護問題	認知症者に対する理解	ボランティア活動団体の不足	地域にあるボランティア活動団体の不足	地域活動をする場所	身近な健康づくりの場	災害に対する備えの不足	地域に関する情報の不足	住宅の建て替えの増	バスの便の減少	その他	無回答
	全体	1494	4.8	7.8	33.3	6.4	14.8	6.2	12.4	20.4	12.1	3.9	13.1	4.0	9.0		
F5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	4.8	4.2	16.3	0.6	10.2	3.6	9.6	17.5	9.6	3.0	14.5	3.6	8.4		
	小学生、中学生	322	8.4	9.3	27.0	3.7	12.1	7.5	12.4	20.2	11.8	3.7	14.0	3.4	8.4		
	高校生、専門学校生、大学生	318	8.5	10.4	36.2	6.6	15.7	7.2	11.6	22.0	9.1	2.8	16.4	3.5	6.3		
	65歳以上の高齢者	402	3.5	8.2	44.3	10.4	17.2	7.2	14.2	21.1	11.2	5.2	14.9	4.2	8.5		
	あてはまる家族はいない	434	3.2	6.5	28.8	6.2	15.0	5.5	13.1	19.4	14.7	3.9	8.5	5.5	9.9		

■ 居住地区別 地域の課題や問題と思われる点(問9×F8)

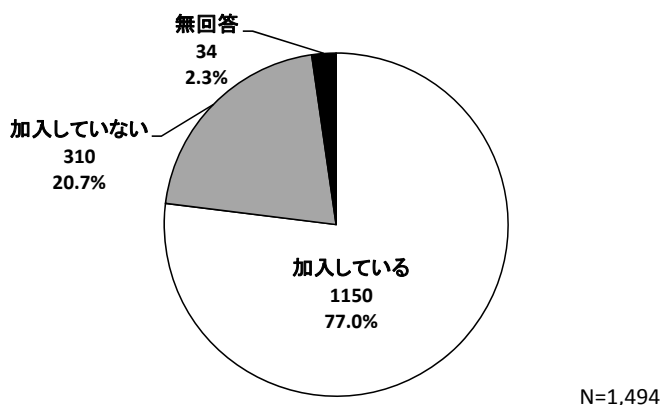
- ・市ケ尾連合自治会、すすき野連合自治会では「高齢化による介護問題の深刻化」、それ以外では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多く、中里連合自治会ではこの2つが同率となっている。
- ・中里北部連合町内会、すすき野連合自治会では「子どもの減少による地域活力の低下」、市ケ尾連合自治会では「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」、奈良町、奈良北団地連合自治会では「バスの便の減少」が、それぞれ区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

	合計	問9 地域の課題や問題と思われる点																
		近隣の希薄化	機能の低下	家庭の子育て	子どもの安心	地域活力の低下	子どもの減少	子どもの将来への不安	障害者に対する理解	障害者の高齢化・重度化	障害者の高齢化・重度化	支援の不足	発達障害児・者への	障害者の就労支援の	高齢者や障害者の外出困難	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	段差解消などバリアフリーの不足	犯罪の増加・治安の悪化
全体	1494	41.0	9.2	18.5	15.9	14.9	6.8	6.3	4.9	4.2	11.4	8.1	17.8	15.2	5.6			
F8 住んでいる町(統合)	中里連合自治会	81	35.8	6.2	17.3	17.3	13.6	6.2	4.9	3.7	6.2	6.2	19.8	16.0	2.5			
	中里北部連合町内会	87	41.4	5.7	16.1	28.7	17.2	5.7	8.0	3.4	12.6	6.9	18.4	23.0	11.5			
	市ケ尾連合自治会	78	30.8	15.4	24.4	6.4	23.1	5.1	6.4	5.1	2.6	17.9	14.1	16.7	21.8	5.1		
	上谷本連合町内会	78	44.9	6.4	14.1	17.9	14.1	3.8	1.3	2.6	5.1	10.3	9.0	21.8	12.8	5.1		
	谷本連合自治会	121	43.8	9.1	22.3	13.2	15.7	6.6	5.8	3.3	4.1	15.7	6.6	20.7	10.7	10.7		
	恩田連合自治会	143	44.8	7.0	19.6	14.0	16.8	11.2	7.0	9.8	4.2	9.1	7.7	18.9	14.7	4.2		
	青葉台連合自治会	189	39.2	9.0	20.6	13.2	11.6	5.8	6.9	3.2	4.2	13.2	8.5	17.5	13.2	3.7		
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	37.9	12.9	14.7	19.8	18.1	9.5	7.8	6.9	4.3	15.5	11.2	16.4	16.4	6.0		
	山内連合自治会	203	40.4	8.4	21.7	16.7	8.9	6.4	6.4	6.4	4.9	7.9	4.4	17.7	20.2	6.4		
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	44.5	10.9	16.4	10.5	19.5	5.5	6.8	3.6	4.1	10.9	9.1	17.3	13.6	5.9		
すすき野連合自治会	72	43.1	15.3	16.7	31.9	18.1	6.9	6.9	4.2	4.2	11.1	9.7	16.7	6.9	1.4			
美しが丘連合自治会	58	41.4	3.4	13.8	17.2	6.9	8.6	5.2	3.4	1.7	8.6	6.9	15.5	12.1	3.4			

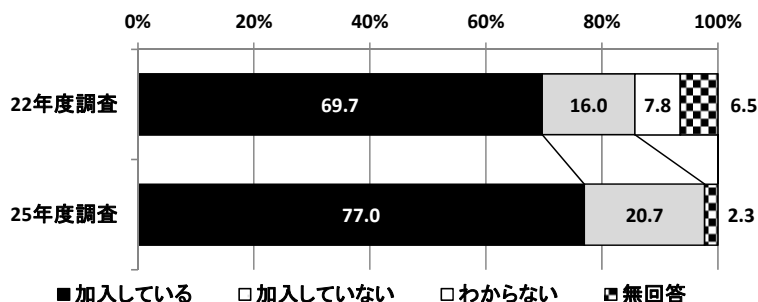
	合計	問9 地域の課題や問題と思われる点													
		不登校、ひきこもり	増加となる青少年	高齢化による介護問題	高齢化による介護問題	認知症者に対する理解	認知症者に対する理解	地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	地域活動をする場所	身近な健康づくりの場	災害に対する備えの不足	地域に関する情報の不足	住宅の建て替えの増加	バスの便の減少	その他
全体	1494	4.8	7.8	33.3	6.4	14.8	6.2	12.4	20.4	12.1	3.9	13.1	4.0	9.0	
F8 住んでいる町(統合)	中里連合自治会	81	1.2	3.7	35.8	7.4	17.3	4.9	14.8	18.5	7.4	3.7	12.3	4.9	4.9
	中里北部連合町内会	87	5.7	6.9	39.1	8.0	14.9	3.4	12.6	20.7	12.6	5.7	8.0	4.6	8.0
	市ケ尾連合自治会	78	3.8	9.0	39.7	5.1	25.6	2.6	7.7	19.2	16.7	3.8	16.7	2.6	5.1
	上谷本連合町内会	78	5.1	3.8	42.3	6.4	16.7	3.8	19.2	19.2	20.5	6.4	7.7	3.8	10.3
	谷本連合自治会	121	5.8	11.6	27.3	3.3	15.7	7.4	13.2	25.6	16.5	4.1	14.0	2.5	9.1
	恩田連合自治会	143	4.9	11.2	25.2	7.7	16.8	9.1	11.9	18.9	11.2	1.4	20.3	3.5	11.2
	青葉台連合自治会	189	4.2	4.2	32.3	5.3	12.7	9.5	12.7	24.3	10.6	4.2	3.7	3.2	9.5
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	6.0	11.2	34.5	4.3	17.2	6.0	15.5	20.7	7.8	2.6	31.9	4.3	9.5
	山内連合自治会	203	4.9	8.9	28.1	9.9	11.3	4.9	10.3	17.2	13.3	2.0	10.8	6.9	12.3
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	5.0	7.7	35.0	6.4	11.4	4.1	10.0	20.9	12.3	4.5	15.0	3.6	7.7
すすき野連合自治会	72	6.9	11.1	45.8	5.6	12.5	5.6	19.4	23.6	9.7	2.8	6.9	1.4	4.2	
美しが丘連合自治会	58	3.4	5.2	36.2	5.2	19.0	13.8	13.8	13.8	10.3	13.8	3.4	5.2	5.2	

問 10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(〇は1つだけ)

- ・「加入している」が 77.0% で全体の 4 分の 3 以上を占める。「加入していない」は 20.7% で約 2 割である。
- ・平成 22 年度調査では、「加入している」69.7%、「加入していない」16.0%、「わからない」7.8% で、加入率は当時に比べて 7.3 ポイント改善している。



<参考 平成 22 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 自治会・町内会への加入(問 10×F1)

- ・いずれも「加入している」の方が多く、60代では加入率が9割を超え、70代以上でも8割台半ばとなっており、高齢者層で加入率が高い。
- ・10代20代、30代では「加入していない」の数値が区全体の数値より10ポイント以上高く、若い世代の加入率の低さが顕著である。

		合計	問10 自治会・町内会への加入		
			加入している	加入していない	無回答
全体		1494	77.0	20.7	2.3
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	52.6	42.2	5.2
	30代	207	58.5	38.6	2.9
	40代	342	82.2	17.0	0.9
	50代	264	80.3	18.9	0.8
	60代	245	90.2	8.6	1.2
	70代以上	239	86.6	9.2	4.2

■ 居住形態別 自治会・町内会への加入(問 10×F3)

- ・「借家(共同住宅, 社宅, 公務員住宅, 寮)」のみ「加入していない」、それ以外では「加入している」の方が多くなっている。
- ・「持家(一戸建て)」では加入率が9割を超えている。

		合計	問10 自治会・町内会への加入		
			加入している	加入していない	無回答
	全体	1494	77.0	20.7	2.3
F 3 居住形態	持家(一戸建て)	718	91.8	6.1	2.1
	持家(共同住宅)	388	79.1	18.8	2.1
	借家(一戸建て)	38	89.5	10.5	0.0
	借家(共同住宅, 社宅, 公務員住宅, 寮)	315	40.3	57.1	2.5
	その他	3	66.7	33.3	0.0

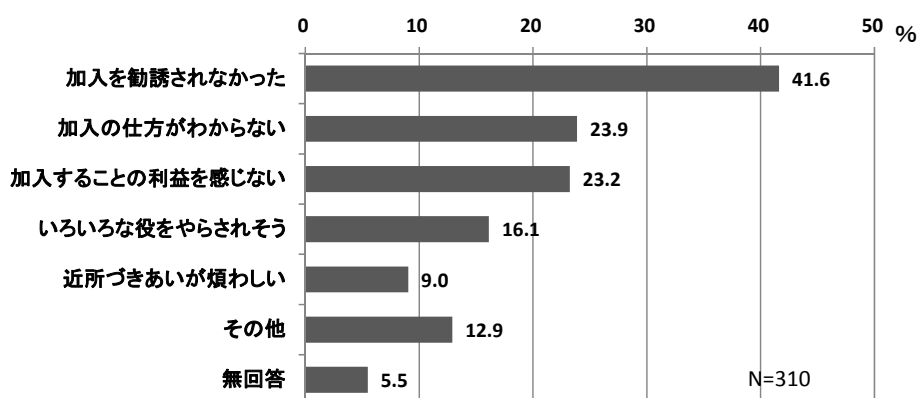
■ 居住地区別 自治会・町内会への加入(問 10×F3)

- ・いずれの地区も「加入している」の方が多く、特に中里連合自治会、中里北部連合町内会、上谷本連合町内会、谷本連合自治会、山内連合自治会、すすき野連合自治会では加入率が8割を超えている。

		合計	問10 自治会・町内会への加入		
			加入している	加入していない	無回答
	全体	1494	77.0	20.7	2.3
F 8 住んでいる町(統合)	中里連合自治会	81	84.0	11.1	4.9
	中里北部連合町内会	87	82.8	16.1	1.1
	市ヶ尾連合自治会	78	65.4	29.5	5.1
	上谷本連合町内会	78	82.1	14.1	3.8
	谷本連合自治会	121	81.0	16.5	2.5
	恩田連合自治会	143	71.3	26.6	2.1
	青葉台連合自治会	189	72.5	26.5	1.1
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	76.7	19.8	3.4
	山内連合自治会	203	81.8	17.7	0.5
	笹田、笹田西、新笹田連合自治会	220	73.6	24.5	1.8
	すすき野連合自治会	72	87.5	12.5	0.0
	美しが丘連合自治会	58	70.7	24.1	5.2

問 10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。(自治会・町内会に加入していない方のみ、○は2つまで)

- ・「加入を勧誘されなかった」が41.6%で最も多い。次いで「加入の仕方がわからない」(23.9%)「加入することの利益を感じない」(23.2%)がほぼ並ぶ。以下「いろいろな役をやらされそう」(16.1%)、「近所づきあいが煩わしい」(9.0%)と続く。
- ・「その他」(12.9%)として40件の記述があり、45件の意見が挙げられた。最も多かったのは「多忙だから」の13件、次いで「マンション自体が自治会に加入していない」の9件となっている。



「その他」意見内容

内容	件数
多忙だから	13
マンション自体が自治会に加入していない	9
賃貸のため	4
転勤・移転するため	3
周りが加入していない	3
メリットがない、わからない	3
子供がいない、成人している	2
以前もめごとがあった	2
会社の寮だから	1
会費が高いから	1
自治会はない	1
体調が悪いから	1
苦手だから	1
一人暮らしだと参加しづらい	1
	45

■ 年齢別 自治会・町内会へ加入していない理由(問 10-1×F1)

- ・いずれも「加入を勧誘されなかった」が最も多くなっている。
- ・60代では「近所づきあいが煩わしい」の数値が区全体の数値より10ポイント高い。

		合計	問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由						
			加入することの利益を感じない	いろいろな役をやらされそう	近所づきあいが煩わしい	加入を勧誘されなかった	加入の仕方がわからない	その他	無回答
全体		310	23.2	16.1	9.0	41.6	23.9	12.9	5.5
F1 年齢(統合)	10代20代	73	28.8	9.6	1.4	34.2	27.4	15.1	8.2
	30代	80	23.8	16.3	8.8	47.5	33.8	7.5	2.5
	40代	58	19.0	19.0	8.6	51.7	20.7	15.5	1.7
	50代	50	26.0	20.0	10.0	46.0	18.0	16.0	2.0
	60代	21	19.0	19.0	19.0	23.8	9.5	14.3	14.3
	70代以上	22	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1	13.6	18.2

■ 居住形態別 自治会・町内会へ加入していない理由(問 10-1×F3)

- ・持家・借家の別、一戸建て・共同住宅の別でそれぞれ比較すると、いずれも「加入を勧誘されなかった」が最も多いが、持家、一戸建てに比べて、借家、共同住宅での数値が高くなっている。

		合計	問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由						
			加入することの利益を感じない	いろいろな役をやらされそう	近所づきあいが煩わしい	加入を勧誘されなかった	加入の仕方がわからない	その他	無回答
全体		310	23.2	16.1	9.0	41.6	23.9	12.9	5.5
F3 居住形態(統合)	持家	117	24.8	18.8	8.5	26.5	18.8	18.8	9.4
	借家	184	23.4	14.7	8.7	51.6	26.1	9.8	3.3
F3 居住形態(統合)	一戸建て	48	25.0	20.8	10.4	29.2	18.8	10.4	12.5
	共同住宅	253	23.7	15.4	8.3	44.3	24.1	13.8	4.3

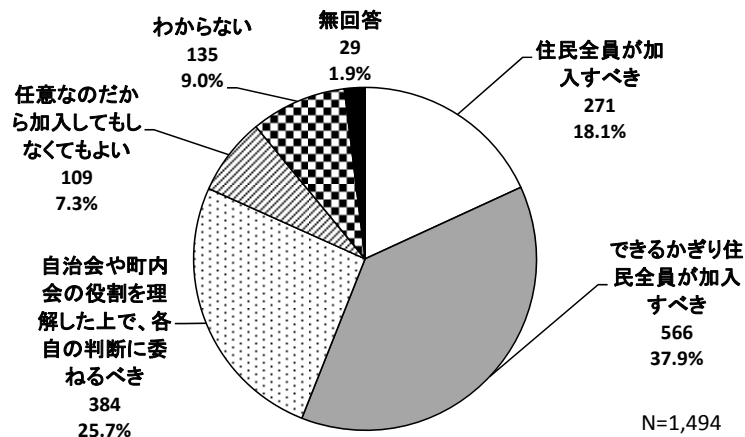
■ 同居家族別 自治会・町内会へ加入していない理由(問 10-1×F5)

- ・いずれも「加入を勧誘されなかった」が最も多く、65歳以上の高齢者がいるケースでは「加入することの利益を感じない」も同率となっている。
- ・乳幼児・未就学児がいるケースでは「加入の仕方がわからない」、高校生、専門学校生、大学生がいるケースでは「その他」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高い。

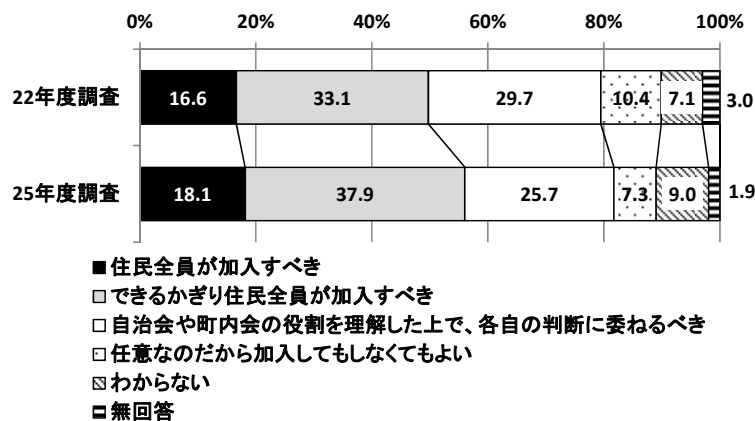
		合計	問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由						
			加入することの利益を感じない	いろいろな役をやらされそう	近所づきあいが煩わしい	加入を勧誘されなかった	加入の仕方がわからない	その他	無回答
全体		310	23.2	16.1	9.0	41.6	23.9	12.9	5.5
F5 同居家族について	乳幼児・未就学児	40	17.5	15.0	2.5	62.5	47.5	2.5	0.0
	小学生、中学生	42	23.8	21.4	14.3	33.3	19.0	19.0	2.4
	高校生、専門学校生、大学生	48	29.2	8.3	6.3	31.3	20.8	22.9	4.2
	65歳以上の高齢者	37	27.0	24.3	10.8	27.0	10.8	5.4	13.5
	あてはまる家族はいない	143	23.1	16.1	8.4	46.2	22.4	13.3	7.0

問 11 あなたは、自治会・町内会の加入について、どう思いますか。(〇は1つだけ)

- ・「できるかぎり住民全員が加入すべき」が 37.9%で最も多く、4 割弱となっている。次いで「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」が 25.7%で、全体の約 4 分の 1、「住民全員が加入すべき」は 18.1%で 2 割弱である。以下「任意なのだから加入してもしなくてもよい」(7.3%)、「わからない」(9.0%)となっている。「住民全員が加入すべき」「できるかぎり住民全員が加入すべき」を合わせると 56.0%で、自治会町内会への加入に積極的な人は過半数に達している。
- ・平成 22 年度調査と比較すると、22 年度調査では「住民全員が加入すべき」「できるかぎり住民全員が加入すべき」を合わせた数値は 49.7%と半数に達しておらず、また今回調査では「できるかぎり住民全員が加入すべき」が 4.8 ポイント増加、「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」は 4 ポイント減少しており、ここ数年で自治会・町内会への参加意識が高まった傾向がうかがえる。



< 参考 平成 22 年度調査結果との比較 >



■ 年齢別 自治会・町内会の加入についてどう思うか(問 11×F1)

- ・10代 20代では「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」、30代より上の世代では「できるかぎり住民全員が加入すべき」が最も多くなっており、30代を境に世代による意識の違いが見られた。
- ・10代 20代では「わからない」、70代以上では「住民全員が加入すべき」の数値が区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問11 自治会・町内会の加入について					無回答
			住民全員が加入すべき	できるかぎり加入すべき	委ねるべき	役割を各自の判断に	自治会や町内会の上	
全体		1494	18.1	37.9	25.7	7.3	9.0	1.9
F1 年齢(統合)	10代20代	173	8.1	21.4	31.2	11.0	26.6	1.7
	30代	207	7.7	35.7	32.9	9.7	12.6	1.4
	40代	342	14.0	37.7	30.7	9.4	6.7	1.5
	50代	264	17.8	45.1	25.8	4.9	4.5	1.9
	60代	245	24.9	44.5	19.6	5.7	4.1	1.2
	70代以上	239	35.1	38.5	14.6	2.1	5.9	3.8

■ 居住形態別 自治会・町内会の加入についてどう思うか(問 11×F3)

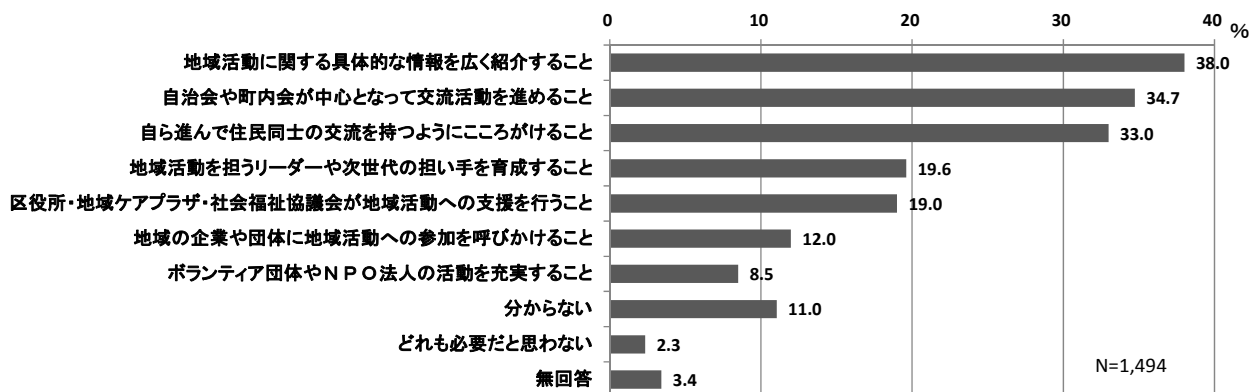
- ・「借家(共同住宅, 社宅, 公務員住宅, 寮)」のみ「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」、それ以外は「できるかぎり住民全員が加入すべき」が最も多くなっている。
- ・持家・借家の別、一戸建て・共同住宅の別でそれぞれ比較すると、借家より持家、共同住宅より一戸建てで「住民全員が加入すべき」「できるかぎり住民全員が加入すべき」の数値が高い傾向にある。

		合計	問11 自治会・町内会の加入について					無回答
			住民全員が加入すべき	できるかぎり加入すべき	委ねるべき	役割を各自の判断に	自治会や町内会の上	
全体		1494	18.1	37.9	25.7	7.3	9.0	1.9
F3 居住形態	持家(一戸建て)	718	25.5	43.6	20.1	4.2	4.9	1.8
	持家(共同住宅)	388	14.7	41.2	26.0	6.7	9.5	1.8
	借家(一戸建て)	38	10.5	39.5	31.6	7.9	10.5	0.0
	借家(共同住宅, 社宅, 公務員住宅, 寮)	315	7.9	21.3	38.4	14.0	16.2	2.2
	その他	3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
F3 居住形態(統合)	持家	1106	21.7	42.8	22.2	5.1	6.5	1.8
	借家	353	8.2	23.2	37.7	13.3	15.6	2.0
F3 居住形態(統合)	一戸建て	756	24.7	43.4	20.6	4.4	5.2	1.7
	共同住宅	703	11.7	32.3	31.6	10.0	12.5	2.0

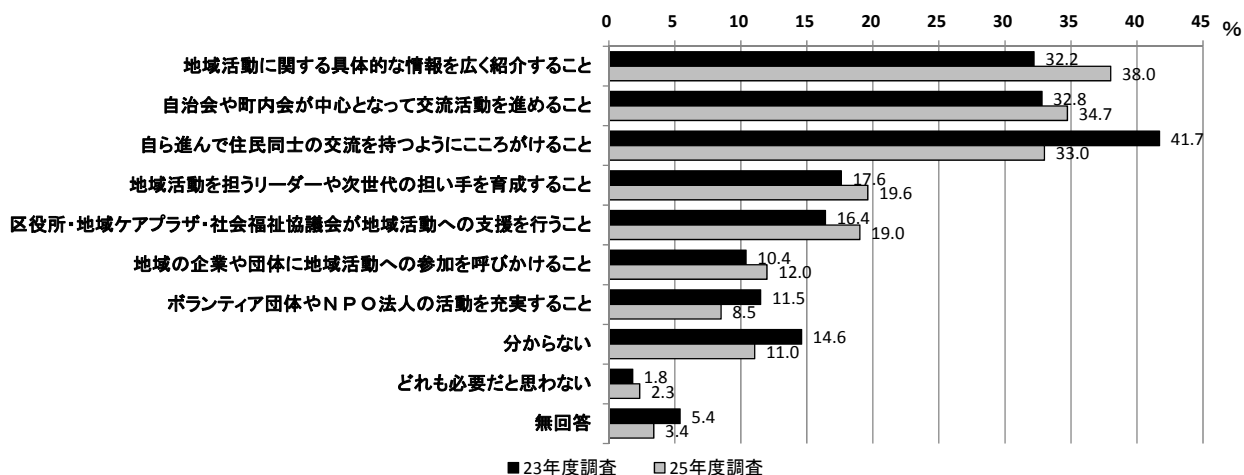
問 12 地域住民同士の協力関係を活性化するために必要なことは何だと思えますか。

(○は3つまで)

- ・「地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること」が 38.0%、「自治会や町内会が中心となって交流活動を進めること」が 34.7%、「自ら進んで住民同士の交流を持つようにこころがけること」が 33.0%で、これらは3割を超える人が挙げている。以下「地域活動を担うリーダーや次世代の担い手を育成すること」(19.6%)、「区役所・地域ケアプラザ・社会福祉協議会が地域活動への支援を行うこと」(19.0%)などと続く。
- ・平成 23 年度調査と比較すると、23 年度調査で3位だった「地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること」が今回は 5.8 ポイント増加し、1位となっている。また、前回1位だった「自ら進んで住民同士の交流を持つようにこころがけること」は 8.7 ポイント減少し、3位に後退している。



<参考 平成 23 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 地域住民同士の協力関係を活性化するために必要なこと(問 12×F1)

- ・10代 20代と 70代以上で「自治会や町内会が中心となって交流活動を進めること」、それ以外では「地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること」が最も多くなっている。

		問12 地域住民同士の協力関係を活性化するために必要なこと																		
		合計	となつて自治会や町内会が中心と	こと	自ら進んで住民同士の交流	情報活動を広く紹介すること	地域活動に関する具体的な	こと	次世代の担い手を育成する	地域活動を担うリーダーや	法人の活動を充実すること	ボランティア団体やNPO	支援を行うこと	会福祉協議会が地域活動への	区役所・地域ケアプラザ・社	と動への参加を呼びかけるこ	地域の企業や団体に地域活	分らない	どれも必要だと思わない	無回答
全体		1494	34.7	33.0	38.0	19.6	8.5	19.0	12.0	11.0	2.3	3.4								
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	34.1	31.2	31.8	15.6	8.1	15.6	8.7	14.5	3.5	1.2								
	30代	207	31.4	32.9	39.1	19.3	7.2	11.6	15.9	13.0	3.9	1.9								
	40代	342	32.5	35.1	38.6	20.2	9.1	19.3	14.0	9.9	2.9	1.8								
	50代	264	32.6	34.5	40.9	21.2	7.2	16.7	11.4	9.8	1.5	4.2								
	60代	245	38.8	35.5	43.3	17.1	11.0	23.3	11.4	6.5	1.2	4.1								
	70代以上	239	40.6	28.0	33.5	23.0	7.5	26.4	10.0	13.0	0.8	7.1								

■ 居住形態別 地域住民同士の協力関係を活性化するために必要なこと(問 12×F3)

- ・「持家(一戸建て)」では「自治会や町内会が中心となって交流活動を進めること」、
- 「借家(一戸建て)」では「自ら進んで住民同士の交流を持つようにこころがけること」、
- 「持家(共同住宅)」「借家(共同住宅, 社宅, 公務員住宅, 寮)」では「地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること」が最も多くなっている。
- ・「借家(一戸建て)」では「分らない」の数値が区全体の数値に比べて高い。

		問12 地域住民同士の協力関係を活性化するために必要なこと																		
		合計	となつて自治会や町内会が中心と	こと	自ら進んで住民同士の交流	情報活動を広く紹介すること	地域活動に関する具体的な	こと	次世代の担い手を育成する	地域活動を担うリーダーや	法人の活動を充実すること	ボランティア団体やNPO	支援を行うこと	会福祉協議会が地域活動への	区役所・地域ケアプラザ・社	と動への参加を呼びかけるこ	地域の企業や団体に地域活	分らない	どれも必要だと思わない	無回答
全体		1494	34.7	33.0	38.0	19.6	8.5	19.0	12.0	11.0	2.3	3.4								
F 3 居住形 態	持家(一戸建て)	718	38.4	37.5	35.4	19.6	8.2	20.3	13.2	8.6	1.7	3.3								
	持家(共同住宅)	388	34.0	31.2	41.2	21.1	9.3	20.9	9.5	11.3	2.6	3.4								
	借家(一戸建て)	38	31.6	42.1	26.3	15.8	5.3	5.3	7.9	21.1	0.0	0.0								
	借家(共同住宅, 社宅, 公務員住宅, 寮)	315	28.9	24.8	43.2	18.1	8.3	15.9	13.0	14.0	3.2	3.8								
	その他	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3								

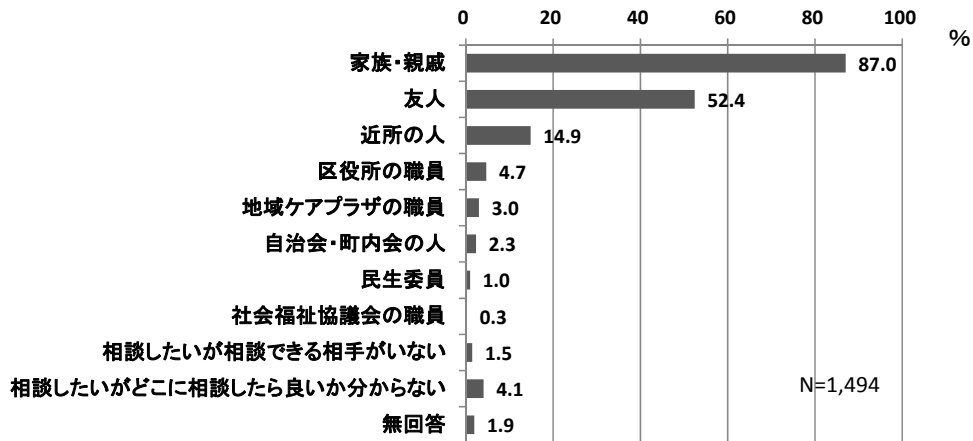
■ 居住地区別 地域住民同士の協力関係を活性化するために必要なこと(問 12×F8)

- ・中里連合自治会、上谷本連合町内会、青葉台連合自治会、すすき野連合自治会では「自治会や町内会が中心となって交流活動を進めること」、中里北部連合町内会、奈良町、奈良北団地連合自治会では「自ら進んで住民同士の交流を持つようにこころがけること」、市ヶ尾連合自治会、谷本連合自治会、恩田連合自治会、山内連合自治会、美しが丘連合自治会では「地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること」が最も多く、荏田、荏田西、新荏田連合自治会では「自治会や町内会が中心となって交流活動を進めること」「地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること」が同率となっている。
- ・すすき野連合自治会では「地域活動を担うリーダーや次世代の担い手を育成すること」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高い。

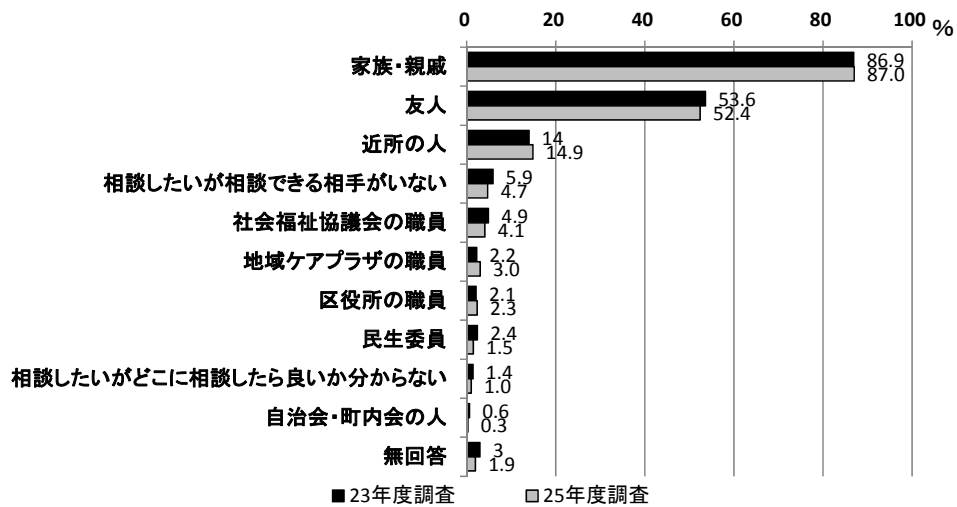
		合計	問12 地域住民同士の協力関係を活性化するために必要なこと									
			となつて交流活動を進めること	自治会や町内会が中心となること	自ら進んで住民同士の交流	地域活動を広く紹介すること	地域活動を担うリーダーや次世代の担い手を育成すること	法人の活動を充実すること	ボランティア団体やNPOの活動を呼びかけること	区役所・地域ケアプラザ・社会福祉協議会が地域活動への支援を行うこと	地域への参加を呼びかけること	地域企業や団体に地域活動への参加を呼びかけること
	全体	1494	34.7	33.0	38.0	19.6	8.5	19.0	12.0	11.0	2.3	3.4
F8 住んでいる町(統合)	中里連合自治会	81	38.3	34.6	30.9	13.6	4.9	17.3	18.5	12.3	2.5	3.7
	中里北部連合町内会	87	27.6	32.2	31.0	17.2	8.0	19.5	4.6	13.8	0.0	5.7
	市ヶ尾連合自治会	78	30.8	29.5	34.6	25.6	14.1	24.4	17.9	14.1	3.8	2.6
	上谷本連合町内会	78	37.2	29.5	34.6	16.7	12.8	25.6	15.4	11.5	2.6	5.1
	谷本連合自治会	121	30.6	26.4	51.2	19.0	5.8	15.7	18.2	11.6	0.8	4.1
	恩田連合自治会	143	30.1	34.3	44.8	22.4	9.8	18.9	14.7	9.1	3.5	2.1
	青葉台連合自治会	189	38.1	34.4	32.8	17.5	6.3	16.9	8.5	13.8	5.3	3.2
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	33.6	37.9	32.8	25.0	8.6	19.0	8.6	10.3	1.7	3.4
	山内連合自治会	203	36.9	33.0	38.9	18.2	9.4	18.2	11.3	9.9	0.5	3.4
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	36.8	33.2	36.8	15.9	8.6	24.1	11.4	9.5	2.7	2.3
	すすき野連合自治会	72	44.4	37.5	38.9	33.3	9.7	6.9	8.3	8.3	1.4	1.4
美しが丘連合自治会	58	32.8	32.8	43.1	24.1	8.6	20.7	10.3	12.1	1.7	3.4	

問 13 日常生活のうえで、困ったときに、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

- ・「家族・親戚」が圧倒的に多く 87.0%で、9割近い人が挙げている。次いで「友人」が 52.4%で、半数強の人が挙げている。次に「近所の人」が 14.9%となっている。
- ・平成 23 年度調査においても、「家族・親戚」が 9割近い圧倒的多数に達し、次いで「友人」が 5割強となっており、傾向に変化は見られない。



< 参考 平成 23 年度調査結果との比較 >



■ 年齢別 日常生活で、困った時に相談する人(問 13×F1)

- ・いずれも「家族」が最も多く、40代までの世代では9割を超えている。
- ・10代20代、30代では「友人」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高い。

		合計	問13 日常生活で、困った時に相談する人										
			家族・親戚	友人	近所の人	人自治会・町内会の	民生委員	区役所の職員	職員地域ケアプラザの	職員社会福祉協議会の	いできる相手がいない	相談したくないが相談したい	相談したくないが相談したい
全体		1494	87.0	52.4	14.9	2.3	1.0	4.7	3.0	0.3	1.5	4.1	1.9
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	90.8	68.2	3.5	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.6	4.0	1.2
	30代	207	92.3	65.7	12.6	0.5	0.5	3.9	0.0	0.0	1.0	3.9	1.4
	40代	342	90.1	57.3	18.7	0.9	0.0	3.2	0.9	0.0	1.5	3.2	2.0
	50代	264	84.5	49.2	14.4	0.4	0.4	4.5	2.3	0.0	2.7	3.8	1.5
	60代	245	82.0	47.3	19.6	4.9	1.2	8.2	4.1	1.2	1.6	3.7	3.3
	70代以上	239	83.3	31.4	15.9	7.1	3.8	6.3	10.9	0.4	0.8	6.3	2.1

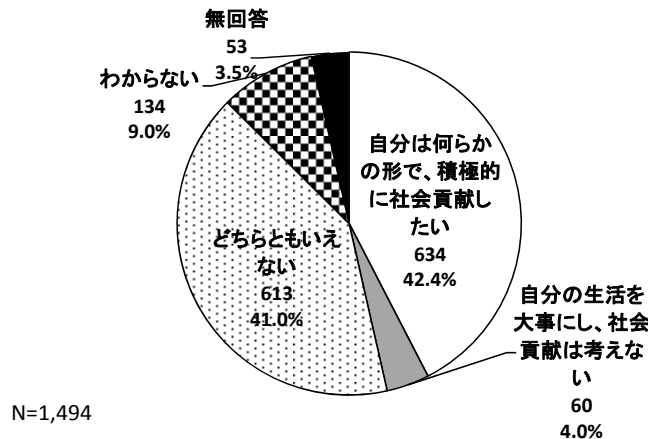
■ 同居家族別 日常生活で、困った時に相談する人(問 13×F5)

- ・いずれも「家族」が最も多く、乳幼児・未就学児、小学生、中学生の家族がいるケースでは9割を超えている。
- ・乳幼児・未就学児のいるケースでは「友人」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高い。

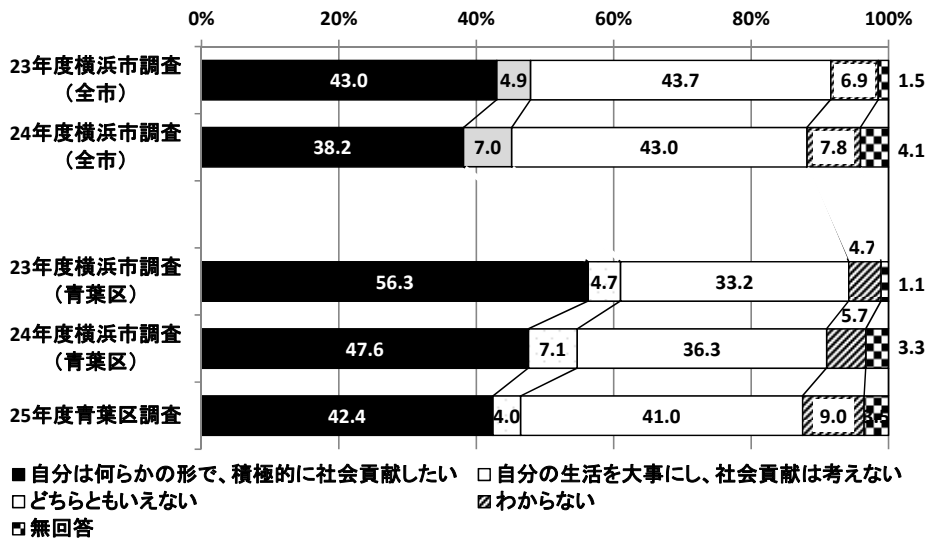
		合計	問13 日常生活で、困った時に相談する人										
			家族・親戚	友人	近所の人	人自治会・町内会の	民生委員	区役所の職員	職員地域ケアプラザの	職員社会福祉協議会の	いできる相手がいない	相談したくないが相談したい	相談したくないが相談したい
全体		1494	87.0	52.4	14.9	2.3	1.0	4.7	3.0	0.3	1.5	4.1	1.9
F 5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	92.8	64.5	15.1	0.6	0.6	2.4	0.0	0.0	0.6	3.0	1.2
	小学生、中学生	322	92.5	62.1	21.7	0.9	0.0	3.4	0.9	0.0	0.6	2.8	1.2
	高校生、専門学校生、大学生	318	89.0	52.8	15.4	0.6	0.6	2.8	1.3	0.0	0.6	3.5	1.3
	65歳以上の高齢者	402	83.6	47.3	14.2	4.5	1.7	6.2	7.7	0.5	2.5	4.2	2.7
	あてはまる家族はいない	434	85.3	48.2	12.7	1.8	0.9	4.8	1.8	0.2	1.6	6.0	2.5

問 14 あなたは社会貢献についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

- ・「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が42.4%で最も多いが、「どちらともいえない」も41.0%で拮抗している。「わからない」は9.0%、「自分の生活を大事にし、社会貢献は考えない」は4.0%である。
- ・横浜市民意識調査をしてみると、横浜市全市については、平成23年度調査では「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が「どちらともいえない」と拮抗して4割台になっていたのに対し、翌24年度調査においては4.8ポイント減少し3割台となっている。青葉区だけの数値をみると、平成23年度は「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が56.3%で過半数に達し、翌24年度調査では8.7ポイント減少しているものの5割近くを維持している。今回調査では「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が「どちらともいえない」を僅かながら上回り、青葉区では市全体と比較すると社会貢献への意欲は格段に高い傾向にあるが、経年変化では年々数値が減少している。



<参考 平成23年度、24年度横浜市民意識調査との比較>



■ 年齢別 社会貢献についての考え方(問 14×F1)

- ・10代20代、40代、50代、70代以上では「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」、30代と60代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

		合計	問14 社会貢献について考え方				
			的の自 たに形分 い社では 会、何 貢積ら 献極か	な会大自 い貢事分 献にの はし生 考、活 え社を	えど なち いら とも い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1494	42.4	4.0	41.0	9.0	3.5
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	50.9	6.9	32.9	8.7	0.6
	30代	207	43.0	1.9	43.5	9.7	1.9
	40代	342	46.2	1.8	44.2	5.6	2.3
	50代	264	42.4	1.5	41.7	11.7	2.7
	60代	245	39.2	4.5	44.9	6.9	4.5
	70代以上	239	36.0	8.8	35.1	11.3	8.8

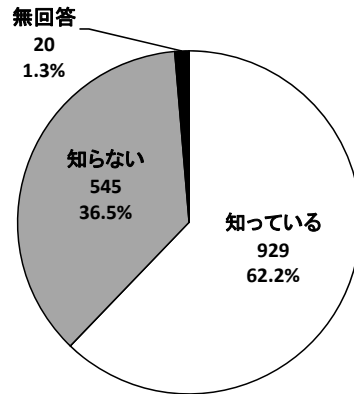
■ 職業別 社会貢献についての考え方(問 14×F7)

- ・「自営業・自由業」「自営業の家族従業者」「正社員、正職員」「学生」では「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が最も多く、「学生」では6割に達している。「契約社員、派遣社員、嘱託職員」「アルバイト、パート」「家事専業(主夫・主婦)」「無職」「その他」では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・職業の有無でみると、職業ありでは「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」、職業なしでは「どちらともいえない」が最も多くなっている。

		合計	問14 社会貢献について考え方				
			的の自 たに形分 い社では 会、何 貢積ら 献極か	な会大自 い貢事分 献にの はし生 考、活 え社を	えど なち いら とも い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1494	42.4	4.0	41.0	9.0	3.5
F 7 職業	自営業・自由業	107	51.4	0.9	35.5	9.3	2.8
	自営業の家族従業者	18	44.4	5.6	38.9	11.1	0.0
	正社員、正職員	430	49.1	2.6	40.2	6.5	1.6
	契約社員、派遣社員、嘱託職員	76	35.5	2.6	48.7	6.6	6.6
	アルバイト、パート	168	38.7	3.0	46.4	8.9	3.0
	学生	85	60.0	8.2	22.4	8.2	1.2
	家事専業(主夫・主婦)	372	34.9	3.5	46.0	10.8	4.8
	無職	195	36.9	8.7	37.4	10.3	6.7
	その他	15	33.3	6.7	46.7	13.3	0.0
F 7 職業 (統合)	職業あり	799	45.8	2.5	41.7	7.5	2.5
	職業なし	652	38.8	5.7	40.3	10.3	4.9

問 15 地域ケアプラザを知っていますか。(〇は1つだけ)

・「知っている」が62.2%で「知らない」の36.5%を25.7ポイント上回っている。



N=1,494

ケアプラザエリア図



地域ケアプラザ：誰もが住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるように、福祉・保健サービス等を身近な場所で総合的に提供し、どなたにでもご利用できる地域のみなさんの施設です。各種講座・教室の開催、広報誌などを通じての情報提供、地域での活動・交流の場として会場の貸し出し等を行っています。また、保健師等・社会福祉士・主任ケアマネジャーなどの専門スタッフが、各種相談や介護予防のケアプラン作成などに応じる地域包括支援センターがあります。

■ 年齢別 地域ケアプラザの認知度(問 15×F1)

- ・10代20代では「知らない」、30代より上の世代では「知っている」の方が多い。

		合計	問15 地域ケアプラザの認知度		
			知っている	知らない	無回答
全体		1494	62.2	36.5	1.3
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	35.8	63.6	0.6
	30代	207	54.1	44.9	1.0
	40代	342	65.5	33.9	0.6
	50代	264	65.2	34.1	0.8
	60代	245	71.4	26.9	1.6
	70代以上	239	71.1	25.5	3.3

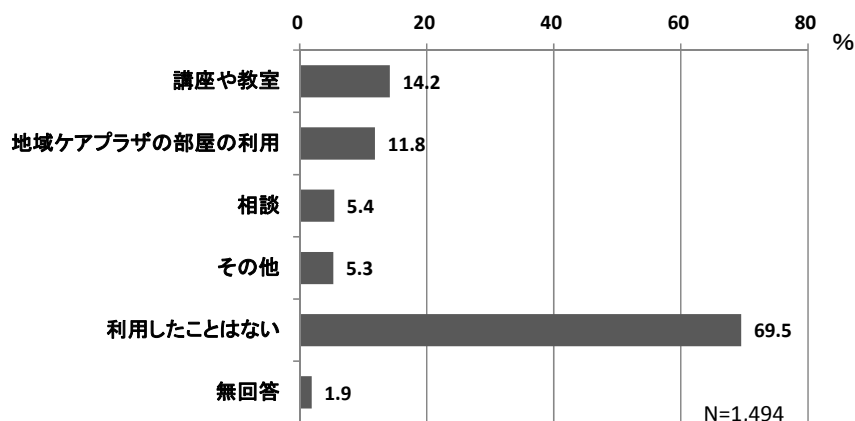
■ 居住地区別 地域ケアプラザの認知度(問 15×F8)

- ・すすき野連合自治会のみ「知っている」「知らない」が同率、それ以外ではいずれも「知っている」の方が多い。

		合計	問15 地域ケアプラザの認知度		
			知っている	知らない	無回答
全体		1494	62.2	36.5	1.3
F8 住んで いる町(統 合)	中里連合自治会	81	79.0	21.0	0.0
	中里北部連合町内会	87	78.2	19.5	2.3
	市ヶ尾連合自治会	78	50.0	46.2	3.8
	上谷本連合町内会	78	65.4	32.1	2.6
	谷本連合自治会	121	53.7	43.0	3.3
	恩田連合自治会	143	65.0	35.0	0.0
	青葉台連合自治会	189	61.9	38.1	0.0
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	69.0	28.4	2.6
	山内連合自治会	203	65.0	34.5	0.5
	笹田、笹田西、新笹田連合自治会	220	55.0	44.1	0.9
	すすき野連合自治会	72	50.0	50.0	0.0
	美しが丘連合自治会	58	63.8	34.5	1.7

問 16 地域ケアプラザをどんな目的で利用したことがありますか。

- ・「利用したことはない」が 69.5% で最も多く、約 7 割の人が挙げている。これを除くと、「講座や教室」（14.2%）、「地域ケアプラザの部屋の利用」（11.8%）、「相談」（5.4%）、「その他」（5.3%）の順で続く。



■ 同居家族別 地域ケアプラザを利用する目的（問 16×F5）

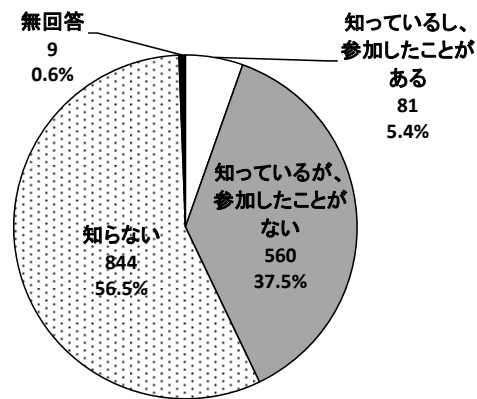
- ・いずれも「利用したことはない」が最も多く、特にあてはまる家族がいないケースでは数値が高い。一方乳幼児・未就学児がいるケースでは 20% 超が「講座や教室」と回答している。

		問16 地域ケアプラザを利用する目的						
		合計	相談	講座や教室	地域ケアプラザの部屋の利用	その他	利用したことはない	無回答
全体		1494	5.4	14.2	11.8	5.3	69.5	1.9
F 5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	4.8	20.5	18.7	7.2	59.0	0.6
	小学生、中学生	322	4.0	15.8	17.7	8.4	63.4	0.9
	高校生、専門学校生、大学生	318	3.8	11.6	16.7	6.0	68.2	1.6
	65歳以上の高齢者	402	10.2	19.2	13.4	5.5	61.4	2.2
	あてはまる家族はいない	434	5.3	9.4	6.2	3.2	80.2	2.1

6. 介護予防について

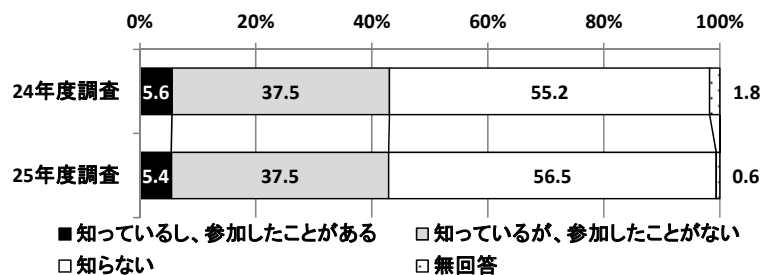
問 17 あなたは、区役所や地域ケアプラザ（包括支援センター）が、介護予防（寝たきりを予防し、いつまでも元気であるための健康づくり）の講座やプログラムを開催していることを知っていますか。（○は1つだけ）

- ・「知らない」が 56.5% で最も多く、過半数を占める。「知っているが、参加したことがない」は 37.5%、「知っているし、参加したことがある」は 5.4% にとどまっている。「知っているが、参加したことがない」「知っているし、参加したことがある」を合わせると 42.9% で、認知度は 4 割強である。
- ・平成 24 年度調査においても、「知らない」が最多で 55.2%、「知っているが、参加したことがない」は 37.5%、「知っているし、参加したことがある」は 5.6% と同様の傾向となっており、数値的にもほぼ変動はみられない。



N=1,494

< 参考 平成 24 年度調査結果との比較 >



■ 年齢別 介護予防の講座やプログラムの認知度(問 17×F1)

- ・ 50 代以下の世代では「知らない」、60 代より上の世代では「知っているが、参加したことがない」が最も多くなっており、高齢者層で認知度が高い。
- ・ 70 代以上では「知っているし、参加したことがある」の数値が区全体の数値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	問17 区役所や地域ケアプラザが開催する介護予防の講座やプログラムの認知度			
			知っているし、参加したことがある	知っているが、参加したことがない	知らない	無回答
全体		1494	5.4	37.5	56.5	0.6
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	2.3	19.1	78.0	0.6
	30代	207	1.0	29.0	70.0	0.0
	40代	342	1.8	33.9	63.7	0.6
	50代	264	3.0	39.4	57.2	0.4
	60代	245	9.0	45.7	44.5	0.8
	70代以上	239	15.5	51.9	31.4	1.3

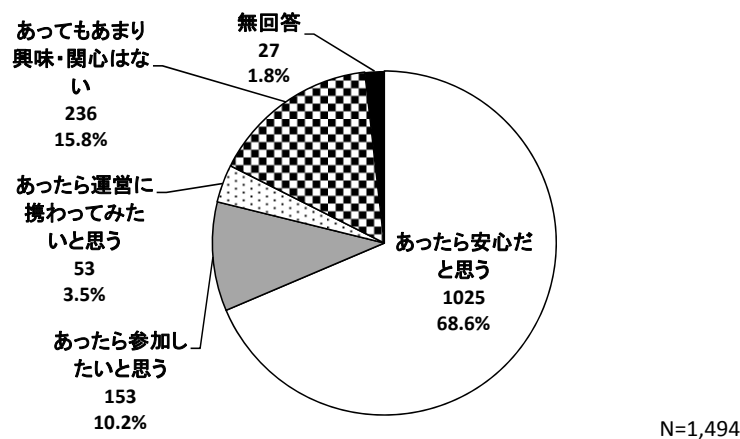
■ 同居家族別 介護予防の講座やプログラムの認知度(問 17×F5)

- ・ 65 歳以上の高齢者がいるケースのみ「知っているが、参加したことがない」が最も多く、それ以外では「知らない」が最も多くなっている。

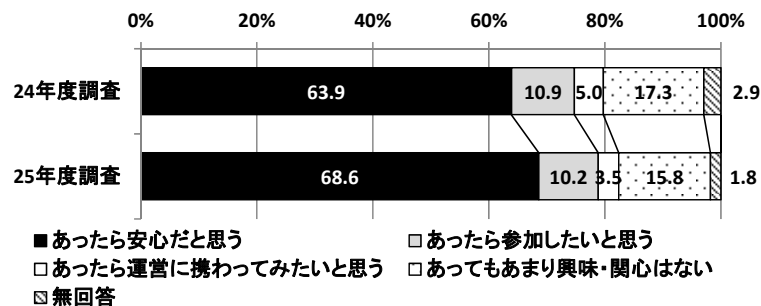
		合計	問17 区役所や地域ケアプラザが開催する介護予防の講座やプログラムの認知度			
			知っているし、参加したことがある	知っているが、参加したことがない	知らない	無回答
全体		1494	5.4	37.5	56.5	0.6
F 5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	2.4	33.7	63.9	0.0
	小学生、中学生	322	3.1	37.3	59.3	0.3
	高校生、専門学校生、大学生	318	3.5	36.2	60.1	0.3
	65歳以上の高齢者	402	10.9	45.3	42.8	1.0
	あてはまる家族はいない	434	3.9	36.4	59.2	0.5

問 18 あなたのお住まいの近くに、地域の方が運営する、健康づくり・介護予防（寝たきりを予防し、いつまでも元気であるための健康づくり）・仲間づくりを進めるための高齢者向けのグループがあったらどう思いますか。（○は1つだけ）

- ・「あったら安心だと思ふ」が最も多く 68.6%で、全体の7割近くに達している。以下「あってもあまり興味・関心はない」（15.8%）、「あったら参加したいと思ふ」（10.2%）、「あったら運営に携わってみたいと思ふ」（3.5%）の順である。
- ・平成 24 年度調査においても「あったら安心だと思ふ」が6割以上を占めており傾向に変化はないが、今年度は「あったら安心だと思ふ」の数値が 4.7 ポイント増加している。



< 参考 平成 24 年度調査結果との比較 >



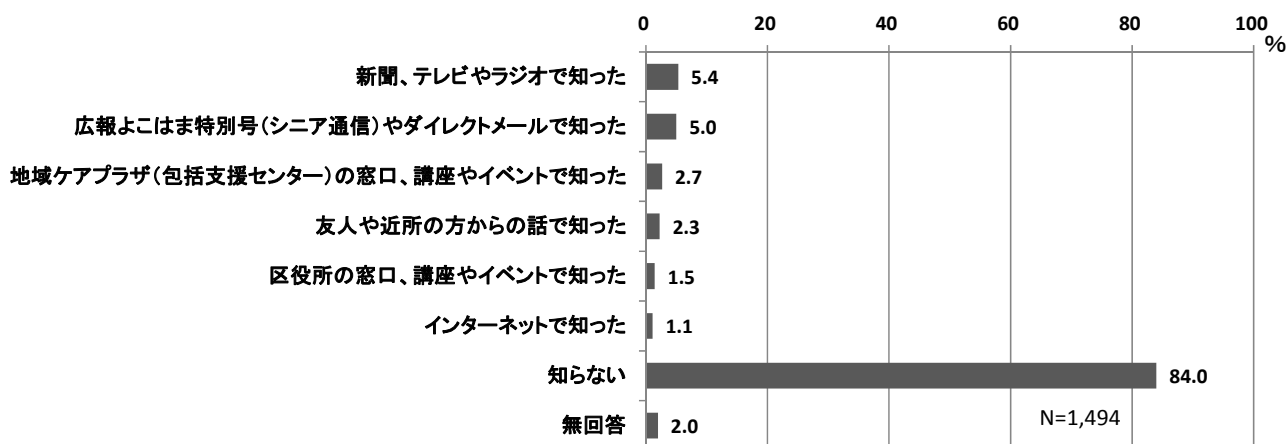
■ 年齢別 地域の方が運営する高齢者向けのグループについて(問 18×F1)

- ・いずれも「あったら安心だと思ふ」が最も多く、特に50代では8割を超えている。
- ・60代、70代以上では「あったら参加したいと思ふ」の数値が20%を超えており、高齢者層では参加意向が高い。

		合計	問18 近くに地域の方が運営する高齢者向けのグループがあったらどう思うか				
			あったら安心だと思ふ	あったら参加したいと思ふ	あったら運営に携わってみたいと思ふ	あってもあまり興味・関心はない	無回答
全体		1494	68.6	10.2	3.5	15.8	1.8
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	69.4	2.3	4.6	23.1	0.6
	30代	207	71.5	2.9	3.4	20.3	1.9
	40代	342	72.5	6.1	3.2	17.0	1.2
	50代	264	81.8	5.7	3.8	8.0	0.8
	60代	245	58.4	20.8	4.9	14.3	1.6
	70代以上	239	54.4	22.6	2.1	15.9	5.0

問 19 基本チェックリスト（厚生労働省が作成した介護予防のために、日頃の暮らしぶりや生活機能の低下を確認する25項目）を知っていますか。（〇はいくつでも）

- ・「知らない」が84.0%で突出しており、認知度は低い。これを除くと「新聞、テレビやラジオで知った」が5.4%、次いで「広報よこはま特別号（シニア通信）やダイレクトメールで知った」が5.0%となっている。



基本チェックリストの一部をご紹介します。

No.	質問項目	0点	1点
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	はい	いいえ
7	イスに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	はい	いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	はい	いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	いいえ	はい
10	転倒に対する不安は大きいですか	いいえ	はい
11	6ヶ月間で2~3Kg以上の体重減少がありましたか	いいえ	はい
12	BMIが18.5未満である あなたのBMI=体重()kg÷身長()m÷身長()m	18.5 以上	18.5 未満

No. 6~10の得点が3点以上の場合……運動器の低下に注意が必要です。

No. 11,12の得点が2点の場合……低栄養状態に注意が必要です。

介護予防のための情報や基本チェックリストは、

健康長寿ネット

検索

にも掲載されています。

■ 年齢別 基本チェックリストの認知度(問 19×F1)

- ・ いずれも「知らない」が最も多く、特に 40 代以下の世代では 9 割を超えており、若い世代での認知度が低い。
- ・ 70 代以上では「広報よこはま特別号（シニア通信）やダイレクトメールで知った」の数値が区全体の数値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	問19 基本チェックリストの認知度（厚生労働省が作成した介護予防のための25項目）							
			メディア通信で知った	広報よこはま特別号（シニア通信）やダイレクトメールで知った	ベン役所の窓口、講座やイベントで知った	支援センター（プラザ）の窓口、講座	地域ケアプラザ（包括支援センター）	で友人や近所の方から話	インターネットで知った	新聞、テレビやラジオで知った
全体		1494	5.0	1.5	2.7	2.3	1.1	5.4	84.0	2.0
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	1.2	0.0	1.2	0.6	1.7	1.2	93.6	0.6
	30代	207	1.9	0.5	0.5	1.4	0.0	1.9	92.3	1.4
	40代	342	2.0	0.3	0.9	1.2	0.9	3.2	91.8	0.6
	50代	264	2.7	0.8	2.3	2.3	1.5	5.3	86.0	0.8
	60代	245	6.1	2.9	3.3	1.2	2.0	6.1	80.8	3.3
	70代以上	239	16.3	4.6	7.9	5.9	0.8	13.0	61.1	5.4

■ 同居家族別 基本チェックリストの認知度(問 19×F5)

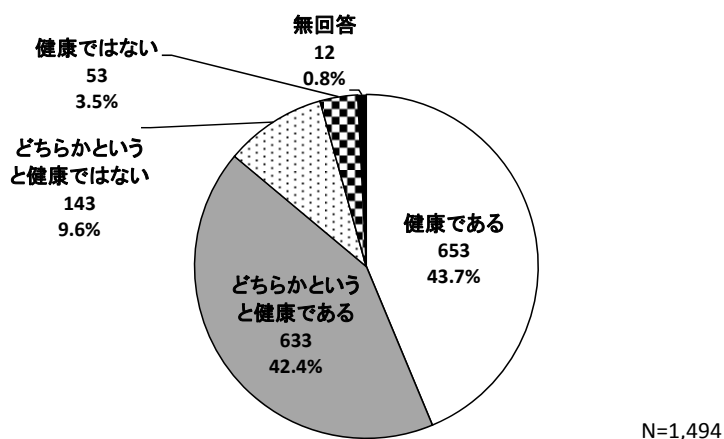
- ・ いずれも「知らない」が最も多く、家族に 65 歳以上の高齢者がいるケースでも 8 割近くが「知らない」としている。

		合計	問19 基本チェックリストの認知度（厚生労働省が作成した介護予防のための25項目）							
			メディア通信で知った	広報よこはま特別号（シニア通信）やダイレクトメールで知った	ベン役所の窓口、講座やイベントで知った	支援センター（プラザ）の窓口、講座	地域ケアプラザ（包括支援センター）	で友人や近所の方から話	インターネットで知った	新聞、テレビやラジオで知った
全体		1494	5.0	1.5	2.7	2.3	1.1	5.4	84.0	2.0
F 5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	1.8	1.2	1.2	1.2	0.0	0.6	94.0	1.2
	小学生、中学生	322	3.4	1.2	2.2	1.6	0.6	3.7	89.1	1.9
	高校生、専門学校生、大学生	318	3.8	0.9	1.3	1.9	0.9	4.7	87.4	0.9
	65歳以上の高齢者	402	8.7	1.5	5.5	3.2	1.7	8.5	76.4	3.0
	あてはまる家族はいない	434	4.8	1.6	2.1	2.1	1.6	5.1	84.3	1.2

7. 健康について

問 20 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をして下さい。(○は1つだけ)

- ・「健康である」が 43.7%、「どちらかという健康である」が 42.4%でほぼ拮抗しており、これらを合わせると 86.1%が自分の健康状態は良いと考えている。以下「どちらかという健康ではない」は 9.6%、「健康ではない」は 3.5%である。



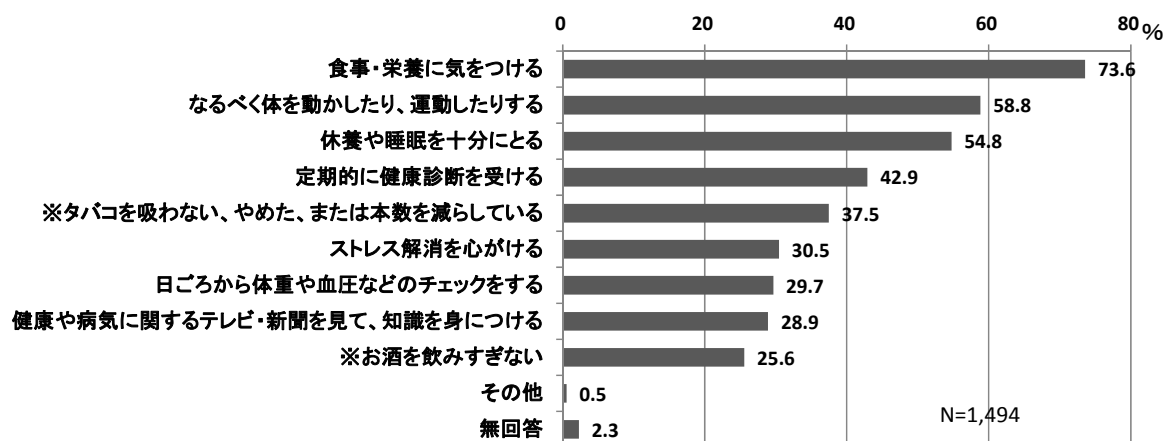
■ 年齢別 あなたの健康状態(問 20×F1)

- ・ 40 代までの世代では「健康である」、50 代以上の世代では「どちらかという健康である」が最も多くなっている。
- ・ 「どちらかという健康ではない」「健康ではない」は、年齢層が高いほど数値も高い傾向にある。

		合計	問20 あなたの健康状態				
			健康である	どちらかという健康である	どちらかという健康ではない	健康ではない	無回答
全体		1494	43.7	42.4	9.6	3.5	0.8
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	65.3	27.7	6.4	0.6	0.0
	30代	207	53.1	37.7	6.8	2.4	0.0
	40代	342	50.0	41.2	5.3	2.9	0.6
	50代	264	39.8	49.6	6.8	3.4	0.4
	60代	245	35.1	46.5	13.5	3.7	1.2
	70代以上	239	26.4	46.9	17.2	7.9	1.7

問 21 あなたはご自分の健康のために、どのようなことに気をつけていますか。(〇はいくつでも、※印の項目は 20 歳以上の方のみ)

- ・「食事・栄養に気をつける」が 73.6% で最も多く、7 割以上の方が挙げている。次いで「なるべく体を動かしたり、運動したりする」(58.8%)、「休養や睡眠を十分にとる」(54.8%) が 5 割台で続く。以下「定期的に健康診断を受ける」(42.9%)、「※タバコを吸わない、やめた、または本数を減らしている」(37.5%)、「ストレス解消を心がける」(30.5%)などの順である。



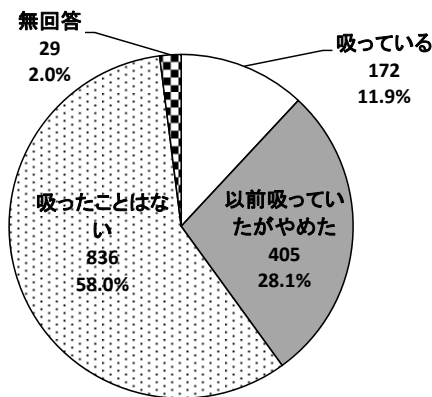
■ 年齢別 自分の健康のために、気をつけていること(問 21×F1)

- ・60代では「なるべく体を動かしたり、運動したりする」、それ以外の世代では「食事・栄養に気をつける」が最も多くなっている。
- ・50代では「定期的に健康診断を受ける」、60代では「日ごろから体重や血圧などのチェックをする」「健康や病気に関するテレビ・新聞を見て、知識を身につける」、70代以上では「なるべく体を動かしたり、運動したりする」「日ごろから体重や血圧などのチェックをする」「定期的に健康診断を受ける健康や病気に関するテレビ・新聞を見て、知識を身につける」の各項目がそれぞれ区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっており、年齢が高いほど健康のために多岐にわたった取り組みをしている。

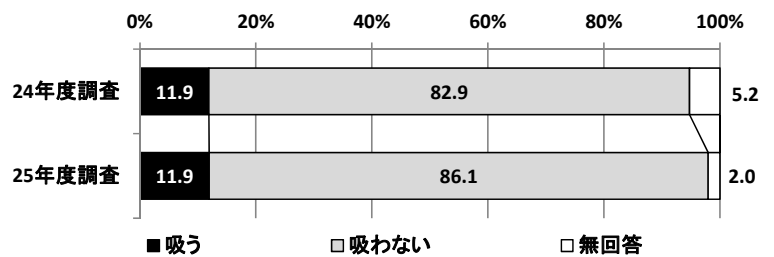
		合計	問21 自分の健康のために、気をつけていること										
			る食 事・ 栄 養 に 気 を つ け る	りな る べ く 体 を 動 か し た り す る	る休 養 や 睡 眠 を 十 分 に と る	な日 ご ろ か ら 体 重 や 血 圧 な ど の チ ェ ッ ク を す る	ける定 期 的 に 健 康 診 断 を 受 け る	るス ト レ ス 解 消 を 心 が け る	識レ ビ を 身 に 新 聞 を 見 て 、 知 識 を 身 に つ け る	健康 や 病 気 に 関 する テ レ ビ ・ 新 聞 を 見 て 、 知 識 を 身 に つ け る	減 ら し た 、 ま た は 本 数 を 減 ら し て い る	※ お 酒 を 飲 み す ぎ な い	※ お 酒 を 飲 み す ぎ な い
全体		1494	73.6	58.8	54.8	29.7	42.9	30.5	28.9	37.5	25.6	0.5	2.3
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	62.4	43.9	54.3	9.2	8.7	31.8	14.5	35.3	23.1	0.0	9.8
	30代	207	73.4	41.5	58.0	10.6	26.1	30.4	18.8	35.3	27.5	0.5	2.4
	40代	342	70.2	50.0	57.0	19.0	47.1	30.1	20.2	33.0	25.1	0.3	0.3
	50代	264	80.7	67.0	54.5	28.0	54.2	32.6	31.4	38.6	25.0	0.8	0.8
	60代	245	73.1	74.3	48.6	50.6	51.0	30.6	41.6	40.4	29.0	0.8	1.2
	70代以上	239	79.9	71.5	56.9	54.8	56.9	28.0	45.2	43.9	24.7	0.8	2.1

問 21-1 あなたはタバコを吸っていますか。(20歳以上の方のみ、○は1つだけ)

- ・「吸ったことはない」が最も多く 58.0%で、全体の6割近くを占める。次いで「以前吸っていたがやめた」が 28.1%で3割弱となっている。「吸っている」は 11.9%で、喫煙者は1割程度である。「吸ったことはない」「以前吸っていたがやめた」を合わせると 86.1%となり、非喫煙者が9割近くを占めている。
- ・平成24年度調査においても「吸う」が 11.9%で、数値は横ばいとなっている。「吸わない」は 82.9%であった。



<参考 平成24年度調査結果との比較>



N=1,442

注) 25年度調査の「吸わない」は、「以前吸っていたがやめた」「吸ったことはない」を合わせた数値となっている。

■ 年齢別 喫煙の有無(問 21-1×F1)

- ・いずれも「吸ったことはない」が最も多く、10代20代で高い数値となっている。
- ・年齢が高いほど「以前吸っていたがやめた」の数値が高い。「吸っている」の数値が最も高いのは30代である。

		合計	問21-1 喫煙の有無			
			吸っている	以前吸っていたがやめた	吸ったことはない	無回答
F 1 年齢 (統合)	全体	1442	11.9	28.1	58.0	2.0
	10代20代	121	14.0	10.7	75.2	0.0
	30代	207	18.4	20.8	59.4	1.4
	40代	342	9.4	28.1	61.1	1.5
	50代	264	13.3	29.9	55.7	1.1
	60代	245	11.8	34.3	52.7	1.2
	70代以上	239	7.1	35.1	51.9	5.9

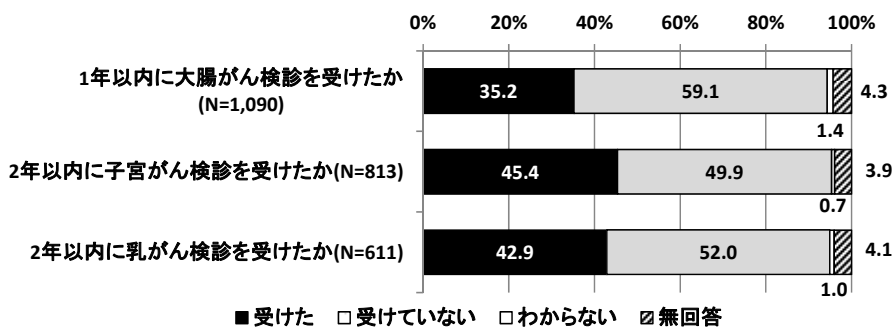
■ 男女別 喫煙の有無(問 21-1×F2)

- ・男性は「以前吸っていたがやめた」、女性は「吸ったことはない」が最も多く、男女で傾向が分かれた。また、男性は女性より「吸っている」が 14.9ポイント高い。

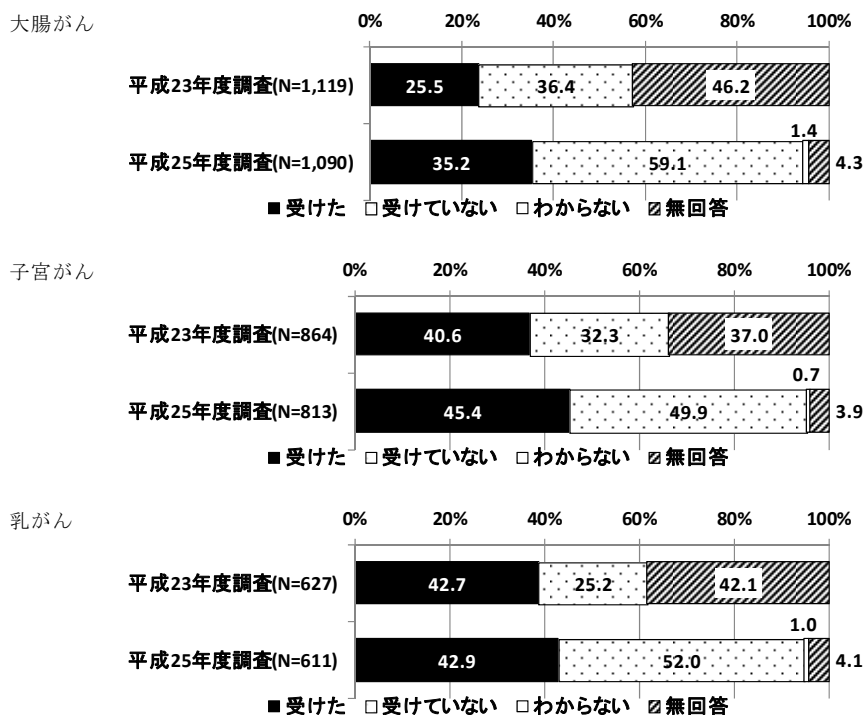
		合計	問21-1 喫煙の有無			
			吸っている	以前吸っていたがやめた	吸ったことはない	無回答
F 2 性別	全体	1442	11.9	28.1	58.0	2.0
	男性	591	20.5	46.7	31.8	1.0
	女性	819	5.6	14.3	77.4	2.7

問 22 あなたは、1年以内に大腸がん、2年以内に子宮がん、乳がん検診を受けましたか。(大腸がん、子宮がん、乳がん それぞれに○は1つ ※男性は大腸がんのみ、女性は3つのがん全てに回答)

- ・対象年齢の、大腸がん検診については40歳以上男女、子宮がん検診については20歳以上女性、乳がん検診については40歳以上女性についてみると、いずれも「受けていない」が「受けた」より高い割合となっている。
- ・大腸がんについては「受けていない」(59.1%)の方が「受けた」(35.2%)を23.9ポイント大きく上回っており、受診率が低い。
- ・子宮がん検診については、「受けていない」(49.9%)が「受けた」(45.4%)を4.5ポイント上回っている。
- ・乳がん検診については、「受けていない」(52.0%)が「受けた」(42.9%)を9.1ポイント上回っている。
- ・平成23年度調査と比較すると、選択肢は一部異なるものの、「受けた」の数値が、大腸がん検診では9.7ポイント、子宮がん検診では4.8ポイント、乳がん検診では0.2ポイント増加している。



<参考 平成23年度調査結果との比較>



■ 男女・年齢別 1年以内に大腸がん検診を受けたか(問 22①×F1、40歳以上)

- ・ 検診対象年齢の 40 歳以上について男女別にみると、いずれも「受けていない」が最も多く、男性の 40 代と 70 代以上、女性の 40 代で 6 割を超えている。
- ・ 男性の 60 代、女性の 50 代で「受けた」の数値が区全体の数値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	問22-① 1年以内に大腸がん検診を受けたか				
			受けた	受けていない	わからない	無回答	
男性全体		615	26.5	65.4	2.1	6.0	
F1 年齢 (10 歳階級)	男性	40代	145	29.0	64.8	2.8	3.4
		50代	112	34.8	59.8	0.9	4.5
		60代	105	42.9	53.3	1.0	2.9
		70代以上	106	30.2	61.3	3.8	4.7
		無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性全体		847	27.9	66.1	0.9	5.1	
F1 年齢 (10 歳階級)	女性	40代	195	30.8	64.1	2.1	3.1
		50代	150	44.7	52.0	0.7	2.7
		60代	134	37.3	59.7	0.0	3.0
		70代以上	132	34.8	54.5	0.0	10.6
		無回答	6	16.7	50.0	0.0	33.3

■ 年齢別 2年以内に子宮がん検診を受けたか(問 22②×F1、20歳以上女性のみ)

- ・ 検診対象年齢の 20 代以上女性についてみると、20 代、60 代、70 代以上では「受けていない」が最も多いが、30 代、40 代、50 代では「受けた」が最も多く、高い受診率となっている。

		合計	問22-② 2年以内に子宮がん検診を受けたか			
			受けた	受けていない	わからない	無回答
女性全体		847	44.2	51.0	0.7	4.1
F1 年齢 (10 歳階級)	20代	75	45.3	54.7	0.0	0.0
	30代	127	59.1	39.4	1.6	0.0
	40代	195	61.5	36.9	0.5	1.0
	50代	150	54.0	41.3	1.3	3.3
	60代	134	29.1	66.4	0.7	3.7
	70代以上	132	15.2	69.7	0.0	15.2
	無回答	6	66.7	33.3	0.0	0.0

■ 年齢別 2年以内に乳がん検診を受けたか(問 22③×F1、40歳以上女性のみ)

- ・ 検診対象年齢の 40 代以上女性についてみると、60 代、70 代以上では「受けていない」、40 代、50 代では「受けた」が最も多くなっており、中年層で受診率が高く、高齢者層で低くなっている。

		合計	問22-③ 2年以内に乳がん検診を受けたか			
			受けた	受けていない	わからない	無回答
全体		847	37.7	57.4	0.7	4.3
F1 年齢 (10 歳階級)	40代	195	57.9	40.5	0.5	1.0
	50代	150	54.7	42.7	0.7	2.0
	60代	134	33.6	61.2	2.2	3.0
	70代以上	132	16.7	70.5	0.8	12.1
	無回答	6	50.0	33.3	0.0	16.7

■ 健康状態別 1年以内に大腸がん検診を受けたか(問 22①×問 20、40歳以上)

- ・ 検診対象年齢の 40 歳以上について健康状態別にみると、いずれも「受けていない」が最も多くなっている。

		合計	問22-① 1年以内に大腸がん検診を受けたか			
			受けた	受けていない	わからない	無回答
全体		1090	35.2	59.1	1.4	4.3
問20 あなたの健康状態	健康である	425	36.7	58.6	1.2	3.5
	どちらかという健康である	498	34.9	60.0	1.6	3.4
	どちらかという健康ではない	110	32.7	60.9	0.9	5.5
	健康ではない	47	34.0	55.3	2.1	8.5
	無回答	10	20.0	30.0	0.0	50.0

■ 健康状態別 2年以内に子宮がん検診を受けたか(問 22②×問 20、20歳以上女性のみ)

- ・ 検診対象年齢の 20 歳以上女性のみでみると、「健康である」ではわずかながら「受けた」の方が多く、それ以外は「受けていない」が多くなっており、健康状態がよい人ほど受診率が高い。

		合計	問22-② 2年以内に子宮がん検診を受けたか			
			受けた	受けていない	わからない	無回答
全体		813	45.4	49.9	0.7	3.9
問20 あなたの健康状態	健康である	338	49.1	48.5	0.9	1.5
	どちらかという健康である	357	45.9	48.7	0.6	4.8
	どちらかという健康ではない	80	38.8	56.3	0.0	5.0
	健康ではない	29	24.1	65.5	3.4	6.9
	無回答	9	11.1	44.4	0.0	44.4

■ 健康状態別 2年以内に乳がん検診を受けたか(問 22③×問 20、40歳以上女性のみ)

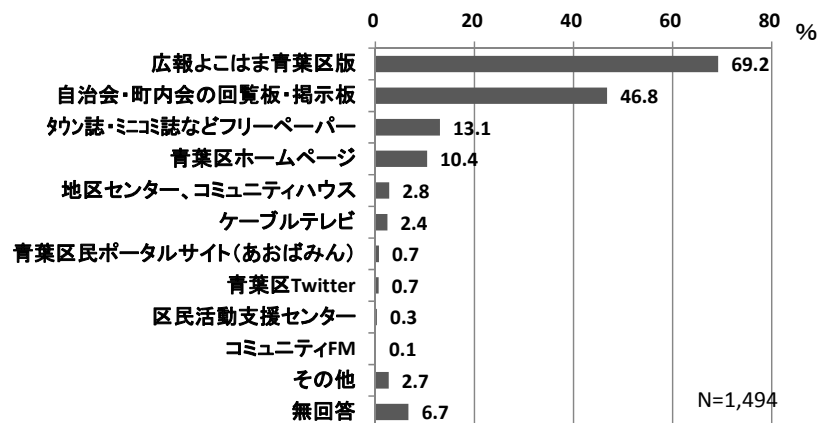
- ・ 検診対象年齢の 40 歳以上女性のみでみると、いずれも「受けていない」が多くなっている。
- ・ 健康状態がよい人の方が受診率が高い傾向にある。「健康ではない」人の受診率は 2 割台にとどまっている。

		合計	問22-③ 2年以内に乳がん検診を受けたか			
			受けた	受けていない	わからない	無回答
全体		611	42.9	52.0	1.0	4.1
問20 あなたの健康状態	健康である	227	45.4	52.4	0.4	1.8
	どちらかという健康である	284	45.1	49.3	1.4	4.2
	どちらかという健康ではない	66	33.3	60.6	0.0	6.1
	健康ではない	25	24.0	64.0	4.0	8.0
	無回答	9	33.3	33.3	0.0	33.3

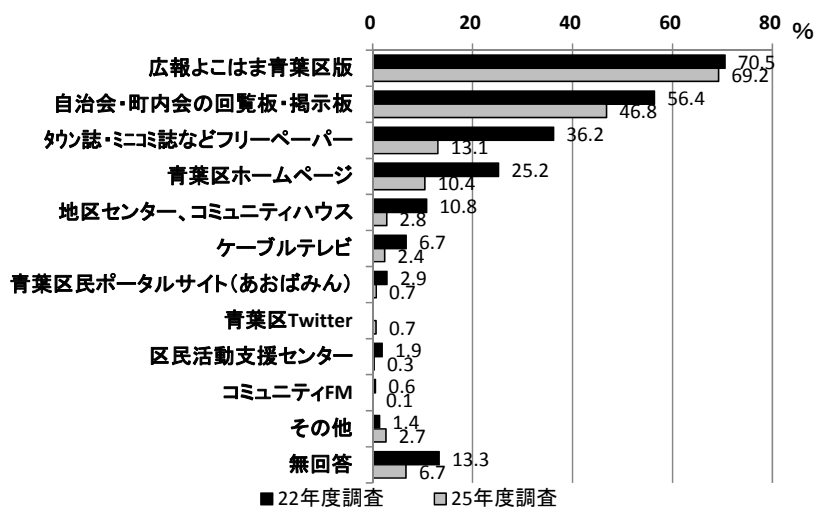
8. 広報について

問 23 あなたは、青葉区役所からの行政情報について、主にどのような手段で入手していますか。(〇は3つまで)

- ・「広報よこはま青葉区版」が 69.2% で 7 割近くに達し、突出している。次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」(46.8%) を半数近くの人が挙げている。以下「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」(13.1%)、「青葉区ホームページ」(10.4%) などとなっている。
- ・平成 22 年度調査では、よく利用する順に 1 位から 3 位まで選択する設問となっており設問形式が異なるが、これと比較すると、「広報よこはま青葉区版」が突出して多く、次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」となっている傾向に変化はないが、「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」では 23.1 ポイント、「青葉区ホームページ」では 14.8 ポイント大きく数値が減少している。



< 参考 平成 22 年度調査結果との比較 >



■ 年齢別 行政情報の主な入手手段(問 23×F1)

- ・いずれも「広報よこはま青葉区版」が最も多く、年齢が高いほど高い数値となっている。
- ・60代、70代以上では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」の数値も区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問23 青葉区役所からの行政情報の主な入手手段												
		合計	ケーブルテレビ	版 広 報 よ こ は ま 青 葉 区	覧 自 治 会 ・ 掲 示 板	パ 誌 な ど フ リ ー ペ ー パ	タ ウ ン 誌 ・ ミ ニ コ ミ	コ ミ ュ ニ テ ィ F M	青 葉 区 ホ ー ム ペ ー ジ	T w i t t e r	青 葉 区 タ ー ミ ン ク ト ン	区 民 活 動 支 援 セ ン タ ー	青 葉 区 民 ポ ー タ ル サ イ ト (あ お ば み ん)	地 区 セ ン タ ー 、 コ ミ ュ ニ テ ィ ハ ウ ス
全体		1494	2.4	69.2	46.8	13.1	0.1	10.4	0.7	0.3	0.7	2.8	2.7	6.7
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	6.4	37.6	28.3	17.3	0.0	9.2	0.6	0.6	0.6	2.9	9.2	15.0
	30代	207	1.4	62.8	30.0	15.0	0.0	17.9	1.9	0.0	1.0	5.3	4.3	6.3
	40代	342	2.3	73.7	38.3	14.9	0.6	15.8	0.6	0.0	0.6	2.0	2.0	3.5
	50代	264	1.5	75.0	49.6	11.7	0.0	8.3	0.0	0.4	0.8	1.5	1.5	6.1
	60代	245	0.8	77.1	63.7	11.0	0.0	6.1	1.2	0.0	0.0	2.0	1.2	5.3
	70代以上	239	2.9	78.7	66.5	9.6	0.0	5.0	0.0	1.3	1.7	4.2	0.4	6.3

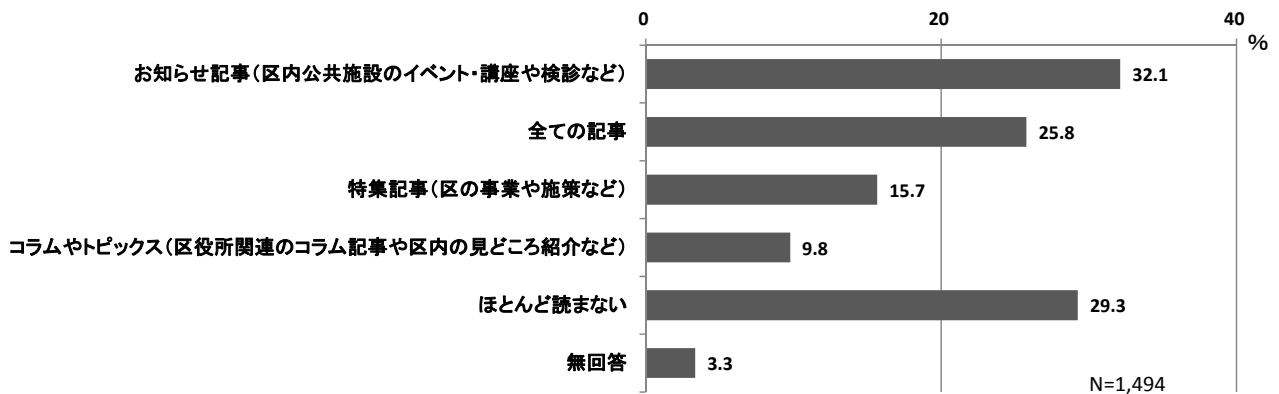
■ 居住地区別 行政情報の主な入手手段(問 23×F1)

- ・いずれも「広報よこはま青葉区版」が最も多く、上谷本連合町内会では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」も同率となっている。
- ・中里北部連合町内会、すすき野連合自治会では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問23 青葉区役所からの行政情報の主な入手手段												
		合計	ケーブルテレビ	版 広 報 よ こ は ま 青 葉 区	覧 自 治 会 ・ 掲 示 板	パ 誌 な ど フ リ ー ペ ー パ	タ ウ ン 誌 ・ ミ ニ コ ミ	コ ミ ュ ニ テ ィ F M	青 葉 区 ホ ー ム ペ ー ジ	T w i t t e r	青 葉 区 タ ー ミ ン ク ト ン	区 民 活 動 支 援 セ ン タ ー	青 葉 区 民 ポ ー タ ル サ イ ト (あ お ば み ん)	地 区 セ ン タ ー 、 コ ミ ュ ニ テ ィ ハ ウ ス
全体		1494	2.4	69.2	46.8	13.1	0.1	10.4	0.7	0.3	0.7	2.8	2.7	6.7
F8 住んで いる町(統 合)	中里連合自治会	81	3.7	55.6	51.9	13.6	0.0	6.2	1.2	0.0	2.5	0.0	6.2	9.9
	中里北部連合町内会	87	0.0	67.8	62.1	13.8	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	2.3	4.6	9.2
	市ヶ尾連合自治会	78	1.3	71.8	37.2	11.5	0.0	6.4	0.0	2.6	0.0	3.8	1.3	7.7
	上谷本連合町内会	78	1.3	59.0	59.0	11.5	0.0	7.7	0.0	1.3	1.3	3.8	2.6	7.7
	谷本連合自治会	121	3.3	62.0	45.5	14.9	0.0	14.0	0.8	0.0	0.8	5.0	3.3	6.6
	恩田連合自治会	143	2.1	71.3	41.3	10.5	0.0	13.3	0.7	0.0	0.0	4.2	3.5	7.7
	青葉台連合自治会	189	2.1	68.3	42.9	11.1	0.0	9.0	0.0	0.0	0.5	2.1	2.1	8.5
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	1.7	73.3	41.4	5.2	0.0	13.8	0.9	0.9	0.0	4.3	3.4	6.0
	山内連合自治会	203	2.5	72.9	45.8	18.2	0.5	10.8	1.0	0.5	1.0	2.0	2.0	5.4
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	3.6	72.3	41.8	17.7	0.0	10.5	0.9	0.0	0.9	0.9	0.9	5.9
	すすき野連合自治会	72	2.8	75.0	63.9	11.1	1.4	11.1	2.8	0.0	1.4	5.6	2.8	0.0
	美しが丘連合自治会	58	5.2	77.6	50.0	15.5	0.0	13.8	0.0	0.0	1.7	1.7	1.7	1.7

問 24 広報よこはま青葉区版ではどのような記事を読みますか。(〇はいくつでも)

・読まれている記事としては、「お知らせ記事(区内公共施設のイベント・講座や検診など)」が最も多く32.1%で、3割強の人が挙げている。次に「全ての記事」が25.8%となっている。以下「特集記事(区の事業や施策など)」(15.7%)、「コラムやトピックス(区役所関連のコラム記事や区内の見どころ紹介など)」(9.8%)と続く。一方、「ほとんど読まない」も29.3%と3割近くに達している。



■ 年齢別 広報よこはま青葉区版で読む記事(問 24×F1)

・10代20代、30代では「ほとんど読まない」が最も多く、10代20代では6割を超えており、若年層で閲覧率が低くなっている。40代以上の世代では「お知らせ記事(区内公共施設のイベント・講座や検診など)」が最も多い。

		問24 広報よこはま青葉区版で読む記事						
		合計	全ての 記事	特 集 記 事 (区 の 事 業 や 施 策 な ど)	な ど の イ ベ ン ト 事 ・ 講 座 や 検 診 な ど)	お し ら せ 記 事 (区 内 公 共 施 設 の イ ベ ン ト ・ 講 座 や 検 診 な ど)	所 見 関 連 の コ ラ ム や ト ピ ク ス (区 内 公 共 施 設 の イ ベ ン ト ・ 講 座 や 検 診 な ど)	コ ラ ム や ト ピ ク ス (区 役 所 関 連 の コ ラ ム 記 事 や 区 内 の 見 ど こ ろ 紹 介 な ど)
全体		1494	25.8	15.7	32.1	9.8	29.3	3.3
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	8.7	4.6	12.1	11.6	64.7	2.9
	30代	207	29.0	9.2	23.7	6.8	36.7	2.9
	40代	342	29.8	16.1	34.5	8.8	24.9	0.9
	50代	264	21.2	17.8	36.7	10.6	28.0	3.0
	60代	245	30.6	18.0	38.0	11.8	20.0	4.1
	70代以上	239	30.1	23.8	38.9	10.5	15.1	6.3

■ 男女別 広報よこはま青葉区版で読む記事(問 24×F2)

- ・男性は「ほとんど読まない」、女性は「お知らせ記事（区内公共施設のイベント・講座や検診など）」が最も多く、男女で傾向が分かれた。

		合計	問24 広報よこはま青葉区版で読む記事					
			全ての記事	特集記事（区の事業や施策など）	施設のイベント・講座や検診など	お知らせ記事（区内公共施設）	見どころ紹介など	所関連のコラム記事や区内役
全体		1494	25.8	15.7	32.1	9.8	29.3	3.3
F 2 性別	男性	615	22.6	17.1	24.6	8.8	37.1	4.1
	女性	847	28.5	14.6	37.5	10.6	23.6	2.6

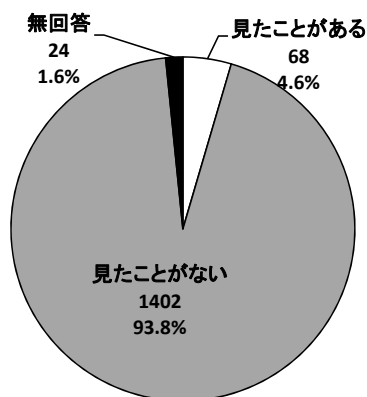
■ 同居家族別 広報よこはま青葉区版で読む記事(問 24×F5)

- ・乳幼児・未就学児がいるケースでは「全ての記事」が最も多くなっている。小学生、中学生と、65歳以上の高齢者がいるケースでは「お知らせ記事（区内公共施設のイベント・講座や検診など）」、高校生、専門学校生、大学生がいるケースとあてはまる家族がいないケースでは「ほとんど読まない」が最も多く、家族に小さい子どもや高齢者がいる世帯で、お知らせ記事を中心によく読まれていることがわかる。

		合計	問24 広報よこはま青葉区版で読む記事					
			全ての記事	特集記事（区の事業や施策など）	施設のイベント・講座や検診など	お知らせ記事（区内公共施設）	見どころ紹介など	所関連のコラム記事や区内役
全体		1494	25.8	15.7	32.1	9.8	29.3	3.3
F 5 同居家族について	乳幼児・未就学児	166	34.9	14.5	33.7	7.8	23.5	1.2
	小学生、中学生	322	30.1	16.5	32.9	10.2	24.8	1.6
	高校生、専門学校生、大学生	318	22.6	17.6	29.9	10.1	35.5	1.3
	65歳以上の高齢者	402	25.1	18.9	37.1	10.2	25.4	3.5
	あてはまる家族はいない	434	24.0	13.8	31.3	10.6	31.8	4.1

問 25 青葉区広報テレビ番組「あおバリューTV from 丘の横浜」を見たことがありますか。(○は1つだけ)

- ・「見たことがない」が93.8%と9割以上を占め、圧倒的多数となっている。「見たことがある」は4.6%にとどまっている。



N=1,494

青葉区広報テレビ番組「あおバリューTV from 丘の横浜」

イツコム

水曜日 20時20分～、土曜日 18時45分～

ジェイコム

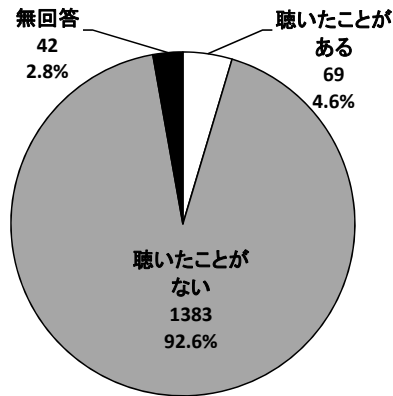
月曜日 16時15分～、金曜日 20時15分～

青葉区広報番組



問 26 コミュニティFMラジオ「FMサルース (84.1MHz)」で、青葉区からの行政情報 (青葉区からのお知らせ) を以下のどれか一つでも聞いたことがありますか。
(○は1つだけ)

・「聞いたことがない」が92.6%と9割以上を占めている。「聞いたことがある」は4.6%にとどまっている。



N=1,494

・ サルースレポート	毎月最終木曜日 17:10~
・ あおバリューRadio ～青葉区からのお知らせ～	月～金曜日 9:45～、12:10～、15:10～、17:45～ 土曜日 8:00～、15:00～、日曜日 8:00～、14:45～
・ あおバリューRadio ～多言語版～	月～金曜日 9:50～、17:50～ 土曜日 15:05～、日曜日 14:50～
・ 広報よこはま青葉区版からのお知らせ	月～金曜日 12:35～
・ 防災あおば	月～金曜日 12:55～、土曜日 10:50～、日曜日 17:00～
・ AOB Aくるん♪キャンパス	毎週水曜日 14:25～
・ 青葉ファーマーミングカフェ	毎月第4土曜日 12:10～
・ おまけ広報NEO	毎月第1・3木曜日 14:25～

■ 居住地区別 青葉区からの行政情報を「FMサルース」で聞いたことがあるか(問26×F8)

・いずれも「聞いたことがない」が9割前後を占めるが、美しが丘連合自治会では「聞いたことがある」の数値が区全体の数値を10ポイント以上上回っている。

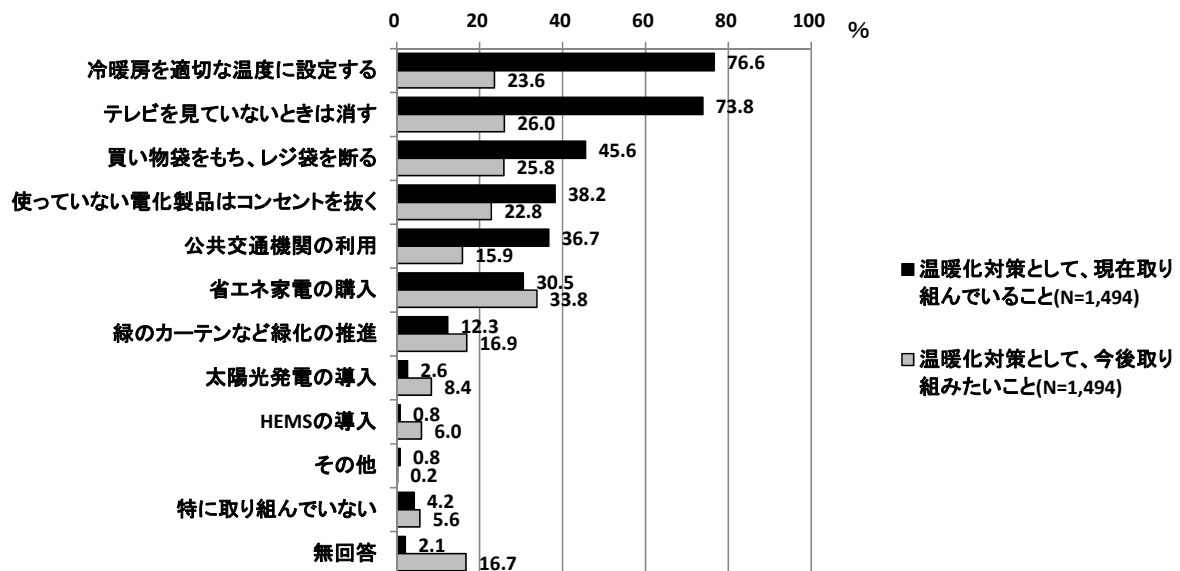
		合計	問26 青葉区からの行政情報を コミュニティFMラジオ「FMサルース (84.1MHz)」で聞いた ことがあるか		
			聞いたこ とがある	聞いたこ とがない	無回答
	全体	1494	4.6	92.6	2.8
F8 住んで いる町(統 合)	中里連合自治会	81	12.3	84.0	3.7
	中里北部連合町内会	87	3.4	93.1	3.4
	市ヶ尾連合自治会	78	5.1	93.6	1.3
	上谷本連合町内会	78	5.1	85.9	9.0
	谷本連合自治会	121	1.7	96.7	1.7
	恩田連合自治会	143	3.5	93.0	3.5
	青葉台連合自治会	189	3.7	95.2	1.1
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	4.3	94.8	0.9
	山内連合自治会	203	3.4	93.6	3.0
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	4.1	93.2	2.7
	すすき野連合自治会	72	4.2	94.4	1.4
	美しが丘連合自治会	58	15.5	81.0	3.4

9. 環境について

問 27 横浜市では、身近なところから地球温暖化対策に取り組む「エコ活」を推進しています。

次のうち、あなたが温暖化対策として、現在取り組んでいることは何ですか。また、今後、取り組みたいことは何ですか。(〇はそれぞれにいくつでも)

- ・ 現在取り組んでいることとしては「冷暖房を適切な温度に設定する」が最も多く 76.6%、次いで「テレビを見ていないときは消す」が 73.8%で、これら 2 つは 7 割以上の人が挙げている。以下「買い物袋をもち、レジ袋を断る」(45.6%)、「使っていない電化製品はコンセントを抜く」(38.2%)、「公共交通機関の利用」(36.7%)、「省エネ家電の購入」(30.5%) などと続く
- ・ 今後取り組みたいこととしては「省エネ家電の購入」が最も多く 33.8%、以下「テレビを見ていないときは消す」(26.0%)、「買い物袋をもち、レジ袋を断る」(25.8%)、「冷暖房を適切な温度に設定する」(23.6%)、「使っていない電化製品はコンセントを抜く」(22.8%) と続く。
- ・ 今後取り組みたいことが現在取り組んでいることより高い数値となっているのは「太陽光発電の導入」「HEMS の導入」「緑のカーテンなど緑化の推進」「省エネ家電の購入」の 4 件である。現在の取り組み状況において下位にあるもの、導入に資金や条件が必要なものが上がっている。



※HEMS(ヘムス)(Home(ホーム) Energy(エネルギー) Management(マネジメント) System(システム)/家庭用エネルギー管理機器)は、各家庭の電力使用量などを「見える化」し、パソコンなどで電力の使用状況を確認できる機器です。横浜市では、HEMS 導入費の一部を補助しています。

■ 年齢別 温暖化対策として、現在取り組んでいること、今後取り組みたいこと(問 27×F1)

- ・現在取り組んでいることとしては、10代20代、30代では「テレビを見ていないときは消す」、40代以上の世代では「冷暖房を適切な温度に設定する」が最も多い。70代以上では「公共交通機関の利用」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・今後取り組みたいこととしては、10代20代は「買い物袋をもち、レジ袋を断る」、30代から60代までの世代では「省エネ家電の購入」、70代以上では「テレビを見ていないときは消す」が最も多くなっている。

		問27-1 温暖化対策として、現在取り組んでいること																									
		合計	温度に設定する	冷暖房を適切	ないときは消す	テレビを見てす	を抜く	製品は	製つて	ない	セ	電	ち、レジ袋を断	買、い物袋を断	利公共交通機関の	入省エネ家電の購	ど緑のカーテナ	の推	進	H E M S の導	入太陽光発電の導	その他	いな	特に取	り組	んで	無回答
全体		1494	76.6	73.8	38.2	45.6	36.7	30.5	12.3	0.8	2.6	0.8	4.2	2.1													
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	62.4	65.3	34.7	35.3	41.6	15.6	5.2	0.0	2.3	1.2	8.7	0.0													
	30代	207	72.9	74.4	38.2	40.1	33.3	26.6	8.7	0.0	3.9	0.0	5.8	1.9													
	40代	342	77.8	74.3	41.8	48.8	29.8	32.2	11.4	1.5	2.9	0.3	2.9	0.9													
	50代	264	80.3	73.5	36.0	50.4	37.9	35.2	12.5	1.5	3.0	0.8	3.8	1.1													
	60代	245	80.4	74.7	35.1	49.8	30.6	36.7	19.2	1.2	2.9	1.6	3.7	2.0													
	70代以上	239	82.4	80.8	43.1	44.4	50.6	31.8	14.6	0.0	0.8	1.3	2.1	4.6													

		問27-2 温暖化対策として、今後取り組みたいこと																									
		合計	温度に設定する	冷暖房を適切	ないときは消す	テレビを見てす	を抜く	製品は	製つて	ない	セ	電	ち、レジ袋を断	買、い物袋を断	利公共交通機関の	入省エネ家電の購	ど緑のカーテナ	の推	進	H E M S ※の導	入太陽光発電の導	その他	いな	特に取	り組	んで	無回答
全体		1494	23.6	26.0	22.8	25.8	15.9	33.8	16.9	6.0	8.4	0.2	5.6	16.7													
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	23.1	27.7	28.9	29.5	8.7	23.1	11.6	5.8	9.8	0.0	5.8	9.8													
	30代	207	23.7	27.5	23.7	30.9	13.0	34.3	15.0	8.7	6.8	0.5	6.3	15.5													
	40代	342	23.4	24.0	18.1	27.8	17.0	37.4	21.1	5.8	12.9	0.0	4.4	12.0													
	50代	264	20.1	23.1	22.7	21.6	15.5	42.0	15.2	7.6	8.0	0.8	5.7	16.7													
	60代	245	25.3	27.8	25.3	25.3	17.6	35.1	21.2	5.3	6.1	0.0	4.5	17.6													
	70代以上	239	26.8	27.2	21.8	22.2	21.3	26.4	13.8	2.9	5.0	0.0	6.7	28.5													

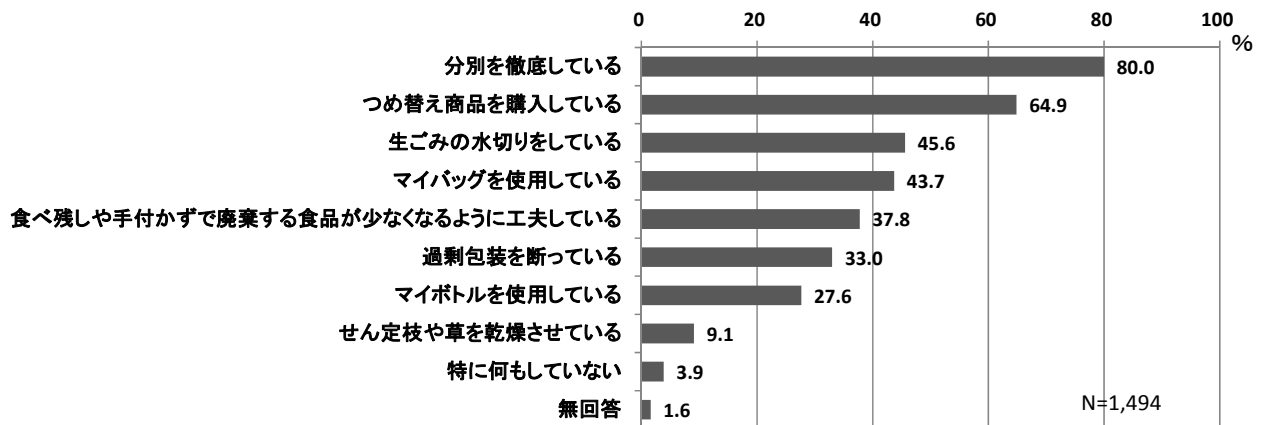
■ 居住地区別 温暖化対策として、現在取り組んでいること、今後取り組みたいこと(問 27×F1)

- ・現在取り組んでいることとしては、中里連合自治会、市ケ尾連合自治会では「テレビを見ていないときは消す」、谷本連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会では「冷暖房を適切な温度に設定する」「テレビを見ていないときは消す」が同率となっており、それ以外では「冷暖房を適切な温度に設定する」が最も多い。
また、市ケ尾連合自治会では「使っていない電化製品はコンセントを抜く」「買い物袋をもち、レジ袋を断る」、すずき野連合自治会では「省エネ家電の購入」、美しが丘連合自治会では「買い物袋をもち、レジ袋を断る」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・今後取り組みたいこととしては、中里連合自治会は「買い物袋をもち、レジ袋を断る」が最も多く、中里北部連合町内会では「テレビを見ていないときは消す」「買い物袋をもち、レジ袋を断る」「省エネ家電の購入」が同率、上谷本連合町内会では「テレビを見ていないときは消す」「買い物袋をもち、レジ袋を断る」が同率、谷本連合自治会は「テレビを見ていないときは消す」「省エネ家電の購入」が同率、それ以外では「省エネ家電の購入」が最も多くなっている。

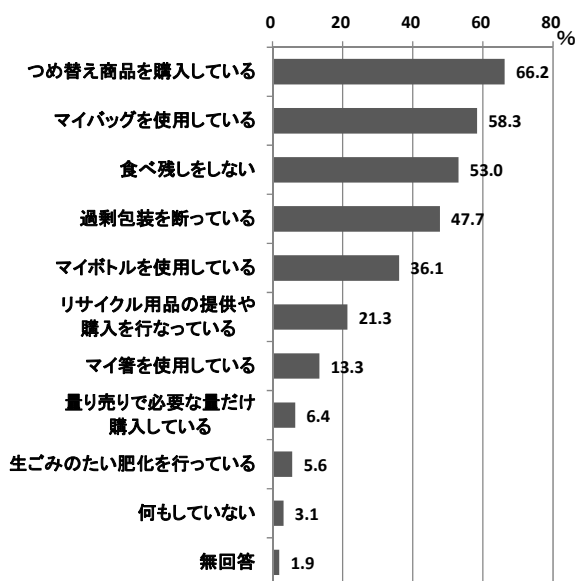
		問27-1 温暖化対策として、現在取り組んでいること																
		合計	温 冷 度 暖 に 設 定 す 切 る な	な い レ ビ を 見 て 消 す す い	テ レ ビ を 抜 く コ ン セ	ン ト 製 品 は コ ン セ	使 つ て い な い 電	ち づ つ レ ジ 袋 を も 断	買 い 物 袋 を も	利 用 公 交 通 機 関 の	入 省 エ ネ 家 電 の 購	ど 緑 の カ ー テ ン な	H E M S の 導 入	入 太 陽 光 発 電 の 導	そ の 他	い な い 特 に 取 り 組 ん で	無 回 答	
全体		1494	76.6	73.8	38.2	45.6	36.7	30.5	12.3	0.8	2.6	0.8	4.2	2.1				
F8 住んで いる町(統 合)	中里連合自治会	81	69.1	76.5	44.4	39.5	35.8	37.0	14.8	2.5	6.2	0.0	6.2	0.0				
	中里北部連合町内会	87	79.3	66.7	34.5	42.5	28.7	32.2	13.8	0.0	3.4	3.4	1.1	2.3				
	市ケ尾連合自治会	78	75.6	80.8	51.3	60.3	35.9	23.1	11.5	0.0	3.8	1.3	2.6	2.6				
	上谷本連合町内会	78	76.9	75.6	41.0	32.1	30.8	28.2	19.2	1.3	1.3	1.3	2.6	6.4				
	谷本連合自治会	121	72.7	72.7	33.1	43.8	30.6	33.9	10.7	0.0	2.5	0.0	5.8	1.7				
	恩田連合自治会	143	76.9	74.8	37.8	34.3	32.2	32.2	10.5	1.4	2.8	0.7	4.9	4.2				
	青葉台連合自治会	189	75.1	70.9	36.0	45.5	44.4	32.3	11.6	0.0	1.1	0.5	5.8	0.0				
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	79.3	79.3	43.1	42.2	34.5	25.0	12.1	1.7	0.9	1.7	5.2	0.0				
	山内連合自治会	203	78.3	76.8	36.5	46.3	39.4	28.1	12.8	1.5	5.9	0.5	3.0	2.0				
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	77.3	73.2	37.7	51.4	40.5	28.6	10.9	0.5	0.9	0.9	2.3	3.2				
	すずき野連合自治会	72	81.9	69.4	30.6	50.0	40.3	45.8	12.5	1.4	2.8	0.0	5.6	0.0				
美しが丘連合自治会	58	82.8	72.4	36.2	63.8	29.3	27.6	8.6	0.0	0.0	0.0	3.4	1.7					
		問27-2 温暖化対策として、今後取り組みたいこと																
		合計	温 冷 度 暖 に 設 定 す 切 る な	な い レ ビ を 見 て 消 す す い	テ レ ビ を 抜 く コ ン セ	ン ト 製 品 は コ ン セ	使 つ て い な い 電	ち づ つ レ ジ 袋 を も 断	買 い 物 袋 を も	利 用 公 交 通 機 関 の	入 省 エ ネ 家 電 の 購	ど 緑 の カ ー テ ン な	H E M S の 導 入	入 太 陽 光 発 電 の 導	そ の 他	い な い 特 に 取 り 組 ん で	無 回 答	
全体		1494	23.6	26.0	22.8	25.8	15.9	33.8	16.9	6.0	8.4	0.2	5.6	16.7				
F8 住んで いる町(統 合)	中里連合自治会	81	23.5	24.7	22.2	32.1	17.3	30.9	16.0	7.4	12.3	0.0	1.2	14.8				
	中里北部連合町内会	87	26.4	31.0	23.0	31.0	20.7	31.0	17.2	4.6	6.9	0.0	5.7	12.6				
	市ケ尾連合自治会	78	20.5	28.2	30.8	26.9	14.1	33.3	15.4	3.8	3.8	0.0	3.8	20.5				
	上谷本連合町内会	78	26.9	29.5	23.1	29.5	19.2	28.2	23.1	9.0	14.1	1.3	9.0	20.5				
	谷本連合自治会	121	26.4	28.1	19.8	27.3	14.9	28.1	11.6	8.3	5.8	0.0	5.8	19.8				
	恩田連合自治会	143	25.2	22.4	27.3	30.1	16.8	30.8	16.1	3.5	9.1	0.0	5.6	16.1				
	青葉台連合自治会	189	22.8	28.0	24.9	18.5	16.4	32.8	14.3	5.3	6.9	0.0	8.5	17.5				
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	29.3	31.9	26.7	25.9	20.7	46.6	20.7	6.9	7.8	0.0	7.8	9.5				
	山内連合自治会	203	17.7	19.7	16.7	27.1	11.3	32.5	22.2	9.9	9.9	0.0	4.4	18.7				
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	20.9	23.6	19.1	21.4	14.5	36.8	17.7	4.1	8.6	0.9	3.2	18.2				
	すずき野連合自治会	72	23.6	29.2	29.2	26.4	18.1	38.9	11.1	4.2	13.9	0.0	5.6	2.8				
美しが丘連合自治会	58	31.0	31.0	25.9	25.9	15.5	44.8	8.6	3.4	1.7	0.0	6.9	17.2					

問 28 「ヨコハマ 3 R 夢(スリム)プラン」では、燃やすごみだけではなく資源となる物も削減を目指していますが、あなたが現在、ごみと資源物を削減するために行っていることをお知らせください。(〇はいくつでも)

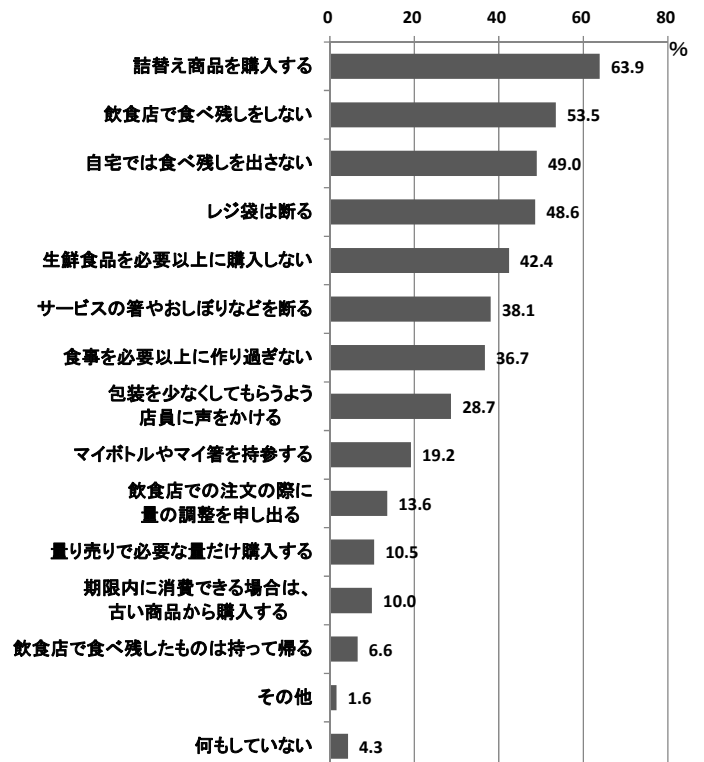
- ・「分別を徹底している」が 80.0%と、8 割の人が挙げている。次いで「つめ替え商品を購入している」(64.9%) が 6 割強である。以下「生ごみの水切りをしている」(45.6%)、「マイバッグを使用している」(43.7%)、「食べ残しや手付かずで廃棄する食品が少なくなるように工夫している」(37.8%) などとなっている。「特に何もしていない」人は 3.9%のみである。
- ・平成 23 年度調査では、選択肢が異なるが、「詰替え商品を購入している」が最も多く 7 割近く、次いで「マイバッグを使用している」を 6 割近くの人が挙げている。
- ・平成 21 年度横浜市民意識調査では、「詰替え商品を購入する」「飲食店で食べ残しをしない」「自宅では食べ残しを出さない」「レジ袋を断る」「生鮮食品を必要以上に購入しない」が上位 5 項目となっている。



<参考 平成 23 年度調査結果との比較>



<参考 平成 21 年度横浜市民意識調査との比較>



■ 年齢別 ごみと資源物を削減するために行っていること(問 28×F1)

- ・30代のみ「つめ替え商品を購入している」、それ以外は「分別を徹底している」が最も多い。
- ・70代以上では「生ごみの水切りをしている」「食べ残しや手付かずで廃棄する食品が少なくなるように工夫している」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

		合計	問28 ごみと資源物を削減するために行っていること									
			分別を徹底している	生ごみの水切りをしている	食べ残しや手付かずで廃棄する食品が少なくなるように工夫している	つめ替え商品を購入している	マイバッグを使用している	マイボトルを使用している	過剰包装を断っている	せん定枝や草を乾燥させている	特に何もしていない	無回答
全体		1494	80.0	45.6	37.8	64.9	43.7	27.6	33.0	9.1	3.9	1.6
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	59.5	22.5	24.9	48.0	24.9	31.8	17.3	1.7	12.7	0.0
	30代	207	71.0	40.1	33.8	71.5	40.1	26.1	34.8	2.4	3.4	1.9
	40代	342	80.1	43.3	35.7	74.9	46.2	32.5	33.3	8.2	2.6	0.6
	50代	264	86.4	44.3	40.2	70.5	47.0	24.6	42.8	8.0	2.7	1.1
	60代	245	86.9	52.7	39.6	62.4	51.4	28.2	37.6	14.7	2.9	2.9
	70代以上	239	88.7	63.6	49.4	55.6	46.0	21.8	27.2	15.9	2.1	2.5

■ 男女別 ごみと資源物を削減するために行っていること(問 28×F2)

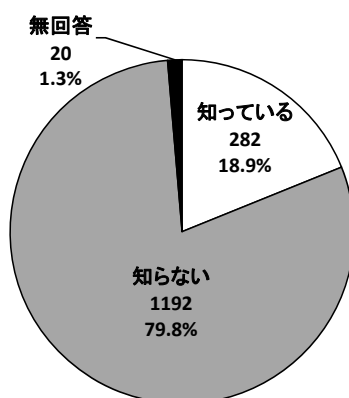
- ・男女とも「分別を徹底している」が最も多い。
- ・女性は「生ごみの水切りをしている」「つめ替え商品を購入している」「マイバッグを使用している」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・女性は男性より「生ごみの水切りをしている」「食べ残しや手付かずで廃棄する食品が少なくなるように工夫している」「つめ替え商品を購入している」「マイバッグを使用している」「マイボトルを使用している」「過剰包装を断っている」の各項目でそれぞれ15～26ポイント男性を上回っており、女性の意識の高さがうかがわれる。

		合計	問28 ごみと資源物を削減するために行っていること									
			分別を徹底している	生ごみの水切りをしている	食べ残しや手付かずで廃棄する食品が少なくなるように工夫している	つめ替え商品を購入している	マイバッグを使用している	マイボトルを使用している	過剰包装を断っている	せん定枝や草を乾燥させている	特に何もしていない	無回答
全体		1494	80.0	45.6	37.8	64.9	43.7	27.6	33.0	9.1	3.9	1.6
F2 性別	男性	615	81.1	31.4	29.3	50.2	30.4	16.7	21.8	8.3	6.8	2.3
	女性	847	79.6	55.6	44.4	76.5	53.7	35.5	41.6	9.1	1.8	0.9

10. 区制 20 周年について

問 29 来年、平成 26 年 11 月に青葉区が誕生 20 周年を迎えることを知っていましたか。
(○は 1 つだけ)

- ・「知らない」が 79.8% とほぼ 8 割に達し、認知度は低い。「知っている」は 18.9% で、2 割に満たない。



N=1,494

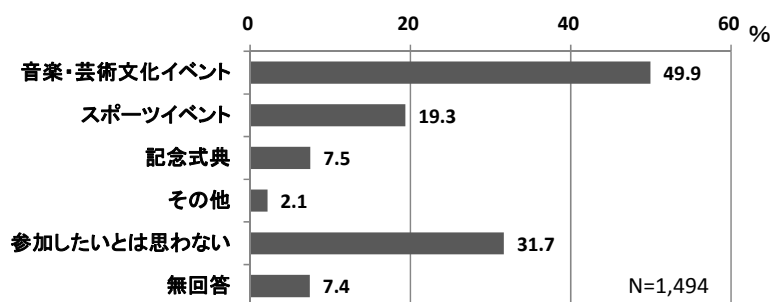
■ 年齢別「青葉区誕生 20 周年」の認知度(問 29×F1)

- ・いずれも「知らない」の方が多く、30 代以下では 9 割を占めており、特に若年層での認知度が低い。
- ・70 代以上では「知っている」の数値が区全体に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	問29 平成26年11月「青葉区誕生20周年」の認知度		
			知っている	知らない	無回答
全体		1494	18.9	79.8	1.3
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	7.5	92.5	0.0
	30代	207	11.6	87.0	1.4
	40代	342	15.8	84.2	0.0
	50代	264	20.8	78.0	1.1
	60代	245	22.4	75.9	1.6
	70代以上	239	32.2	64.4	3.3

問 30 青葉区では、区制 20 周年に向けてイベント等を企画しています。どのようなイベントに参加したいですか。 (〇はいくつでも)

- ・「音楽・芸術文化イベント」が 49.9%で最も多く、ほぼ半数の人が挙げている。一方「参加したいとは思わない」は 31.7%で、3 割強となっている。参加したいイベントとしては、以下「スポーツイベント」(19.3%)、「記念式典」(7.5%)、「その他」(2.1%)と続く。



■ 年齢別 参加したい青葉区制 20 周年イベント(問 30×F1)

- ・いずれも「音楽・芸術文化イベント」が最も多くなっている。

		合計	問30 参加したい青葉区制20周年イベント					無回答
			記念式典	スポーツイベント	音楽・芸術文化イベント	その他	参加したいとは思わない	
全体		1494	7.5	19.3	49.9	2.1	31.7	7.4
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	12.1	23.7	49.7	2.3	31.8	1.7
	30代	207	5.8	26.1	51.2	3.4	32.9	3.9
	40代	342	7.9	28.1	55.8	3.5	24.0	6.1
	50代	264	3.8	15.2	56.8	1.5	32.2	4.5
	60代	245	6.1	13.9	42.9	0.8	37.6	11.4
	70代以上	239	10.5	8.4	41.4	0.8	34.3	14.6

■ 家族構成別 参加したい青葉区制 20 周年イベント(問 30×F1)

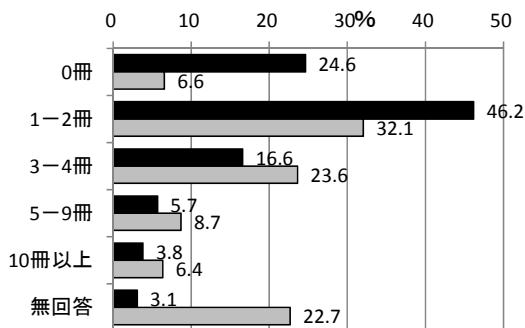
- ・「ひとり暮らし」では「参加したいとは思わない」、それ以外は「音楽・芸術文化イベント」が最も多くなっている。

		合計	問30 参加したい青葉区制20周年イベント					無回答
			記念式典	スポーツイベント	音楽・芸術文化イベント	その他	参加したいとは思わない	
全体		1494	7.5	19.3	49.9	2.1	31.7	7.4
F 4 家族構成	ひとり暮らし	100	8.0	14.0	40.0	0.0	42.0	6.0
	夫婦だけ	357	6.4	15.1	45.7	2.0	36.7	10.4
	親と子(2世代)	860	7.9	23.0	53.3	2.6	28.5	5.6
	親と子と孫(3世代)	129	7.0	14.0	49.6	1.6	30.2	8.5
	その他	19	10.5	0.0	47.4	0.0	26.3	26.3

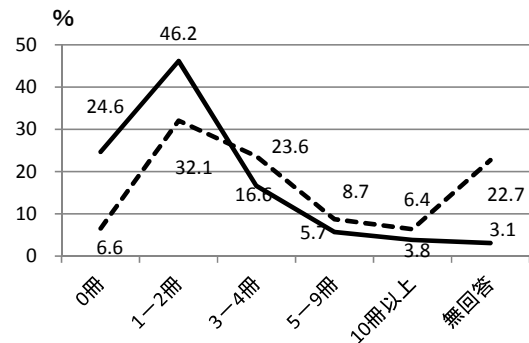
11. 読書活動について

問 31 あなたは月に何冊本を読みますか。現在どのくらい読んでいますか。今後どのくらい読みたいですか（それぞれに○は1つ）

- ・現在、ひと月に読む本の冊数は「1－2冊」が最も多く46.2%で、全体の半数弱となっている。次いで「0冊」が24.6%で、本を一冊も読まない人が全体の4分の1存在している。以下「3－4冊」（16.6%）、「5－9冊」（5.7%）、「10冊以上」（3.8%）と続く。
- ・今後、ひと月に読みたい本の冊数は「1－2冊」が最も多く32.1%で、3割程度となっている。次いで「3－4冊」が23.6%である。以下「5－9冊」（8.7%）、「0冊」（6.6%）、「10冊以上」（6.4%）と続く。
- ・「現在」と「今後」の冊数を比較すると、冊数の少ない「0冊」「1－2冊」では現在の数値の方が高く、「3－4冊」以上になると今後の数値が現在の数値を上回っている。
- ・平成20年度に文化庁が行った「国語に関する世論調査」では、「読まない」が46.1%で半数弱を占め、今回調査より21.5ポイント高くなっている。一方「1－2冊」では10.1ポイント、「3－4冊」では5.9ポイント、「5冊以上」では2.9ポイント、今回調査の数値が文化庁調査の数値を上回っており、青葉区民の読書量が全国値に比べて高いことがわかる。

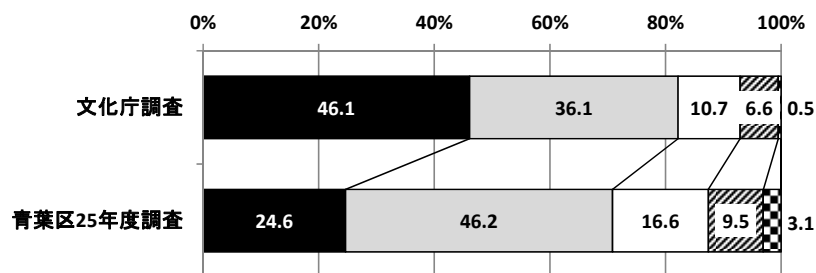


■ 現在、ひと月に読む本の冊数
□ 今後、ひと月に読みたい本の冊数



— 現在、ひと月に読む本の冊数
- - - 今後、ひと月に読みたい本の冊数

<参考 平成20年度「国語に関する世論調査」結果との比較>



■ 0冊 □ 1-2冊 □ 3-4冊 ▨ 5冊以上 ▩ 無回答・わからない

■ 年齢別 現在、ひと月に読む本の冊数、今後、ひと月に読みたい本の冊数(問 31×F1)

- ・現在ひと月に読む冊数は、いずれも「1－2冊」が最も多く、年齢による顕著な差異は認められない。
- ・今後読みたい冊数は、10代20代で「3－4冊」、30代以上では「1－2冊」となっている。

		合計	問31-1 現在、ひと月に読む本の冊数					
			0冊	1-2冊	3-4冊	5-9冊	10冊以上	無回答
全体		1494	24.6	46.2	16.6	5.7	3.8	3.1
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	27.7	49.7	13.3	2.3	6.4	0.6
	30代	207	27.5	45.4	18.4	4.3	2.9	1.4
	40代	342	26.0	45.9	17.0	6.1	4.4	0.6
	50代	264	24.6	46.6	17.0	8.0	3.4	0.4
	60代	245	20.8	43.3	22.0	8.2	3.7	2.0
	70代以上	239	24.3	51.5	12.6	4.2	2.5	5.0

		合計	問31-2 今後、ひと月に読みたい本の冊数					
			0冊	1-2冊	3-4冊	5-9冊	10冊以上	無回答
全体		1494	6.6	32.1	23.6	8.7	6.4	22.7
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	6.4	26.0	29.5	8.1	10.4	19.7
	30代	207	5.8	32.4	29.0	7.7	5.3	19.8
	40代	342	3.2	36.0	22.5	11.1	6.1	21.1
	50代	264	7.2	31.4	25.0	7.6	6.8	22.0
	60代	245	6.9	31.0	23.3	10.6	7.8	20.4
	70代以上	239	11.7	35.6	17.2	6.7	3.3	25.5

■ 職業別 現在、ひと月に読む本の冊数、今後、ひと月に読みたい本の冊数(問 31×F7)

- ・現在、ひと月に読む本の冊数は、自営業の家族従業者では「0冊」が最も多いほか、5冊以上が0になっている。それ以外は「1－2冊」が最も多く、学生で高い数値となっている。
- ・今後読みたい冊数は、学生で「3－4冊」、その他で「5－9冊」、それ以外では「1－2冊」が最も多くなっている。

		合計	問31-1 現在、ひと月に読む本の冊数					
			0冊	1-2冊	3-4冊	5-9冊	10冊以上	無回答
全体		1494	24.6	46.2	16.6	5.7	3.8	3.1
F 7 職業	自営業・自由業	107	23.4	43.0	21.5	8.4	1.9	1.9
	自営業の家族従業者	18	44.4	38.9	16.7	0.0	0.0	0.0
	正社員、正職員	430	24.2	40.7	20.9	7.4	5.8	0.9
	契約社員、派遣社員、嘱託職員	76	25.0	43.4	22.4	6.6	2.6	0.0
	アルバイト、パート	168	30.4	53.0	9.5	4.2	1.2	1.8
	学生	85	20.0	56.5	12.9	2.4	7.1	1.2
	家事専業(主夫・主婦)	372	27.2	51.1	13.7	3.5	2.4	2.2
	無職	195	22.1	47.2	16.4	7.2	4.1	3.1
	その他	15	0.0	53.3	26.7	6.7	13.3	0.0

		合計	問31-2 今後、ひと月に読みたい本の冊数					
			0冊	1-2冊	3-4冊	5-9冊	10冊以上	無回答
全体		1494	6.6	32.1	23.6	8.7	6.4	22.7
F 7 職業	自営業・自由業	107	13.1	26.2	24.3	9.3	2.8	24.3
	自営業の家族従業者	18	11.1	44.4	22.2	5.6	0.0	16.7
	正社員、正職員	430	5.8	26.7	22.1	11.9	8.8	24.7
	契約社員、派遣社員、嘱託職員	76	5.3	28.9	22.4	11.8	7.9	23.7
	アルバイト、パート	168	5.4	41.1	25.0	3.6	4.8	20.2
	学生	85	5.9	18.8	31.8	8.2	11.8	23.5
	家事専業(主夫・主婦)	372	5.9	39.5	28.8	5.4	3.0	17.5
	無職	195	8.7	36.9	15.4	10.3	7.2	21.5
	その他	15	0.0	13.3	20.0	26.7	20.0	20.0

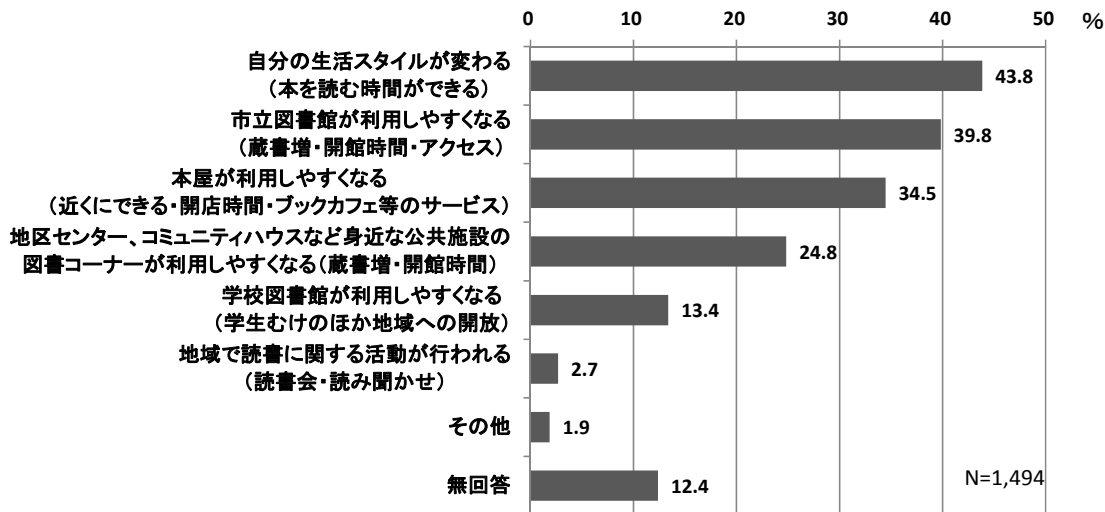
■ 現在、ひと月に読む本の冊数別 今後、ひと月に読みたい本の冊数(問 31×問 31)

- ・ 現在 0 冊の人は「1 - 2 冊」が最も多くなっているが、それ以外は、現在 1 - 2 冊の場合は今後も 1 - 2 冊となっているなど、自分が現在読んでいる冊数が最も多くなっている。また、現在 1 冊以上本を読んでいる人については、1 段階上の冊数が次に多くなっている。

	合計	問31-2 今後、ひと月に読みたい本の冊数						
		0冊	1-2冊	3-4冊	5-9冊	10冊以上	無回答	
全体	1494	6.6	32.1	23.6	8.7	6.4	22.7	
問31-1 現在、ひと月に読む本の冊数	0冊	368	26.4	57.3	2.7	0.0	0.3	13.3
	1-2冊	690	0.0	38.6	33.9	2.6	1.4	23.5
	3-4冊	248	0.0	0.0	42.7	24.2	4.8	28.2
	5-9冊	85	0.0	1.2	1.2	61.2	23.5	12.9
	10冊以上	57	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	10.5
	無回答	46	2.2	2.2	4.3	0.0	2.2	89.1

問 32 どのようにすればもっと読書ができると思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「自分の生活スタイルが変わる（本を読む時間ができる）」が 43.8%で最も多く、4割を超える人が挙げている。次いで「市立図書館が利用しやすくなる（蔵書増・開館時間・アクセス）」が 39.8%で、4割弱が挙げている。以下「本屋が利用しやすくなる（近くにできる・開店時間・ブックカフェ等のサービス）」（34.5%）、「地区センター、コミュニティハウスなど身近な公共施設の図書コーナーが利用しやすくなる（蔵書増・開館時間）」（24.8%）などと続く。



■ 年齢別 もっと読書をするために必要なこと(問 32×F1)

- ・10代20代で「市立図書館が利用しやすくなる（蔵書増・開館時間・アクセス）」、30代以上の世代では「自分の生活スタイルが変わる（本を読む時間ができる）」が最も多い。
- ・10代20代で「本屋が利用しやすくなる（近くにできる・開店時間・ブックカフェ等のサービス）」、30代では「市立図書館が利用しやすくなる（蔵書増・開館時間・アクセス）」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問32 もっと読書をするために必要なこと								
		合計	市立図書館が利用しやすくなる(蔵書増・開館時間・アクセス)	学校図書館が利用しやすくなる(学生むけのほか地域への開放)	地区センター、コミュニティハウスなど身近な公共施設の図書コーナーが利用しやすくなる(蔵書増・開館時間)	地域で読書に関する活動が行われる(読書会・読み聞かせ)	本屋が利用しやすくなる(近くにできる・開店時間・ブックカフェ等のサービス)	自分の生活スタイルが変わる(本を読む時間ができる)	その他	無回答
全体		1494	39.8	13.4	24.8	2.7	34.5	43.8	1.9	12.4
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	52.0	19.7	24.3	2.9	48.0	46.8	3.5	3.5
	30代	207	54.1	15.5	23.2	2.9	41.5	55.6	1.0	2.9
	40代	342	46.5	18.4	28.1	2.3	43.3	54.7	1.5	5.0
	50代	264	36.0	13.3	25.4	3.0	36.4	49.6	1.1	6.4
	60代	245	31.0	8.6	26.9	2.0	22.9	31.8	1.6	19.2
	70代以上	239	25.9	6.3	21.3	3.3	19.2	26.4	3.3	28.9

■ 職業別 もっと読書をするために必要なこと(問 32×F7)

- ・学生では「市立図書館が利用しやすくなる（蔵書増・開館時間・アクセス）」「本屋が利用しやすくなる（近くにできる・開店時間・ブックカフェ等のサービス）」が同率、無職では「市立図書館が利用しやすくなる（蔵書増・開館時間・アクセス）」が最も多くなっている。それ以外は「自分の生活スタイルが変わる（本を読む時間ができる）」が最も多い。

	合計	問32 もっと読書をするために必要なこと											
		館す市立図書館が利用しやすくなる(蔵書増・開)	ほす学校図書館が利用しやすくなる(学生むけのほか地域への開放)	館しやすくなる(蔵書増・開)	施設の図書コーナーが利用共	地区センター、コミュニティ	会動が行われる(読書)	地域で読書に関する活	等店のサービス)	本店(近く)にできる(ブックカフェ)	本屋が利用しやすくなる	が変わる(本を読む時間)	自他の
全体	1494	39.8	13.4	24.8	2.7	34.5	43.8	1.9	12.4				
F 7 職業													
自営業・自由業	107	34.6	13.1	15.9	0.9	27.1	43.0	0.9	15.0				
自営業の家族従業者	18	33.3	22.2	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	11.1				
正社員、正職員	430	45.8	12.8	20.7	2.6	43.5	51.6	1.2	4.9				
契約社員、派遣社員、嘱託職員	76	40.8	11.8	26.3	2.6	34.2	53.9	1.3	2.6				
アルバイト、パート	168	36.9	14.9	28.0	3.0	31.0	52.4	3.0	9.5				
学生	85	54.1	20.0	28.2	3.5	54.1	41.2	4.7	1.2				
家事専業(主夫・主婦)	372	39.2	15.6	30.1	3.8	31.2	42.5	3.0	12.6				
無職	195	31.8	7.7	26.7	2.1	23.6	25.6	0.5	27.2				
その他	15	33.3	13.3	33.3	0.0	33.3	40.0	0.0	20.0				

■ 居住地区別 もっと読書をするために必要なこと(問 32×F8)

- ・上谷本連合町内会、美しが丘連合自治会では「市立図書館が利用しやすくなる（蔵書増・開館時間・アクセス）」、市ヶ尾連合自治会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会では「本屋が利用しやすくなる（近くにできる・開店時間・ブックカフェ等のサービス）」、それ以外の地区では「自分の生活スタイルが変わる（本を読む時間ができる）」が最も多い。
- ・美しが丘連合自治会では「学校図書館が利用しやすくなる（学生むけのほか地域への開放）」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

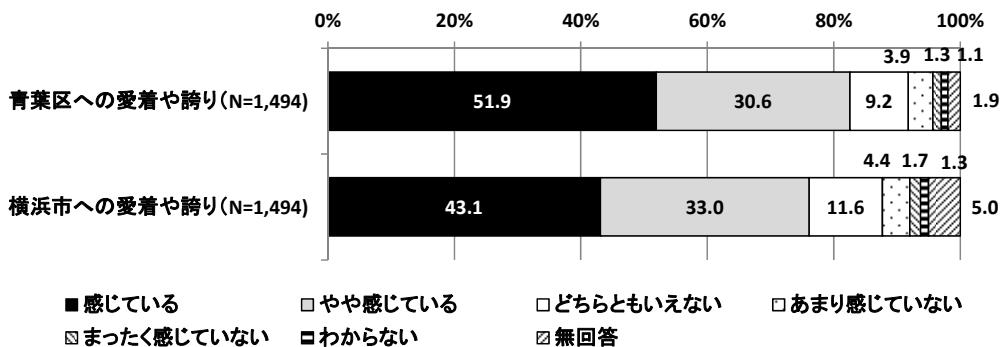
	合計	問32 もっと読書をするために必要なこと											
		館す市立図書館が利用しやすくなる(蔵書増・開)	ほす学校図書館が利用しやすくなる(学生むけのほか地域への開放)	館しやすくなる(蔵書増・開)	施設の図書コーナーが利用共	地区センター、コミュニティ	会動が行われる(読書)	地域で読書に関する活	等店のサービス)	本店(近く)にできる(ブックカフェ)	本屋が利用しやすくなる	が変わる(本を読む時間)	自他の
全体	1494	39.8	13.4	24.8	2.7	34.5	43.8	1.9	12.4				
F 8 住んでいる町(統合)													
中里連合自治会	81	39.5	9.9	23.5	3.7	40.7	44.4	2.5	13.6				
中里北部連合町内会	87	36.8	20.7	27.6	3.4	33.3	41.4	2.3	10.3				
市ヶ尾連合自治会	78	41.0	11.5	16.7	3.8	60.3	35.9	1.3	12.8				
上谷本連合町内会	78	43.6	15.4	25.6	0.0	35.9	33.3	2.6	20.5				
谷本連合自治会	121	33.9	14.9	25.6	2.5	30.6	45.5	3.3	9.9				
恩田連合自治会	143	37.1	14.0	29.4	2.1	28.7	46.9	1.4	14.0				
青葉台連合自治会	189	42.9	14.3	29.1	1.6	31.2	44.4	1.6	10.6				
奈良町、奈良北団地連合自治会	116	38.8	16.4	30.2	3.4	37.1	48.3	1.7	10.3				
山内連合自治会	203	40.4	10.3	23.6	2.5	26.6	46.8	3.0	13.3				
荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	42.3	9.5	16.8	2.7	44.5	42.3	1.4	10.9				
すずき野連合自治会	72	37.5	8.3	27.8	2.8	25.0	52.8	1.4	8.3				
美しが丘連合自治会	58	51.7	24.1	31.0	8.6	24.1	39.7	0.0	12.1				

12. 区・市への愛着について

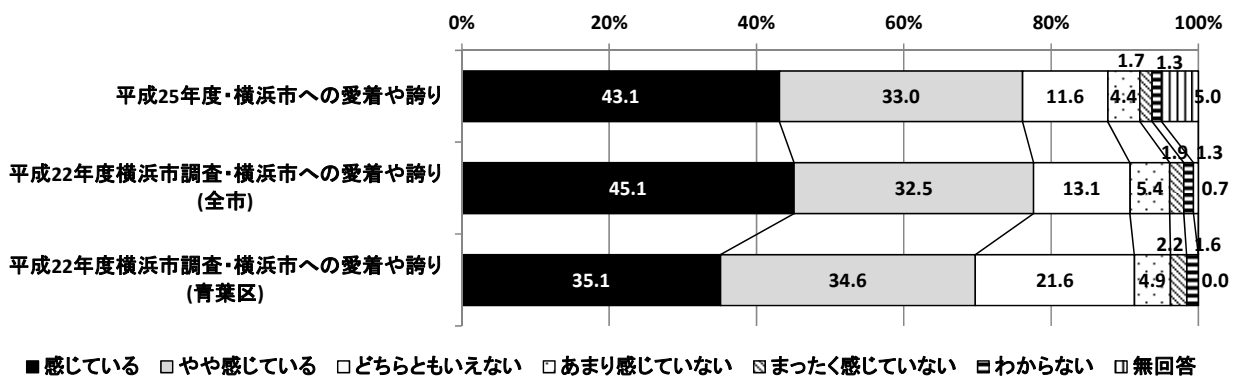
問 33 あなたは、青葉区や横浜市というまちに対して、愛着や誇りを感じていますか。

青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。（それぞれに○は1つ）

- ・青葉区については、愛着や誇りを「感じている」が最も多く 51.9%で、全体の半数強となっている。次いで「やや感じている」が 30.6%で、これらを合わせると 82.5%と、8割を超える人が青葉区に愛着を感じるとしている。以下「どちらともいえない」(9.2%)、「あまり感じていない」(3.9%)、「まったく感じていない」(1.3%)、「わからない」(1.1%)となっている。
- ・横浜市については、「感じている」が最も多く 43.1%、次いで「やや感じている」が 33.0%で、これらを合わせると 76.1%と、横浜市に愛着を感じているのは全体の4分の3強となっている。以下「どちらともいえない」(11.6%)、「あまり感じていない」(4.4%)、「まったく感じていない」(1.7%)、「わからない」(1.3%)となっている。
- ・平成 22 年度横浜市民意識調査と比較すると、横浜市への愛着や誇りについては、市調査では「感じている」「やや感じている」を合わせた数値が 77.6%となっており、今回調査はこれよりわずかに低くなっている。一方、平成 22 年度横浜市民意識調査の青葉区のみ結果を見てみると、「感じている」「やや感じている」を合わせた数値が 69.7%となっており、今回調査はこれより 6 ポイント以上高くなっている。



< 参考 平成 22 年度横浜市民意識調査との比較 >



■ 年齢別 青葉区への愛着度(問 33×F1)

- ・いずれの世代も「感じている」が最も多く、40代以上の世代では5割を超え、70代以上では6割を超えている。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、10代20代では7割台半ば、30代以上では8割を超えている。

		問33-1 青葉区への愛着や誇り									
		合計	感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じている	まったく感じない	わからない	無回答	感じている+やや感じている	あまり感じない+まったく感じない
全体		1494	51.9	30.6	9.2	3.9	1.3	1.1	1.9	82.5	5.2
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	41.0	34.1	14.5	5.8	2.3	2.3	0.0	75.1	8.1
	30代	207	43.0	39.6	10.6	3.4	1.4	1.9	0.0	82.6	4.8
	40代	342	50.0	32.2	10.5	4.4	2.0	0.6	0.3	82.2	6.4
	50代	264	58.3	29.9	7.2	3.0	0.8	0.8	0.0	88.3	3.8
	60代	245	57.1	28.6	8.2	2.9	1.6	0.8	0.8	85.7	4.5
	70代以上	239	62.3	23.8	6.7	4.6	0.0	0.8	1.7	86.2	4.6

■ 居住地区別 青葉区への愛着度(問 33×F1)

- ・いずれの地区も「感じている」が最も多く、中里連合自治会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会で6割を超えている。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、美しが丘連合自治会では9割超、上谷本連合町内会でも9割近い数値となっている。

		問33-1 青葉区への愛着や誇り									
		合計	感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じている	まったく感じない	わからない	無回答	感じている+やや感じている	あまり感じない+まったく感じない
全体		1494	51.9	30.6	9.2	3.9	1.3	1.1	1.9	82.5	5.2
F8 住んでいる町 (統合)	中里連合自治会	81	60.5	21.0	9.9	6.2	0.0	2.5	0.0	81.5	6.2
	中里北部連合町内会	87	52.9	29.9	9.2	4.6	1.1	2.3	0.0	82.8	5.7
	市ヶ尾連合自治会	78	48.7	30.8	14.1	2.6	1.3	0.0	2.6	79.5	3.8
	上谷本連合町内会	78	57.7	32.1	5.1	2.6	1.3	0.0	1.3	89.7	3.8
	谷本連合自治会	121	53.7	28.1	8.3	3.3	1.7	0.8	4.1	81.8	5.0
	恩田連合自治会	143	49.7	31.5	9.8	2.8	2.1	1.4	2.8	81.1	4.9
	青葉台連合自治会	189	47.6	36.5	10.1	2.6	1.6	0.5	1.1	84.1	4.2
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	50.9	29.3	11.2	6.9	0.9	0.0	0.9	80.2	7.8
	山内連合自治会	203	51.2	32.0	8.9	3.4	0.5	1.5	2.5	83.3	3.9
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	47.7	35.0	8.6	4.5	1.4	1.4	1.4	82.7	5.9
	すすき野連合自治会	72	61.1	23.6	8.3	2.8	1.4	1.4	1.4	84.7	4.2
	美しが丘連合自治会	58	62.1	29.3	1.7	3.4	0.0	0.0	3.4	91.4	3.4

■ 年齢別 横浜市への愛着度(問 33×F1)

- ・いずれの世代も「感じている」が4割台で最も多い。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、50代で8割を超えている。

		合計	問33-2 横浜市への愛着や誇り								
			感じている	やや感じている	どちらともいえぬ	あまり感じない	まったく感じていない	わからない			無回答
	全体	1494	43.1	33.0	11.6	4.4	1.7	1.3	5.0	76.1	6.0
F 1 年齢 (統合)	10代20代	173	41.6	30.1	13.3	7.5	4.0	2.3	1.2	71.7	11.6
	30代	207	40.6	35.3	14.5	2.9	2.4	2.4	1.9	75.8	5.3
	40代	342	42.1	34.8	13.5	4.4	1.8	0.3	3.2	76.9	6.1
	50代	264	46.2	36.4	8.3	4.5	1.1	1.1	2.3	82.6	5.7
	60代	245	42.4	34.3	12.7	4.5	1.6	0.8	3.7	76.7	6.1
	70代以上	239	49.0	28.9	8.4	3.3	0.0	1.7	8.8	77.8	3.3

■ 居住地区別 横浜市への愛着度(問 33×F1)

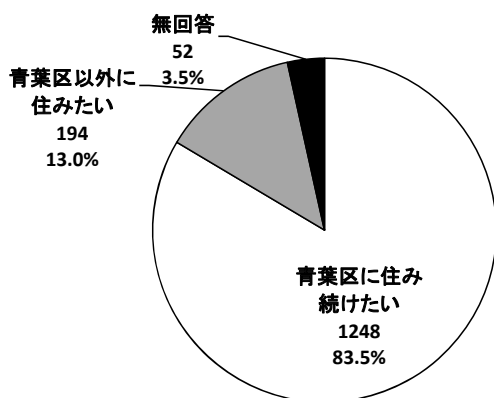
- ・いずれの地区も「感じている」が3割台～5割で最も多い。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、美しが丘連合自治会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会で8割以上となっている。

		合計	問33-2 横浜市への愛着や誇り								
			感じている	やや感じている	どちらともいえぬ	あまり感じない	まったく感じていない	わからない			無回答
	全体	1494	43.1	33.0	11.6	4.4	1.7	1.3	5.0	76.1	6.0
F 8 住んでいる町(統合)	中里連合自治会	81	49.4	23.5	12.3	7.4	0.0	3.7	3.7	72.8	7.4
	中里北部連合町内会	87	43.7	34.5	9.2	5.7	3.4	1.1	2.3	78.2	9.2
	市ヶ尾連合自治会	78	42.3	30.8	12.8	3.8	1.3	0.0	9.0	73.1	5.1
	上谷本連合町内会	78	50.0	29.5	7.7	5.1	1.3	0.0	6.4	79.5	6.4
	谷本連合自治会	121	43.8	28.1	18.2	3.3	2.5	0.8	3.3	71.9	5.8
	恩田連合自治会	143	42.0	31.5	11.2	3.5	2.8	1.4	7.7	73.4	6.3
	青葉台連合自治会	189	37.6	34.9	14.8	3.7	2.6	1.6	4.8	72.5	6.3
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	44.8	29.3	11.2	7.8	1.7	0.9	4.3	74.1	9.5
	山内連合自治会	203	41.9	37.9	8.4	3.9	1.0	1.0	5.9	79.8	4.9
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	41.4	38.6	10.5	3.6	1.4	1.4	3.2	80.0	5.0
	すずき野連合自治会	72	45.8	29.2	15.3	4.2	0.0	1.4	4.2	75.0	4.2
	美しが丘連合自治会	58	50.0	37.9	3.4	1.7	0.0	0.0	6.9	87.9	1.7

13. 定住意向について

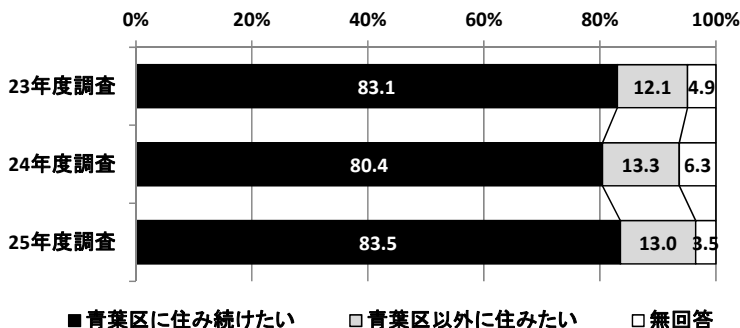
問 34 あなたは、青葉区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- ・「青葉区に住み続けたい」が 83.5% で圧倒的に多く、8 割以上を占める。「青葉区以外に住みたい」(13.0%) は 1 割強である。
- ・平成 23 年度、24 年度調査においても、「今住んでいるところに住み続けたい」「青葉区内のどこかに住み続けたい」を合わせた青葉区内への定住意向は 8 割を超え、以前から変わらず高い水準を維持している。



N=1,494

< 参考 平成 23 年度、24 年度調査結果との比較 >



注) 平成 23 年度、24 年度調査では今年度調査と選択肢が異なるため、平成 23 年度調査については、「今住んでいるところに住み続けたい」「青葉区内のどこかに住み続けたい」を合わせて「青葉区に住み続けたい」、「青葉区以外の横浜市に住みたい」「横浜市外に住みたい」を合わせて「青葉区以外に住みたい」としている。

平成 24 年度調査については「今住んでいるところに住み続けたい」「青葉区内のどこかに住み続けたい」を合わせて「青葉区に住み続けたい」、「青葉区以外の横浜市に住みたい」「川崎市に住みたい」「横浜市、川崎市以外の神奈川県内に住みたい」「町田市に住みたい」「東京 23 区に住みたい」「その他の地域に住みたい」を合わせて「青葉区以外に住みたい」としている。

■ 年齢別 青葉区への定住意向(問 34×F1)

- ・いずれの年代でも「青葉区に住み続けたい」の方が多く、50代では9割に達する。

		合計	問34 青葉区に住み続けたいか		
			青葉区に住み続けたい	青葉区以外に住み続けたい	無回答
全体		1494	83.5	13.0	3.5
F1 年齢 (統合)	10代20代	173	78.6	19.1	2.3
	30代	207	77.3	20.3	2.4
	40代	342	82.2	15.5	2.3
	50代	264	90.5	9.1	0.4
	60代	245	89.4	9.4	1.2
	70代以上	239	88.3	7.9	3.8

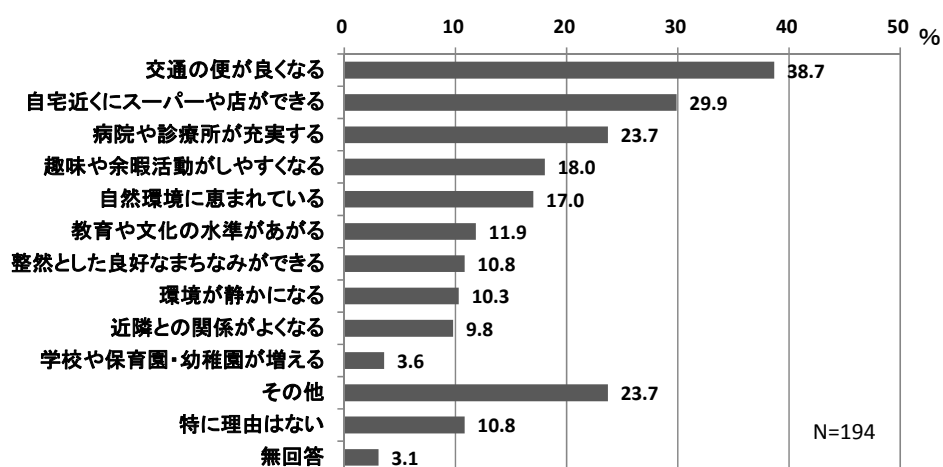
■ 居住地区別 青葉区への定住意向(問 34×F8)

- ・いずれの地区でも「青葉区に住み続けたい」の方が多く、美しが丘連合自治会では9割を超えている。

		合計	問34 青葉区に住み続けたいか		
			青葉区に住み続けたい	青葉区以外に住み続けたい	無回答
全体		1494	83.5	13.0	3.5
F8 住んでいる町(統合)	中里連合自治会	81	87.7	9.9	2.5
	中里北部連合町内会	87	89.7	9.2	1.1
	市ヶ尾連合自治会	78	82.1	14.1	3.8
	上谷本連合町内会	78	84.6	11.5	3.8
	谷本連合自治会	121	84.3	12.4	3.3
	恩田連合自治会	143	77.6	18.9	3.5
	青葉台連合自治会	189	82.5	14.8	2.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	116	81.9	15.5	2.6
	山内連合自治会	203	84.7	9.9	5.4
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	220	82.3	14.5	3.2
	すすき野連合自治会	72	88.9	9.7	1.4
	美しが丘連合自治会	58	91.4	3.4	5.2

問 34-1 「住み続けたくない」気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるためには何が必要だと思いますか。(問 34 で青葉区以外に住みたいと回答された方のみ、○はいくつでも)

- ・「交通の便が良くなる」が 38.7% で最も多く、4 割近い人が挙げている。次に「自宅近くにスーパーや店ができる」(29.9%)、「病院や診療所が充実する」(23.7%)と、利便性の向上に関する項目が上位に挙がっている。また、「その他」も 23.7% で並ぶ。以下「趣味や余暇活動がしやすくなる」(18.0%)、「自然環境に恵まれている」(17.0%)、「教育や文化の水準があがる」(11.9%)などと続く。
- ・「その他」(23.7%)として 45 件の記述があり、48 件の意見が挙げられた。最も多かったのは「物価が安くなる」の 10 件、次いで「郷里に帰る」が 8 件、「医療補助が充実する」が 4 件、「通勤が楽になる・混雑緩和」が 4 件などとなっている。



「その他」意見内容

内容	件数
物価が安くなる	10
郷里に帰る	8
医療補助が充実する	4
通勤が楽になる・混雑緩和	4
公共施設の利便性向上	3
生活環境の改善・美化	3
道路・歩道の整備	3
坂道の移動の改善	2
都内に住みたい	2
若者向けの街づくり	2
駅のそばに住みたい	1
家族の意向による	1
高齢者福祉施設の増設	1
幼稚園の充実	1
障害者支援	1
税金が安くなる	1
防犯	1
	48

■ 年齢別 住み続けたくない気持ちが変わるために必要なこと(問 34×F1)

- ・ いずれも「交通の便が良くなる」が最も多く、30代ではこれと「自宅近くにスーパーや店ができる」が同率となっている。
- ・ 10代 20代では「趣味や余暇活動がしやすくなる」「特に理由はない」、70代以上では「自宅近くにスーパーや店ができる」「病院や診療所が充実する」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

		合計	問34-1 「住み続けたくない」気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるために必要なこと												
			自宅近くにスーパーや店ができる	実病院や診療所が充実する	交通の便が良くなる	自然環境に恵まれている	趣味や余暇活動がしやすくなる	幼稚園や保育園・小学校が増える	教育や文化の水準があがる	まちなみができる	整然とした良好な環境が静かになる	近隣との関係がよくなる	その他	特に理由はない	無回答
全体		194	29.9	23.7	38.7	17.0	18.0	3.6	11.9	10.8	10.3	9.8	23.7	10.8	3.1
F1 年齢 (統合)	10代20代	33	36.4	15.2	42.4	9.1	30.3	6.1	21.2	12.1	18.2	15.2	12.1	21.2	0.0
	30代	42	28.6	21.4	28.6	23.8	16.7	9.5	14.3	19.0	4.8	9.5	26.2	9.5	2.4
	40代	53	26.4	24.5	32.1	17.0	13.2	1.9	5.7	13.2	17.0	7.5	30.2	9.4	5.7
	50代	24	25.0	20.8	41.7	20.8	25.0	0.0	8.3	0.0	4.2	8.3	25.0	8.3	4.2
	60代	23	21.7	26.1	43.5	13.0	8.7	0.0	13.0	4.3	0.0	8.7	30.4	8.7	4.3
	70代以上	19	47.4	42.1	63.2	15.8	15.8	0.0	10.5	5.3	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0

区政について

青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

- ・青葉区政についての意見として、388件の記述があり、計560件の意見が挙げられた。
- ・意見が多かったのは、分野ごとに「道路・交通」140件、「行政」109件、「環境」102件、「福祉」76件、「教育・文化」44件、「防犯・防災・安全」42件、「地域」39件、「医療」8件の順である。
- ・各分野の中で項目をまとめてみると、最も多かったのは「公共交通」についての50件である。以下、目立ったものとしては「子育て支援」（34件）、「防犯」（32件）、「高齢者福祉」（30件）、「歩道」（26件）、「ゴミ分別・ゴミ収集」、「自然環境」（共に23件）などとなっている。

大分類	中分類	件数	大分類	中分類	件数
行政		109	福祉		76
	公共施設	22		子育て支援	34
	行政サービス	20		高齢者福祉	30
	区政一般	17		障害者福祉	6
	広報・広聴	13		福祉一般	4
	税金・税の有効活用	8		若者支援	2
	職員の資質	6	医療		8
	若者向けのまちづくり、活性化	4		医療体制	6
	アンケート	3		病院・医院	2
	イベント	3	教育・文化		44
	感謝している	3		図書館	20
	都市基盤整備	3		学校・教育	11
	特性を生かしたまちづくり	3		スポーツ	8
	協働	2		学校予定地	3
	行政改革	2		文化活動	2
環境		102	地域		39
	ゴミ分別・ゴミ収集	23		地域商業振興	18
	自然環境	23		地域活動	11
	住環境	22		地域コミュニティ	7
	公園	19		産業振興	3
	ペット・動物	8	防犯・防災・安全		42
	温暖化対策・エネルギー	4		防犯	32
	区民農園	2		防災	10
	路上喫煙	1			
道路・交通		140			
	公共交通	50			
	歩道	26			
	駐車場・駐輪場	16			
	道路	16			
	違法駐車・放置自転車	13			
	交通マナー	12			
	自転車専用道路	4			
	駅前再開発	3	計		560

自由記述内容一覽

行政について

公共施設

地域ケアプラザの利用方法や詳細を教えてください。
地域ケアプラザの担当は恩田ですが、不便で行く気がしません。近所の人も青葉台が良いと言っています。利便性を考えてほしいです。
ケアプラザを学校の空き教室を活用したらどうか。
選挙の投票所や避難場所等、標識や案内板がなくわかりにくい。また、遠い。
児童館のように、子どもからお年寄りまで一緒に利用できる施設があったらいいと思います。
近所に少年野球向けの野球スペースがあるが、公共用地であればもっと幅広い区民が利用できるようにすべきではないか。
区役所、図書館、スポーツセンターなど、すべて離れているので不便です。健診の充実よりスポーツセンターを増やしてほしい。
何をするにも市が尾まで行く必要があり、手続きが遅れる。たまプラザにも区政の拠点に至急つくってほしい。老人には真に不便な町である。
区役所、ケアプラザの会議室等、もっとたくさん借りられるようにしてほしい。
荏田地区に地区センターを造ってほしいです。どこも遠くて利用しづらい。
荏田北1丁目～3丁目に地区センターが少ない。
ケアプラザのような機能を持つ場所を増やしてほしい。コミュニティ等ももっと利用しやすくしてほしい。
地区センターをたびたび利用しております。数年前に比べ利用料が大幅に増加。もう少し安価で利用できると良い。
住むことには満足しております。とても住みやすい区だと存じます。
ハローワークの出張所がほしい。
青葉台駅に区の出張所がほしい。
青葉区役所、スポーツセンター、公会堂は、駅から遠くて不便。
近くに郵便局がない。地区センター、ケアプラザが遠い（歩いて行けない）。
区役所に行くのに不便。
若草台地区センターを利用していますが、高齢者に体育館の卓球台を片付けさせたり、セットさせることが理解できません。卓球台を使用した人達がなぜ片付けないのでしょうか？
たまプラ駅に行政センター（窓口）を設置してほしい。
図書館、地区センター、コミュニティハウス、ケアプラザなどを利用しているが、ますます充実してほしい。役所が遠すぎる。

行政サービス

高齢の母親と暮らしていますが、選挙に行けません。自宅で投票できるようにしてほしい。一票は尊いはずですが。
平日仕事をしているので、土・日・祝日に区役所を利用したい。
川崎市に住んでいるときは、年末調整の用紙が送られてきたり、がん検診の用紙が送られてきたけど、横浜市はそういうのではないのでしょうか？
住民カードで、窓口に行かなくても機械で住民票とか手に入るといいなと思う。
役所はもう少し待ち時間等を減らす努力をしてほしい。
土日のサービスをしっかり考えてほしい（時間についても）。
人員の配置見直し。
印鑑・委任状など、省けるところの簡素化をお願いします。三文判も売店で買えるようにしていただきたいものです。
住基カードを作成しましたが、藤沢市ではコンビニで住民票などの写しを取ることができ、とても便利に使っていましたが、こちらではそれもできず、住基カードを持つ意味がないように思います。行政サービスセンターでは駐車場もなく、乳児のいる家庭では車移動が必要なため、早期にコンビニで取得できるようにしてほしい。
区役所のサービス向上。
行政が思いつきでサービスをするのは税金の無駄。余計なことをしなくていいから、窓口で二度手間を強いないように、専門用語ではなく小学生でもわかる言葉で、サービスを受ける側の立場に立って対応してくればよい。地域のことは住民と民間で対応できるし、任せたいほうが良い。
土曜日に役所を開けてほしい。
土曜に開いてほしい。または夜。
区役所での手続き等、土日の休日に行えるようお願い申し上げます。
人によりますが、マニュアル通りではなく、少し踏み込んだ対応をしていただけたらと思います。無理なこと、難しいことはあるかと思いますが、“できません”ではなく、自分が少しでもできることを考え、できる対応を区の職員さんであればお願いします。
行政は土日には利用できないので、働いているとあまり接点がありません。本当は年金や健保のことで相談したいことがあるのと思います。
役所も税務署も土日開庁すべきである。
土日の対応を増やしてほしい。
フルタイムで働いているので、なかなか区役所に行くことができない。1ヶ月に1回か、2ヶ月に1回でいいので、土曜日開庁していただきたい。

区役所に相談しに行きたくても、相談しづらい雰囲気があります。××を相談したい時は〇〇へという感じのマップ付パンフレットとかが駅に置いてあると行きやすくなると思います。

青葉区に限ったことではないが、土日に行行政サービスが受けられるような体制をとるべきであると考え。「区民のため」というなら、大多数が休みの土日祝に行行政サービスが受けられるようにすべき。また、平日も窓口や施設を朝早くや夜遅くまで利用できるようにしてほしい。

たまプラーザ駅に土日でも利用できる窓口を開設していただけると助かります（青葉区役所は最寄り駅から遠く、駐車場も利用者数に対して少ないため、小さい子どもを連れて行くのはとても大変です）。

区政一般

青葉区政って具体的に何をやっているのかよくわかりません。

ただ決まっていることをやっているにすぎない。

子ども、若者、中高年、高齢者に明るく手を差しのべられる、声を掛け合える青葉区であってほしいです。

プライドが高すぎる区。もっと楽な地域づくりにしてほしい。

今後も住みよい街づくりのための区政を期待しております。

市の活動はよく目にしてはいるが、区の活動を意識して見たことがない。そもそも区役所の仕事の管轄がわからない。税金ばかり高くて、住みにくい町だと思いが、治安がいいので気に入っている。

行政が何かに力を入れていると感じられることない。

横浜市はもっと国家行政に協力すべきである。

概ね満足しています。

裕福な家庭が多い区ですが、それに甘んじることのないようにしてほしい。区民の中には決して裕福ではない家庭もあるのだから。

区政が身近ではない。

今後の区政にも期待しています。

青葉区らしさを大切にしてください。

犯罪、交通事故、青少年育成、この3つに力を入れて住みよい街になればいいと思います。

小学生の数が減っています。一方、電車は満員。マンションは増えるばかり。青葉区がどのような未来を描いているのかよくわからない。

もっと活発に活動してほしい。

広報・広聴

越してきたばかりでよくわからないことだらけです。

公共施設や病院など、わかりやすい地図があると助かります。買い物も不便ですし、バスなどないので少々不満です。

区からの情報発信の強化をお願いします。

青葉区マスコットなしちゃんとの交流

青葉区でも「ゆるキャラ」を募集してほしいです。

広報活動の充実。

今後も区民の声を聞いてください。

まだ自由に動いて趣味の生活をしておりますが、もう少し少年がいて動くのに不自由になった時、自治会・役所関係と関わりあうようになった時、どこへ、どのように関わり合えるのか、つながりがまったくわかりません。60歳以上の人宛に、どのような場合にはどこへ等のパンフレットがほしい（電話番号、役所名等）。

工事のお知らせや交通事故の注意の立て看板、区からのお知らせ等、重要な箇所が赤い字で書かれていますが、高齢者にとって赤い字は非常に見にくいのです。黒い字の横に赤線を引く等の表示に改めてください。

このアンケートに出てる青葉区の広報番組のほとんどを知らなかった。この部分だけまとめて何かに出してほしい。学校や公共施設等のわかりやすい所に貼っておいてほしい。

自治会に入っていないなくても、広報よこはま等を各家庭に配布してほしい。

今回の調査内容に基づき、テーマ別に区民と行政がディスカッションできるような場を継続的に設けて、より良い環境作りを目指してほしい。

かわいいゆるキャラを作してほしい。

区のキャラクターを作してほしいです。

税金・税の有効活用

国民健康保険料、夫婦2人26,000円は高すぎる。何とかしろ！妥当な額は15,000円と考える。

生活保護者の監視。ある一部の生活保護者は、パチンコ店へ出入りし、ブランド品を持ち、たばこを吸い、酒を昼間から飲み、そのあげく不健康になり無料で医療を受けている。医療機関への交通手段はタクシー。このような生活保護者がいる限り、支援はしたくない。大切な税金をこのようなことに使われないよう、監視をお願いしたい。

税金を有効に使ってほしい。

他に比べて税金が高いです。

横浜市は知名度だけで税金や保険料が高いだけです。取るならそれに見合う行政を行ってほしいです。

新市庁舎建設反対。まず区運営のコストカットをせよ。

給料が安いので、税金が下がると助かります。

市民税、公共料金、その他各種負担が他地域と比べて高い。その割に公共サービスが良いとも言えない。

青葉区の将来像、活性化

もっと若い人が住みたいと思うような街づくりをして、若い世代の誘致に乗り出してほしい。青葉台が年寄りの街になってしまう…。

少子化の中でも地域を活性化するよう、対策をお願いしたい。

青葉区は老人が多いと聞きます。若い人達が生活しやすい区にすることで、老若がバランスよくできる区になると良いと思う。

今は若い世代が多く、とても明るい街ですが、これから20～30年後も若い世代があふれる街であり続けるのは難しいかもしれません。その時、どういう街であるかを予想しながら、今からがんばってください（具体的には今の若い人対象のお店等→40～60代対象へのシフト）。

青葉区は特に高齢者が多く、老人ホームの集合地なので商店は寂れ、若い人は住みにくいと思います。もう少し活気づけばと協力はしていますが、もっと後押しがあればと感じます。

区の特性を分析し、他区との差別化をする。必要なものを増やすこと。

少子化と言われている中、青葉区は子どもも多いし、海外の方も多いように感じます。その特色を生かして、地域の交流を深めてほしいです。

今後のさらなる国際化を視野に入れ、特に子ども達を中心とする。在青葉区外国人とのイベントを強化する。

職員の資質

区役所の窓口は、とても親切になったと思います。しかし、「決まり」という名のもと、融通に欠ける方が時々いらっしゃいます。

主人が亡くなり、住宅ローンのことで大変困ったことがありました。

銀行は死亡診断書の原本を持ってこいと言う、区役所に行ったら医者は何枚でも書くから書いてもらえと言う、医者に言ったら一枚しか書かないと言う、この困った時の役所の窓口の人の冷たさにかなり頭にきた。役所の人は嫌いだ！誰の言っていることが正しいのでしょうか。教えて!!

区役所の対応がよろしい。

区役所職員が不親切で行きたくありません。行かざるを得ないので何とかしてください。保健所とか人によるとありますが、対応等がっかりしてしまいます。

役所の間は対応悪いし、仕事が遅い、暗い。都筑区と大違い。

アンケート

はじめに、このような方法で住民の意識を吸い上げ、区政に生かしたいとお考えに対し、敬意を表するものであります。しかしながら、回答者の属性や考え方や生き様が様々であるにも関わらず、あたかもすべてが同じ層に属しているかのごとく、あるいは全ての方が全ての問題・課題に意識をもっているかのごとき設問の設定は、回答者に戸惑いを与える以外のなにもでもなく、このような調査書を配布する以前に、その内容の妥当性について十分な検討が行われたものとは思にくい内容であることを申し上げたいと思います。例えば、設問1の「①バスの便などの地域交通」については、もしバス利用をしたことがない人はどう応えれば？「⑫障がい者福祉」については、自分自身が同居近親者が障がい者でない限り、責任をもって応えられますか？設問4の子育てについて、子育てがとっくに終わった老夫婦はどう答えれば？等々。

3000通しか配らない上に、返送してもQUOカードとかいただけない。どれだけ回収する気があるのですか？

アンケート調査ありがとうございます。いろいろ考える良い機会になりました。今後とも、地域の発展・向上のため、よろしく願いいたします。

イベント

こどもの国周辺で、青葉区主体の行事等を行って、地域活性化してほしい。

娘がシンガーを目指しています。商業施設などで歌えるイベントを増やしてください！青葉区から世界へ。

在青葉区外国人とのイベントを強化する。

感謝している

私共が日々のんびりと生活できるのも、皆様が日夜働いてくださるおかげです。毎日のお仕事ありがとうございます。

区役所職員の皆様が、気持ちの良い接客をしてくださるのでとても有り難く思います。

I would like to personally thank the Municipal office. For making our neighborhood as pleasant place to live.

都市基盤整備

市ヶ尾町に緑区市ヶ尾町の表札がまだかなりあるのは何故？早急に改めるべきではないのか。

電線の地下埋設を進めてほしい。景観、防災の両面から。

青葉区内のどこかの水道管が腐敗していたニュースを知りました。全体の水道管の調査と水質のチェックをお願いいたします。不安です。

協働

隠れたボランティア活動希望者が大勢いる。これを活用して市の質を高める工夫が重要。税金を使わずに、大変革が実現できると確信しています。

区政に住民が関わる機会がもっと増えると良いと思う。住民パワーを活用するとよい。特に退職した60歳以上の人は、生き甲斐ができ健康増進に役立つのではないかと。

行政改革

世の中全て、公務員優先の気がします（改善してほしい）。

市職員の給料は国・県にならって見直しが必要。

横浜市は政令市だからやりたい放題である。

環境

ゴミ分別・ゴミ収集

以前は夏の間だけ生ゴミは週3回来ていました。いつの間にか2回になり、夏の暑さは厳しく臭ってきます。せめて夏だけでも週3回にしてください。2回になった時、今年はテストケースと言っておりましたが、その結果も報告せず、2回になったことにとっても不満です。
ゴミの収集がブロックで一箇所です。高齢者の家庭ではブロックの裏側の収集場所まで坂を上っていくのが大変です。また、持ち回りの当然の週は収集後にネットの片付けに行きますが、収集される時刻が日によりマチマチなので、行ってもまだ収集されていないなど、高齢者には相当な負担になっています。
ゴミの問題は住民任せにせず、区が積極的に指導していくべきだと思います。住民同士に任せておくことは解決にならないと感じています。
夏場（5～8月まで）、燃えるゴミを週3回にしてほしい。※子育て中のオムツがあるため一番困っていることは生ゴミの収集日が週2回に減ったことです。夏の暑いときに週2回、しかも月・金の時間も2時近くと遅くなってしまい、8時までに出すようにと書いてあるのに、午後の収集では臭いやカラスの被害も出て困っています。元に戻してほしいです。以前は月・水・金でした。
エコ活でゴミ袋の使用を減らしても、ゴミ収集所に出す際、ゴミ袋を使う以上、永遠にゴミ袋はなくならないと思う。ゴミの出し方を根本的に変える必要があると思います。
青葉区に住んで6年になります。緑が多く、環境も良く、住みやすいです。しかし、ここ2年程、ゴミ収集所にカラスが出て荒らしています。住人が出しやすく、清掃員の方が取り出しやすいBOXを設置していただけるとありがたいです。費用面で難しいようでしたら、燃えるゴミ専用の黄色（濃色タイプ）のビニール袋を配布していただきたいです。
公園、路上のゴミ捨て、ゴミステーションのゴミの散らかり、動物の糞の置きっぱなし等、人が多くなったぶん、それらも増えている気がします。厳しく取り締まるか規則があってもよい気がします。
公園に何故ゴミ入れが設置されていないのか。捨ててあるゴミの多くはコンビニ弁当の空き箱。飲んだ飲料水の空きボトルと一緒にレジ袋に入れて口をきちっと縛ってベンチの下などに置いてある。もしゴミ入れが設置してあれば、分別すらしてゴミ入れに入れるでしょう。ゴミ入れを撤去した理由は、風聞によれば爆発物を入れられるを避けるためだという。とんでもない茶番。公園に来てみりゃわかりますよ。爆発物を隠すには絶好の植え込みがそこかしこにあって、ゴミ入れなんてお呼びじゃない。要はこれでゴミの収集経費が多寡するってみみっちい話じゃないのかしら？
暑い季節の生ゴミ回収日を増やしてください。
燃えるゴミの収集を、夏期だけでも3回にしてください。住み始めた頃のほうが便利でした。
ゴミの収集が遅い。13時になっても来ない。
ゴミの分別収集をなくすことはできないのでしょうか。年を重ねるたびに面倒になるので。
私の地域のゴミ捨て場は道路側にあり、他の所から、それも車で持って来る人がいます。目撃している人はたくさんいるのですが、怖くて注意することもできません。
ゴミ集積場所の緑の折りたたみ式のネット、ゴミ収集が終わっても折りたたまず、箱形のままです。せっかくきれいな街並みなのに、景観を損ねていて残念です。あれなら、今までのネットのみの方が終わればすぐ小さくなるのでいいと思います。
以前は燃えるゴミが週3日だったのが、数年前から週2日となり、当然ゴミの量が多くなり、収集車も午後3時近くになって回収に来ます。カラスや猫にゴミを荒らされることもあり大変迷惑です。
ゴミ収集を個別にしてもらいたいです。
プラゴミの収集日を増やしてほしいです。
ゴミの収集が悪い。道路の収集場所がゴミの山になっている所が多い。出し方が難しいのか、収集方法が悪いのかわからないが。その場所とは関係のない人のゴミが持ち込まれて、役所が回収しないゴミが何日にもわたって残されており汚い。このゴミは住民の管理の問題ではなく、ゴミ行政に問題があると考える。
リサイクルプラザの再開を望む。
ゴミに関しては、収集車の職員の多くの丁寧な仕事に感謝しています。“遅い”ことがお役所仕事と言われていますが、青葉区は“早い”と思います。
ゴミの収集回数を増やしてほしいです。 プラスチックゴミ→週3回 生ゴミ→週3回 ペットボトルなど→週2回
外部委託されているゴミ回収の回収時間がまちまちです。なるべく同じ時間（午前中を希望いたしますが）の回収を希望いたします。

自然環境

たまプラーザ駅近くに、多すぎるマンション建設を止めてほしい。
線路沿い、トンネル近くの開発は環境破壊である。
鶴見川沿いに最近桜が植えられていますが、とても良いことだと思います。不必要な階段や護岸工事はやめていただきたい。美しく蛇行した川の姿を維持してほしいです。東京の管轄に入った鶴見川は醜いです。桜並木を増やしてください。
近くの川がすごく汚れています。清掃活動はあるのでしょうか？もっとキレイになったら、鳥もたくさんきて子ども達も喜ぶと思います。
良い街だと思っています。でも、地域によっては街路樹の下草がボーボーの所が気になります。その場所に住んでいる方が少しでも気にとめていただけたらなどと思っています。
街路樹のケヤキの剪定をもう少し短くしてほしいです。

これからも青葉区が、緑が多く、暮らしやすい町になりますよう、ご尽力いただきたくお願いします。
緑豊かな自然を保持し続けてほしいと思います。田畑の残る田園風景は原風景として行政が守り、生かしていくべきです。
子どもが育ち、大人が楽しみ、高齢者が生き生きするような街であり続けるよう、頑張ってください。
緑や里山のあるところをこれ以上減らさないでほしい。
昔は田畑で自然豊かで静かな所だったのに、今では資材置き場等になってしまい、朝早くから騒音で困っています。川沿いもそこのおかげで汚くなり、ホテルがいなくなりました。横浜の都市ばかりきれいにしすぎです。アンケートに記入したので、どうかしてください。
最近緑が次々と減り、マンションの建築が増えているように感じます。青葉区として宅地造成をどのように考えているか気になります。青葉区と東急不動産（リバブル）との付き合いはとても深いと思いますが、あまりにも無計画、無節操なマンション建設が多いと思います。
日頃最も問題とと思っている「地域環境の整備・美化」について 道路と歩道の境に植栽がなされている所が多く、花の時期には住民の目を楽しませてくれているが、いいことだけではない。一斉に刈り込みが終わってからは、梅雨から秋口にかけて草ぼうぼう。これの手入れはどこ の管轄なのでしょう？区役所？青葉土木事務所？どっちにせよ、区の担当の方が見守っているのを見たことが ない。
公園、街路樹の下などの雑草がとても見苦しく、街の美観を損ねている。街路樹の枯落ち葉なども同じく、と ても見苦しい。
マンションばかり建設され、自然が減り、人が多くなり住みにくくなった。災害時に避難難民がでそうで不 安。これ以上マンションは不要！
子どもがもっと自然に触れて、遊べる場所が近くにあるといいなと思います（小川が流れる公園とかホテルが 見られる公園）。車で行かないといけない所にしかないのです。
青葉区の地名の通り、樹木が主人公の町になればと思います。
青葉区＝田園都市線沿線のイメージが強い。豊かな緑と自然をもっとアピールすべき。
街路樹をいろいろな理由で伐採した後、植樹をしてほしい。
緑化運動の推進を広く進めてほしい。
早瀬河川について、川の中には雑草がたくさん生えています。台風、大雨が降ったら川が氾濫してしまう状態 です。どうかきれいな早瀬河川にしてください。
道路や公園の草刈りをまめに行なってほしい。
基本的には住みやすい町だと思います。ただ個人的には、もっと緑の多い所に住みたいです。
道路脇の緑地が草ぼうぼうなので何とか手入れをしてください。名前通りの美しい青葉の区政をお願いします。
街に緑をもっと増やしてください。
これからも地域のためによりしくお願いします。
住環境
ある農地がありますが、野焼きがひどい上、景観を損なっており、しかも駅から自転車や徒歩で通る学生 （中・高校生）、大人にも危険な通りとなっています。何とかしてください。
庭で落ち葉などのたき火をしている家があり、煙害に困っています。
以上のように日頃より悩まされていることなどについて、一つ一つ対応・改善をお願いいたします。
駅周辺は活気があり、少し離れると緑が多く落ち着いた住宅地となっており、大変住みやすいです。
一戸建ての空家が増えている。草木が道路にかかっている。引っ越した家主に区役所から草木を切るように要 請してほしい。
駅前などの整備だけでなく、様々な場所の整備（歩道、道路、街灯等）をやってほしい。
住宅の家賃が高すぎる。
妻が近所のクリーニング店の違法営業や臭い、騒音について何度か役所に相談しているが、らちがあかない。 聞くところによると、この問題は昭和の頃から始まっているらしい。こんな行政でよいのか！泣き寝入りする だけか！
鴨志田はいい環境にあります。バスも深夜まであります。ただ、小田急側へ拓けていない感じですね。また、 最北なので、人（子ども）の増加が見込めないのが、将来急速に高齢化しそうです。
図書館、郵便局、バス停がもっと近くにあれば、より暮らしやすくなると思います。
駅周辺の低俗化（パチンコや家電量販店）や、景観に配慮のない住宅街はこれ以上増えてほしくありません。
夜中、警察の「はい、そこの車止まりなさい」という声と警告の音がうるさい。暴走族の音よりうるさいと感 じる。
緑が多く、幸せな事ですが、反面、蚊が非常に多い。夏場には害虫駆除をしてほしい。また、蚊を増やさない 対策を広報や回覧板に載せてほしい。
地域の放射線量をオープンにしてほしい。
新しい家が建つたびに治安が悪くなっています。まともな人は家を売り引っ越してしまいます。新しい人が来 てから、ゴミ出しのマナーが一気に悪くなりました。10年ぐらい前は穏やかで美しい町だった気がします。区 役所に相談しに行きたくても、相談しづらい雰囲気があります。××を相談したい時は〇〇へという感じの マップ付パンフレットとかが駅に置いてあると行きやすくなると思います。
首都圏であるはずなのに、電車をはじめ、様々な所で携帯の電波がひどいです。
新しく販売される住宅は、土地面積が小さく、緑がほとんどありません。規制と緑化を図ってほしい。
家の立地が246に抜ける広い道路沿いで、夜間など暴走車が多く、騒音がひどい。

伸びた樹木の枝が交差点の標識を見えにくくしているため、剪定をまめにしてほしい（安全面から）。私有地からはみ出して伸びている枝を、市が切ってもよいように法を改定するなどして、安全な街づくりをしてほしい。

非常に環境の良い地域だと思います。街の美化をこれからも進めてください。

新しい街と思っていましたが、すでに20年。街も少しずつ痛み始めたようです。修復しなければならない所や、新しいものを作る等、いつまでも明るい活動的な街であってほしいと思います。

緑が多く、公園も近くにあり、環境は良いと思う。

震災のため、新浦安から引っ越してきました。地盤は良くても、坂の高低差・量、病院の少なさ、本屋の少なさ、物価の高さ、田園都市線・大井町線の混雑、図書種類の少なさ、ゴキブリの多さ、道路の混雑、銀行少なさ等を感じています。

社宅などで空きがある場合、企業と連携して一般にも使えるようにする。

歩きたばこをしている人々のマナー向上のために、何らかの行政活動を求める。

公園

公園の遊具（滑り台等）がつまらないものになっています。安全性重視でしょうが、子どもが本当に楽しめるのでしょうか？

すべての公園にトレイを設置してほしい。また、ベンチを増やしてほしい。

中学生、高校生も利用できる公園があればと思います（バスケのゴールがあるなど）。

公園の砂場にネットを設置してほしい。

公園の大きな樹木の整備をしてほしい。

公園がもう少し整備されているとありがたい。例えば、砂場に猫よけのネットを設けるなど。砂場は乳幼児が遊ぶ場所なのに、猫の糞や割れたビンなどがあると安心して遊ばせられない。

まめに公園整備をしていただいて感謝しております。これからは砂場の管理等、よろしくお願いします。

日頃最も問題とと思っている「地域環境の整備・美化」について
一斉刈り込みもどこかの植木や委託されているらしく、刈り込みの際の草木・枝杵だけは片付けられるが、樹木の下に捨てられているビン類・紙くずの類はそのまま放置されている。業者とは一体どういう契約をされているんだろうか。

近所の公園は大きなゴミ捨て場と化しています。市や区は公園という設備は立派に作っても、それを維持するメンテナンス費用をろくに計上していないため、常緑樹の落ち葉は通路にたまり放題、ポイ捨てゴミは散らかり放題。見かねて時々拾い集めているけど、これもどこが美化担当なんですか？区の見廻っているのを目にしたことは皆無。

桜台公園を見通しの良い環境にしてほしい(暗く、虫も多いので、子どもを一人では行かせられません)。

公園は子どもの遊び場である。昼間、常識的な時間に子どもが楽しく遊ぶことを確保する場でもある。ボール遊びに「うるさい」と苦情を言うのはおかしいと思う。それに対して、公園で子どもの遊びを制限するのもおかしい。うるさいと思うなら公園から離れた場所に引っ越すべきだ！

公園緑地の整備、管理が隣接の川崎市と比べて著しく劣っている。健全な子どもの遊び場の確保とあわせて、区や市はもっと力を入れるべきだ。

桜台公園をきれいにしてほしい（トイレが汚くて使えない。池がドロドロ）。

「こどもの国」の一部無料開放などしていただけたら、毎日の散歩コースの一つの選択肢になると思います。

田んぼやコンクリートなどで整備されていない、自然をそのまま生かした公園を増やしてほしいです。

公園が暗く、木も大きくなり、茂っていて、歩くのが怖い。木を切ってすっきりしてほしい。また、定期的な草も刈ってほしい。

美しが丘公園はとても良い公園ですが、芝などの整備にももう少し力を入れてくれると有り難い。

近隣の公園の池が臭い。虫が湧いている気がする。

坂が多くて、子どもが自転車の練習ができない。交通公園や整備されたキレイな公園が近所にほしい。

子どもが自由に遊べる公園が少ない。

ペット・動物

「ネコ放し飼禁止」特区としてほしい。猫のいたずら被害に悩まされているため。

小黒公園にて、飼い犬を放して遊ばせている人がたくさんいて怖いです。

ペット公害に大迷惑。特に猫の放し飼いは許し難い。平気で猫を放し、近所の庭や駐車場など糞尿だらけ。行政で何とかしてください。自己の欲求に走る異常なペットブームに困っている住民は多いのだ。

野良猫に困っています。

ペット（犬）の飼い主のマナー違反者に対して処分を考えてほしい。

時節柄「ペットの防災」なんて見出しに苦笑を禁じ得なかったが、確かに防災問題も大事だが、我々ペットを家族と思って過ごしている者達にとって、日常最も必要な地域環境はドッグランである。ペットたちの健康を守り、ストレス発散のためには犬たちが自由に走り回れる場所があれば最高である。大きめの公園のスペースの一部を切り分けてドッグランにできないか青葉土木事務所にお伺いを立てたら、「スペースはあるけど、近隣の人達の同意をとってくれ」とのこと。これはイコール実質NOに他ならない。どこにも犬嫌いはいるもの。同意なんて取れるわけではない。その上、使用者の記録、鍵の管理…NOの理由はいくらでも出てくる。公園の一部になっている遊水池兼運動場で早朝誰の邪魔にもならず犬を遊ばせていた人が、こともあろうに不法侵入容疑でパトカーに連行され、午後まで取り調べを受けた。住民の福祉・安寧を図ることが、少なくとも公僕に課せられた義務であるのに関わらずである。

ここでは具体的な提言はない。しかし、受付カウンターの内側に座って住民に対応するあなた方と、番号札を取って愚痴を言う順番を待つ我々地域住民との間の目線のずれの違いは、思ったより大であることを申し上げておきたい。

ペットの飼い主のマナーが向上するように、指導・広報等をお願いします。

ペットを飼う人達にルールを設けてほしい。フン等の処理はもちろですが、一戸の家に何匹も飼われると、鳴き声や毛に本当に困っています（ちなみに私の近隣には犬を5匹飼っている人がいます）。保健所や関係部門の方で、このようなことをなくすルールを作してほしいです。

温暖化対策・エネルギー

街路樹で温暖化を減らす。道路の舗装にアスファルトを使用していますが、道路の照り返しが強烈なので、何か工夫してほしいです。

ハマエコカードのような行政の取り組みに貢献できて、自助努力が報われるような仕組みを多数取り入れてほしい（公共機関を利用するとポイントが増えてキャッシュバックできるとか、太陽光発電導入に対して市からの支援を強化してほしい）。

エコでクリーンな環境に優しい町になること、その取り組みをすることで、我々が感謝できる優しい、誇りの持てる心を持たせたいと思います。

自然エネルギーの補助金を拡大し、原子力発電に頼らないようにしてほしい。

温暖化対策に積極的に取り組んでほしい。小学校、ビルなどの屋上緑化、太陽光発電の積極的導入。駅近くの歩道に踏む発電機を仕込む。

区民農園

家庭菜園ができる畑などを増やしてほしい。

区民農園の開催を希望

道路・交通

公共交通

こどもの国線の便数増加及び小田急線への接続

柿01のバスを増やしてください。新百合ヶ丘行きバスも作っていただきたいです。

バスの台数を増やしてほしい。住民が多くなり、とても混んでいます（桂台、松風台経由）。

バスを他地域（田園都市～横浜線）につながるものを増やしてほしい。

こどもの国線の運行を、平日、土日祝含め、田園都市線、JR線の始発・最終に合わせてほしい。

美しが丘西地区在住です。

2～3丁目は人が増加したにも関わらず、バス便が少なく不便です。しかも1丁目を迂回するルートに変更…。田舎ね～と住民は不満を口にしています。

高齢化が急速に進んでいるという実感が強くあります。梅が丘は商業施設も少なく、駅からも離れているため、車を手放された高齢者の方々はとても不便を感じられているのでは？バスの増便是非していただきたいです。

新石川在住だが、坂が多く駅への通勤、買い物が大変。小型でも良いのでコミュニティバス等の公共交通を設定してほしい。お年寄りには特に大変だと思う。

山坂が多い街なので高齢者は外出が大変です。バスが様々なルートを走ったり、タクシーが低料金化すると良いと思います。

敬老優待バス券を利用させていただいております。外出しやすくなりました。ただ「みずきが丘」バス停から「センター南」へ行く場合、江田駅発と中山発のバス（各1時間に1本程度）が、同じ時刻に来ます。乗り遅れると1時間待たなくてはなりません。30分に1本となるように調整できないでしょうか。

交通（電車）が田園都市線しかないので、都内への通勤が大変です。今後、新しい線をつくる計画などはないのでしょうか？

青葉台駅から区役所に行くバスがほしいです。

たまプラーザ駅～あざみの駅間のバス便を増やしてほしい（特に朝7時台）。

こどもの国線の本数が少ない。各駅のバスも少ない。長津田からあかね台経由のバスを増やしてほしい。

青葉台から桐蔭学園行きバスの本数を増やしてほしい。特に最終バスが22時台で終わってしまうので不便。24時台までであるともっと便利になると思う。土日祝についても、特に夜間・早朝に本数を追加してほしい。

地下鉄延長は具体的に進むのでしょうか（あざみ野～すすき野～新百合ヶ丘）？

青葉区は緑が多くて意識の高い方が住んでいると思います。できたらこのまま住みたいと思っていますが、バス代が高いと思います。今は定期なので助かっていますがこの先不安です。

人が増えてきているが、バスが増えてこない。

終バスが早くて不便です。

日常的に起こる鉄道の人身事故は多くの利用者の気持ちを暗くします。これは鉄道会社だけの問題ではないので、市民や行政も何かできないものではないでしょうか。

長津田、あかね台、奈良方面の交通の便をもっと便利にしてほしい。

バスの最終の時間をもっと遅くしてほしい。車の送迎の人達ばかりではないので。

地下鉄の延長計画等、交通の便に不満（駅から遠い、夜はタクシーを利用しなければならなくなる）。

こどもの国の本数を増やし、終電の時間を遅くしてほしいです。終電がないと娘がよる遅く長津田から歩いて帰ってくるため、とても心配です。

江田～新横浜のバス路線。

バス路線、ネットワーク、本数の拡大を希望。

あかね台は町田市との境目に位置しているためか、青葉区政からは見捨てられている。

長津田駅が最寄り駅なのに、あかね台←→長津田駅を結ぶバスはない。

市営バスのあざみ野←→市が尾がなくなってしまう、坂道が多いのに子連れ移動が大変になりました。

交通面で市ヶ尾の行政地域に行きづらい。運転を止めたとき、とても不便になります。区役所を含む巡回ミニバス運行を切に願っています。

田園都市線の整備。
青葉台駅～常磐橋方面のバス便を増やしてもらえないですか。
バス便が悪い（本数が少ない）。
田園都市線の混雑を解決してほしい。
あかね台～長津田駅へ行くバス路線を作ってほしいです。あるいは横浜駅までの路線があったら嬉しいです。
最終バスが早いので、毎日車で迎えに行かないといけません。せめて夜の11時くらいまではバスを走らせてください。
あざみ野駅をもっとキレイにしてほしい。たまプラーザと比べると酷い。
た63のバス便の増設、最終便を遅くしていただけるよう希望します。
こどもの国からあかね台入口までの道路は整備されているが、住民が多いのにバスが通っておらず不便。あかね台←→青葉台のバスを、こどもの国←→青葉台まで延ばしてほしい。長津田までのこどもの国線の終電も早すぎる。平日、休日とも、あと1時間遅くしてもらえないでしょうか。
町田市との県境のためか、道路や電車の整備等が遅れています。
高齢のドライバーを多く見かけるので、マイクロバスの循環がもう少しあったほうが良いと思います。十日市場～さつきが丘～青葉台のルートがあると有り難いです。
終電が早く困っております。夜の交通機関や夜道などにもっと目を向けていただきたいです。
青葉区は緑も多く環境が良くとても住みやすい所ですが、人口を増やしすぎて電車等が混み、都心に働きに出るのが大変である。その辺を民間の東急さん等に規制したり、支援して電車等を増やすなどしてほしい。
鴨志田町のバス停に屋根とイスを置いてください。鴨志田町だけ差別されています。雨の日や真夏の日差しに困っています。
バス便を増やしていただけたらと思います（あざみ野←→田園調布学園）。
あざみ野駅から自宅に戻るバス便が少なすぎる。
バスの全体的な本数には満足していますが、最終バスの時間が早く、不便です。
もう少し全体的にバスの本数を増やしてほしい。
中央林間方面の電車が少ない。急行も6時の時間帯から出してほしい。
平日・土日の朝、バス便増便。
近隣にバス停を作してほしい。
区役所がある市が尾駅からのバスを増やしてほしい（たまプラーザ←→市が尾）。また、新しい路線を作してほしい（駅から駅、市が尾←→こどもの国）。

歩道

歩道がゴコボコのところが多い。自転車で移動するからパンクしないか不安になる。
2歳になる子がおり、毎日ベビーカーで保育園に通っていますが、道路が古くベビーカーが押しにくいところがあります。メンテナンスをしてほしい。以前、電話をしましたが、相手の方がどの場所か特定できず伝える事を諦めました。
歩道の整備。
市が尾駅近く、246号にかかっている歩道橋について、現在2方向にしかかかっておらず、信号のない横断歩道を渡ることとなり、かなり危険が伴います。4方向にかかる歩道橋の新設を強く希望します。
藤が丘、青葉台とも、歩行者がスムーズに歩けるよう歩道スペース確保→歩道スペースに街路樹、標識、駐輪など、邪魔なものが多い。
歩道の整備。非常に危険な箇所があるため早急に対応してほしい。
歩道の整備を切に願います。
2歳半の娘がいるためベビーカーを利用して出かけることが多いのですが、一部の歩道がひどいです。歩道の真ん中に電柱があり、ベビーカーが通れません。また、車道との境の段差も大きいと思います。
歩道がない所があり、危険な場所があったり、道路に穴が開いていても何もしない所がある。
歩道が少ない。
国道246号が近くにありますが。一部ガードレールがない場所がありますが、理由を知りたい。環境整備は完了という考えですが？
市ヶ尾に在住しています。
歩道が劣化している場所が多々あります。子ども、年寄りが転びそうになり危険です。
上麻生道路に歩道がなく、通行に苦労します。
歩道のない道を整備してほしい。
国道246を東西に渡る横断歩道橋について、現在、田園都市線の各駅所在地以外には、横断歩道橋が全くなく、荏田西と荏田北地区の交通が極めて不便です。早急に解決してください。
歩道と車道の段差がバラバラで、車椅子はもちろん、キャスター付のキャリーバック等では非常に歩きにくい。改善してほしいです。ベビーカーも同様と思います。
スクールゾーン内での横断歩道が消えかかっているのが気になります。
田奈駅までの道（朝日新聞～駅まで）毎日歩きますが、歩道が幅が極端に狭く、何度もヒヤリとする経験をしています。改善案は出ているのでしょうか？
国道246の歩道の拡幅。
R246江田駅～新石川のオートボックスあたりの歩道はいつできるのでしょうか？
安全に歩ける道路整備。
歩道の整備。

歩道の整備をお願いします。 あざみ野駅前からあざみ野3・4丁目まで、ずっとデコボコが続いています。歩くと足の裏が痛いくらいです。車道はしょっちゅう工事をして舗装されていますが、歩道は全くされていません。一度見に来て下さい。
歩道の傾斜が平らになれば、ベビーカーを押すのがもっとスムーズになると思います。
細い道、デコボコした歩道、歩道がない所を整備してほしい。
歩道のアスファルトが全体的に舗装が削られており、小石が浮き出ている部分が多いです。
途中から歩道が狭くなり、車に轢かれそうで高齢者は危ないと思う。
駐車場・駐輪場
駅近くの駐輪場を増やしてほしい。
駅前の大規模駐輪場の設置。これはCO2削減に効果あり。 東急は駐輪場には消極的。駐輪場にするくらいならマンションのほうが儲かるから。自転車など貧乏人が乗るもので、そんなやつら相手にしたら会社のイメージが落ちると思っている。
駐輪場をもっと増やしてほしい（できれば無料がいい）。
駐車場をすべて無料にしてほしい。
エコ活動宣言しているが、具体的な取組が少ない。駅、スーパーマーケットの駐輪場の拡充は緊急の課題である。三和子どもの国店周辺の駐輪禁止は市民のニーズを無視したもので、役所の怠慢に対して強い不満がある。
エコ活で自宅からあざみ野駅まで自転車を使用することがありますが、駐輪場が満車で途方に暮れることがよくあります（予約していますが2～3年かかるとの事）。他の自治体では駐輪場不足を解消するために、地下に立体式の自動駐輪場を設けているところが増えています。是非ともあざみ野駅にも設置してほしい。
区役所の駐車場の料金は高すぎる。各種行事に参加する時には大きな負担となる。
区役所隣のスポーツセンターでの講習に定期的に行っているが、駐車料金が高すぎる。講習に参加する人には1時間無料にすべき。健康促進のためにいくのに、費用がかかりすぎる。
病院に駐車場がない。
東急沿線上の各駅に駐車・駐輪場はだいぶ整備されてきましたが、バイク（原付）、大型バイクを停める場所がとてもし少ないように思います。もう少しこれらも停められるようにしてほしいです。
無料の自転車置き場をあざみ野駅付近に造っていただけると嬉しいです。
青葉台駅近くにもっと駐輪場がほしい。
区役所の駐車代が高く、スポーツセンターを利用できなくなった。利用者の割引をお願いします。
青葉台駅に自転車停めて通学しています。市営の駐輪場の定期利用が半年以上確保できない状態なので、現在も毎朝一時利用という形で駐輪しています。ですが、一時利用も午前9時を過ぎると満車になることが多く、不便です。青葉台駅は通勤・通学される方が大変多いので、安価で駐輪できる市営駐輪場をさらに拡大すれば、放置自転車も減らせるのではないのでしょうか。
駅の駐輪場が少なすぎる。空きがない。
駅前駐輪設備の充実。二輪車置き場の拡充（2時間無料等）。
道路
坂道が多いので、外出することがだんだん苦になってきます。
田奈駅からJAまでのこどもの国通りが、いつも車で混雑している上に、歩道が狭く危ないので、道路幅を広げてほしい。
朝の通勤時間帯に駅まで車で送られる方が多く、裏道は非常に危険になっています。
横断歩道があっても信号のないところが多いので、登下校時は危ないです。もう少し信号をつけてもらいたいです。
主要道路の工事 ガス管、水道管、電気管の改装・補修工事や路端溝工事等がばらばらに頻繁に行われ、交通渋滞し、せつかく直した舗装道路を別の工事が掘り返すの連続。年間5回、ひどい場合は7～8回の道路工事。予算の無駄遣いと渋滞が多発している。担当部署の違いからばらばらに工事が施工されていると思うが、この縦割り行政をやめ、横串を入れ、道路工事頻度の縮小を図る工夫が区政にできないか。経費財政改善の点からも、区政に提案したい。
厚生病院の所の細い道と急カーブと下り坂はものすごく危険です。病院の土地を一部買収して、道路を広げてほしいです。
道路の状態が悪いところが多い。
江田駅付近の246号の渋滞の緩和をしてほしいです。
青葉台駅前交差点からタクシー乗り場の一般車の乗入口の右折入車を禁止してほしい。
住宅街付近の道路をきれいにしてほしい。
道路設備も不十分で道路計画にあるあかね台入口←→246道路を結ぶ道路もできない。
区役所横R246の交差点や、消防署と市高間の交差点（GS前の）を分離信号にしたらどうか。事故（接触）や渋滞が減るのではと思います。
信号設置の希望など、どこに問い合わせたらよいかもわからない。
246号江田駅交差点の交通渋滞をなんとか改善してほしい。
長津田駅までの道をもっと少し整備してほしいです。
よりよい青葉区になるよう期待しています。
もう少し道路の整備に力を入れてほしいです。

違法駐車・放置自転車

青葉台駅周辺道路に駐車している車をもっと取り締まって、車やバスが走りやすいようにしてもらいたい。
放置自転車については、以前と変わらず身近で見かけることも多いので不快に感じている。
駅前の路上駐車がが多い（駐車できないような工夫を）。
市が尾駅周辺の違法駐車があまりに多すぎると思う。駅への交通手段が車になってしまう地域が多い割に、駐車スペースが不足しているせいだと思う。
近くの道路での路上駐車に困っています。
路上駐車、青空駐車も多く、危険を感じることがあります。
青葉台駅の近くは駐車がなくて、車が通りづらいです。
駐車禁止取り締まり
以前の民間人による監視・取り締まりが近頃なくなり、違法駐車が増えている。駅の周辺など再び強化してほしい。
駅前の放置自転車もひどいです。
あざみ野駅前の駐停車輦がバスの運行を妨げている。
盗難と思われる自転車がいつまでも放置されている。
新石川スポーツ会館を利用する人が車で来ているが、路上駐車をしていて困る。通学路になっているので危険。注意してほしいと担当者をお願いしたが、全く改善されない。
駅周辺の幹線道路の充実化（拡張する等は現実的には不可能だとしても、路上駐車・停車を根絶するよう、警察と連携して促してほしい）。
交通安全、バス便の調整、街路樹および道路の緑の手入れに力を入れてください。
青葉台駅付近の違法駐車の取締り、信号機の設置など、何度も青葉警察署にお願いしても改善されません。

交通マナー

歩道を守る自転車をどうにかしてほしい。
自転車のマナーが目にも余るので、どうにかしてほしい。
自転車の飛び出し対策。
大きな音で住宅街を走る車両が多い→注意できないか？
自転車の暴走（特に子どもや若者）を取り締まってください→警察と対応して。
住宅地の中の道をスピードを上げて通る車が多い→危険な場所があります。通学路にも危険な場所があります。
街灯が切れていて暗い道があります。見直しをお願いします。
私が住んでいる所は、春には桜や花木が咲、とても環境の良い所です。しかし、狭い道路にも関わらず、制限速度をオーバーして走行する車が多く、ときどき危険を感じることがあります。幹線道路以外はS字道路にする、また道路に隆起をつけると、ある程度のスピードは抑えることができるかもしれません。
区役所前の道をよく通るが、区役所前（バス停付近、玄関前）にタクシーが停まることよくあり、道路渋滞の原因となっています。タクシーの停車は地下駐車場にするとか、車寄せの箇所を造るとか、何か方法を考えてください。
高齢者のウォーキングをする人口が増えていますが、歩道を守る自転車に危険を感じます。安全・安心のまちづくりの一環として、警察官による取締り、指導を不定期に行ってください。
青葉区は町並みもきれいなので、小さいお子さんから老人までが安心して生活できる街だと思えますが、主に小学生が公共の道路でサッカーボールを蹴っているのがとても目につきます。あの硬いボールを本気で蹴るので、お散歩中の老人や子どもにあたるととても危険です。近所にいくらかでも公園があるので、公園や学校でするよう区の方で徹底していただきたいです。ボールがあたって怪我をした方もいらっしゃいます。
信号が変わる時でも、強引に渡る車や歩行者が多い。安全を促すための看板や、月一回程度でも警察官が立つなどしてはどうか。
ベビーカーを使用するときの注意点を示すようにしたほうがいいと思います。並列して何台も連なって歩いていると、他の人からすると迷惑。けっこう多いので！

自転車専用道路

この地域は坂が多い。子どもが安心して自転車に乗れる場所が少ない。
自転車が安全に走れる道路にしてほしい。
車道ではなく自転車専用ゾーンを造ってほしい。
自転車が車道を通ることが明確化され、車道を走る自転車がなくなった。しかしながら、現状の道路を自転車が走るの、自転車に乗る者にとっても、車の運転者にとっても、危険きわまりないのは明らか。早急に安全対策を取ってほしい。

駅前再開発

長津駅前（北口）の再開発を完全に行っていただきたい。半分だけでは中途半端です。田園都市線沿線で最も印象が悪いです。
あざみ野駅周辺を広くしてもらいたい。
緑区から青葉区へ分区分した時代を含め、長く住んでいます。たまプラーザ駅は大きく変わりましたが、あざみ野駅はあまり変化はしていません。バスの進入方法もスムーズではありませんし、駐車もしにくい作りになっています。駅の構造を大きく変えないと、便利にならないような気がします。街づくりに工夫をお願いします。

福祉 子育て支援

子育て支援で、保育所等の充実も大切なことですが、その後の小中高と成長するにつれ、教育費がかかり非常に金銭的に厳しいです。青葉区は教育熱心な方が多い。教育の更なる充実や、経済負担の軽減をお願いしたいです。
青葉区だけにとどまらず、日本全体の少子化対策に向けて、抜本的な対策を考えてほしい。
保育園4月入所の抽選が11月～3月にわかるというのは、決まらなかった場合を考えると余裕がなさすぎるので、もう少しゆとりをもって事前（年末までには）は決められるようにしてほしい。
児童手当及び医療費助成の所得制限を廃止していただきたい。
母子保健政策、福祉政策について、もっと教えていただきたいです。
子どもの健康保険無料化（中学生まで）。
第二子を青葉区で出産しましたが、以前居住していた市内の他区に比べて、赤ちゃんについての訪問が遅いし、乳児の集団健診も人数が多いからと計測もいかげん。問診もテキトウに終わらせる感じで、とてもがっかりしました。初産の方も多いので、産後のサポートをもう少し考えてもらいたいです。
子どもに優しい町のイメージはあるが、そうは思わない。公園は園の子であふれ、小さい子がなかなか遊べない。色々な意味で子育てしにくいと、引っ越される方が最近多いです。
小児医療費の所得制限をなくしてほしいです。 待機児童削減の対策は評価しますが、年度途中の入園は引き続き難しいので、育休明け枠などを設けて、途中からでも入りやすくなる工夫をしてほしいです。
青葉区は子育てしやすいです。これからももっと子どもに優しい区になってください。
子どもの数が多い青葉区において、保育所の待機児童0は実情とは言えません。努力は非常に感じられますが、実態は十分とは思いません。若い世代を定着させることは、地域の活性化につながります。子育て支援の拡充を希望します。
子育て世帯を支援することに力を入れるのであれば、ひとりっ子家庭ではなく、複数の子どもがいる世帯を対象にするとより効果がでるのではないだろうか。
育児情報が充実していて助かる。ただA4、B5のチラシが多すぎて整理整頓に困る。子育てガイドブックみたいなものをもっと一冊作るか、情報量を増やすといいのでは（例えば、A地区に住んでいる人向けの地区センター、子育て広場、病院情報、保育園等がまとめてあるもの）。
青葉区以外で子育てをしたことがないので他と比べられないけど、とても子育てサービスが手厚く、行政がしっかりしていて大変助かっています。ラフール（子育て支援施設）をよく利用しますが、いつも混んでいるので、ラフールのような施設がもっとあるといいなと思います。
子どもの医療費を所得制限なく無料にしてほしいと思います。
待機児童ゼロ構想成功に素晴らしいと言いたいと思います。横浜方式みたいなものが全国に広がっていけば、出生率も向上するのではないのでしょうか。
今回の横浜市待機児童0のニュースで、各地方首長が有能か無能か、また、どのような意識改革を持っているのかで市政が変わり得ることを知り、考えさせられた。
Tax payerとして、高齢者対策より青葉区の少子化対策に税金を使っただけでいただきたい。
徒歩圏内に乳幼児の親子が集まれる場所がほしい。あざみ野南から青葉台へは行きにくい（わざわざバス・電車に乗ってまで行かない）。
働きながら子育てをしています。子どもの保育園時代は行政に対していろいろ思うところもあり、電話をして意見を言ってみたりしました（地域ケアプラザに学童を併設してほしいとか）。今はほとんど地域とは関わりなく過ごしている感じです。
我々の世代では子どもを育てる上で手厚い支援はなく、何とか工夫をしながら仕事と子育てを両立させてきた。今の若い方達は少し社会に甘えすぎてる気がします。
現在妊娠中のため、マタニティや子育ての相談できるところがあるといいなと思います。
一時保育をリフレッシュで利用しようとしたら、はじめは空いていると言われたのに、最終的には空いていないと言われてしまいました。働いていないで預けることをよしとしない考えが伝わり、がっかりでした。お仕事をされている方を優先しているのでしょうか？感じが悪く、再度利用希望がありますが、やめました。
子どもの発達相談を受けた時、とても嫌な思いをしました。初めての育児でわからない事だらけのなか、言われたことは「なぜこんなになるまで放っておいたのですか？」でした。現在、療育センターあおばへ通園していますが、先生方はとても良いのに、区役所（福祉センター？）での先生は本当に酷かったです。
生後数ヶ月以降から、就労の有無にかかわらず、週1回など定期的な保育が利用できるように。
市が尾町に青葉台のラフールのような無料で子どもが安心して遊べる施設がほしい。
一時預かりの時間はなぜ短縮されたのでしょうか？いつも予約が取れない上に、さらにお願ひしづらくなりました。
小さい子どもがいる割には、近くに遊ばせる場所が少なすぎると思います。
予防接種や小学校入学前のお知らせなど、事前にハガキなどで知らせてほしいです。
住民税がとても高い割には、子育て支援が充実していない。子どもへの医療補助の収入制限を早くなくしてほしいです。それと公立保育園の増加を期待したいです。
青葉区にはなぜ児童館がないのか。なぜ保育料が高いのか。子育て世代には住みにくいと感じます。
1歳の子どもがいます。公立保育園の園庭開放をありがたく利用させてもらっています。

子育て中は経済的にも大変なので、安価で子ども達もノビノビ楽しめる公園、スポーツ施設（プール等）の充実をお願いします。
子育てに関する情報、イベント等をたくさん行ってください。
引っ越して来てから約1年ですが、環境も良く、とても住みやすいです。子育てに関して、支援や遊べる施設・設備を強化してもらえるといいなと思います。
少子化について具体的な対策・援助。生まれた子どもだけでなく、不妊で悩んでいる方への金銭的援助。
奈良保育園の建て替え、増築、駐車スペースの確保。
高齢者福祉
青葉区は坂が多いので高齢者が住むには体力的にキツイ。
高齢者に対して、優先的な公共性が多いと感じる。これからの将来を担う若者に焦点をあてずに、なぜ高齢者が好待遇なのか理解できない。
最近、父が認知症となりケアプラザをはじめ、行政サービスに触れる機会が増えました。青葉区はとても良く対応してくれると思います。
地域活性と安心安全に暮らしていく、顔の見える環境を構築していくためには、拠点となる箱物が必要だと思います。子育て世代の交流活動、高齢者の文化融和（友和）活動、異世代交流等は、それなりの場所があって培われるものと考えます。高齢者の経験と知識を地域に生かし、学校教育にも協力してもらい、昔遊びや語りべを通して伝授していきたいものです。高齢者がお互いの能力を確認し合う場所、拠点がほしいです。よろしくをお願いします。
老人福祉施設（特に特別養護老人ホームの増設）
高齢者の人間ドックのような、定期的にできる情報を知りたい。
ケアプラザ等の整備を是非していただきたいです。
特別養護老人ホームを増やしてください。
高齢者が特に多いのが一番不安。要介護の身になった時に、安く入れる施設が不足したままでは困る。
今のところ満足して暮らしていますが、この先年老いていくにつれて、どう生活していくかの不安はあります。気軽に相談できる公的機関がほしいし、知りたいです。
高齢者に対して、もっと支援をしてほしい。
青葉区の介護認定は、東京都と違うのでしょうか？また、それと認定するのに民生委員等はどのように関与しているのでしょうか？えせ認知症と本物とどのように対処するのか、広報で知らせてほしい。
年寄りの介護の充実。安価で介護施設の利用ができること。ベッド、車椅子の無料貸出（90歳以上とか）。
高齢者支援担当者の対応があまりにも悪すぎ。連絡はない、相談しても何も返事がこない、何度も連絡を取っている。何とかしてほしい。最後の相談窓口だと思っているのに、夫婦して死にたいと思うこともある。担当者とおわかないときは替えてほしい。切実です。切羽詰まっています。
毎年バスのパスをいただいていた重宝しています。一度いただいたばかりのパスを無くしてしまったとき、無料で再発行していただき有り難かった。
青葉区は高齢人口が多いですが、今後大丈夫でしょうか？
地域ケアプラザでの高齢者向けの体操教室や介護予防の講座、また介護している方達の集いには、将来自分も参加したいと思うが、歩いて行かれる距離にはない。そういう施設がもっと増えてほしいと思う。そのほかにも、高齢者や介護している人達が、いつでもふらっと立ち寄ってお茶を飲みながらおしゃべりできるカフェのような所があちこちにできたら、高齢者が孤独にならず介護者はリフレッシュできると思う。
高齢者の福祉サービスはいつも利用させていただき、とても家族が助かっています。相談の窓口の方も親切に考えてくださるので、対策をあれこれ考えられます。車椅子は時々お借りしますが、もう少し使い勝手の良い新しい物に替えていってもらいたいと思います。
また、介護保険を利用する程でない高齢者（自立）のデイサービスのようなものを増やしてもらいたいと思います。
老人が増加する今後、対策をよろしくをお願いします。
町内会に加入していますが、高齢者の数を把握しているのでしょうか？川崎市の友人は敬老の日に記念品が贈られてきましたが、米寿になっても何も受け取っていません。
高齢者が多くなって参りました。高齢者が住みやすい街づくりを。
有料老人ホームの増設を希望します。
健康長寿が高いエリアと伺っております。もっとアピールし、さらに向上していければと思います。
ひとり暮らしで現在68歳。今後の暮らしに不安がある。子どもは3人いるが、それぞれ独立し、老後は子どもに負担をかけたくないと思っている。年齢別にひとり暮らし向きの指導（生活・食事等）を月に一度くらいしてほしい。
特別養護老人ホームをもっと増やしてください。これからますます需要が増えると思います。
区民の高齢化が進んでいるため、今後は本件に伴う諸対応が必要となってくる。既に草案はあると考えるが、住民からの声も吸い上げ、一般に提示していただきたい。
坂の多い街！高齢化とともに、いつまで外出可能か不安です。坂道に手すりをつける等、いつまでも住める街づくりを希望いたします。
高齢者が安心して生活できる町にしてほしい。また、施設を造ってほしい。
高齢になるので、介護などの充実をお願いしたい。
介護をしている家族のケアをもっと充実してほしい。

障害者福祉

身体障害者のリハビリが無料でできる施設があればいいと思う（プール等）。東京都では、専門の指導者による運動機能向上に力を入れている。また、一人では行けない人には送迎もお願いします。

我が家には障がい児がいます。青葉区にも地域活動ホームすてっぷができましたが、予約がいっぱいで、利用したい時に断れることがよくあります。子どもを預ける場所がなく、用事を済ますことができません。スタッフを増やすなど、何か対策をしていただけると助かります。

心の病の人のケアに力を注いでほしい。

自分の知り合いが精神障害2級ですが、何でも「窓口に来てください」と言われて、外に出るのも辛い日があるからこそその精神障害なのに、わざわざ何度も来るように言われる。行ったら行ったで窓口がしっかりとした対応をしてくれず、役所に行った帰りは必ずグッタリと疲れて帰ってくるようです。何のための窓口で、何のための福祉なのか、しっかりしてください！精神病は見た目ではわからないので、対応にも気をつけてほしいです。

障がい児のための養護学校がなく、川崎の麻生区のため横浜市の情報が届きにくい。障がい者の作業所、施設、グループホームが青葉区は少なすぎ！都筑や緑は次々とできているのに、青葉区はどうして新設されないのか？

青葉区民はお高くとまりすぎで、弱者に対してとても冷たいと思う。

孫に障がいが見つかり、保育園をやむなく退園しました。ニュースでは待機児童がゼロと大きく報道されていますが、厳しすぎる制約をして、フルイにかけてのゼロな訳で、大変納得できません。時には例外もあっていいのでは？

福祉一般

数年前と比べて、障がい者、高齢者の方を含め、たくさんの住民に福祉的活動が進められていると思った。

「公共の福祉」の言葉におびえるのではなく、行政として必要と感じたら即決断して、行動していただきたい。「やらぬ善よりやる偽善」だと思います。後から頭を下げるのはいくらでもできるでしょうから。是非がんばってください。

行政の援助を必要としている人ほど、どう相談したらよいかわからず、情報も入りやすく困っているのではないかと思います。自己申告しなければ何の支援も受けられない現状を何とかしてほしい。

福祉は必要最低限に。福祉の度が過ぎると、個人の意力を削ぎ、ひいては社会国家の意力を削ぐことになる（サッチャーさんに学べ）。できるだけ小さな区政に！

若者支援

長寿の青葉区であるのは、高齢者に住みよい街だからこそだと思う。同時に、若い世代の減少を防ぐために、若年層、子育て世代にとって住みやすい街になると良い。

幼児やその保護者への支援が充実することはいいが、中間層（中・高・大学生）にも目を配るべきだと思う。彼らへの配慮が少し欠けている気がする。

医療

医療体制

青葉区歯の衛生習慣事業を年に2回にしてほしい

老人夫婦2人で生活していますが、自宅介護を希望し、自宅で最後を迎えたいのですが、医師の訪問診療制度の制定をお願いします。

喘息（大人・小児）について、川崎のように補助を手厚くしてほしいです（毎月の薬代がとてほかかるので）。

以前住んでいたところでは、会社員（厚生年金者）でもガンの無料検診を受けられた。青葉区でも実施されることを望む。

国の医療費補助だけでなく、横浜市の医療費補助も作ってほしい。東京や川崎などの補助を見習ってほしい。病気の子どもの持っている、横浜市には住みづらいです。

しっかりやってくださっていると思いますが、どうしても子どもの医療など、東京と比べるとまだ足りないと思うことが多いです。

病院・医院

たまプラ在住です。小児科が少なく（3ヶ所あるが、駐車場がないとか、医者の評判がよくない）、子どもが病気ときは車でだいたい行かないとクリニックがない。

町医者の高齢化で、今後閉院するところが増えるのではないかな？

教育・文化

図書館

図書館で本を読むスペースが少ない。自習する場所もない（部屋）。
図書館を増やしてほしいです。
図書館の数を増やしてほしい。
図書館を充実させてほしいです（雑誌、CDの貸し出しなど）。
図書館が少なく困ります。ぜひ増やしてください。
図書館を増やしてください。土日も人がいっぱい、本の種類も充実しているとは言えない。山内図書館しか駅から近い場所はなく不便。
青葉区には図書館がない。
駅前（青葉台駅）に図書館を造ってほしい。
青葉区には大きな図書館がありません。佐賀県にあるような、スターバックスなど民間の力を借りて運営するような、画期的な図書館を造ってください。たまプラーザやあざみ野近辺には、まだ土地が余っているように思います。
青葉台駅の近くに充実した図書館を造ってほしい（山ノ内クラス）。
図書館の蔵書が貧弱。
最近、あかね台中学校が開校したが、公共施設が不十分。図書館をあかね台2丁目グラウンドに建設してほしい。あざみ野図書館があっても、あかね台住民が利用することはない。
図書館のレファレンスサービスがひどいです。有隣堂に委嘱するくらいなら司書を増やすべき。
図書館も他区に比べて小さいと思います。
山内図書館を利用したいのですが、駐車場も少なく、子連れで重い本を何冊も持って帰るのは不可能です。予約した本を近所で受け取ることができるだけでも助かりますので、同様の窓口があればと思います。
藤が丘駅周辺に図書館設備がほしい。
区の図書館を作してほしい。
図書館をリニューアルして、拡大、蔵書増、勉強部屋の拡充などをしてほしい。
図書館も建物は立派ですが、蔵書が少ないのが気になります。
近場に地区センターもしくは図書館などがほしい。
早急に改善よろしくをお願いします！

学校・教育

教育に関する諸費用の負担低減をお願いしたい（塾、私立学費等）。
中学校、小学校の学区の問題を何とかしてもらいたいです。中学校に通うには50分かかります。これではクラブや塾の時間のやりくりができません。クラブの問題もあり、私立に通うことになりましたが…。田奈の地域ではとても大きな問題です。あかね中に通うには、夕方道が暗すぎです。遠すぎです。青葉台中なら30分かつからずに通えるのに…。
特別支援学校を青葉区にも作ってほしい。
中学校が近くにない。小学校は新設されて改善されたので、中学校も検討してほしい。遠いところしかないです！
中高一貫校の建設を検討し、実現してほしい。電車が混んでいるので、遠くの学校に受験してまで通わせるのが不安。
子ども達の学業レベルも高いとのこと。公立校も小・中・高ともに頑張ってもらいたいです。
中学校での給食を是非実現してほしい。毎年、署名運動に参加していますがなかなか…。
静かな環境なのは気に入っていますが、小学校までの通学距離等、不便に思います。
このアンケートで聞かれているエコ活動、読書活動、広報活動については、区政の重要な役割ではないと感じる。様々な店での未成年に不適な商品をこの青葉区からなくすことのほうが、青葉区の質を高め、より良い次世代を育むことになるのではないのでしょうか。
中学校で給食がないなど、他の地域と比べても珍しいのではないのでしょうか？
学校が遠すぎます。下校時遅い時間だと、危ないので心配になります。
県立高校に扇風機もクーラーもないのは子どもがかわいそうです。勉強どころではないと思います。夏は暑すぎて辛いです。

スポーツ

区の体育館が利用しにくい。体育館にプールがあれば良いと思う。
横浜市青葉スポーツセンターの無料化
貸しテニスコートをもっと増やしてほしい（高架下ではないところ）。
スポーツセンターの設備を充実させてほしい。
区営のスポーツセンター（ヨガなどができる）が近所があると嬉しい。
子どもがサッカーをやっています。子ども～大人まで利用できるグラウンドをもっと造ってください（小中学校はクラブチームを含め、青葉区は競合チームがありますが、皆さんグラウンド確保に苦労されています）。
年金受給者となり、区の体操教室を利用したいのですが、駐車場が有料、体操教室も高くなり残念です。
青葉区は横浜市スポーツ施設を他の区と同様に充実させるべきである（インターネットで予約できる施設がない。これだけ住民がいるのに何故ないのか）。

学校予定地

学校予定地が近くに何か所かあります。美しが丘西小学校ができましたが、他は20年以上そのままです。一部のスポーツで使われていますが、建てないのなら有効に使えるようにしてほしいです。

美しが丘西1丁目・2丁目に小学校用地が2つありますが、今年4月に中学校用地であった所に美しが丘西小学校が開校し、2つの小学校用地は今後、学校建設はまずないと思います。区画整理事業で提供したといっても過言ではないこの用地、売却などせずに地域住民が利用できるよう、区が教育委員会への窓口となってもらいたい。

小学校予定地（荏子田エリア）の有効活用。子どもが比較的多いエリアでありながら、近隣の公園はスペースが狭く、混雑しているため。サッカー、キャッチボールなどを思いっきりできるスペースがありながら、何も利用されていない。非常にもったいない。

文化活動

地域活性化のため、映画館を造ってほしい。

図書館、ミニ美術館とミニ音楽堂が近くにできれば嬉しい。

地域

地域商業振興

家の近くにコンビニがないことがやや不便。

千草台のシャッター街の改善（地域活性化）。

地域格差是正（近場に店の灯がない）。

嶮山スポーツガーデンのところの新しい店は、おしゃれな代官山TSUTAYAのような店を作ってほしい。246のようなファーストフード店はいらぬ。

人が多く、スーパーがいつも混んでいる。

駅周辺がきれいになり、治安も良いし満足しているが、プラザがなくなったのが悲しいです。

長津田、あかね台周辺に商店が増えると良いと思う。

青葉区まちづくり指針と現実のギャップ。恩田駅周辺は生活拠点として商業施設など設けるとありますが、現実には住宅のミニ開発が進んでいます。何のためのまちづくり指針なのか！

本屋がほしいです。

駅前の商店街の整備、活性化に努めてほしい。青葉台駅周辺の活気が今ひとつ感じられないのは、同じ青葉区のためプラザ駅周辺の整備と比べても、バランスが悪いからだと思えます。

駅周辺で事が足りない。ドラッグストアもない。

奈良北のコンビニがなくなり、とても不便になりました。何とか商店街を活性化できないのでしょうか。

去年12月に結婚のため引っ越してきましたが、緑も多く、街も整備されていて心地よいです。ただ、他地域と比べて物価が高く、安いスーパーが少ない気がします。今後、期待しています。

個人の商店が一軒もない。

田園都市線の各駅付近の商店街の振興に努力されるよう、お願い申し上げます。

荏子の活性化をお願いします！江田駅の付近には飲み屋しかないで、人と待ち合わせることができません。本屋、喫茶店、スーパー等を造っていただけませんか？立地がいいだけに残念です。

あざみ野駅周辺を活性化させてほしい。江田駅も同様。

藤が丘駅周辺に三菱東京UFJ銀行のATMがほしい。

藤が丘駅周辺に文具を扱う店がないので、あると便利。

近くにコンビニ等あれば、高齢者の食生活が潤う。ケアプラザの中にあっても良いと思う。

地域活動

もっと地域活動に参加したいのですが、マンション住まいだと情報が少ないので、入手できる場所や方法を知りたいです。

定年退職後の地域活動が気軽にできるようにしていただけたら有り難いです。

自治会に加入しておりますが、今の自治会は年間行事も固定化していて魅力がありません。もっと会員の意見を吸い上げ、住民が参加したくなるような自治会運営をしていただきたいと思えます。

仕事が忙しくて行政にはあまり関心がありませんでしたが、これから高齢になるので、地域に関わっていきたいです。

横浜が好きで、青葉区も好きなのに、住み続けたいかと問われると答えににつまります。自治会では班長もやりましたが、形だけの何か地元の有力者同士が見えないバリアをしっかりと作り、入っていけない感じ。区が地域の有力者に頼りすぎ、任せすぎているので、細やかな住民感情は伝わっていない。もっと区の方々ご自分の足で住民の意見をくみ取ってくださるといいと思えます。この区には実に多彩な人材が住んでいるはずで、自治会役員が選挙近くになると事務所に出入りしたり、ビラを配ったり、個別訪問したりしているのも止めさせてほしいです。

自治会の区割が役所のご都合主義の区割のため、すみよし台は分断され、公園の管理に支障あり。

最近では少なくなったが、町内会活動の中にも含まれる団体（青少年指導員、体育指導員、環境事業推進委員等）へのユニフォームや帽子の支給は必要ないと思う。

自治会・町内会のあり方についても、今の時代に即して考え直さなければならないと思えます。参加しづらい、参加したくないと思ってしまう方がほとんどだと感じます。

1. マンション等の集合住宅の住人の地域活動への参画推進。

2. 自治会等、地域活動への積極的参画を可能とする仕組みの確立（特に若手と高齢層との交流等）。

自治会長は、何十年と会長に在任し、独断、独占、私物化、マンネリ化…。少なくとも役員任期は、最高で5年とかにして、新しい息吹を導入してもらいたい。そうしなければ、若い人の意見、活躍の場がなくなってしまいます。

あざみ野自治会の方々が美化運動として、常にゴミ拾いをしていらっしゃる。素晴らしいことと思います。おかげであざみ野駅周辺はいつもきれいです。区として表彰する制度あればと思います。

地域コミュニティ

一つ要望を言えば、地域同士の交流の場を設けてほしいです。それが防犯等の礎になると信じています。

もっと地域の交流が盛んになるようにしてほしい。

安全でおしゃれな区であるが、人間関係の希薄さと昔から住んでいる方（地主さん等）と移り住んできた方との隔たりを感じる。本音で穏やかに生活できる、お互い様の雰囲気であれば、高齢者や障害者も住みやすい区になるのでは？

役所がすべきことでないかもしれないが、たまプラーザ団地やすすきの団地、あざみ野団地等、高齢化もしくは活力の低下した地域の住み替え促進や活性化は必須。このままでは治安の低下を招く。

自治会未加入者が多い。区役所で転入者に対する説明をしてくださいますか。

ゴミ出し等、自己中心的な人が多い。

地域の住民同士の関わりがもっと密になるような工夫を探してほしい。

近所付き合いは子どもを通して始まるようで、そうした共通点がないと上手くいかないようです。個人情報も得られないし、ひっそりと個別に暮らしている人が多いと思います。災害時には助けあわなければいけませんし、今後の不安です。

産業振興

コールセンター等、近くで働けるよう企業誘致してほしい。

民間とのコラボレーション事業（たまプラーザ駅施設内子育て支援事業等）が、とても魅力的です。これからももっと同様の取り組みが増えることを願っています。

より職住近接を進める取り組みが必要だと思います。東京への通勤者が多く、青葉区で過ごす時間が少ないので、地域への意識が低下するのではないのでしょうか？これだけ東京への通勤者が多いのですから、働き方転換のモデル都市となり、それをアピールすべきです。通勤しなくても仕事ができる場を整え、大企業と連携し世間にアピールしましょう。各駅にコワーキングスペースを設置し、パソコンやタブレット端末を持ち込めば仕事ができる環境を整備し、人々に地域に留まってもらうのです（レンタルオフィスの時間貸しや自習室も可）。企業が整備しているBYOD（個人所有の携帯端末の業務への活用）と連携すれば可能だと思います。

防犯・防災・安全

防犯

街灯の増設（バス通りの歩道が夜間真っ暗）。

防犯対策をよろしくお願ひいたします。

空き巣多発！防犯パトロール強化。防犯カメラ設置。

交番も人手不足であることはわかりますが、常に一人はいてほしいです。

街灯のなり暗い道路があるので、整備の必要があるのでは。

街路灯を増やしてほしいです。横浜市の中心地の夜間の明るさが、我々の住居地域では少ないと思う。最近の省エネ環境で特に感じます。

街灯が暗いと思います。

居住地域には小学校も新しくでき、家も増えました。防犯等を考えても近くに交番があるべきと考えます。

街灯が少ない（または無い）ところがあるので、仕事で遅く帰宅した際にも安心して歩くことができる環境を整えてほしいです。

子どもが小学校に通っているが、不審者情報が多すぎる。もっと防犯に取り組んでほしいと思う。

盗難やこそ泥におびえています。泥棒よけの街灯のコードをきられたり、植えてある植物を踏みつけられたり、明らかに昼の留守中、庭に人が入った形跡があります。老人のひとり暮らしのため怖い。ガラスに非常ベルを取り付けたり、出来ることはしているつもりです（玄関の鍵も2つ）。

安全・安心して暮らせる青葉区でありますよう、これからもよろしくお願ひします。

青葉台中学校の坂には電灯があるが少ない。また暗い。嫌な思いをしたことはないが不安。

桜台公園の草木が茂りすぎでは…。夜、子どもだけで歩かせて、公園の中に引き込まれたら終わりだわと不安。

千草台いちょう並木をもっと夜間に明るい電気にしてほしい。暗いです。夜道を明るくしてほしいです。

住宅街は暗く、人通りも少ないため、夜に一人で歩くのはとても怖いです。

日頃最も問題と思っている「地域環境の整備・美化」について

環境問題の一つが空き巣。昼夜を問わず健康維持を兼ねて近所の裏通りを散歩しているが、ただの一度もパトカーに出会ったことはない。時々パトカーを見かけても、表通りをずっと通るだけ。これは区役所の管轄ではないだろうが、こじつければ環境問題の一つではないのか。

防犯対策として、防犯カメラの設置を増やす。

治安が悪くならないように気を配ってほしい。

青葉台駅周辺の交通安全、防犯に取り組んでほしい（警察と連携してほしい）。

道路を挟んで前の家数軒が空き巣に入られたのに、何ヶ月もこちら側の人達は知らないで過ごしていました。空き巣が多いとは広報で知っていましたが、目の前であったことも知らないのは問題です。

街灯本数がとても少なく、夜は真っ暗で大人でも怖く感じます。
 安心、安全な町づくりをお願いいたします。
 街灯が切れていて暗い道があります。見直しをお願いします。
 スピード規制など、取り締まってほしい！と警察に出向いたこともあるが、自治会で立ち上げてくださるとのこと取り合ってくれなかった。
 あかね台に交番を設置していただけたらと思います。あるいはもっと頻繁に巡回をしてもらいたいです。
 私の住んでいる所は、多摩川学園との境なので色々な面で不便です。とりあえず外灯を増やしてほしいです。
 青葉台はとてもきれいでいい町ですが、住宅街が多いため、バイトなどで夜遅くなるときは暗くてとても不安になります。駅前だけでなく、住宅街のほうにもう少し電灯を増やしてほしいです。
 駅から自宅までの道のりで、何度も危険な目（痴漢、尾行、露出）にあっているの、安全をとにかく重要視していただきたい。
 防犯街灯を増やしてください。
 街灯が少ない。安全のため、街を明るくしてほしい。
 街灯を増やしてほしい。
 夜、駅で騒いでいる人がいるので怖い。

防災

江田駅から246号を渡り、コール江田（タウンニュース社）の脇の階段を上りきった右側の植え込み部分のレンガが壊れており、台風や風雨で崩れ落ち、通行人にぶつかったりしたら大怪我になるのではないかとハラハラしています。すぐに確認して修復してもらえるとありがたい。
 青葉区震度・液状化マップの地名の活字があまりに小さく、とても不親切です。
 私どもの住まいは広域避難場所に指定されていますが、自治会の補助金のみで具体的な指導はあまりされていないように感じます。災害時には不特定多数の人が集まると考えられますので、お金だけではなく、具体的なマニュアルや訓練の実施など、行政主導で行うべきだと思います。中途半端な補助金は混乱を招くと感じます。
 避難場所の案内板は駅、スーパー等、人が集まる所には設置すべきと思う。
 災害時の避難先も急坂の上であり行けません。
 区民の防災に関しての意識を、各自がもっと高めておく必要があるのでは。防災訓練にもわずかな人達しか集まらない。小・中学生にも多く参加してもらい、経験しておくべきでは。今後、高齢化進んできますので、若い人達にも力を出して協力してほしい。町内会の役員は訓練にぜひ参加すべきではないかと思う。3日分の備えも各自でしておくこと。近所のお付き合いも必要。
 地震・災害等の訓練を参加しやすい環境に整えていただきたいです。
 地震が多いので、建物のチェック等をしたほうがよいと思います。特に古いマンションとか亀裂が入っているところがあるので、点検したほうがよいと思います。
 地球温暖化のためか、最近、世界的に「たつまき」の被害が増えています。青葉区として対策を指導してください。
 災害対策も、あざみ野小、中学校2つでは人が入りきらないと心配です。広域避難所の確保を含めた街づくりをお願いします。

調査票

平成 25 年度 青葉区区民意識調査

【調査ご協力のお願い】

区民の皆様におかれましては、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

青葉区では、平成 25 年度区政運営方針として「住みつづけたいまち『青葉』」を基本目標に定め、様々な事業を行っています。より良い区政の運営に向け、今後の参考とするために、区民の皆さまに青葉区の生活について行動や意識をうかがう「青葉区区民意識調査」を実施いたします。

この調査は、青葉区にお住まいの皆様の中から、16 歳以上の男女 3,000 人の方を無作為に抽出し、お願いしています。調査票は無記名でご提出いただき、ご回答いただいた内容は統計的に処理されますので、皆様のご意見や個人情報などが直接外部に公表されることは絶対にありません。また、いただいたご回答は本調査の目的以外には一切利用いたしません。お答えになりたくない質問は、無理にお答えいただかず、無回答としていただければ結構です。

調査結果につきましては、今後、「青葉区ホームページ」や「広報よこはま青葉区版」で公表いたします。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



平成 25 年 6 月

青葉区長 徳江 雅彦

<ご記入にあたって>

- ① 封筒のあて名のご本人様にご回答ください。ご本人様が回答できない場合は、恐れ入りますが、調査票を破棄してください。
- ② お答えは、各設問の中であてはまる回答（選択肢）の番号を○で囲んでください。
○の数は、(○は1つだけ)、(○はいくつでも)のように指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
また、「その他」にあてはまる場合は、() 内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。
別途指示がある設問については、その指示に従ってお答えください。
- ③ 質問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。
- ④ 鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。

※ ご記入いただきました調査票は、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼る必要はありません。）、**6月14日（金）まで**にご投函ください。

※ この調査に関するご質問などは、下記までお問合せください。

青葉区役所 区政推進課 企画調整係

電話: 045-978-2217

FAX: 045-978-2410

E-mail:ao-kikaku@city.yokohama.jp

お住まいの周辺の生活環境について

問1 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前(概ね5年程度、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変更があったと思いますか。

(項目ごとに“満足度”、“以前と比べて”からそれぞれに○は1つ)

	満足度					以前と比べて			
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	よくなった	変わらな	悪くなった	わからない
(記入例) バスの便などの地域交通	1	②	3	4	5	①	2	3	4
① バスの便などの地域交通	1	2	3	4	5	1	2	3	4
② 通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
③ 放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
④ 良好な街並みの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑤ 商店街の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑥ 公園などの管理・整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑦ 緑の保全と緑化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑨ 地域の防災体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑩ 地域の防犯体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑪ 食品衛生・環境衛生の監視・指導	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑫ 子育て支援や青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑬ 感染症・生活習慣病などの保健推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑭ 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑮ 障害者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑯ 病院などの医療環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑰ 経済的に困っている人の保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑱ 地区センター・スポーツセンターなどの施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑲ 広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑳ 身近な区役所窓口のサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
お住まいの周辺の総合的な環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4

問2 上記①～⑳の質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、どれがとくに重要と
 思いますか。
 (該当する項目の番号を3つまで記入)

--	--	--

問3 上記①～⑳の質問項目のうち、区役所が取り組む課題として、どれがとくに重要と
 思いますか。
 (該当する項目の番号を3つまで記入)

--	--	--

子育てについて

問4 子育てについて、不安もしくは不満と思うことは何ですか。 (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1 近所で子どもが安心して遊んだり、運動できる場所が少ないこと | 8 登下校時の安全 |
| 2 子ども連れで利用できる施設が少ないこと | 9 学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと |
| 3 子どものことを相談できる人がいないこと | 10 進路について |
| 4 子どもを気軽に預けられるところが少ないこと | 11 いじめなどの学校での人間関係 |
| 5 保育園や幼稚園などの施設が少ないこと | 12 子育て関連の情報が少ないこと |
| 6 社会体験の機会が少ないこと | 13 特になし |
| 7 学校と地域の交流が少ないこと | |

問5 乳幼児がいるご家庭で、日中、在宅で子育てをしている家庭を支援するためには、どのようなことを充実すべきでしょうか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1 親子で遊べる、学べる場所、公園 | 6 買い物や会合への出席などの際、一時的に子どもを預かってくれる施設 |
| 2 子育ての相談ができる場所 | 7 手当などの経済的な支援 |
| 3 子育て情報の収集ができる場所 | 8 子ども連れでも安心して利用できる交通機関や道路 |
| 4 夕方まで預かってくれる幼稚園 | 9 特に必要な支援はない |
| 5 就園前の乳幼児(年少クラスに入る前の児童)を預かってくれる幼稚園 | |

火災警報器について

問6 あなたのお住まいはすでに、住宅用火災警報器などの自動で火災を感知する機器(感知器)が設置されていますか。(アパートやマンションなどで、入居時からすでに自動火災報知設備が設置されている場合も「1」を選択してください。 (○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 設置されている | 2 設置されていない |
|-----------|------------|

ペットの防災について

問7 あなたはペットを飼っていますか? また、飼っている方は動物の種類は何ですか。 (○はいくつでも)

- | | | |
|----------|-------|----------|
| 1 犬 | 4 魚 | 7 飼っていない |
| 2 猫 | 5 鳥 | |
| 3 その他小動物 | 6 その他 | |

問7で「1～6 ペットを飼っている」とお答えの方に

問7-1 ペットを飼っている方に質問です。あなたはペットの防災に備えていますか。

備えている方は、具体的にどのようなことを実施していますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1 飼い主の明示(鑑札、マイクロチップ等) | 5 親戚、友人等、ペットの預け先の確保 |
| 2 ケージトレーニング等、避難時に向けた訓練 | 6 その他() |
| 3 ワクチン、予防接種、ダニ・ノミの駆除等の健康管理 | 7 備えていない |
| 4 ペット用非常持出袋の準備 | |

地域活動・地域社会について

問 8 あなたは、どのような地域活動に参加してみたいですか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 1 文化・芸術・スポーツ | 7 保育ボランティアなどの子育て支援活動 |
| 2 身近な水辺や緑地の自然環境保全 | 8 自治会・町内会での活動 |
| 3 公園での花壇づくりや市民菜園等での農体験活動 | 9 老人クラブなど地域の団体での活動 |
| 4 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動 | 10 NPO 団体などでの活動 |
| 5 身近な道路や公園などの清掃活動 | 11 建物の用途や高さなどのルールづくりや美しいまちなみづくりに関する活動 |
| 6 在日外国人や海外との交流などの活動 | 12 交通安全や防災・防犯など地域の安全活動 |
| | 13 共通の趣味等を通じた仲間の活動 |
| | 14 その他 () |

問 9 あなたの住んでいる地域には、現在、どんな課題や問題があると思いますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 近隣の人とのつきあいの希薄化 | 15 不登校、ひきこもりの増加 |
| 2 家庭・地域の子育て機能の低下 | 16 ニート（就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者）となる青少年の増加 |
| 3 子どもが安心して遊ぶ場の不足 | 17 高齢化による介護問題の深刻化 |
| 4 子どもの減少による地域活力の低下 | 18 認知症者に対する理解の不足 |
| 5 子どもたちの将来への不安（進学、就職、友だちつきあい、結婚など） | 19 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足 |
| 6 障害者に対する理解不足 | 20 地域活動をする場所の不足 |
| 7 障害者の高齢化・重度化 | 21 身近な健康づくりの場の不足 |
| 8 発達障害児・者への支援の不足 | 22 災害に対する備えの不足 |
| 9 障害者の就労支援の不足 | 23 地域に関する情報の不足 |
| 10 高齢者や障害者の外出困難 | 24 住宅の建て替えの増加 |
| 11 子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足 | 25 バスの便の減少 |
| 12 段差解消などバリアフリーの不足 | 26 その他 () |
| 13 犯罪の増加・治安の悪化 | |
| 14 青少年の非行 | |

問 10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 加入している | 2 加入していない |
|----------|-----------|

自治会・町内会に加入していない方に伺います。

問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。 (○は2つまで)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 加入することの利益を感じない | 4 加入を勧誘されなかった |
| 2 いろいろな役をやらされそう | 5 加入の仕方がわからない |
| 3 近所づきあいが煩わしい | 6 その他 () |

問11 あなたは、自治会・町内会の加入について、どう思いますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1 住民全員が加入すべき | 4 任意なのだから加入してもしなくてもよい |
| 2 できるかぎり住民全員が加入すべき | 5 わからない |
| 3 自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき | |

問12 地域住民同士の協力関係を活性化するために必要なことは何だと思えますか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 自治会や町内会が中心となって交流活動を進めること |
| 2 自ら進んで住民同士の交流を持つようにこころがけること |
| 3 地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること |
| 4 地域活動を担うリーダーや次世代の担い手を育成すること |
| 5 ボランティア団体やNPO法人の活動を充実すること |
| 6 区役所・地域ケアプラザ・社会福祉協議会が地域活動への支援を行うこと |
| 7 地域の企業や団体に地域活動への参加を呼びかけること |
| 8 わからない |
| 9 どれも必要だと思わない |

問13 日常生活のうえで、困ったときに、誰に相談していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1 家族・親戚 | 6 区役所の職員 |
| 2 友人 | 7 地域ケアプラザの職員 |
| 3 近所の人 | 8 社会福祉協議会の職員 |
| 4 自治会・町内会の人 | 9 相談したいが相談できる相手がいない |
| 5 民生委員 | 10 相談したいがどこに相談したら良いかわからない |

問14 あなたは社会貢献についてどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい | 3 どちらともいえない |
| 2 自分の生活を大事にし、社会貢献は考えない | 4 わからない |

問15 地域ケアプラザを知っていますか。

(○は1つだけ)

- | |
|---------|
| 1 知っている |
| 2 知らない |

問16 地域ケアプラザをどんな目的で利用したことがありますか。

(○はいくつでも)

- | |
|-----------------|
| 1 相談 |
| 2 講座や教室 |
| 3 地域ケアプラザの部屋の利用 |
| 4 その他 |
| 5 利用したことはない |

地域ケアプラザ：誰もが住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるように、福祉・保健サービス等を身近な場所で総合的に提供し、どなたにでもご利用できる地域のみなさんの施設です。各種講座・教室の開催、広報誌などを通じての情報提供、地域での活動・交流の場として会場の貸し出し等を行っています。また、保健師等・社会福祉士・主任ケアマネジャーなどの専門スタッフが、各種相談や介護予防のケアプラン作成などに応じる地域包括支援センターがあります。

介護予防について

問 17 あなたは、区役所や地域ケアプラザ（包括支援センター）が、介護予防（寝たきりを予防し、いつまでも元気であるための健康づくり）の講座やプログラムを開催していることを知っていますか。 （○は1つだけ）

- 1 知っているし、参加したことがある
- 2 知っているが、参加したことがない
- 3 知らない

問 18 あなたのお住まいの近くに、地域の方が運営する、健康づくり・介護予防（寝たきりを予防し、いつまでも元気であるための健康づくり）・仲間づくりを進めるための高齢者向けのグループがあったらどう思いますか。 （○は1つだけ）

- 1 あったら安心だと思う
- 2 あったら参加したいと思う
- 3 あったら運営に携わってみたいと思う
- 4 あってもあまり興味・関心はない

問 19 基本チェックリスト（厚生労働省が作成した介護予防のために、日頃の暮らしぶりや生活機能の低下を確認する25項目）を知っていますか。 （○はいくつでも）

- 1 広報よこはま特別号（シニア通信）やダイレクトメールで知った
- 2 区役所の窓口、講座やイベントで知った
- 3 地域ケアプラザ（包括支援センター）の窓口、講座やイベントで知った
- 4 友人や近所の方からの話で知った
- 5 インターネットで知った
- 6 新聞、テレビやラジオで知った
- 7 知らない

基本チェックリストの一部をご紹介します。

No.	質問項目	0点	1点
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	はい	いいえ
7	イスに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	はい	いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	はい	いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	いいえ	はい
10	転倒に対する不安は大きいですか	いいえ	はい
11	6ヶ月間で2～3Kg以上の体重減少がありましたか	いいえ	はい
12	BMIが18.5未満である あなたのBMI=体重()kg÷身長()m÷身長()m	18.5 以上	18.5 未満

チェック
結果

No. 6～10の得点が3点以上の場合……運動器の低下に注意が必要です。
No. 11,12の得点が2点の場合……低栄養状態に注意が必要です。

介護予防のための情報や基本チェックリストは、
健康長寿ネット にも掲載されています。

健康について

問 20 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をして下さい。

(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 健康である | 3 どちらかという健康ではない |
| 2 どちらかという健康である | 4 健康ではない |

問 21 あなたはご自分の健康のために、どのようなことに気をつけていますか。

※印の項目は 20 歳以上の方のみお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1 食事・栄養に気をつける | 7 健康や病気に関するテレビ・新聞を見て、知識を身につける |
| 2 なるべく体を動かしたり、運動したりする | 8 ※タバコを吸わない、やめた、または本数を減らしている |
| 3 休養や睡眠を十分にとる | 9 ※お酒を飲みすぎない |
| 4 日ごろから体重や血圧などのチェックをする | 10 その他 () |
| 5 定期的に健康診断を受ける | |
| 6 ストレス解消を心がける | |

次の項目は 20 歳以上の方のみお答えください。

問 21-1 あなたはタバコを吸っていますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------------|------------|
| 1 吸っている | 2 以前吸っていたがやめた | 3 吸ったことはない |
|---------|---------------|------------|

大腸がん、子宮がん、乳がん検診についてお尋ねします。

男性の方は大腸がんのみ、女性の方は3つのがん全てにお答えください。

がん検診は定期的に受けることをおすすめします。がん検診は福祉保健センター、各種医療機関、職場の健康診断などで受けることができます。

横浜市のがん検診は職場等で受ける機会がない方で、大腸がんは(40歳以上)年に1回、子宮がん(20歳以上)と乳がん(40歳以上)は2年に1回受けることができます。

料金等はそれぞれ異なりますので、横浜市のがん検診を受ける方は「横浜市・青葉区のホームページ」「福祉保健センターからのお知らせ」をご覧ください。

問 22 あなたは、1年以内に大腸がん、2年以内に子宮がん、乳がん検診を受けましたか。

(大腸がん、子宮がん、乳がん それぞれに○は1つ)

	受けた	受けていない	わからない
① 大腸がん	1	2	3
② 子宮がん	1	2	3
③ 乳がん	1	2	3

環境について

問 27 横浜市では、身近なところから地球温暖化対策に取り組む「エコ活」を推進しています。次のうち、あなたが温暖化対策として、現在取り組んでいることは何ですか。また、今後、取り組みたいことは何ですか。
(○はそれぞれにいくつでも)

現在取り組んでいること	今後取り組みたいこと
1 冷暖房を適切な温度に設定する	1 冷暖房を適切な温度に設定する
2 テレビを見ていないときは消す	2 テレビを見ていないときは消す
3 使っていない電化製品はコンセントを抜く	3 使っていない電化製品はコンセントを抜く
4 買い物袋をもち、レジ袋を断る	4 買い物袋をもち、レジ袋を断る
5 公共交通機関の利用	5 公共交通機関の利用
6 省エネ家電の購入	6 省エネ家電の購入
7 緑のカーテンなど緑化の推進	7 緑のカーテンなど緑化の推進
8 HEMS※の導入	8 HEMS※の導入
9 太陽光発電の導入	9 太陽光発電の導入
10 その他 ()	10 その他 ()
11 特に取り組んでいない	11 特に取り組んでいない

※ ホーム エネルギー マネジメント システム HEMS(Home Energy Management System/家庭用エネルギー管理機器)は、各家庭の電力使用量などを「見える化」し、パソコンなどで電力の使用状況を確認できる機器です。横浜市では、HEMS 導入費の一部を補助しています。スリム

問 28 「ヨコハマ^{スリム}3R夢プラン」では、燃やすごみだけではなく資源となる物も削減を目指していますが、あなたが現在、ごみと資源物を削減するために行っていることをお知らせください。
(○はいくつでも)

1 分別を徹底している	5 マイバッグを使用している
2 生ごみの水切りをしている	6 マイボトルを使用している
3 食べ残しや手付かずで廃棄する食品が少なくなるように工夫している	7 過剰包装を断っている
4 つめ替え商品を購入している	8 せん定枝や草を乾燥させている
	9 特に何もしていない

区政 20 周年について

問 29 来年、平成 26 年 11 月に青葉区が誕生 20 周年を迎えることを知っていましたか。
(○は 1 つだけ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 30 青葉区では、区制 20 周年に向けてイベント等を企画しています。どのようなイベントに参加したいですか。
(○はいくつでも)

1 記念式典	4 その他 ()
2 スポーツイベント	5 参加したいとは思わない
3 音楽・芸術文化イベント	

読書活動について

問 31 あなたは月に何冊本を読みますか。

(それぞれに○は1つ)

現在どのくらい読んでいますか	今後どのくらい読みたいですか
1 0冊	1 0冊
2 1-2冊	2 1-2冊
3 3-4冊	3 3-4冊
4 5-9冊	4 5-9冊
5 10冊以上	5 10冊以上

問 32 どのようにすればもっと読書ができると思いますか。

(○はいくつでも)

1 市立図書館が利用しやすくなる(蔵書増・開館時間・アクセス) 2 学校図書館が利用しやすくなる(学生むけのほか地域への開放) 3 地区センター、コミュニティハウスなど身近な公共施設の図書コーナーが利用しやすくなる(蔵書増・開館時間) 4 地域で読書に関する活動が行われる(読書会・読み聞かせ) 5 本屋が利用しやすくなる(近くにできる・開店時間・ブックカフェ等のサービス) 6 自分の生活スタイルが変わる(本を読む時間ができる) 7 その他()
--

区・市への愛着について

問 33 あなたは、青葉区や横浜市というまちに対して、愛着や誇りを感じていますか。

青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。

(それぞれに○は1つ)

青葉区	横浜市
1 感じている	1 感じている
2 やや感じている	2 やや感じている
3 どちらともいえない	3 どちらともいえない
4 あまり感じていない	4 あまり感じていない
5 まったく感じていない	5 まったく感じていない
6 わからない	6 わからない

定住意向について

問 34 あなたは、青葉区に住み続けたいと思いますか。

(○は1つだけ)

1 青葉区に住み続けたい

2 青葉区以外に住みたい

問 34 で青葉区以外に住みたいと回答された方におたずねします。

問 34-1 「住み続けたくない」気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるためには何が必要だと思えますか。

(○はいくつでも)

1 自宅近くにスーパーや店ができる	8 整然とした良好なまちなみができる
2 病院や診療所が充実する	9 環境が静かになる
3 交通の便が良くなる	10 近隣との関係がよくなる
4 自然環境に恵まれている	11 その他
5 趣味や余暇活動がしやすくなる	()
6 学校や保育園・幼稚園が増える	12 特に理由はない
7 教育や文化の水準があがる	

【あ】	1 青葉台一丁目～二丁目	7 美しが丘四丁目～五丁目	13 荇田北一丁目～三丁目
	2 あかね台一丁目～二丁目	8 美しが丘西一丁目～二丁目	14 荇田西一丁目～五丁目
	3 あざみ野一丁目～四丁目	9 美しが丘西三丁目	15 榎が丘
	4 あざみ野南一丁目～四丁目	10 梅が丘	16 大場町
	5 市ケ尾町	11 荇子田一丁目～三丁目	17 恩田町
	6 美しが丘一丁目～三丁目	12 荇田町	
【か】	18 柿の木台	20 上谷本町	22 鉄町
	19 桂台一丁目～二丁目	21 鴨志田町	23 黒須田
【さ】	24 桜台	27 下谷本町	30 すずき野一丁目～三丁目
	25 さつきが丘	28 しらとり台	31 すみよし台
	26 寺家町	29 新石川一丁目～四丁目	
【た】	32 たちばな台一丁目～二丁目	34 千草台	
	33 田奈町	35 つつじが丘	
【な】	36 奈良町	37 奈良一丁目～五丁目	38 成合町
【は】	39 藤が丘一丁目～二丁目		
【ま】	40 松風台	43 緑山	46 もみの木台
	41 みすすが丘	44 もえぎ野	
	42 みたけ台	45 元石川町	
【わ】	47 若草台		

区政について

青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、6月14日(金)までにご投函ください。



青葉区ホームページ

平成 25 年度区政運営方針 <http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/20130426213230.html>

青葉区区民意識調査 <http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/research.html>

平成 25 年度 青葉区区民意識調査 調査結果 報告書

発行日 平成 25 年 8 月

発行 青葉区 総務部 区政推進課 企画調整係
〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町 31 番地 4
TEL 045 (978) 2217
FAX 045 (978) 2410

<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/research.html>